

平成 24 年度  
美濃加茂市市民満足度調査

報告書

平成 25 年 6 月

美濃加茂市



# 目次

## I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査項目	1
4	回収状況	1
5	集計方法	2
6	報告書の見方	3

## II 調査分析のまとめ

1	基本属性	5
2	くらし向き	8
3	定住意向	23
4	第5次総合計画について	34
5	重要度・満足度調査	40
1.	重要度・満足度の得点化	40
2.	ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価	48
2.-1	みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち	51
2.-2	産業の振興により新たな価値のあるまち	62
2.-3	安心して暮らせるまち	65
2.-4	快適でこちよく定住できるまち	81
2.-5	美しい風景が残るまち	93
2.-6	市役所の経営方針	102

## 参考資料

市民満足度調査 アンケート調査票

## I 調査の概要



## 1 調査目的

美濃加茂市が実施している施策について、市民の意見等を市民満足度調査により聴取し、その傾向や市民ニーズを把握、分析し、今後の市政運営に反映させるための基礎資料とすることを目的としています。

## 2 調査方法

①調査地域	美濃加茂市全域
②調査対象	美濃加茂市に在住する満 18 歳以上の人
③抽出方法	住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
④配布数	1,500 票
⑤配布方法	郵送配布、郵送回収
⑥実施期間	平成 25 年 3 月 8 日～3 月 26 日
⑦有効回収数（率）	578 標本（38.5%）

## 3 調査項目

①基本属性	回答者の性別、年代、居住地域、家族構成、同居している子どもの状況、居住年数、住まいの状況、職業について 8 項目。
②くらし向き	今のくらしの状況等を把握する 4 項目。
③定住意向	美濃加茂市の住みよさ等を把握する 3 項目。
④第 5 次総合計画について	第 5 次総合計画の施策の中で特に力を入れてほしい分野を把握する 1 項目。
⑤重要度・満足度調査	第 5 次総合計画における共通目標と 4 つの基本目標及び市役所の経営方針に位置づけられ、平成 24 年度に実施した事業のなかから、市民の評価を求めたい事業について 33 項目。

## 4 回収状況

### （1）性別回収状況

性別	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
男性	740 票	265 票	35.8%	265 票	35.8%
女性	760 票	298 票	39.2%	298 票	39.2%
不明・無回答	-	15 票	-	15 票	-
全体	1,500 票	578 票	38.5%	578 票	38.5%

## (2) 年代別回収状況

年代	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
10歳代	39 票	13 票	33.3%	13 票	33.3%
20歳代	202 票	51 票	25.2%	51 票	25.2%
30歳代	260 票	81 票	31.2%	81 票	31.2%
40歳代	256 票	93 票	36.3%	93 票	36.3%
50歳代	214 票	85 票	39.7%	85 票	39.7%
60歳代	243 票	122 票	50.2%	122 票	50.2%
70歳代	169 票	77 票	45.6%	77 票	45.6%
80歳代以上	117 票	43 票	36.8%	43 票	36.8%
不明・無回答	-	13 票	-	13 票	-
全体	1,500 票	578 票	38.5%	578 票	38.5%

## (3) 地域別回収状況

地区	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
太田	324 票	120 票	37.0%	120 票	37.0%
古井	437 票	169 票	38.7%	169 票	38.7%
山之上	76 票	29 票	38.2%	29 票	38.2%
蜂屋	193 票	75 票	38.9%	75 票	38.9%
加茂野	256 票	81 票	31.6%	81 票	31.6%
伊深	34 票	13 票	38.2%	13 票	38.2%
三和	18 票	7 票	38.9%	7 票	38.9%
下米田・牧野	162 票	68 票	42.0%	68 票	42.0%
不明・無回答	-	16 票	-	16 票	-
全体	1,500 票	578 票	38.5%	578 票	38.5%

※有効回収数とは、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数です。

## 5 集計方法

単純集計に加え、基本属性によるクロス集計を行いました。クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。なお、クロス集計については、質問ごとに特徴的な項目のみ本報告書に掲載しました。

## 6 報告書の見方

- ・グラフに表示されている n 値とは、標本数のことを示しています。また、( ) 内の数字は回答数の内訳を示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計（全体）の回答数が合致しないことがあります。
- ・くらし向き、定住意向項目のクロス集計の表では、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（その他、わからない、特になし、無回答を除く）
- ・標本誤差については、下記算出式より算出します。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\sigma$  : 標本誤差  
 $N$  : 母集団  
 $n$  : 標本数  
 $p$  : 回答比率  
 $\kappa$  : 信頼率による変数

信頼率による変数  $\kappa$  は、信頼率 95% では 1.96、信頼率 99% では 2.58 と定義されています。今回のアンケート調査における信頼率を 95% とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなります。

標本数	回答比率 (%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
578	±2.43	±3.24	±3.71	±3.97	±4.05

これは、ある設問において「A」という回答の割合が 50% であれば、18 歳以上の美濃加茂市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95% の確率で ±4.05% の範囲内（45.95%～54.05%）にあることを示しています。



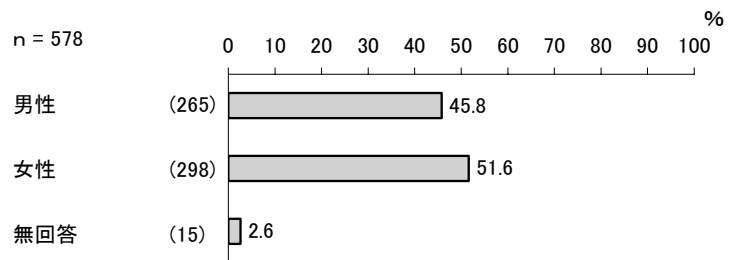
## II 調査分析のまとめ



## 1 基本属性

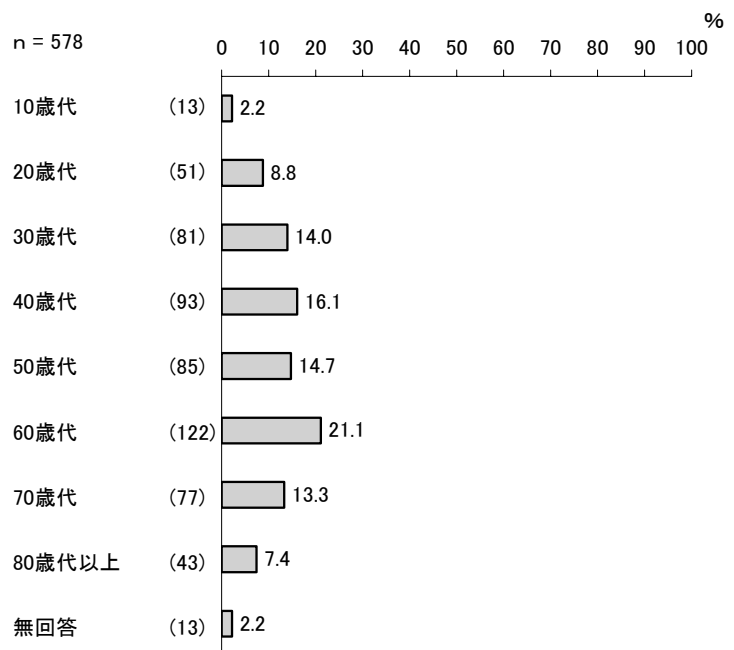
### 問1. 性別

「男性」の割合が45.8%、「女性」の割合が51.6%となっています。



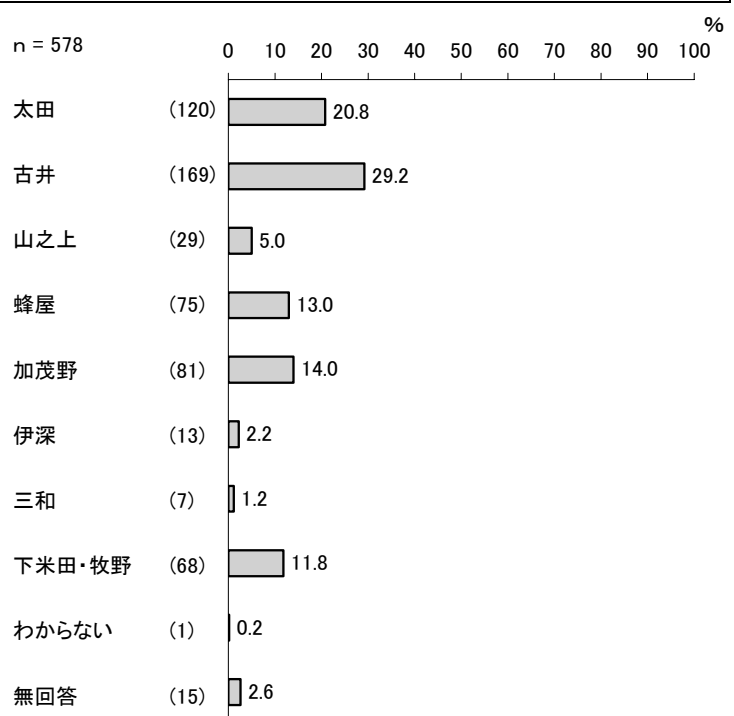
### 問2. 年代

「60歳代」の割合が21.1%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が16.1%、「50歳代」の割合が14.7%となっています。



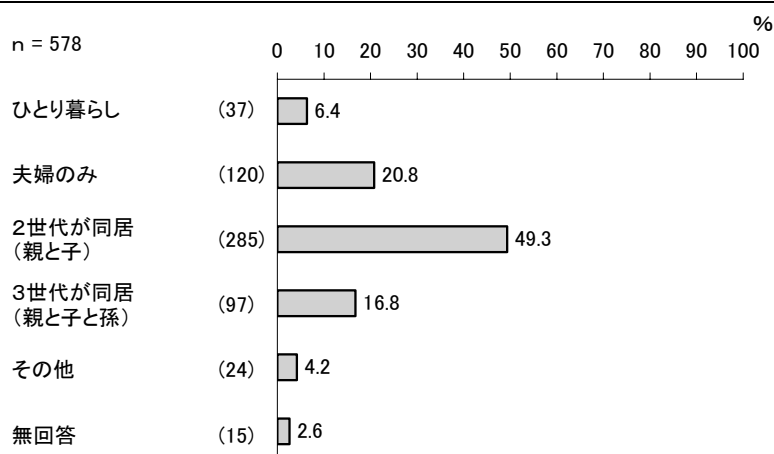
### 問3. 居住地

「古井」の割合が29.2%と最も高く、次いで「太田」の割合が20.8%、「加茂野」の割合が14.0%となっています。



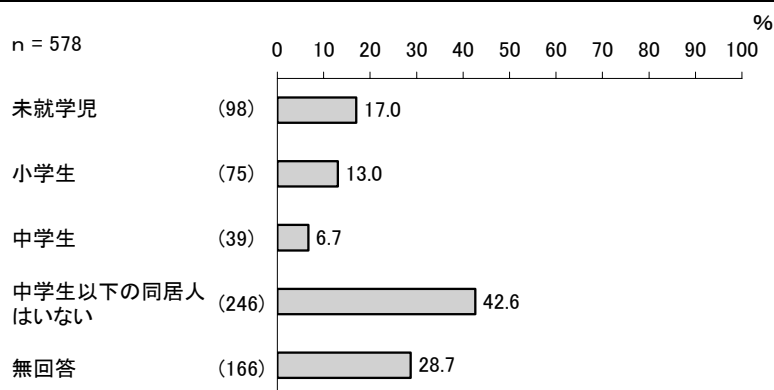
#### 問 4. 家族構成

「2世代が同居（親と子）」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が 20.8%、「3世代が同居（親と子と孫）」の割合が 16.8%となっています。



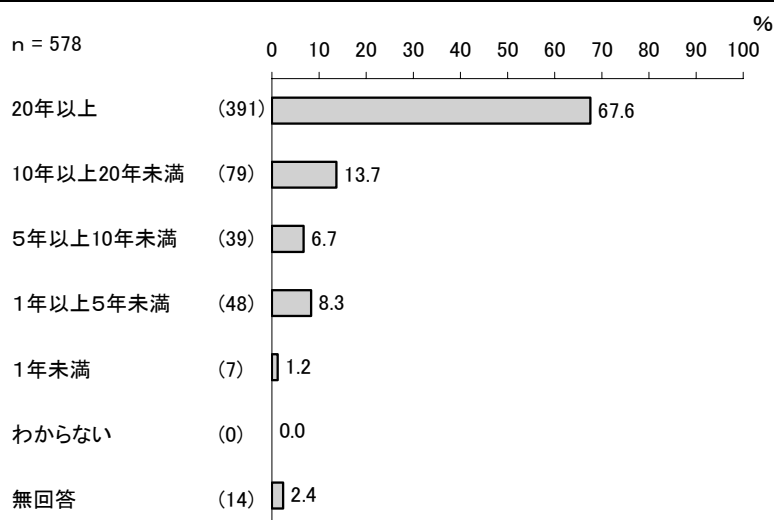
#### 問 5. 同居している子どもの状況

「中学生以下の同居人はいない」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「未就学児」の割合が 17.0%、「小学生」の割合が 13.0%となっています。



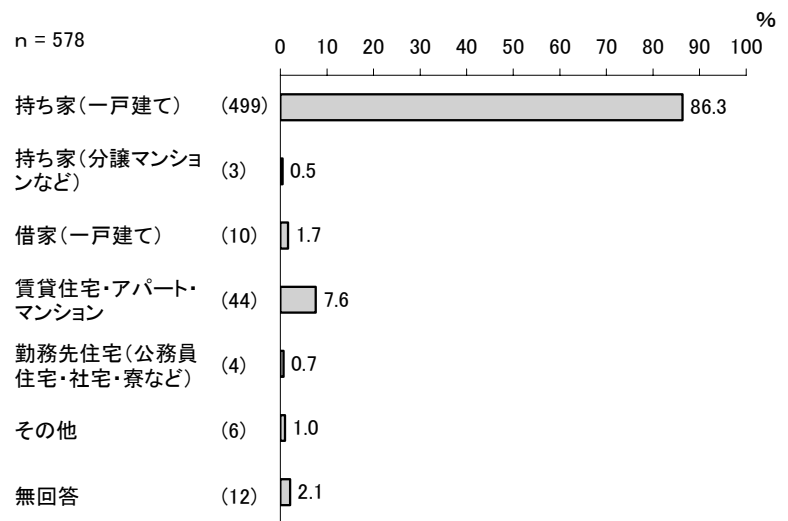
#### 問 6. 居住年数

「20年以上」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が 13.7%、「1年以上5年未満」の割合が 8.3%となっています。



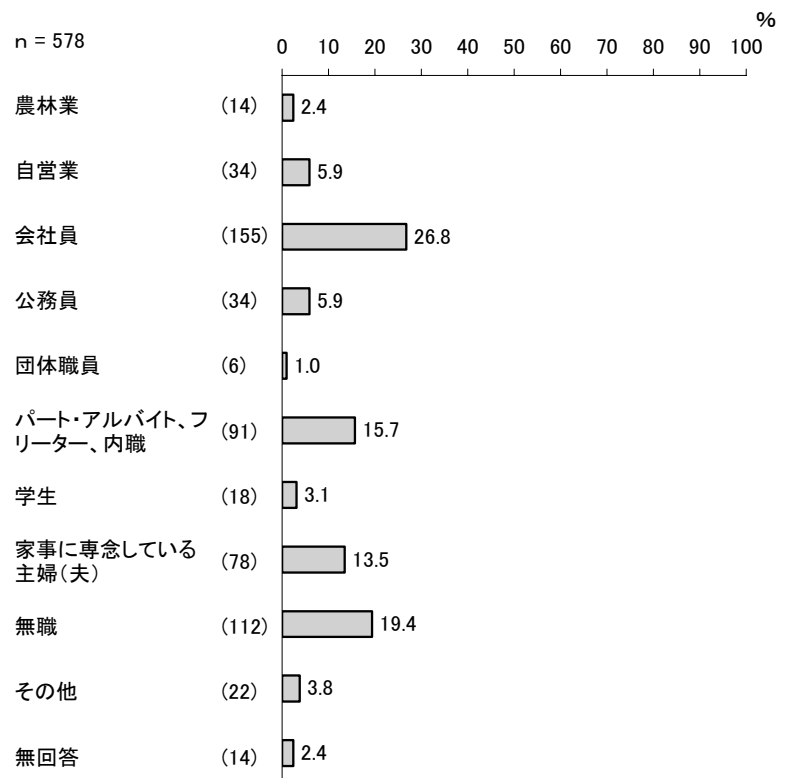
## 問7. 住まいの状況

「持ち家（一戸建て）」の割合が86.3%と最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート・マンション」の割合が7.6%、「借家（一戸建て）」の割合が1.7%となっています。



## 問8. 職業

「会社員」の割合が26.8%と最も高く、次いで「無職」の割合が19.4%、「パート・アルバイト、フリーター、内職」の割合が15.7%となっています。

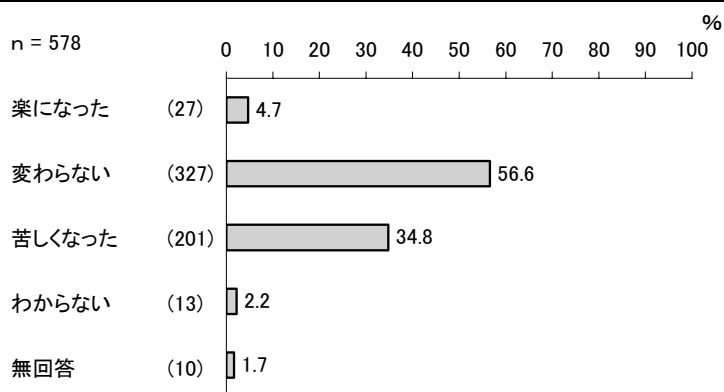


## 2 暮らし向き

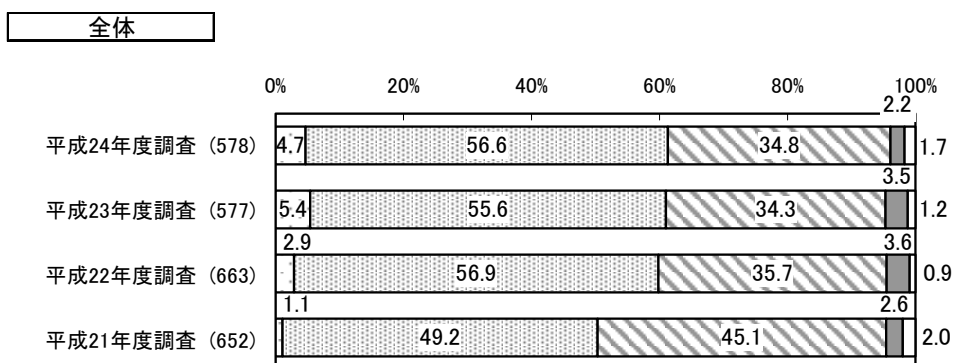
### 問9. 去年の暮らしとの比較

「変わらない」の割合が56.6%と最も高く、次いで「苦しくなった」の割合が34.8%、「楽になった」の割合が4.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答



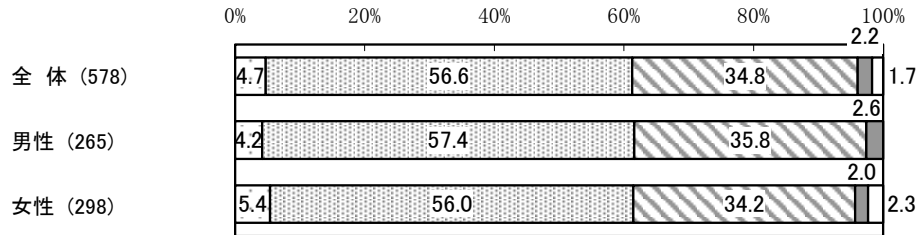
①性別・年代別

性別で見ると、大きな差異はみられません。

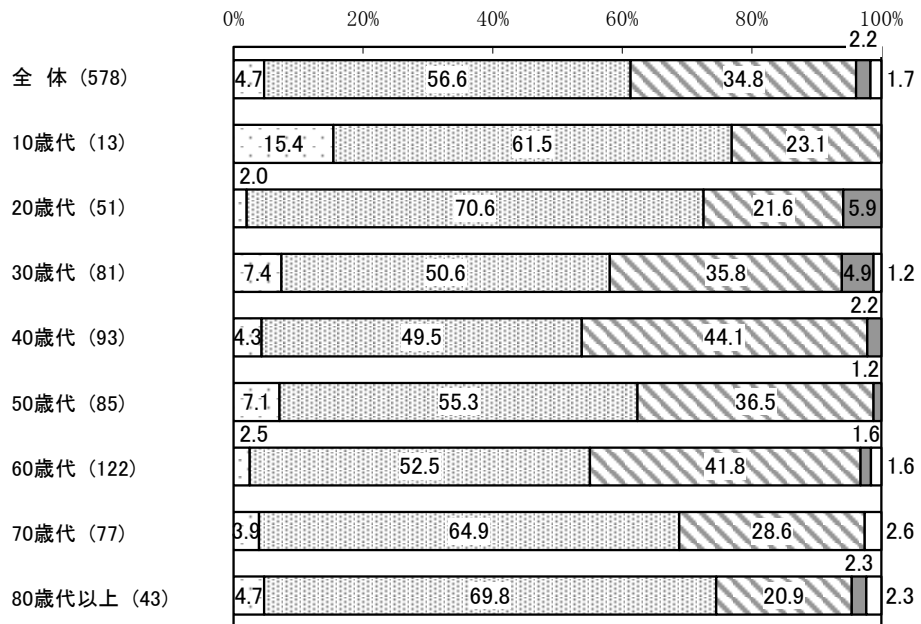
年代別で見ると、10歳代で「楽になった」の割合が他に比べて高く、1割を超えています。また、40歳代、60歳代で「苦しくなった」の割合が4割を超えています。

□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答

性別



年代別

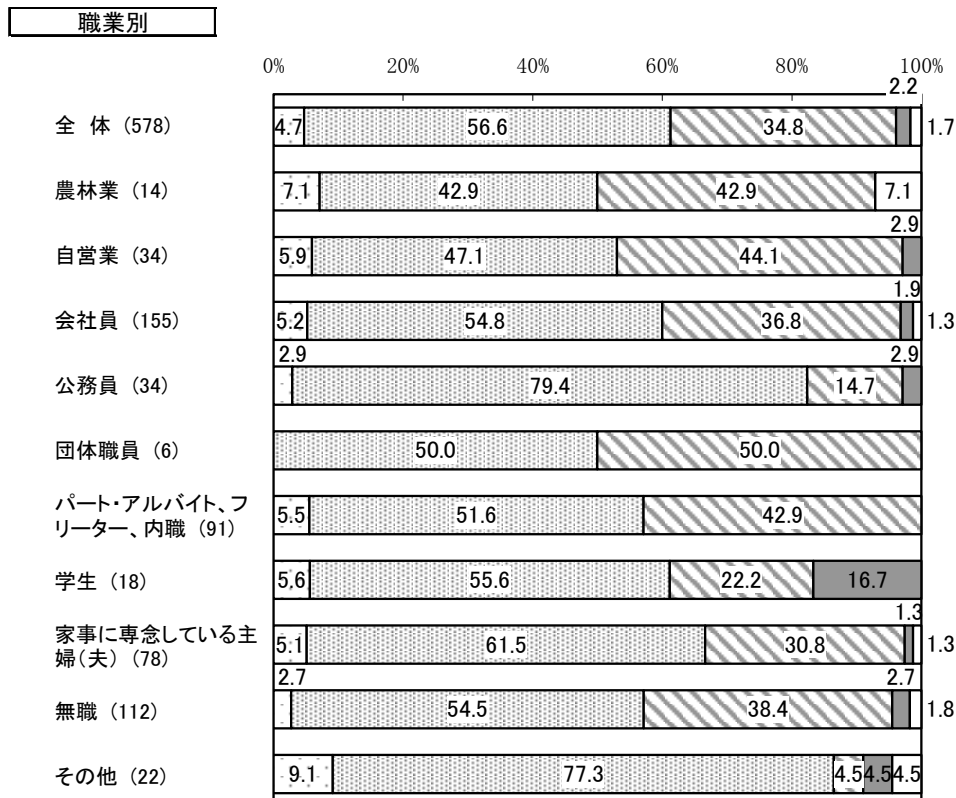
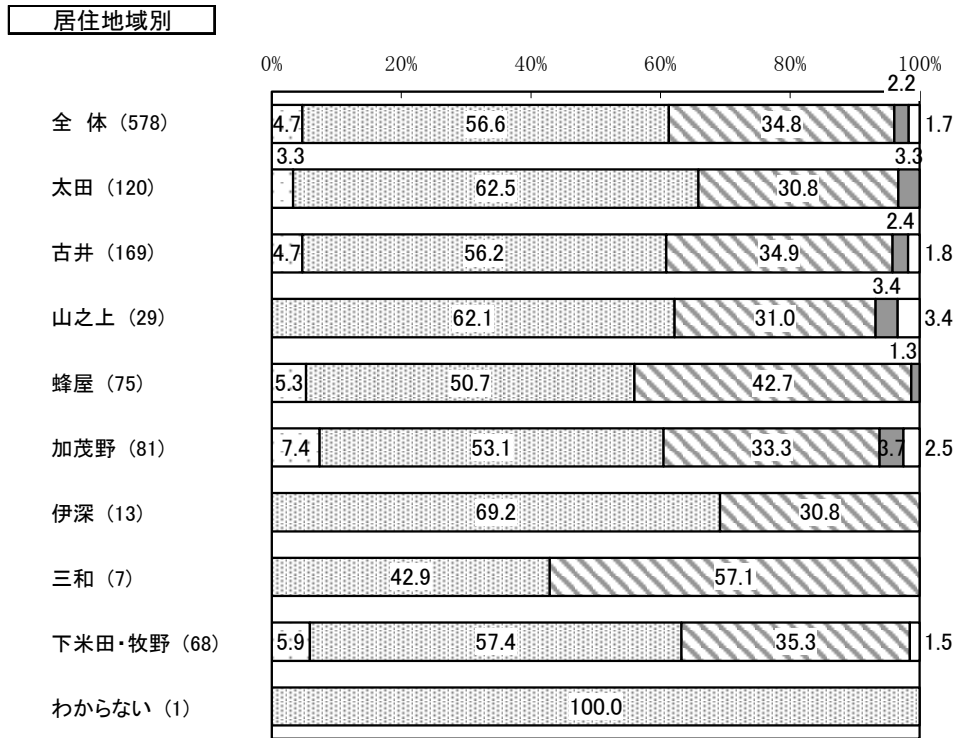


## ②居住地別・職業別

居住地別でみると、蜂屋で「苦しくなった」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

職業別でみると、農林業、自営業、パート・アルバイト、フリーター、内職で「苦しくなった」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答



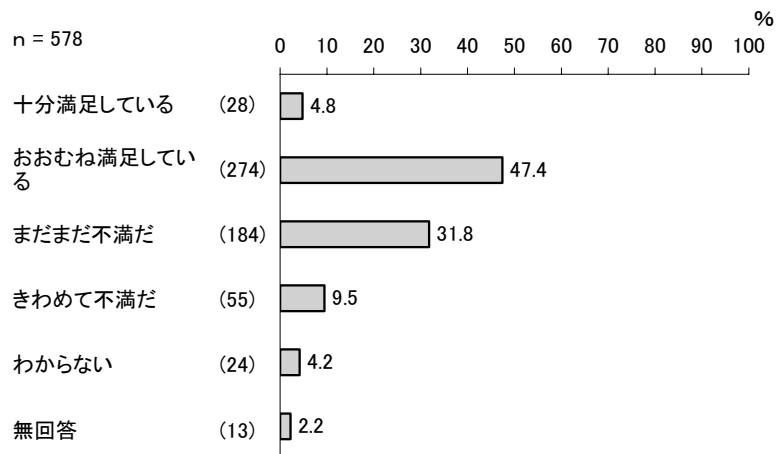


問 10. 今の暮らしについて思うこと

「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた今の暮らしについて満足している人の割合が 52.2%、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた今の暮らしについて不満に感じている人の割合が 41.3% となっています。

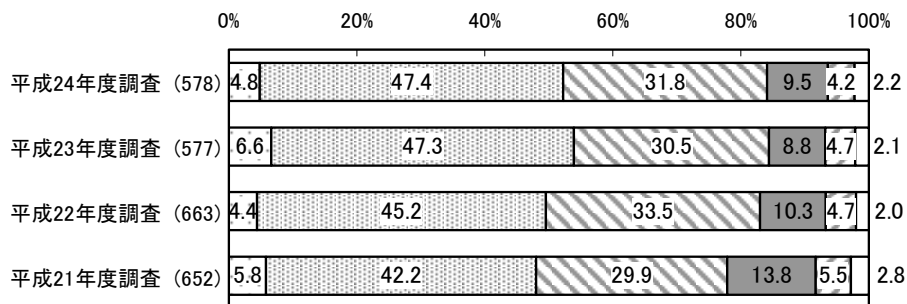
前回調査と比較すると、「十分満足している」と「おおむね満足

している」をあわせた今の暮らしについて満足している人の割合は、平成 21 年度から年々増加傾向にありましたが、今年度は減少しています。



- 十分満足している
- ▨ おおむね満足している
- ▩ まだまだ不満だ
- きわめて不満だ
- ▧ わからない
- 無回答

全体



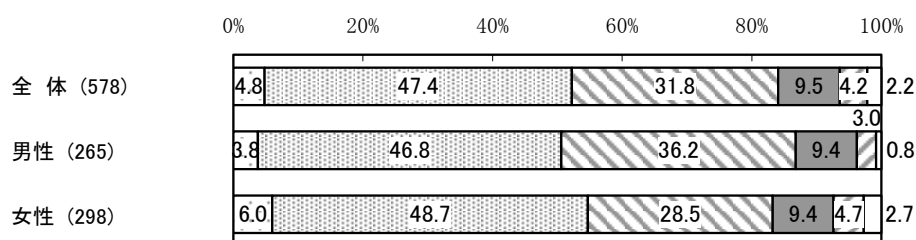
### ①性別・年代別

性別で見ると、男性で今の暮らしについて不満に感じている人の割合が女性に比べて高く、4割を超えています。

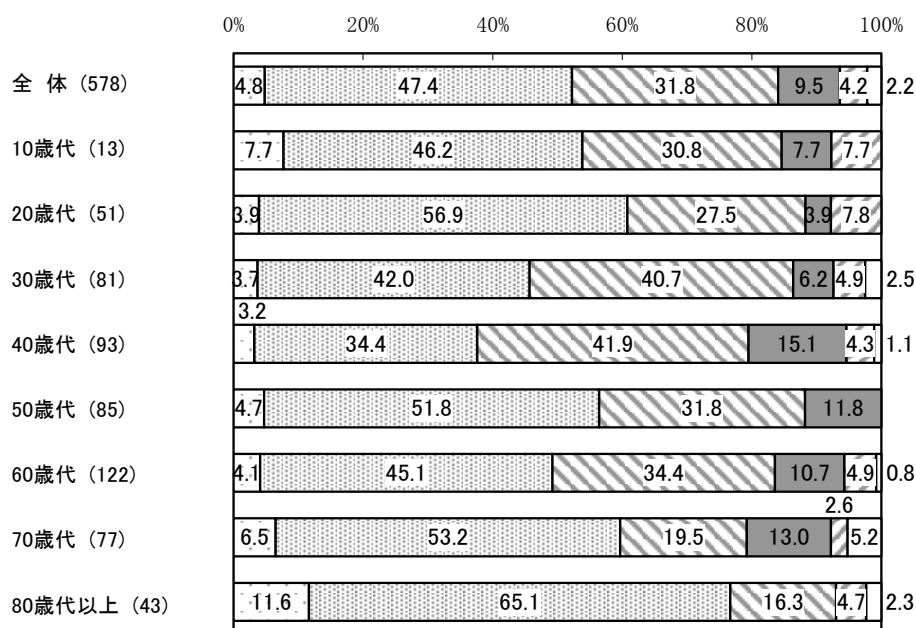
年代別で見ると、20歳代、80歳代以上で今の暮らしに満足している人が6割を超えています。また、30歳代、40歳代では今の暮らしについて不満に感じている人が割合が満足している人を上回っています。

- 十分満足している      ■ おおむね満足している      ■ まだまだ不満だ
- きわめて不満だ      ■ わからない      □ 無回答

#### 性別



#### 年代別

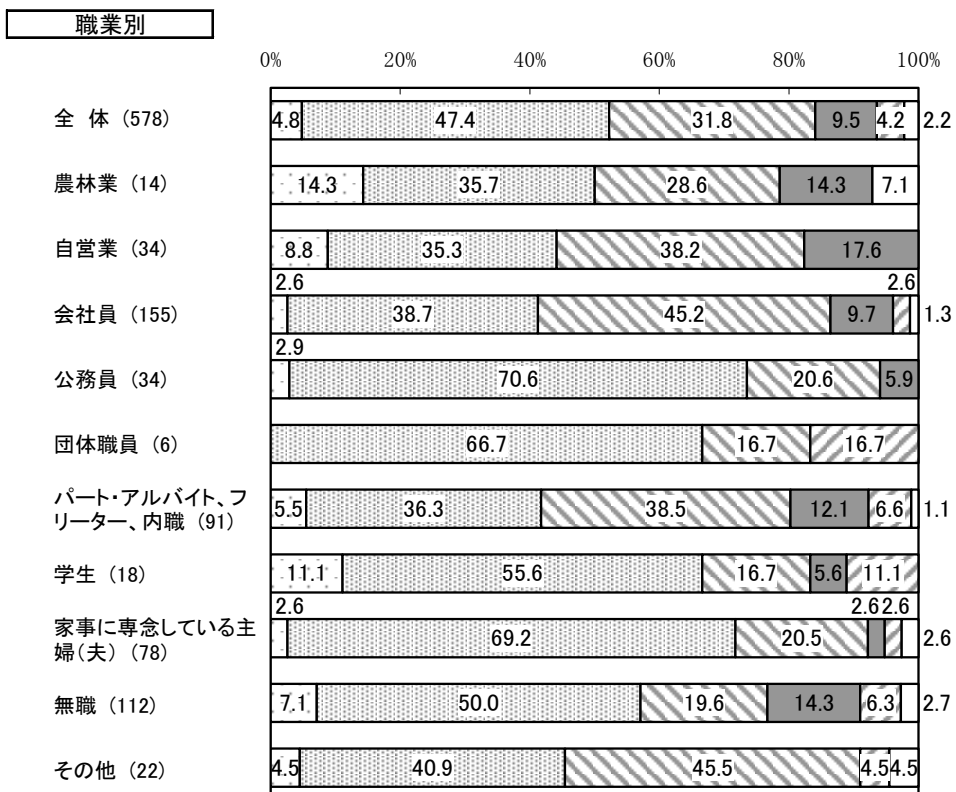
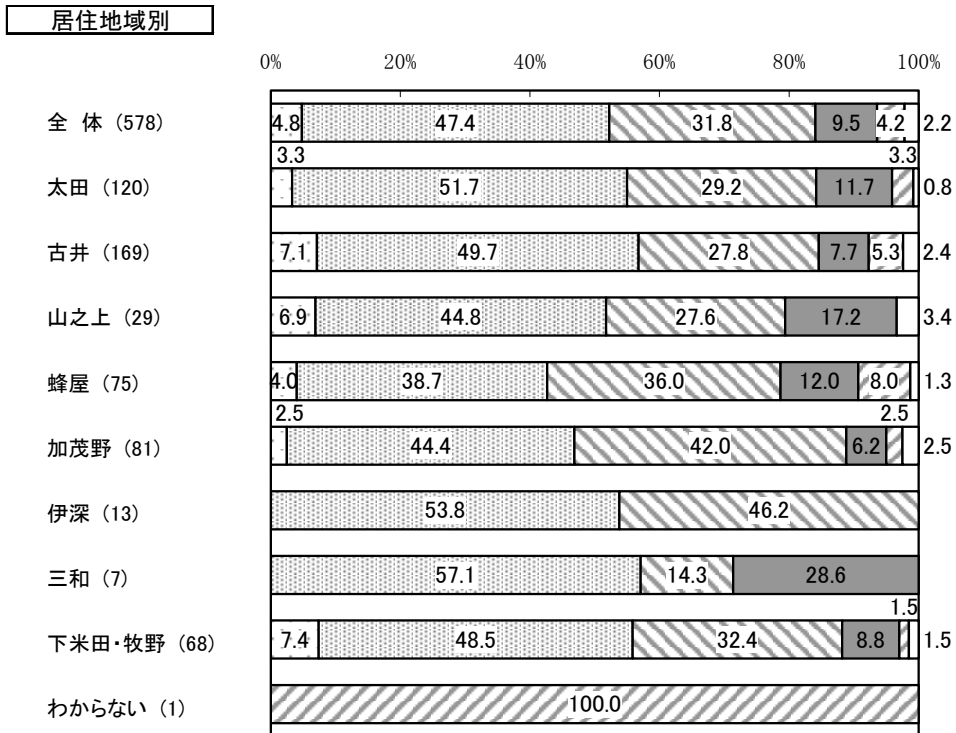


②居住地区別・職業別

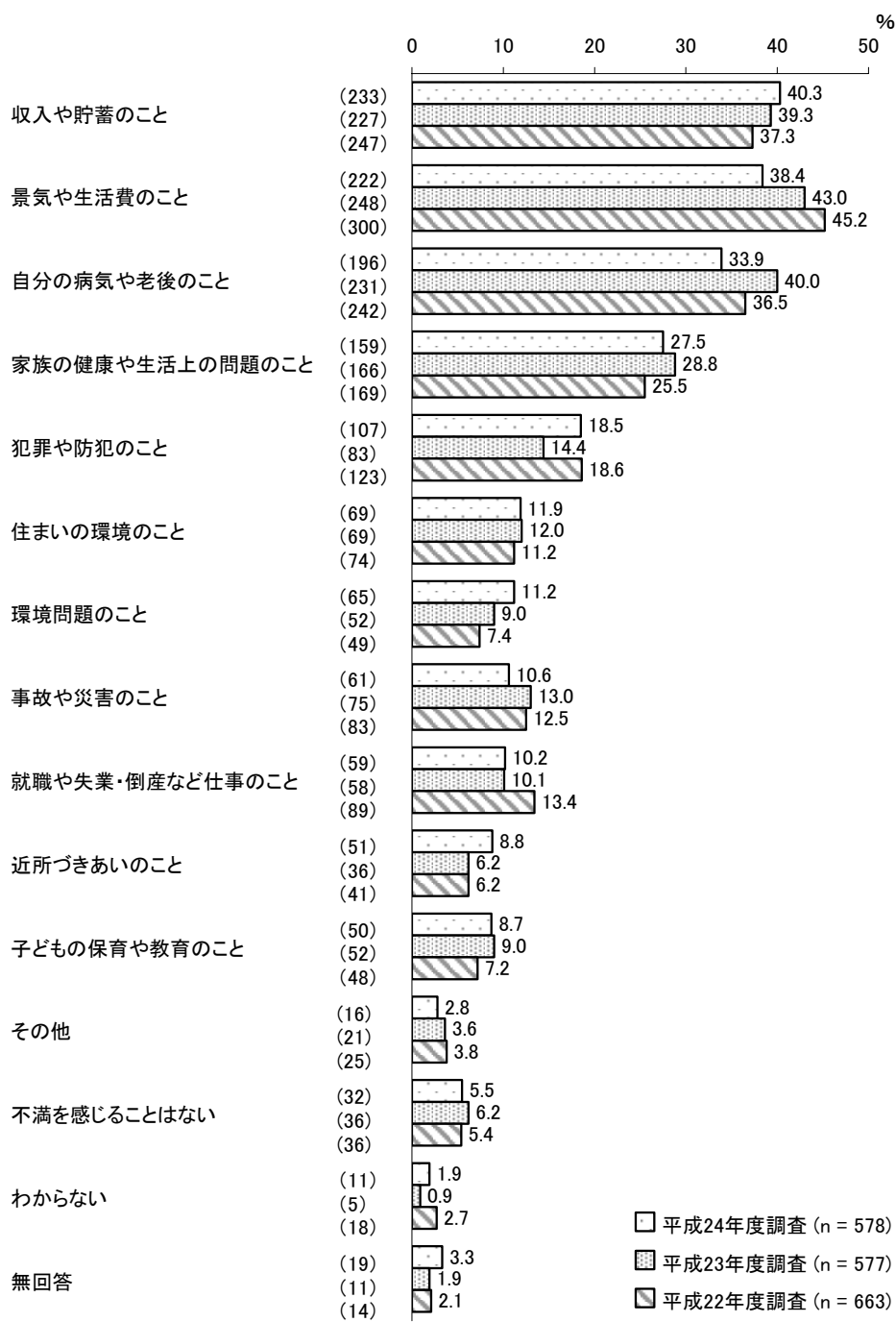
居住地区別で見ると、蜂屋、加茂野で今の暮らしに満足している人の割合が他に比べて低く、5割以下となっています。一方、古井で今の暮らしに不満を感じている人が4割以下となっています。

職業別で見ると、公務員、学生、家事に専念している主婦（夫）で今の暮らしに満足している人の割合が他に比べて高く、6割を超えています。

□ 十分満足している    ■ おおむね満足している    ▨ まだまだ不満だ  
 ■ きわめて不満だ    ▩ わからない    □ 無回答



問 11. 日ごろの暮らしの中で不満を感じていること



「収入や貯蓄のこと」の割合が40.3%と最も高く、次いで「景気や生活費のこと」の割合が38.4%、「自分の病気や老後のこと」の割合が33.9%となっています。

前回調査と比較すると、「犯罪や防犯のこと」の割合が4.1ポイント増加しています。一方、「景気や生活費のこと」の割合が4.6ポイント、「自分の病気や老後のこと」の割合が6.1ポイント減少しています。

①性別・年代別

性別でみると、男性で「収入や貯蓄のこと」の割合が女性に比べて高く、4割を超えています。一方、女性で「家族の健康や生活上の問題のこと」「犯罪や防犯のこと」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別でみると、10歳代、20歳代を除き、年代が下がるにつれ、「収入や貯蓄のこと」「景気や生活費のこと」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年代が上がるにつれ、「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、10歳代、20歳代で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が、30歳代、40歳代で「子どもの保育や教育のこと」の割合が、30歳代、60歳代で「近所づきあいのこと」の割合が、60歳代で「住まいの環境のこと」の割合が、70歳代以上で「事故や災害のこと」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		578	40.3	38.4	10.2	27.5	33.9	8.7	8.8
性別	男性	265	43.8	38.5	10.9	23.4	33.6	7.5	11.3
	女性	298	37.2	40.3	10.1	31.2	33.9	9.7	7.0
年代別	10歳代	13	46.2	46.2	15.4	23.1	7.7	7.7	—
	20歳代	51	47.1	43.1	25.5	13.7	7.8	9.8	2.0
	30歳代	81	54.3	50.6	12.3	19.8	16.0	30.9	13.6
	40歳代	93	50.5	57.0	12.9	30.1	24.7	16.1	6.5
	50歳代	85	42.4	40.0	11.8	31.8	29.4	1.2	9.4
	60歳代	122	37.7	28.7	5.7	32.0	45.9	1.6	14.8
	70歳代	77	26.0	32.5	5.2	31.2	58.4	—	6.5
	80歳代以上	43	16.3	14.0	2.3	27.9	58.1	—	4.7

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.9	11.2	18.5	10.6	2.8	5.5	1.9	3.3
性別	男性	13.6	12.1	15.5	11.7	1.9	6.4	1.9	1.9
	女性	10.1	10.4	20.8	10.1	3.4	4.7	2.0	3.7
年代別	10歳代	15.4	7.7	15.4	15.4	—	—	7.7	7.7
	20歳代	15.7	13.7	23.5	9.8	3.9	5.9	3.9	3.9
	30歳代	9.9	9.9	21.0	7.4	—	2.5	—	2.5
	40歳代	10.8	7.5	19.4	9.7	2.2	3.2	3.2	3.2
	50歳代	12.9	14.1	15.3	4.7	5.9	8.2	1.2	1.2
	60歳代	18.9	14.8	15.6	12.3	1.6	4.1	0.8	0.8
	70歳代	3.9	9.1	20.8	16.9	2.6	10.4	—	3.9
	80歳代以上	4.7	7.0	14.0	16.3	4.7	7.0	7.0	4.7

## ②居住地域別

居住地域別でみると、伊深で「景気や生活費のこと」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、蜂屋、加茂野、伊深で「収入や貯蓄のこと」の割合が、山之上で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が、伊深で「自分の病気や老後のこと」「事故や災害のこと」の割合が、蜂屋で「子どもの保育や教育のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など 仕事のこと	家族の健康や生活上 の問題のこと	自分の病気や老後の こと	子どもの保育や教育 のこと	近所づきあいのこと
全 体		578	40.3	38.4	10.2	27.5	33.9	8.7	8.8
居住地域別	太田	120	35.8	35.8	9.2	28.3	26.7	8.3	10.8
	古井	169	37.3	33.7	11.2	28.4	35.5	7.7	7.1
	山之上	29	41.4	34.5	24.1	20.7	34.5	6.9	3.4
	蜂屋	75	48.0	48.0	6.7	28.0	30.7	16.0	13.3
	加茂野	81	45.7	42.0	11.1	25.9	35.8	6.2	7.4
	伊深	13	53.8	76.9	—	30.8	53.8	7.7	7.7
	三和	7	28.6	14.3	—	14.3	57.1	14.3	—
	下米田・牧野	68	41.2	44.1	11.8	27.9	38.2	7.4	10.3
	わからない	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることは ない	わからない	無回答
全 体		11.9	11.2	18.5	10.6	2.8	5.5	1.9	3.3
居住地域別	太田	13.3	9.2	22.5	10.0	2.5	9.2	4.2	2.5
	古井	9.5	10.7	21.9	14.8	2.4	4.1	1.2	4.1
	山之上	—	3.4	6.9	13.8	—	10.3	6.9	3.4
	蜂屋	12.0	12.0	20.0	6.7	1.3	6.7	1.3	1.3
	加茂野	16.0	13.6	13.6	9.9	6.2	1.2	1.2	3.7
	伊深	15.4	7.7	—	23.1	—	—	—	—
	三和	28.6	14.3	—	28.6	—	14.3	—	—
	下米田・牧野	13.2	16.2	14.7	2.9	2.9	4.4	—	1.5
	わからない	—	—	100.0	—	—	—	—	—

③子どもの年代別

子どもの年代別でみると、子どもが未就学児、小学生、中学生で「収入や貯蓄のこと」「子どもの保育や教育のこと」の割合が、未就学児、中学生で「景気や生活費のこと」の割合が、小学生で「近所づきあいのこと」の割合が、中学生で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		578	40.3	38.4	10.2	27.5	33.9	8.7	8.8
子どもの年代別	未就学児	98	48.0	53.1	9.2	24.5	18.4	28.6	9.2
	小学生	75	46.7	42.7	6.7	28.0	21.3	32.0	17.3
	中学生	39	53.8	59.0	17.9	23.1	10.3	15.4	7.7
	中学生以下の同居人はいない	246	40.2	37.4	13.4	30.9	37.8	1.6	8.9

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.9	11.2	18.5	10.6	2.8	5.5	1.9	3.3
子どもの年代別	未就学児	12.2	12.2	18.4	8.2	2.0	2.0	—	5.1
	小学生	8.0	16.0	18.7	13.3	1.3	5.3	—	4.0
	中学生	5.1	12.8	20.5	7.7	—	5.1	7.7	2.6
	中学生以下の同居人はいない	13.0	10.2	17.5	11.0	3.3	5.7	2.8	1.2

#### ④職業別

職業別でみると、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で「収入や貯蓄のこと」の割合が、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職、学生で「景気や生活費のこと」の割合が、農林業、学生で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が他に比べて高くなっています。また、農林業で「家族の健康や生活上の問題のこと」「環境問題のこと」の割合が、無職で「自分の病気や老後のこと」の割合が、公務員で「子どもの保育や教育のこと」の割合が、自営業、公務員、家事に専念している主婦（夫）で「犯罪や防犯のこと」の割合が、自営業、無職で「事故や災害のこと」の割合が高くなっています。

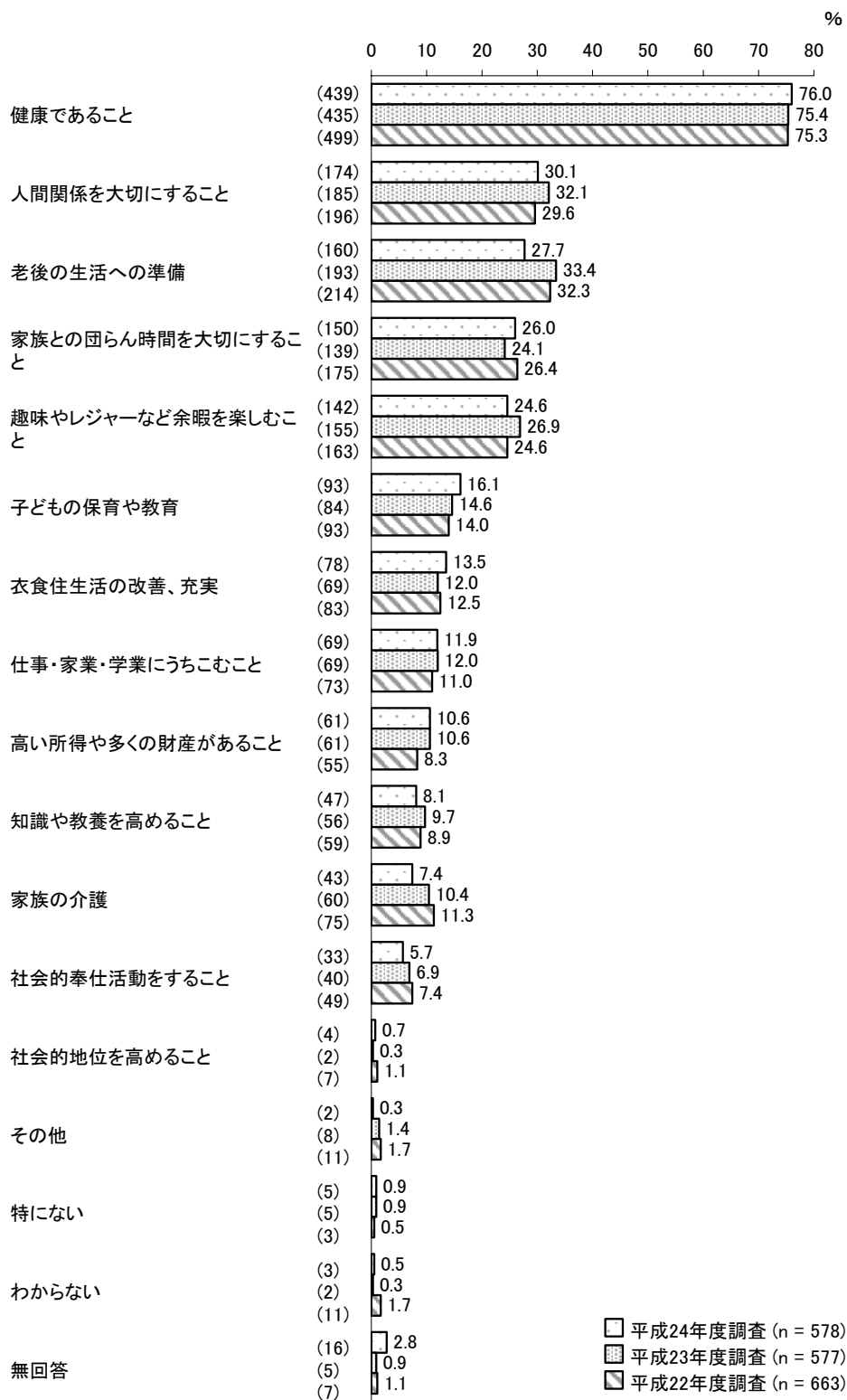
単位：％

		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		578	40.3	38.4	10.2	27.5	33.9	8.7	8.8
職業別	農林業	14	42.9	21.4	21.4	42.9	35.7	—	7.1
	自営業	34	41.2	35.3	14.7	26.5	32.4	8.8	5.9
	会社員	155	49.0	43.9	12.9	23.2	25.2	11.6	11.0
	公務員	34	44.1	29.4	2.9	23.5	17.6	20.6	11.8
	団体職員	6	66.7	50.0	—	—	50.0	16.7	—
	パート・アルバイト、フリーター、内職	91	57.1	52.7	9.9	31.9	28.6	9.9	8.8
	学生	18	38.9	50.0	33.3	22.2	5.6	5.6	—
	家事に専念している主婦（夫）	78	26.9	33.3	3.8	32.1	35.9	11.5	6.4
	無職	112	23.2	31.3	8.0	27.7	54.5	—	10.7
	その他	22	36.4	31.8	13.6	31.8	45.5	4.5	9.1

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.9	11.2	18.5	10.6	2.8	5.5	1.9	3.3
職業別	農林業	14.3	21.4	7.1	14.3	—	7.1	—	7.1
	自営業	14.7	14.7	20.6	17.6	2.9	5.9	—	2.9
	会社員	15.5	7.7	18.1	7.7	1.3	5.2	1.3	3.2
	公務員	14.7	17.6	26.5	8.8	2.9	8.8	5.9	—
	団体職員	—	—	16.7	16.7	—	16.7	—	—
	パート・アルバイト、フリーター、内職	5.5	13.2	17.6	7.7	3.3	5.5	1.1	1.1
	学生	16.7	16.7	16.7	11.1	—	—	11.1	—
	家事に専念している主婦（夫）	14.1	12.8	23.1	9.0	3.8	7.7	1.3	2.6
	無職	8.0	8.0	17.0	17.9	3.6	4.5	2.7	3.6
	その他	13.6	13.6	4.5	—	4.5	—	—	9.1



問 12. 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと



「健康であること」の割合が76.0%と最も高く、次いで「人間関係を大切にすること」の割合が30.1%、「老後の生活への準備」の割合が27.7%となっています。

前回調査と比較すると、「老後の生活への準備」の割合が5.7ポイント減少しています。

### ①性別・年代別

性別で見ると、男性で「高い所得や多くの財産があること」「社会的奉仕活動をする事」の割合が女性に比べて高くなっています。一方、女性で「人間関係を大切にすること」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別で見ると、年代が下がるにつれ、「高い所得や多くの財産があること」「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、10歳代で「知識や教養を高めること」「趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと」の割合が、20歳代で「衣食住生活の改善、充実」の割合が、20歳代、30歳代、40歳代で「子どもの保育や教育」の割合が、30歳代、40歳代で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が、50歳代、60歳代で「老後の生活への準備」の割合が、50歳代、60歳代、70歳代で「健康であること」の割合が、70歳代、80歳代以上で「人間関係を大切にすること」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数(件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
全 体		578	10.6	0.7	11.9	8.1	76.0	27.7	7.4	26.0
性別	男性	265	14.7	0.8	14.0	7.5	74.3	25.7	6.4	26.0
	女性	298	7.0	0.7	10.4	8.7	78.5	29.2	8.4	26.5
年代別	10歳代	13	23.1	—	46.2	23.1	53.8	—	—	7.7
	20歳代	51	17.6	2.0	37.3	13.7	54.9	2.0	—	23.5
	30歳代	81	21.0	—	14.8	9.9	65.4	6.2	1.2	39.5
	40歳代	93	18.3	1.1	17.2	15.1	71.0	25.8	10.8	35.5
	50歳代	85	10.6	1.2	9.4	5.9	82.4	44.7	11.8	18.8
	60歳代	122	2.5	—	4.1	4.9	91.0	46.7	9.0	19.7
	70歳代	77	2.6	1.3	3.9	5.2	83.1	29.9	7.8	22.1
	80歳代以上	43	—	—	—	—	79.1	20.9	9.3	30.2

		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする事	人間関係を大切にすること	その他	特にない	わからない	無回答
全 体		16.1	13.5	24.6	5.7	30.1	0.3	0.9	0.5	2.8
性別	男性	14.3	11.3	26.8	9.8	27.5	—	1.1	0.8	1.1
	女性	17.8	15.4	23.2	2.3	32.9	0.7	0.3	0.3	3.4
年代別	10歳代	7.7	7.7	46.2	7.7	—	—	—	—	—
	20歳代	29.4	23.5	27.5	2.0	29.4	—	2.0	—	2.0
	30歳代	48.1	13.6	19.8	1.2	23.5	2.5	—	—	4.9
	40歳代	30.1	12.9	14.0	3.2	24.7	—	—	2.2	1.1
	50歳代	3.5	12.9	35.3	7.1	24.7	—	1.2	—	1.2
	60歳代	2.5	18.0	31.1	9.8	27.0	—	—	—	0.8
	70歳代	1.3	9.1	19.5	7.8	48.1	—	1.3	—	2.6
	80歳代以上	2.3	—	20.9	7.0	55.8	—	2.3	2.3	4.7

②居住地域別

居住地域別で見ると、伊深で「仕事・家業・学業にうちこむこと」「知識や教養を高めること」の割合が、太田、山之上で「健康であること」の割合が、山之上、蜂屋で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が、蜂屋、加茂野で「子どもの保育や教育」の割合が、伊深で「人間関係を大切にすること」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
全 体		578	10.6	0.7	11.9	8.1	76.0	27.7	7.4	26.0
居住地域別	太田	120	10.0	—	11.7	7.5	82.5	29.2	10.0	22.5
	古井	169	10.1	1.8	8.9	7.7	75.1	26.6	8.3	20.7
	山之上	29	6.9	—	17.2	6.9	89.7	24.1	3.4	41.4
	蜂屋	75	14.7	—	16.0	8.0	73.3	24.0	8.0	40.0
	加茂野	81	11.1	1.2	16.0	11.1	70.4	30.9	2.5	22.2
	伊深	13	7.7	—	23.1	15.4	76.9	15.4	7.7	30.8
	三和	7	14.3	—	14.3	—	100.0	14.3	14.3	14.3
	下米田・牧野	68	10.3	—	7.4	8.8	72.1	32.4	7.4	29.4
	わからない	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—

		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		16.1	13.5	24.6	5.7	30.1	0.3	0.9	0.5	2.8
居住地域別	太田	11.7	18.3	25.8	7.5	30.8	—	0.8	0.8	2.5
	古井	12.4	14.2	29.0	6.5	32.0	—	—	0.6	1.2
	山之上	6.9	3.4	24.1	10.3	24.1	—	—	—	3.4
	蜂屋	26.7	12.0	20.0	5.3	29.3	1.3	—	1.3	—
	加茂野	25.9	14.8	19.8	2.5	29.6	—	3.7	—	2.5
	伊深	15.4	7.7	23.1	7.7	38.5	7.7	—	—	7.7
	三和	28.6	—	42.9	14.3	14.3	—	—	—	—
	下米田・牧野	11.8	8.8	25.0	2.9	29.4	—	—	—	5.9
	わからない	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—

### ③職業別

職業別でみると、自営業、会社員、学生で「高い所得や多くの財産があること」の割合が、学生で「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が、パート・アルバイト、フリーター、内職、学生で「知識や教養を高めること」の割合が、家事に専念している主婦（夫）、無職で「健康であること」の割合が、自営業で「老後の生活への準備」の割合が、公務員で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が、公務員、パート・アルバイト、フリーター、内職、家事に専念している主婦（夫）で「子どもの保育や教育」の割合が、公務員で「衣食住生活の改善、充実」の割合が、農林業で「人間関係を大切にすること」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数 (件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
全 体		578	10.6	0.7	11.9	8.1	76.0	27.7	7.4	26.0
職業別	農林業	14	7.1	—	14.3	—	57.1	35.7	—	21.4
	自営業	34	17.6	—	11.8	2.9	79.4	41.2	2.9	14.7
	会社員	155	20.6	1.3	14.2	8.4	71.6	25.8	8.4	27.1
	公務員	34	—	—	17.6	5.9	79.4	11.8	5.9	38.2
	団体職員	6	33.3	—	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7
	パート・アルバイト、フリーター、内職	91	9.9	—	13.2	13.2	79.1	33.0	5.5	30.8
	学生	18	16.7	—	50.0	22.2	50.0	—	—	5.6
	家事に専念している主婦（夫）	78	3.8	1.3	6.4	10.3	82.1	34.6	6.4	23.1
	無職	112	1.8	0.9	3.6	3.6	83.9	23.2	10.7	25.9
	その他	22	4.5	—	13.6	9.1	72.7	31.8	13.6	31.8

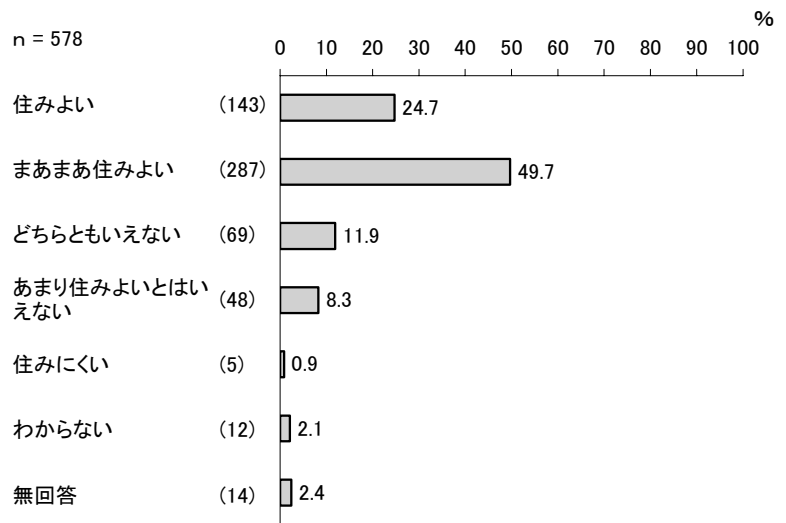
		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		16.1	13.5	24.6	5.7	30.1	0.3	0.9	0.5	2.8
職業別	農林業	—	7.1	7.1	21.4	50.0	—	—	—	14.3
	自営業	17.6	8.8	14.7	2.9	29.4	—	—	2.9	5.9
	会社員	20.0	14.2	31.0	5.2	17.4	—	0.6	0.6	1.9
	公務員	26.5	20.6	38.2	8.8	20.6	—	—	—	—
	団体職員	16.7	—	16.7	16.7	50.0	—	—	—	—
	パート・アルバイト、フリーター、内職	23.1	18.7	20.9	1.1	29.7	1.1	—	—	1.1
	学生	—	16.7	38.9	5.6	33.3	—	—	—	—
	家事に専念している主婦（夫）	24.4	11.5	26.9	3.8	33.3	1.3	2.6	—	2.6
	無職	0.9	11.6	20.5	8.9	45.5	—	0.9	0.9	1.8
	その他	13.6	4.5	13.6	9.1	36.4	—	—	—	4.5

### 3 定住意向

#### 問 13. 美濃加茂市の住みやすさ

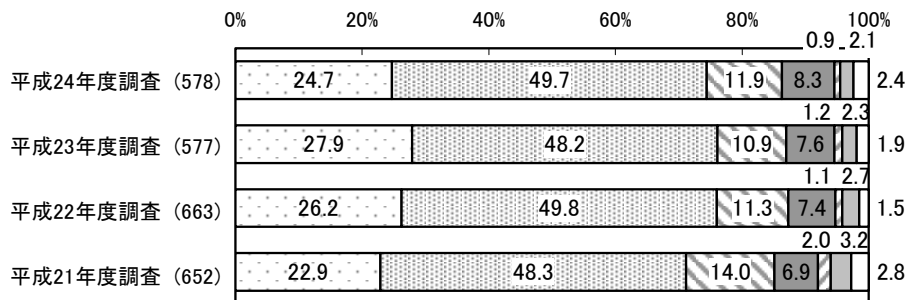
「住みよい」と「まあまあ住みよい」をあわせた住みよいと感じている人の割合が74.4%、「どちらともいえない」の割合が11.9%、「あまり住みよいとはいえない」と「住みにくい」をあわせた住みよいと感じていない人の割合が9.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。「住みよい」と「まあまあ住みよい」をあわせた住みよいと感じている人の割合は、平成21年度から年々増加傾向にありましたが、今年度は減少しています。



- 住みよい
- どちらともいえない
- 住みにくい
- 無回答
- まあまあ住みよい
- あまり住みよいとはいえない
- わからない

全体



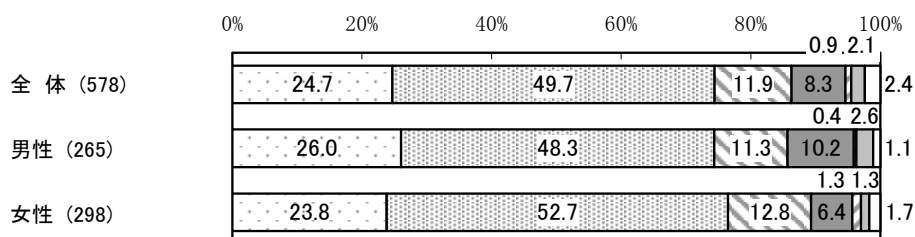
### ①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

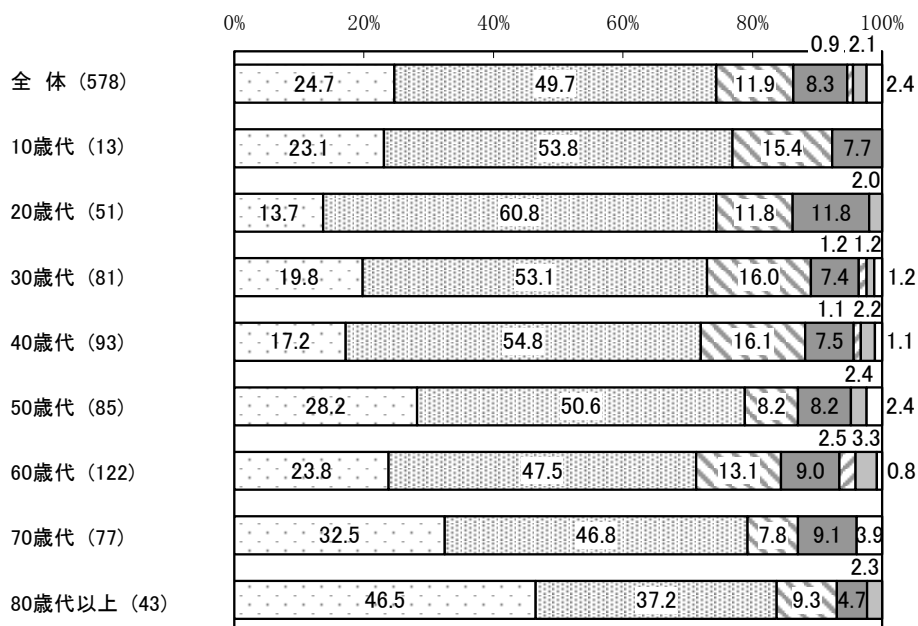
年代別でみると、年代が上がるにつれ、住みよと感じている人の割合が高くなる傾向がみられます。

- 住みよい
- どちらともいえない
- 住みにくい
- 無回答
- まあまあ住みよい
- あまり住みよいとはいえない
- わからない

#### 性別



#### 年代別



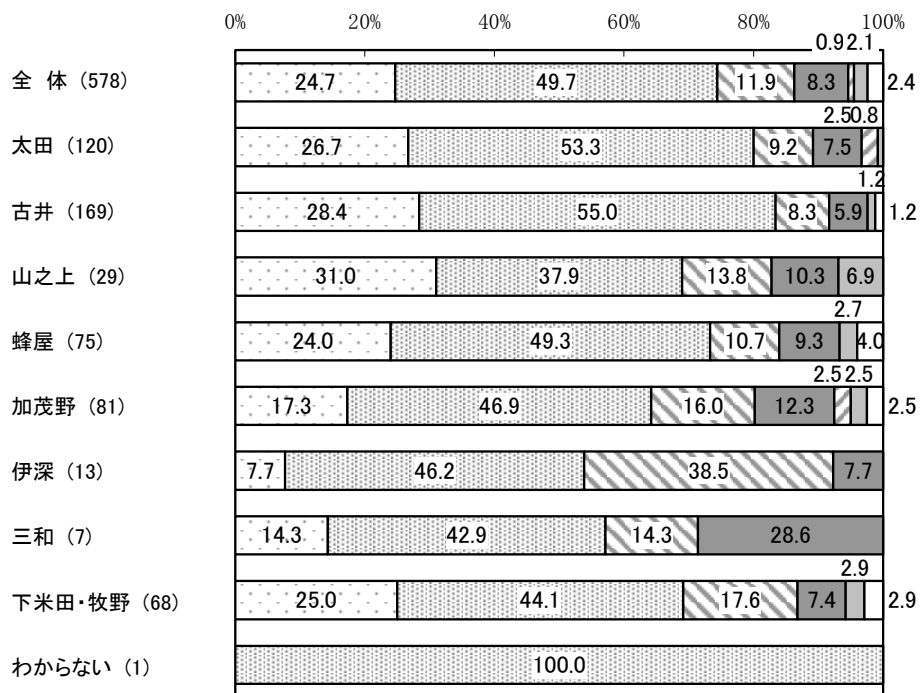
②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、太田、古井で住みよいと感じている人の割合が高く、約8割となっています。

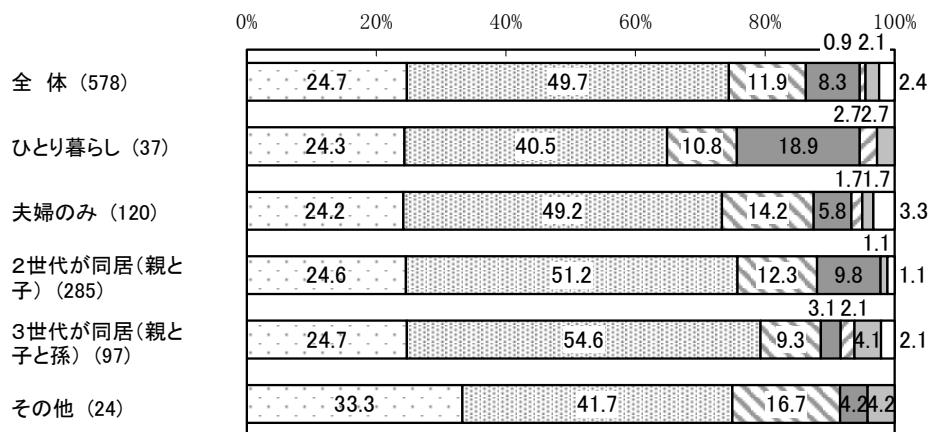
家族構成別でみると、ひとり暮らしで住みよいと感じていない人の割合が高く、約2割となっています。

- 住みよい
- ▨ どちらともいえない
- ▩ 住みにくい
- 無回答
- ▨ まあまあ住みよい
- あまり住みよいとはいえない
- ▩ わからない

居住地域別



家族構成別

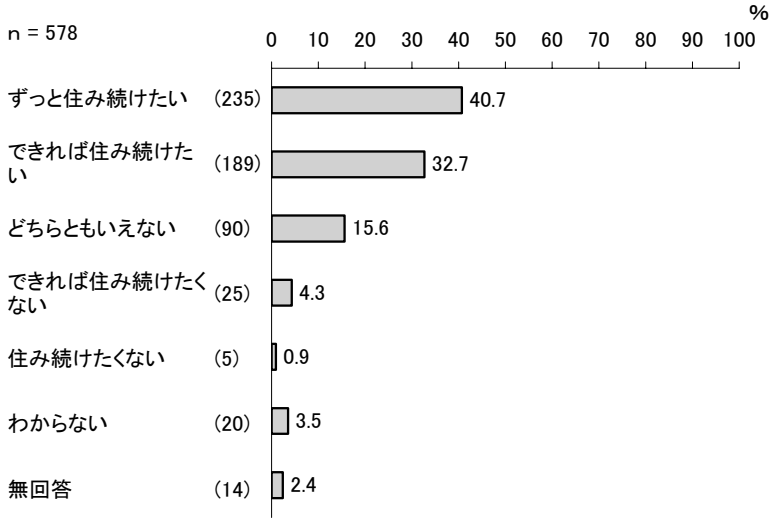


**問 14. 美濃加茂市に住み続けたいか**

「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」をあわせた住み続けたいと感じている人の割合が73.4%、「どちらともいえない」の割合が15.6%、「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」をあわせた住み続けたくないと感じている人の割合が5.2%となっています。

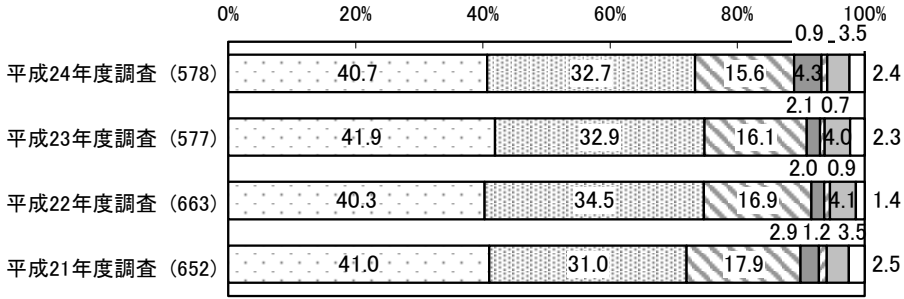
前回調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」をあわせた住み続け

たいと感じている人の割合は、平成21年度から年々増加傾向にありましたが、今年度は減少しています。



- ずっと住み続けたい
- ▨ できれば住み続けたい
- ▩ どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- ▧ 住み続けたくない
- わからない
- 無回答

**全体**





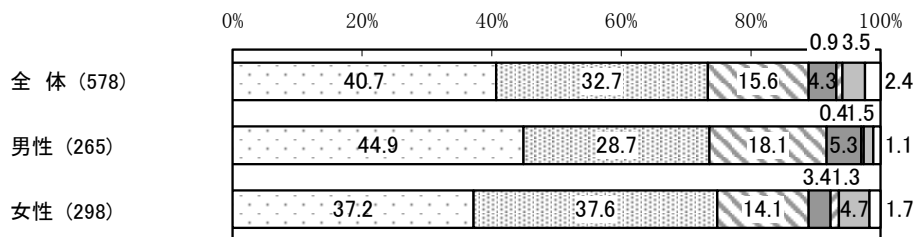
①性別・年代別

性別で見ると、男性で「ずっと住みたい」の割合が女性に比べて高くなっています。

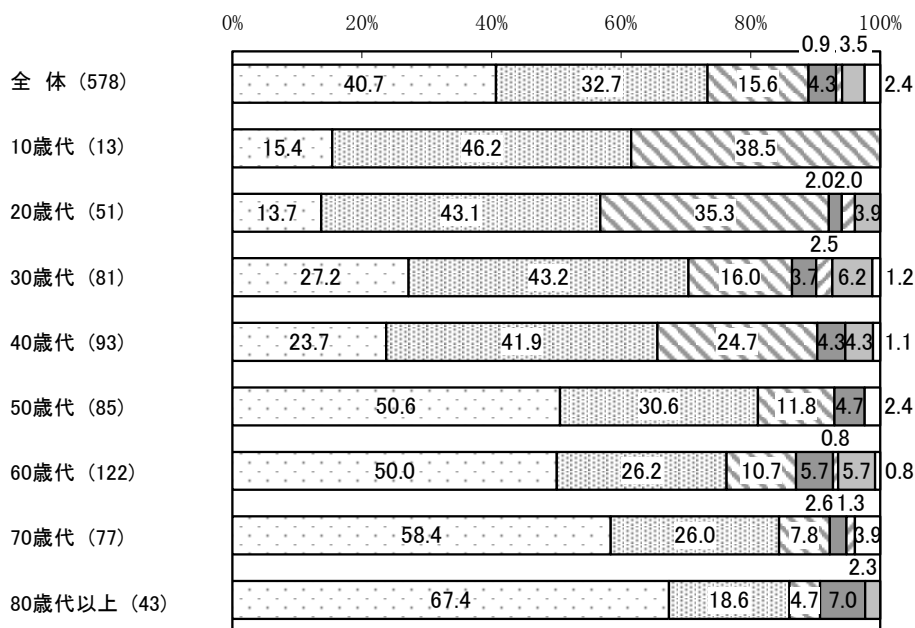
年代別で見ると、50歳代以上で「ずっと住みたい」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。

- ずっと住みたい
- できれば住みたい
- どちらともいえない
- できれば住みたくない
- 住みたくない
- わからない
- 無回答

性別



年代別



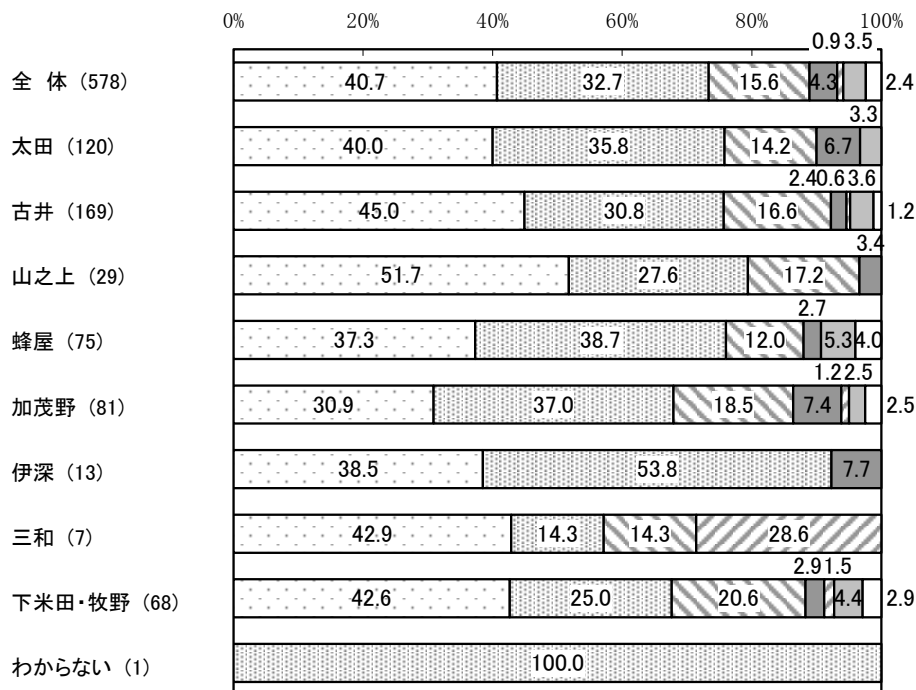
## ②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、山之上で「ずっと住みたい」と感じている人の割合が他に比べて高く、約5割となっています。

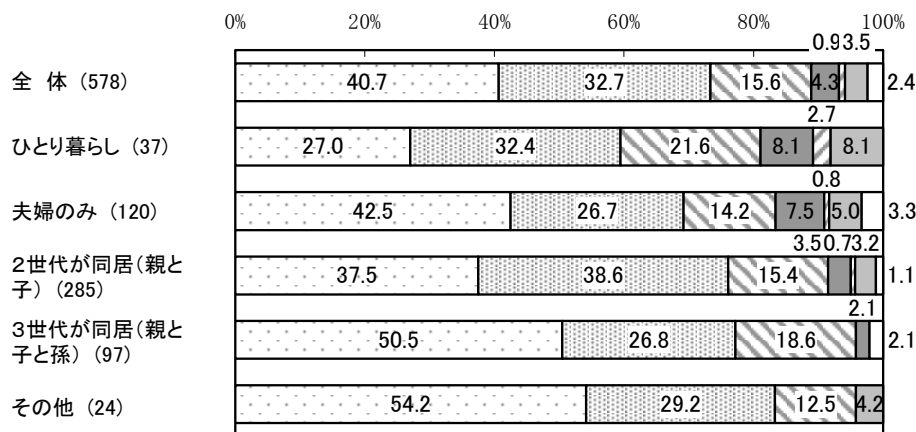
家族構成別でみると、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）で住みたいと感じている人の割合が高く、7割を超えています。

- ずっと住みたい
- できれば住みたい
- どちらともいえない
- できれば住みたいくない
- 住みたいくない
- わからない
- 無回答

### 居住地域別



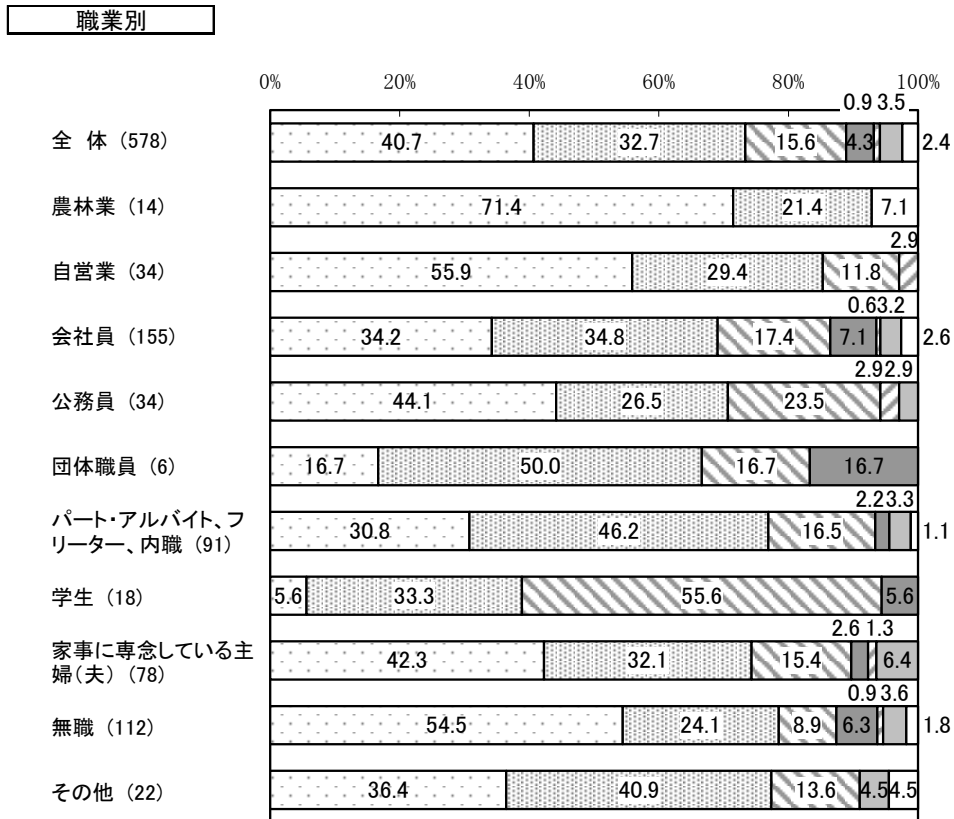
### 家族構成別



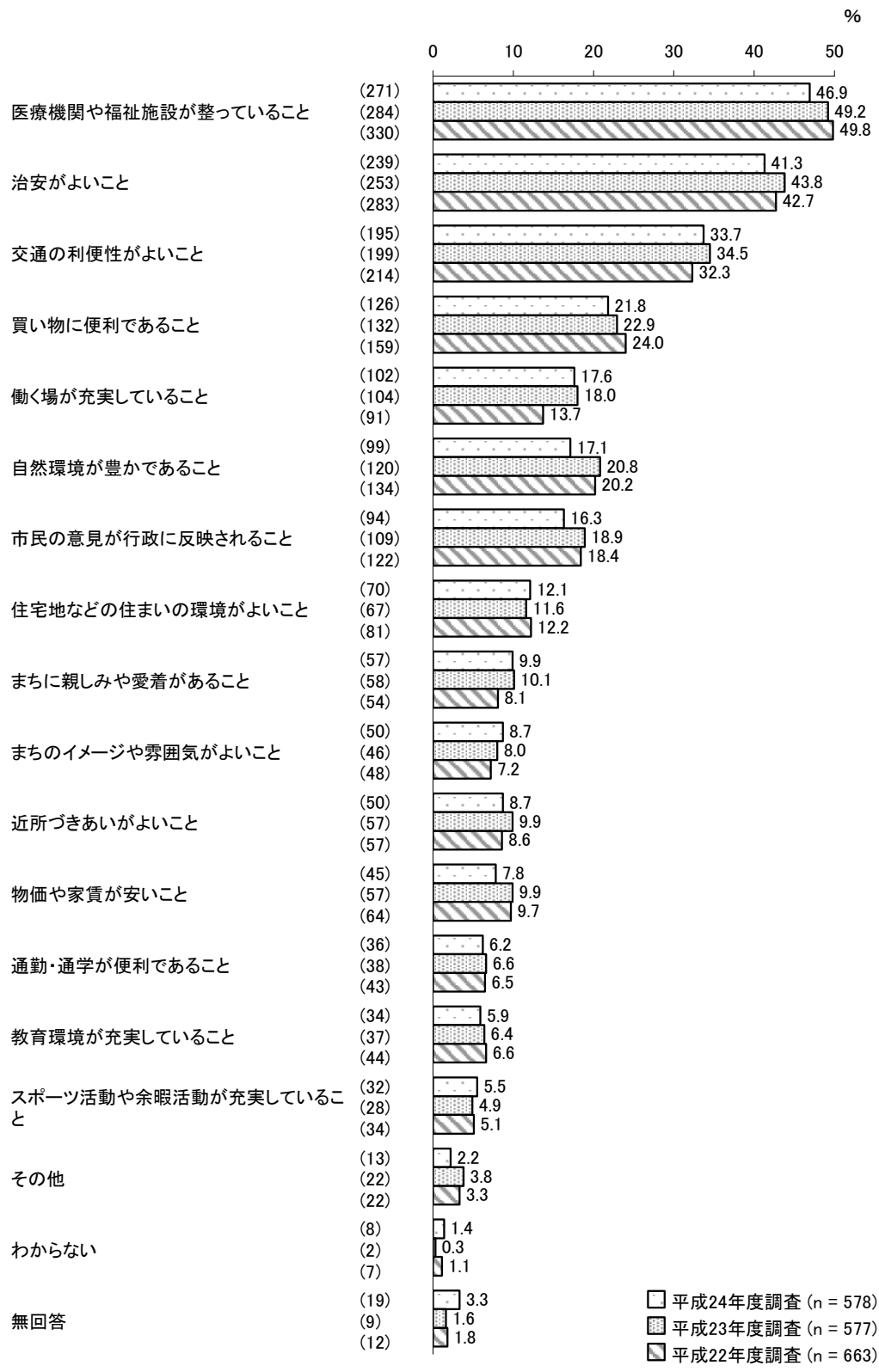
③職業別

職業別でみると、農林業、自営業で住み続けたいと感じている人の割合が他に比べて高くなっています。

- ずっと住み続けたい
- できれば住み続けたい
- どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- わからない
- 無回答



問 15. 美濃加茂市に住み続けるために必要なこと



「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が46.9%と最も高く、次いで「治安がよいこと」の割合が41.3%、「交通の利便性がよいこと」の割合が33.7%となっています。前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。

①性別・年代別

性別でみると、男性で「近所づきあいがよいこと」「スポーツ活動や余暇活動が充実していること」「まちに親しみや愛着があること」の割合が女性に比べて高くなっています。一方、女性で「買い物に便利であること」「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別でみると、年代が下がるにつれ、「働く場が充実していること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、10歳代で「交通の利便性がよいこと」「まちに親しみや愛着があること」の割合が、10歳代、20歳代、50歳代で「まちのイメージや雰囲気がよいこと」の割合が、10歳代、30歳代で「通勤・通学が便利であること」の割合が、10歳代、70歳代、80歳代以上で「買い物に便利であること」の割合が、20歳代、30歳代で「教育環境が充実していること」の割合が、20歳代、40歳代で「物価や家賃が安いこと」「治安がよいこと」の割合が、50歳代、60歳代、80歳代以上で「自然環境が豊かであること」の割合が、60歳代で「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が、60歳代、70歳代で「市民の意見が行政に反映されること」の割合が、70歳代で「近所づきあいがよいこと」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数 (件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住まいの環境がよいこと	住宅地などのよいこと	まちのイメージや雰囲気がよいこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
全体		578	17.1	33.7	12.1	8.7	21.8	41.3	8.7	17.6	6.2	
性別	男性	265	19.2	32.1	13.2	9.8	17.0	42.3	11.7	17.4	4.9	
	女性	298	16.1	35.9	11.1	8.1	26.5	40.9	6.4	17.8	7.4	
年代別	10歳代	13	7.7	46.2	15.4	15.4	38.5	7.7	7.7	30.8	15.4	
	20歳代	51	9.8	29.4	9.8	17.6	17.6	49.0	5.9	29.4	9.8	
	30歳代	81	7.4	33.3	6.2	11.1	12.3	45.7	8.6	28.4	21.0	
	40歳代	93	15.1	38.7	16.1	7.5	15.1	51.6	5.4	26.9	4.3	
	50歳代	85	22.4	37.6	11.8	14.1	17.6	45.9	4.7	18.8	8.2	
	60歳代	122	23.0	30.3	18.0	6.6	23.0	41.0	9.8	6.6	—	
	70歳代	77	20.8	31.2	6.5	3.9	33.8	35.1	18.2	7.8	—	
	80歳代以上	43	23.3	34.9	11.6	—	39.5	20.9	9.3	7.0	—	

		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	余暇活動が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	行政に反映されること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
全体		46.9	5.9	5.5	7.8	9.9	16.3	2.2	1.4	3.3		
性別	男性	43.4	5.3	9.1	7.2	13.6	16.6	2.3	0.4	1.9		
	女性	50.3	6.7	2.7	8.1	7.0	16.8	2.3	2.0	2.7		
年代別	10歳代	7.7	—	7.7	—	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7		
	20歳代	25.5	13.7	5.9	13.7	11.8	9.8	3.9	—	2.0		
	30歳代	42.0	16.0	6.2	9.9	3.7	16.0	2.5	—	3.7		
	40歳代	50.5	8.6	5.4	14.0	7.5	14.0	—	—	2.2		
	50歳代	51.8	2.4	7.1	9.4	10.6	8.2	1.2	—	2.4		
	60歳代	59.8	2.5	4.9	4.9	11.5	24.6	0.8	0.8	0.8		
	70歳代	50.6	1.3	6.5	2.6	14.3	22.1	2.6	2.6	2.6		
	80歳代以上	34.9	—	2.3	—	9.3	18.6	9.3	7.0	2.3		

## ②居住地域別

居住地域別でみると、山之上で「自然環境が豊かであること」「交通の利便性がよいこと」「買い物に便利であること」の割合が、伊深で「まちのイメージや雰囲気が良いこと」「近所づきあいがよいこと」「通勤・通学が便利であること」「教育環境が充実していること」の割合が、太田で「治安が良いこと」「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が、太田、伊深で「まちに親しみや愛着があること」の割合が、古井、伊深で「市民の意見が行政に反映されること」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数(件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちのイメージや雰囲気がよいこと	買い物に便利であること	治安が良いこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
全 体		578	17.1	33.7	12.1	8.7	21.8	41.3	8.7	17.6	6.2
居住地域別	太田	120	15.8	26.7	15.0	10.8	19.2	51.7	8.3	13.3	4.2
	古井	169	17.2	33.7	12.4	8.3	20.7	43.8	8.9	18.3	6.5
	山之上	29	27.6	48.3	—	10.3	37.9	41.4	6.9	17.2	—
	蜂屋	75	17.3	37.3	13.3	6.7	17.3	40.0	4.0	20.0	10.7
	加茂野	81	13.6	33.3	11.1	9.9	23.5	35.8	13.6	19.8	6.2
	伊深	13	15.4	30.8	15.4	23.1	15.4	38.5	23.1	15.4	15.4
	三和	7	14.3	42.9	14.3	—	—	28.6	14.3	28.6	14.3
	下米田・牧野	68	22.1	36.8	11.8	5.9	26.5	29.4	7.4	17.6	4.4
	わからない	1	—	—	—	—	—	100.0	—	100.0	—

		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
全 体		46.9	5.9	5.5	7.8	9.9	16.3	2.2	1.4	3.3	
居住地域別	太田	53.3	4.2	4.2	9.2	15.0	14.2	2.5	1.7	1.7	
	古井	46.7	5.3	5.9	7.1	7.1	23.7	2.4	1.2	1.2	
	山之上	48.3	3.4	—	3.4	3.4	10.3	3.4	—	—	
	蜂屋	42.7	5.3	8.0	10.7	9.3	20.0	—	—	5.3	
	加茂野	45.7	7.4	8.6	8.6	9.9	9.9	4.9	1.2	3.7	
	伊深	30.8	23.1	—	7.7	15.4	30.8	—	—	—	
	三和	42.9	14.3	—	—	14.3	—	—	—	—	
	下米田・牧野	45.6	7.4	5.9	4.4	11.8	10.3	1.5	2.9	4.4	
	わからない	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	

③家族構成別

家族構成別でみると、ひとり暮らしで「交通の利便性がよいこと」「買い物に便利であること」の割合が、夫婦のみで「自然環境が豊かであること」の割合が、2世代が同居（親と子）で「働く場が充実していること」の割合が、3世代が同居（親と子と孫）で「治安がよいこと」「市民の意見が行政に反映されること」の割合が他に比べて高くなっています。

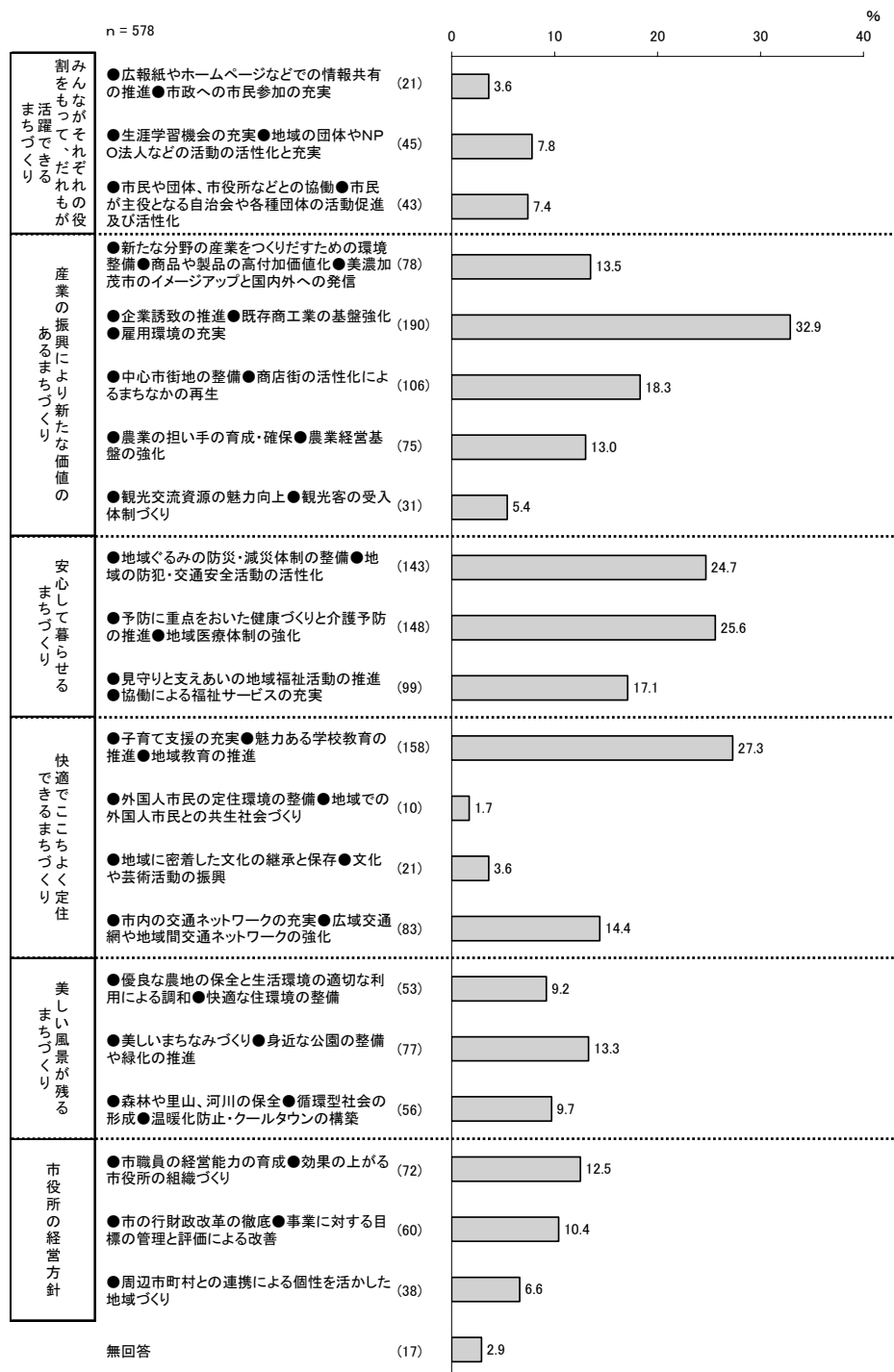
単位：%

		有効回答数（件）	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちのイメージや雰囲気がよいこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
全 体		578	17.1	33.7	12.1	8.7	21.8	41.3	8.7	17.6	6.2
家族構成別	ひとり暮らし	37	13.5	51.4	10.8	13.5	45.9	24.3	5.4	8.1	—
	夫婦のみ	120	25.0	33.3	13.3	8.3	25.0	36.7	12.5	10.8	2.5
	2世代が同居（親と子）	285	14.0	34.7	13.3	8.1	19.6	43.5	7.0	23.5	8.1
	3世代が同居（親と子と孫）	97	20.6	26.8	5.2	11.3	14.4	49.5	10.3	16.5	9.3
	その他	24	16.7	20.8	20.8	4.2	20.8	45.8	8.3	4.2	—

		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	と物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
全 体		46.9	5.9	5.5	7.8	9.9	16.3	2.2	1.4	3.3
家族構成別	ひとり暮らし	32.4	2.7	2.7	10.8	13.5	10.8	2.7	2.7	—
	夫婦のみ	49.2	0.8	5.0	3.3	10.0	18.3	1.7	2.5	3.3
	2世代が同居（親と子）	50.9	8.4	6.7	9.5	8.1	14.0	2.1	—	2.1
	3世代が同居（親と子と孫）	36.1	7.2	6.2	7.2	13.4	21.6	4.1	3.1	3.1
	その他	54.2	4.2	—	8.3	16.7	29.2	—	—	4.2

## 4 第5次総合計画について

問 16. 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を□に記入してください。(3つまで)



「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が32.9%と最も高く、次いで「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が27.3%、「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」の割合が25.6%となっています。



①性別

性別でみると、男性で「市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり」「市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善」の割合が女性に比べて高くなっています。一方、女性で「地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化」「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が男性に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数（件）	広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実	生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実	中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生	農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化	観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり	地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実
	全	578	3.6	7.8	7.4	13.5	32.9	18.3	13.0	5.4	24.7	25.6	17.1
性別	男性	265	3.0	7.2	9.4	15.8	34.0	20.4	13.2	6.4	21.5	23.8	12.8
	女性	298	4.4	8.7	6.0	11.1	31.9	16.8	13.4	4.7	27.2	26.8	20.5

		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
	全	27.3	1.7	3.6	14.4	9.2	13.3	9.7	12.5	10.4	6.6	2.9
性別	男性	22.3	2.3	4.2	15.5	9.4	15.1	11.3	16.2	14.0	7.9	0.8
	女性	32.6	1.3	3.4	13.4	9.1	11.7	8.7	9.4	7.4	5.4	4.0

## ②年代別

年代別でみると、年代が下がるにつれ「美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進」の割合が高くなる傾向がみられます。また、10歳代で「地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興」「市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化」「観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり」の割合が、10歳代、40歳代、50歳代で「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が、10歳代、70歳代、80歳代以上で「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」の割合が、20歳代で「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」「生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実」の割合が、20歳代、30歳代、40歳代で「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実	広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実	生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実	中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生	農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化	観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり	地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実
全 体		578	3.6	7.8	7.4	13.5	32.9	18.3	13.0	5.4	24.7	25.6	17.1	
年代別	10歳代	13	—	7.7	—	7.7	38.5	23.1	—	23.1	7.7	7.7	23.1	
	20歳代	51	2.0	13.7	7.8	13.7	35.3	27.5	7.8	5.9	21.6	9.8	9.8	
	30歳代	81	2.5	8.6	3.7	6.2	30.9	12.3	4.9	6.2	28.4	23.5	11.1	
	40歳代	93	6.5	8.6	5.4	11.8	41.9	14.0	10.8	6.5	24.7	21.5	12.9	
	50歳代	85	2.4	7.1	3.5	27.1	40.0	21.2	11.8	5.9	27.1	27.1	16.5	
	60歳代	122	4.1	5.7	9.8	12.3	31.1	20.5	21.3	1.6	26.2	30.3	18.9	
	70歳代	77	3.9	9.1	18.2	13.0	22.1	16.9	18.2	3.9	18.2	35.1	24.7	
	80歳代以上	43	4.7	4.7	4.7	9.3	20.9	18.6	14.0	9.3	30.2	30.2	27.9	

また、50歳代で「新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信」「周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり」の割合が、70歳代で「市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化」「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」の割合が、60歳代、70歳代で「農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化」の割合が、80歳代以上で「地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化」の割合が高くなっています。

単位：%

		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールダウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
全 体		27.3	1.7	3.6	14.4	9.2	13.3	9.7	12.5	10.4	6.6	2.9
年代別	10歳代	30.8	—	15.4	23.1	7.7	38.5	7.7	—	7.7	7.7	—
	20歳代	41.2	2.0	2.0	9.8	7.8	27.5	9.8	11.8	7.8	3.9	—
	30歳代	67.9	3.7	—	13.6	6.2	22.2	3.7	11.1	6.2	8.6	1.2
	40歳代	40.9	—	8.6	14.0	6.5	11.8	9.7	9.7	12.9	7.5	1.1
	50歳代	10.6	2.4	3.5	17.6	11.8	7.1	9.4	11.8	11.8	11.8	1.2
	60歳代	13.1	2.5	4.1	16.4	12.3	8.2	12.3	17.2	12.3	3.3	1.6
	70歳代	11.7	—	2.6	10.4	13.0	7.8	14.3	13.0	14.3	1.3	5.2
	80歳代以上	9.3	2.3	—	14.0	2.3	11.6	9.3	11.6	4.7	11.6	11.6

### ③居住地域別

居住地域別でみると、伊深で「市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化」「市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善」の割合が、山之上で「新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信」「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」「森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築」の割合が、加茂野で「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が、太田で「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」「地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化」の割合が他に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数（件）	3.6	7.8	7.4	13.5	32.9	18.3	13.0	5.4	24.7	25.6	17.1
全 体		578	3.6	7.8	7.4	13.5	32.9	18.3	13.0	5.4	24.7	25.6	17.1
居住地域別	太田	120	2.5	5.8	8.3	11.7	25.8	29.2	11.7	3.3	35.0	22.5	15.0
	古井	169	4.1	10.1	7.7	14.8	37.3	17.8	8.9	8.3	24.9	27.8	16.6
	山之上	29	3.4	3.4	10.3	20.7	27.6	6.9	34.5	—	24.1	31.0	27.6
	蜂屋	75	6.7	12.0	1.3	16.0	33.3	20.0	14.7	6.7	24.0	28.0	18.7
	加茂野	81	2.5	4.9	3.7	6.2	40.7	17.3	11.1	7.4	16.0	21.0	16.0
	伊深	13	—	—	30.8	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7	15.4	23.1	23.1
	三和	7	—	—	14.3	14.3	28.6	—	42.9	—	28.6	42.9	14.3
	下米田・牧野	68	2.9	10.3	10.3	16.2	30.9	8.8	14.7	1.5	17.6	25.0	17.6
	わからない	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

また、太田、伊深で「優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備」の割合が、山之上、伊深で「農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化」「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」の割合が、加茂野、伊深で「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が、下米田・牧野で「美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進」の割合が、山之上、加茂野で「市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり」の割合が、蜂屋で「周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり」の割合が高くなっています。

単位：%

		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールダウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
全 体		27.3	1.7	3.6	14.4	9.2	13.3	9.7	12.5	10.4	6.6	2.9
居住地域別	太田	25.0	1.7	4.2	11.7	14.2	10.8	7.5	11.7	12.5	5.0	1.7
	古井	24.9	1.8	3.6	15.4	7.7	10.1	11.8	12.4	8.9	4.1	3.6
	山之上	13.8	—	—	10.3	3.4	13.8	17.2	20.7	13.8	6.9	—
	蜂屋	30.7	4.0	2.7	16.0	10.7	17.3	2.7	4.0	5.3	13.3	2.7
	加茂野	37.0	2.5	6.2	17.3	6.2	11.1	9.9	22.2	13.6	7.4	2.5
	伊深	46.2	—	—	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	23.1	7.7	—
	三和	28.6	—	—	—	—	14.3	57.1	14.3	—	—	—
	下米田・牧野	26.5	—	2.9	16.2	10.3	22.1	8.8	8.8	11.8	7.4	2.9
	わからない	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—

## 5 重要度・満足度調査

### 1. 重要度・満足度の得点化

33 項目の質問項目について、「重要度」と「満足度」を 3 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

#### ■重要度・満足度の得点化の手順■

重要度		得点		満足度		得点
重要	→	5 点		満足	→	5 点
どちらともいえない	→	3 点		どちらともいえない	→	3 点
重要ではない	→	0 点		満足ではない	→	0 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

#### ■得点の算出式■

$\begin{aligned} &5 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)」の回答数} \\ &+ 3 \text{ 点} \times \text{「どちらともいえない」の回答数} \\ &+ 0 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)ではない」の回答数} \\ \hline &\text{無回答を除いた設問の回答総数} \end{aligned}$
---

例えば、仮に全員が「重要」を選んだ場合、その重要度の得点は 5.00 点になります。  
得点については、小数点以下第 3 位を四捨五入して表示しています。

算出された重要度・満足度得点をもとに、各事業の重要度・満足度別に順位付けを行いました。

『(14) がん検診の実施』、『(28) ごみ袋料金に対する市の負担』については、重要度・満足度ともに上位3位以内に順位付けられています。

一方で『(5) 前平市民プールの利用』については、重要度・満足度ともに下位3位以内に順位付けられています。

■重要度・満足度のベスト3とワースト3■

重要度		順位	満足度	
事業名	得点		得点	事業名
(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助	4.72	第1位	4.03	(28) ごみ袋料金に対する市の負担
(14) がん検診の実施				
-	-	第2位	3.96	(12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈
(28) ごみ袋料金に対する市の負担	4.69	第3位	3.93	(14) がん検診の実施
(2) 「ウオークみのかも」の開催	3.38	第31位	2.99	(1) 生涯学習センター(旧中央公民館)の活用
(5) 前平市民プールの利用	3.36	第32位	2.95	(3) 各種スポーツの市民大会の開催
(32) 「かも丸・かも美」の活躍	3.01	最下位	2.62	(5) 前平市民プールの利用

**重要度の上位3位**以内に位置付けられた理由としては、(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助「防犯第一のためよいことだと思う。」、(14) がん検診の実施「がんを早期に発見することができ、よいと思う。」、(28) ごみ袋料金に対する市の負担「生活に直結するため」などが挙げられています。

一方で、**重要度の下位3位**以内に位置付けられた理由としては、(2) 「ウオークみのかも」の開催「個人で行動すべきもので、公的な機関がするべきものとは思わない。」、(5) 前平市民プールの利用「プールは知らない。民間の施設を使えばよい。」、(32) 「かも丸・かも美」の活躍「一時的な流行では。」などの意見が挙げられています。

**満足度の上位3位**以内に位置付けられた理由としては、(28) ごみ袋料金に対する市の負担「市の方でかなり負担していただいて感謝しています。」、(12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈「子どもを守るためには大切だと思います。」、(14) がん検診の実施「病院で個人的に子宮がん検診を受けると値段が高いので非常に助かる。」などの意見が挙げられています。

一方で、**満足度の下位3位**以内に位置付けられた理由としては、(1) 生涯学習センター(旧中央公民館)の活用「年間維持費が高すぎでは。」、(3) 各種スポーツの市民大会の開催「参加者が限定されている。」、(5) 前平市民プールの利用「施設が古くてきれいではない。」などの意見が挙げられています。

## ■ 事業別にみた重要度 ■

n=578

□ 重要 □ どちらともいえない □ 重要ではない □ 無回答

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	得点	順位
(1)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用	38.8	46.2	7.1	8.0			3.61	25
(2)「ウオークみのかも」の開催	36.3	41.7	12.8	9.2			3.38	31
(3)各種スポーツの市民大会の開催	36.2	41.7	12.1	10.0			3.40	29
(4)前平野球場の利用	42.4	39.3	8.3	10.0			3.67	23
(5)前平市民プールの利用	216.0	226.0	81.0	55.0	2.9		3.36	32
(6)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化	55.0	32.5	9.5				4.12	12
(7)自治会活動	58.3	27.2	5.2	9.3			4.11	13
(8)美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	45.7	37.4	7.6	9.3	1.9		3.76	20
(9)地域の実情にあった防災訓練の実施	71.6	17.1	9.3		2.9		4.52	7
(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付	67.5	20.1	9.5	0.7			4.39	10
(11)防犯灯の維持管理費の一部補助	80.6	11.1	7.6	4.3			4.72	1
(12)交通安全帽子、夜光腕章の贈呈	71.6	16.1	8.0	1.0			4.42	9
(13)認知症施策総合推進事業	73.0	18.0	8.0	1.6			4.55	6
(14)がん検診の実施	81.5	9.2	7.8	0.3			4.72	1
(15)グループホーム、ケアホームの充実	73.5	17.6	8.5	0.7			4.60	5
(16)災害時要援護者の把握	77.2	14.2	8.0				4.65	4
(17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	46.0	38.2	5.5	10.2	2.9		3.84	18
(18)学童保育の実施	71.6	16.6	8.8				4.47	8
(19)「フロム0歳プラン」の推進	46.0	37.7	6.4	9.9			3.81	19
(20)文化の森データベース公開	31.3	48.8	9.3	10.6			3.39	30
(21)外国人児童・生徒への学習支援	48.8	36.5	5.5	9.2			3.89	17
(22)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	37.9	43.9	8.1	10.0			3.57	26
(23)文化会館の活用	50.0	36.3	4.7	9.0			3.94	15
(24)あい愛バスの運行	52.6	32.0	5.5	9.9	4.0		3.98	14
(25)地籍調査事業への着手	46.4	38.8	10.9				3.91	16
(26)「かわまちづくり事業」の推進	44.5	40.0	7.4	8.1	2.1		3.73	22
(27)加茂川総合内水対策計画の策定	65.1	23.9	9.0	0.9			4.36	11
(28)ごみ袋料金に対する市の負担	78.9	11.9	8.3				4.69	3
(29)人権擁護委員による相談事業の実施	44.3	38.8	7.3	9.7			3.74	21
(30)男女共同参画の推進	41.0	41.9	7.6	9.5			3.65	24
(31)「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	31.7	49.7	7.6	11.1			3.46	28
(32)「かも丸・かも美」の活躍	27.0	45.5	17.8	9.7			3.01	33
(33)情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行	35.6	46.9	7.8	9.7			3.53	27

平均値

3.97



■ 事業別にみた満足度 ■

n=578

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	得点	順位
(1)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用	14.7	64.5	10.2	10.6			2.99	31
(2)「ウオークみのかも」の開催	16.6	60.9	11.1	11.4			3.00	29
(3)各種スポーツの市民大会の開催	17.0	58.7	12.6	11.8			2.95	32
(4)前平野球場の利用	24.0	53.5	10.0	12.5			3.21	14
(5)前平市民プールの利用	17.8	47.9	23.0	11.2			2.62	33
(6)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化	20.1	60.4	7.3	12.3			3.21	14
(7)自治会活動	24.4	51.7	11.6	12.3			3.16	19
(8)美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	20.4	54.3	12.3	13.0			3.05	27
(9)地域の実情にあった防災訓練の実施	30.8	43.8	12.6	12.8			3.27	9
(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付	31.0	47.1	9.0	13.0			3.40	7
(11)防犯灯の維持管理費の一部補助	40.0	36.2	13.5	10.4			3.44	4
(12)交通安全帽子、夜光腕章の贈呈	51.9	30.8	6.1	11.2			3.96	2
(13)認知症施策総合推進事業	29.4	51.9	7.3	11.4			3.42	5
(14)がん検診の実施	51.4	29.9	6.9	11.8			3.93	3
(15)グループホーム、ケアホームの充実	27.0	47.6	13.3	12.1			3.16	19
(16)災害時要援護者の把握	26.1	55.4	6.4	12.1			3.38	8
(17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	16.3	60.4	10.2	13.1			3.02	28
(18)学童保育の実施	31.7	46.5	9.2	12.6			3.41	6
(19)「フロム0歳プラン」の推進	19.7	57.6	9.5	13.1			3.13	22
(20)文化の森データベース公開	18.0	58.5	9.7	13.8			3.08	25
(21)外国人児童・生徒への学習支援	18.2	62.1	6.4	13.3			3.20	16
(22)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	13.7	65.9	6.6	13.8			3.09	23
(23)文化会館の活用	25.6	52.1	9.5	12.8			3.26	10
(24)あい愛バスの運行	23.7	52.2	10.6	13.5			3.18	17
(25)地籍調査事業への着手	20.4	58.8	6.2	14.5			3.26	10
(26)「かわまちづくり事業」の推進	18.5	59.0	10.0	12.5			3.08	25
(27)加茂川総合内水対策計画の策定	23.4	55.5	8.1	13.0			3.26	10
(28)ごみ袋料金に対する市の負担	55.0	27.5	6.2	11.2			4.03	1
(29)人権擁護委員による相談事業の実施	18.9	60.4	7.8	13.0			3.17	18
(30)男女共同参画の推進	18.5	59.9	8.3	13.3			3.14	21
(31)「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	13.3	65.9	6.4	14.4			3.09	23
(32)「かも丸・かも美」の活躍	17.6	56.9	11.8	13.7			3.00	29
(33)情報誌「知って楽しい 学びのとびら」の発行	20.8	59.3	6.4	13.5			3.26	10

平均値 3.24

■重要度の順位■

順位	事業名	得点
1	(11)防犯灯の維持管理費の一部補助	4.72
	(14)がん検診の実施	
3	(28)ごみ袋料金に対する市の負担	4.69
4	(16)災害時要援護者の把握	4.65
5	(15)グループホーム、ケアホームの充実	4.60
6	(13)認知症施策総合推進事業	4.55
7	(9)地域の実情にあった防災訓練の実施	4.52
8	(18)学童保育の実施	4.47
9	(12)交通安全帽子、夜光腕章の贈呈	4.42
10	(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付	4.39
11	(27)加茂川総合内水対策計画の策定	4.36
12	(6)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化	4.12
13	(7)自治会活動	4.11
14	(24)あい愛バスの運行	3.98
15	(23)文化会館の活用	3.94
16	(25)地籍調査事業への着手	3.91
17	(21)外国人児童・生徒への学習支援	3.89
18	(17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	3.84
19	(19)「フロム0歳プラン」の推進	3.81
20	(8)美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	3.76
21	(29)人権擁護委員による相談事業の実施	3.74
22	(26)「かわまちづくり事業」の推進	3.73
23	(4)前平野球場の利用	3.67
24	(30)男女共同参画の推進	3.65
25	(1)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用	3.61
26	(22)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	3.57
27	(33)情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行	3.53
28	(31)「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	3.46
29	(3)各種スポーツの市民大会の開催	3.40
30	(20)文化の森データベース公開	3.39
31	(2)「ウオークみのかも」の開催	3.38
32	(5)前平市民プールの利用	3.36
33	(32)「かも丸・かも美」の活躍	3.01
<b>平均値</b>		<b>3.97</b>

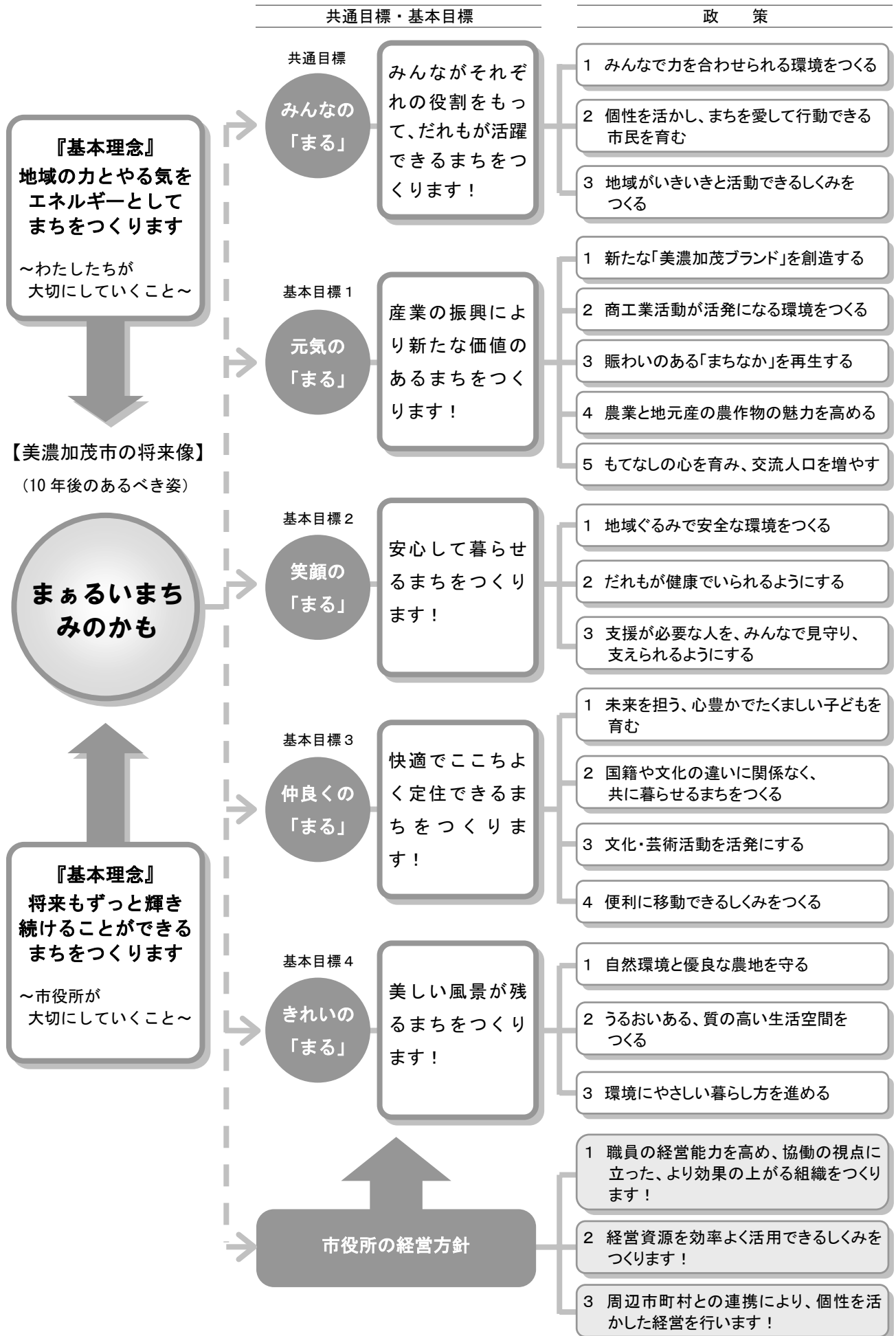
平均値以上  
↑  
↓  
平均値以下

## ■ 満足度の順位 ■

順位	事業名	得点
1	(28)ごみ袋料金に対する市の負担	4.03
2	(12)交通安全帽子、夜光腕章の贈呈	3.96
3	(14)がん検診の実施	3.93
4	(11)防犯灯の維持管理費の一部補助	3.44
5	(13)認知症施策総合推進事業	3.42
6	(18)学童保育の実施	3.41
7	(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付	3.40
8	(16)災害時要援護者の把握	3.38
9	(9)地域の実情にあった防災訓練の実施	3.27
10	(27)加茂川総合内水対策計画の策定	3.26
	(23)文化会館の活用	
	(25)地籍調査事業への着手	
	(33)情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行	
14	(6)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化	3.21
	(4)前平野球場の利用	
16	(21)外国人児童・生徒への学習支援	3.20
17	(24)あい愛バスの運行	3.18
18	(29)人権擁護委員による相談事業の実施	3.17
19	(15)グループホーム、ケアホームの充実	3.16
	(7)自治会活動	
21	(30)男女共同参画の推進	3.14
22	(19)「フロム0歳プラン」の推進	3.13
23	(22)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	3.09
	(31)「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	
25	(26)「かわまちづくり事業」の推進	3.08
	(20)文化の森データベース公開	
27	(8)美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	3.05
28	(17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	3.02
29	(2)「ウオークみのかも」の開催	3.00
	(32)「かも丸・かも美」の活躍	
31	(1)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用	2.99
32	(3)各種スポーツの市民大会の開催	2.95
33	(5)前平市民プールの利用	2.62
<b>平均値</b>		<b>3.24</b>

平均値以上  
↑↓  
平均値以下

図1. 第5次総合計画 体系図



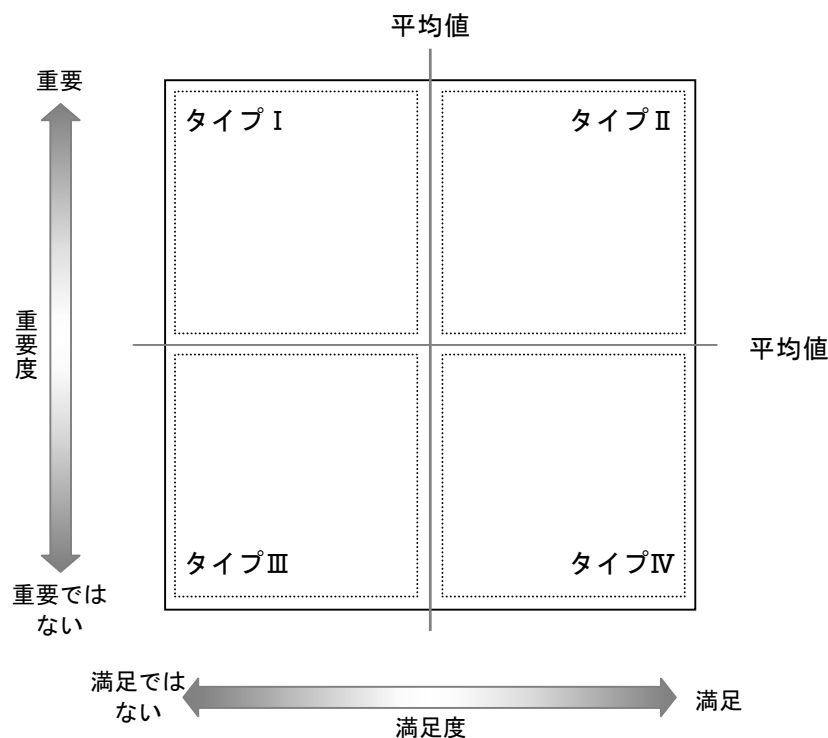
■ 共通目標・基本目標別事業一覧 ■

第5次総合計画の体系（前頁 図1）をもとに、33項目の事業を共通目標と4つの基本目標及び市役所の経営方針に分類し、目標ごとに事業の評価、分析を行いました。

<b>● みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち ●</b>	
(1)生涯学習センター(旧中央公民館)の活用	(2)「ウオークみのかも」の開催
(3)各種スポーツの市民大会の開催	(4)前平野球場の利用
(5)前平市民プールの利用	(6)市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化
(7)自治会活動	
<b>□ 産業の振興により新たな価値のあるまち □</b>	
(8)美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	
<b>* 安心して暮らせるまち *</b>	
(9)地域の実情にあった防災訓練の実施	(10)防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付
(11)防犯灯の維持管理費の一部補助	(12)交通安全帽子、夜光腕章の贈呈
(13)認知症施策総合推進事業	(14)がん検診の実施
(15)グループホーム、ケアホームの充実	(16)災害時要援護者の把握
(17)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	
<b>△ 快適でこちよく定住できるまち △</b>	
(18)学童保育の実施	(19)「フロム0歳プラン」の推進
(20)文化の森データベース公開	(21)外国人児童・生徒への学習支援
(22)「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	(23)文化会館の活用
(24)あい愛バスの運行	
<b>◆ 美しい風景が残るまち ◆</b>	
(25)地籍調査事業への着手	(26)「かわまちづくり事業」の推進
(27)加茂川総合内水対策計画の策定	(28)ごみ袋料金に対する市の負担
<b>○ 市役所の経営方針 ○</b>	
(29)人権擁護委員による相談事業の実施	(30)男女共同参画の推進
(31)「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	(32)「かも丸・かも美」の活躍
(33)情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行	

## 2. ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価

各項目の重要度・満足度得点の関係について、重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、重要度・満足度得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。

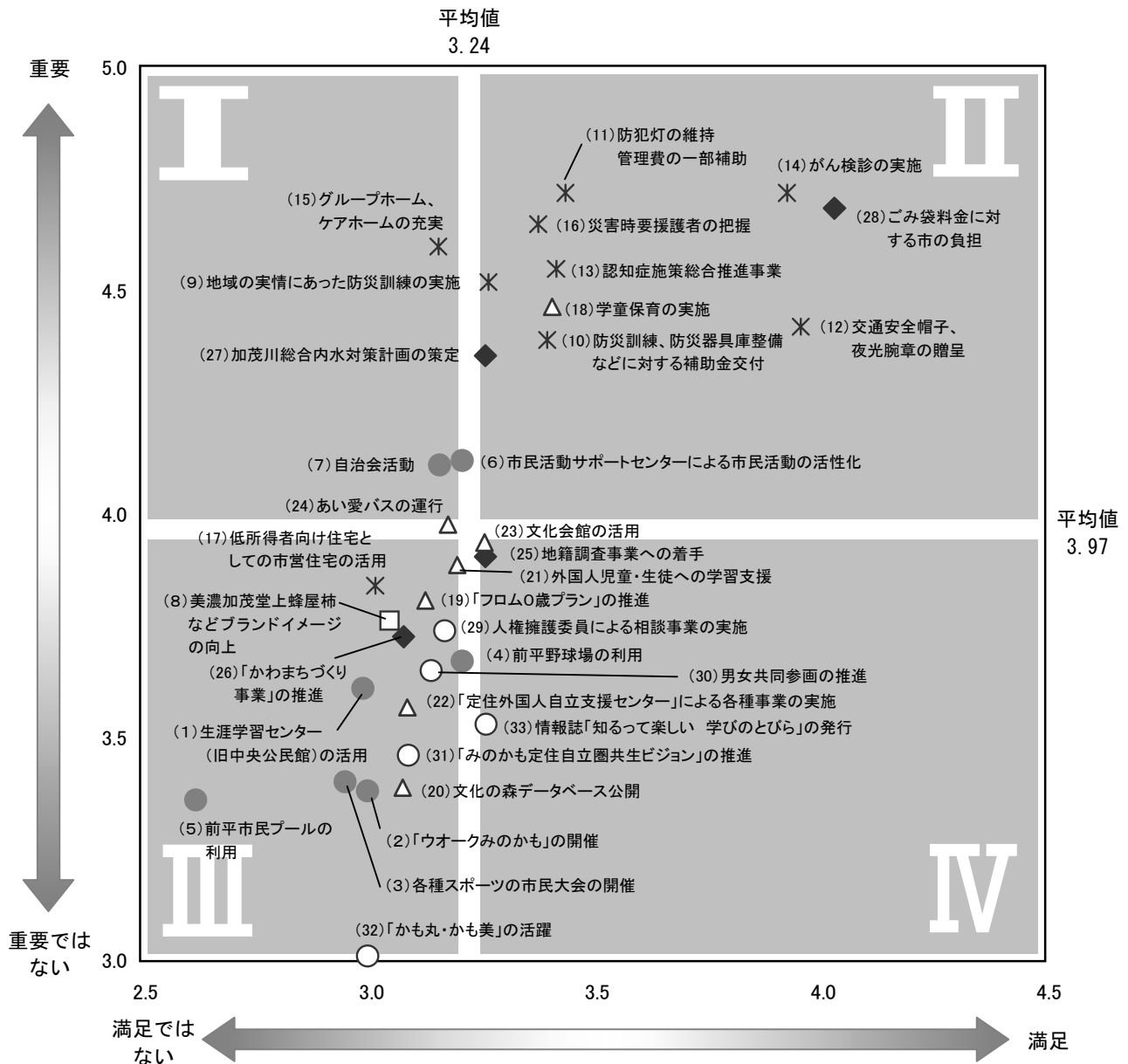


- ◆**タイプⅠ**                    **満足度は低い、重要度は高い**  
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅡ**                    **満足度は高く、重要度も高い**  
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅢ**                    **満足度は低く、重要度も低い**  
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。事業の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆**タイプⅣ**                    **満足度は高い、重要度は低い**  
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

事業全体における重要度・満足度の個別評価を行いました。

事業の多くは、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡと、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。

○全事業のポートフォリオ分析

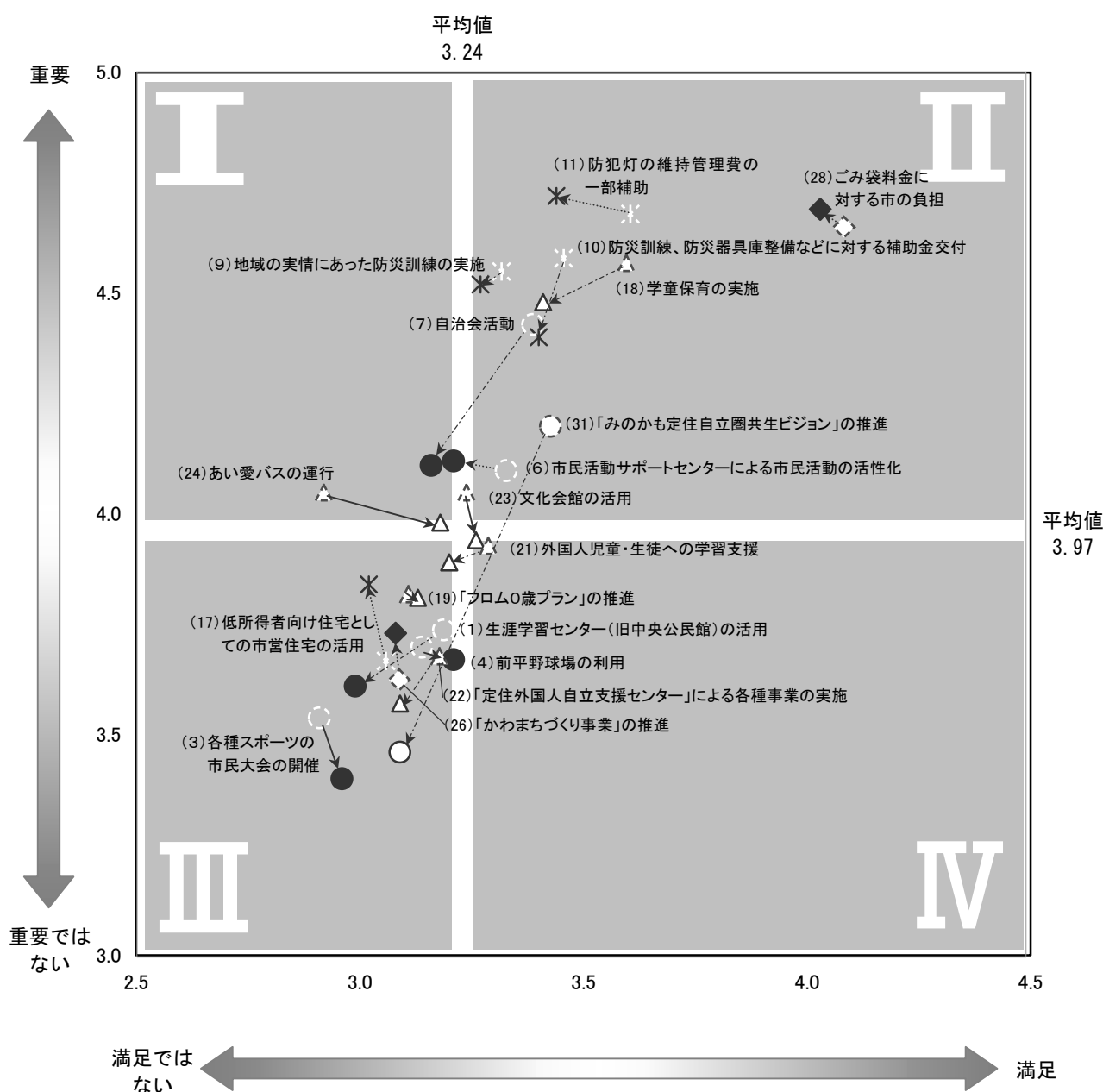


凡例	共通目標・基本目標
●	みんなの「まる」～みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち～
□	元気の「まる」～産業の振興により新たな価値のあるまち～
*	笑顔の「まる」～安心して暮らせるまち～
△	仲良きの「まる」～快適でこちよく定住できるまち～
◆	きれいの「まる」～美しい風景が残るまち～
○	市役所の経営方針

## ○前回調査との比較

前回調査と比較すると、『(3) 各種スポーツの市民大会の開催』、『(4) 前平野球場の利用』、『(19)「フロム0歳プラン」の推進』、『(23) 文化会館の活用』、『(24) あい愛バスの運行』において前回より満足度は増加しているものの、重要度が減少しています。一方、『(6) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化』、『(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助』、『(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用』、『(26)「かわまちづくり事業」の推進』、『(28) ゴミ袋料金に対する市の負担』において重要度は増加しているものの、満足度は減少しています。

その他の項目においては、重要度、満足度ともに減少しています。



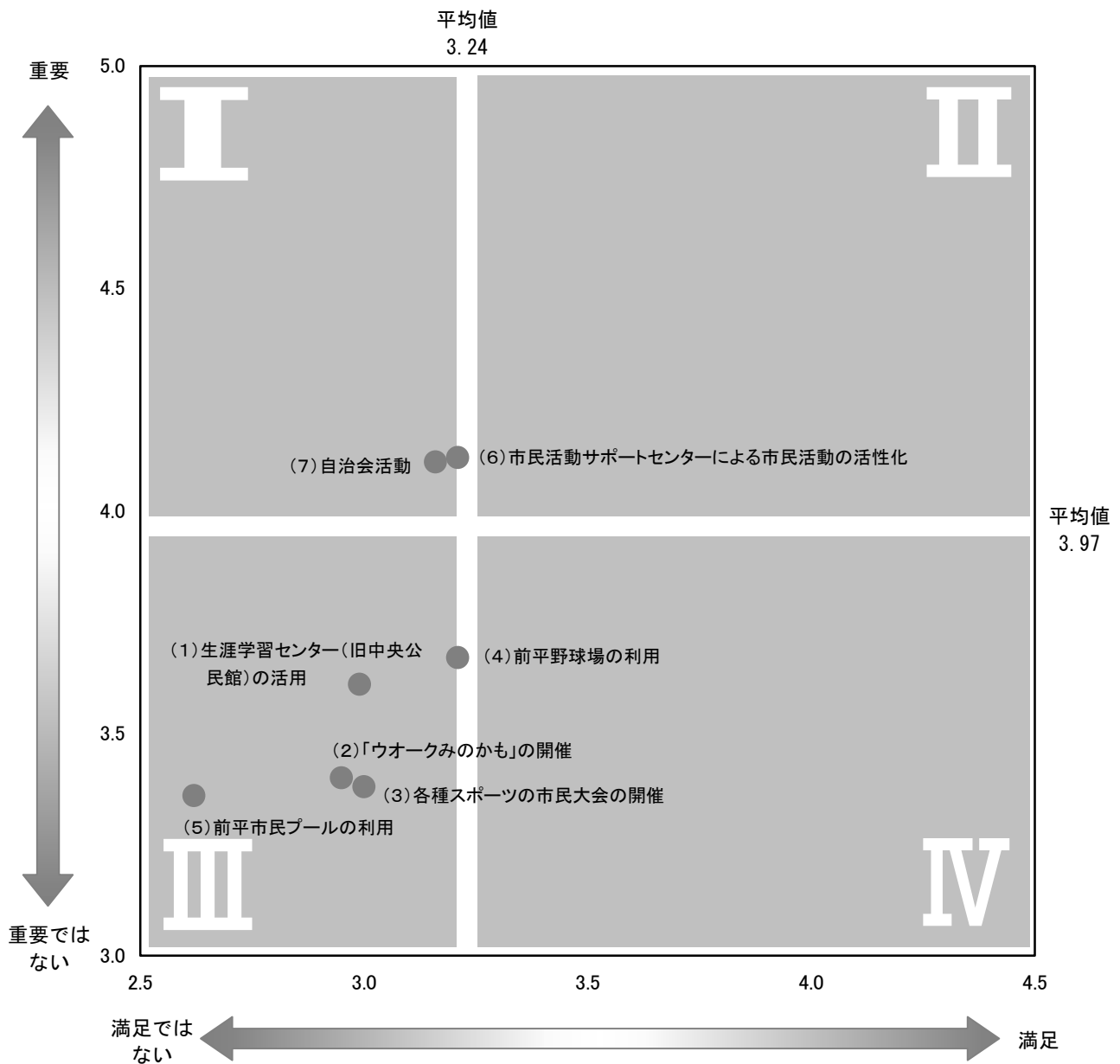
※ 破線の凡例は「平成 23 年度美濃加茂市市民満足度調査」における結果を表示しています。



2. - 1 みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち

『(6) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化』、『(7) 自治会活動』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(1) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用』、『(2) 「ウオークみのかも」の開催』、『(3) 各種スポーツの市民大会の開催』、『(4) 前平野球場の利用』、『(5) 前平市民プールの利用』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



(1) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用

(生涯学習課)

調査項目：生涯学習センター（旧中央公民館）は、生涯学習を推進する拠点として、各種講座や活動及び会議などに活用されています。

重要度については「重要」の割合が 38.8%、「どちらともいえない」の割合が 46.2%、「重要ではない」の割合が 7.1%となっています。

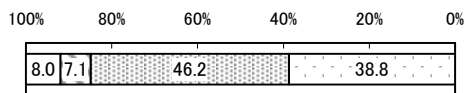
満足度については「満足」の割合が 14.7%、「どちらともいえない」の割合が 64.5%、「満足ではない」の割合が 10.2%となっています。

性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。また、女性で「満足」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別でみると、20 歳代以上で年代が下がるにつれ、「重要」の割合が高くなる傾向がみられます。また、80 歳代以上で「満足」の割合が他に比べて高く、2 割を超えています。

【重要度】

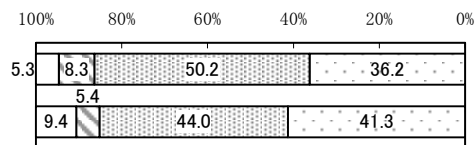
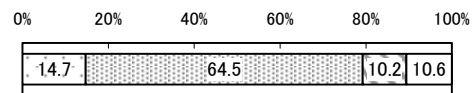
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要



(578)

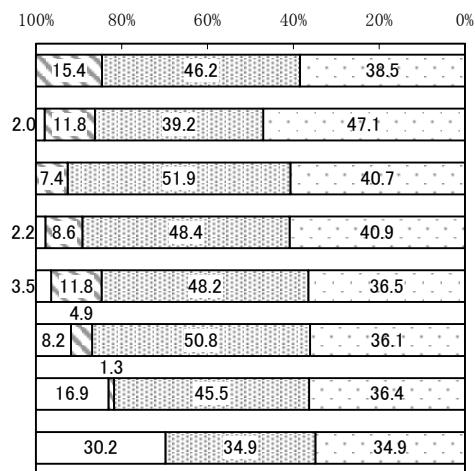
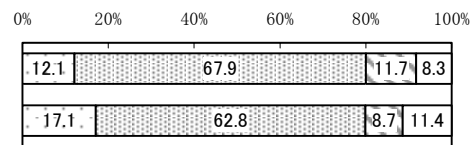
【満足度】

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



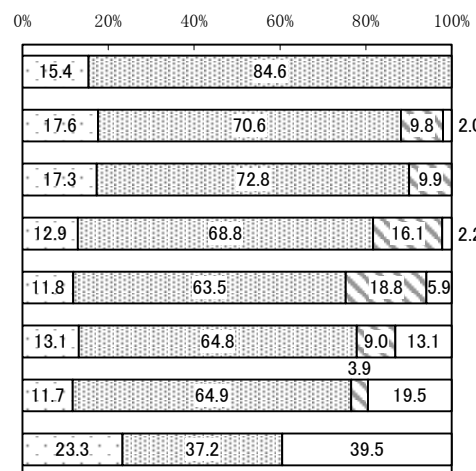
性別

男性 (265)  
女性 (298)



年代別

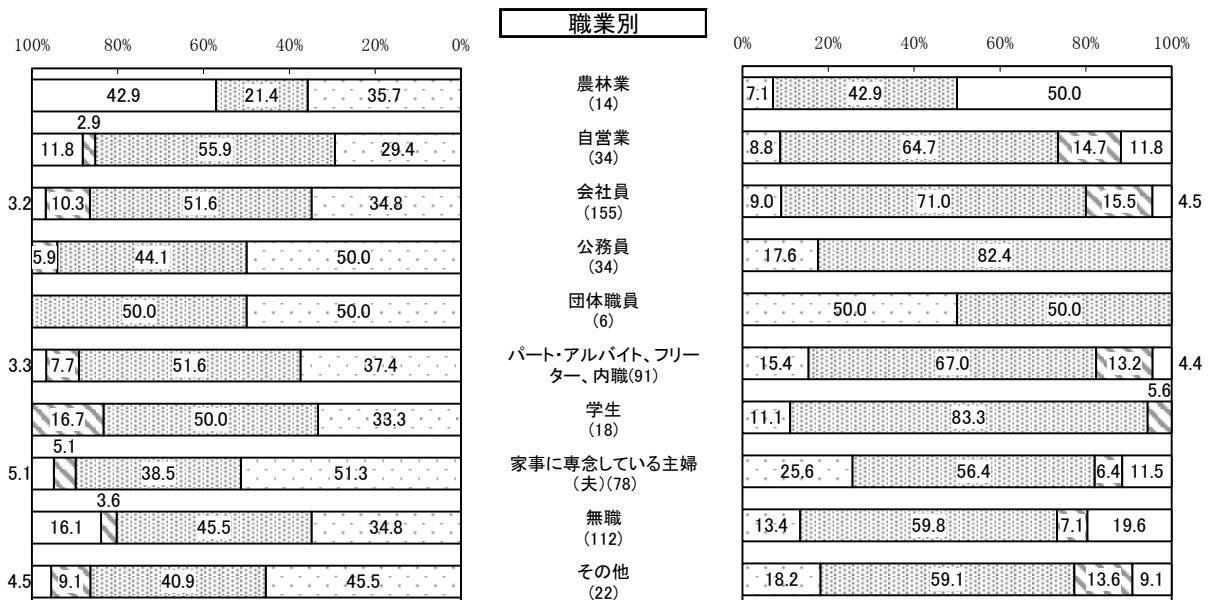
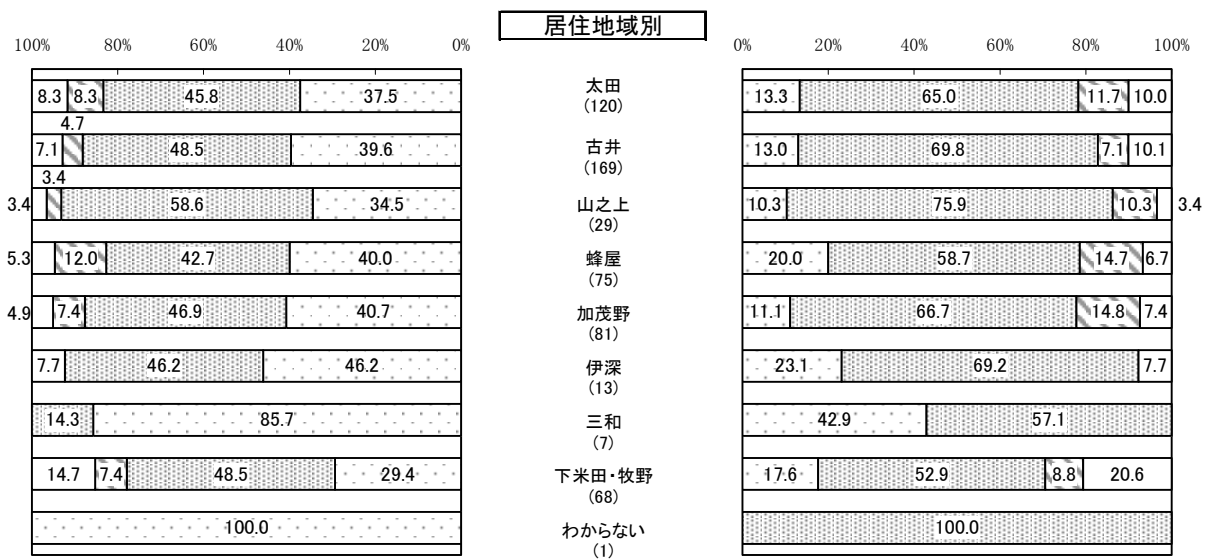
10歳代 (13)  
20歳代 (51)  
30歳代 (81)  
40歳代 (93)  
50歳代 (85)  
60歳代 (122)  
70歳代 (77)  
80歳代以上 (43)



居住地域別でみると、伊深で「重要」の割合が他に比べて高くなっている一方、下米田・牧野で低くなっています。また、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。

職業別でみると、公務員、家事に専念している主婦（夫）で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、家事に専念している主婦（夫）で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「いろいろ学習できてよい。」など事業を評価している意見が 11 件、「一部の人間しか利用していない。」など事業を評価していない意見が 14 件、「センターの利用方法についてもっと周知するべき。」など今後の事業の課題についての意見が 19 件となっています。

(2)「ウォークみのかも」の開催

(スポーツ振興課)

調査項目：市民の皆様の健康、体力維持のため、年6回、市内6地区で「ウォークみのかも」(約6km)を開催しています。保健師による健康相談や血圧・体脂肪測定も行っています。

重要度については「重要」の割合が36.3%、「どちらともいえない」の割合が41.7%、「重要ではない」の割合が12.8%となっています。

満足度については「満足」の割合が16.6%、「どちらともいえない」の割合が60.9%、「満足ではない」の割合が11.1%となっています。

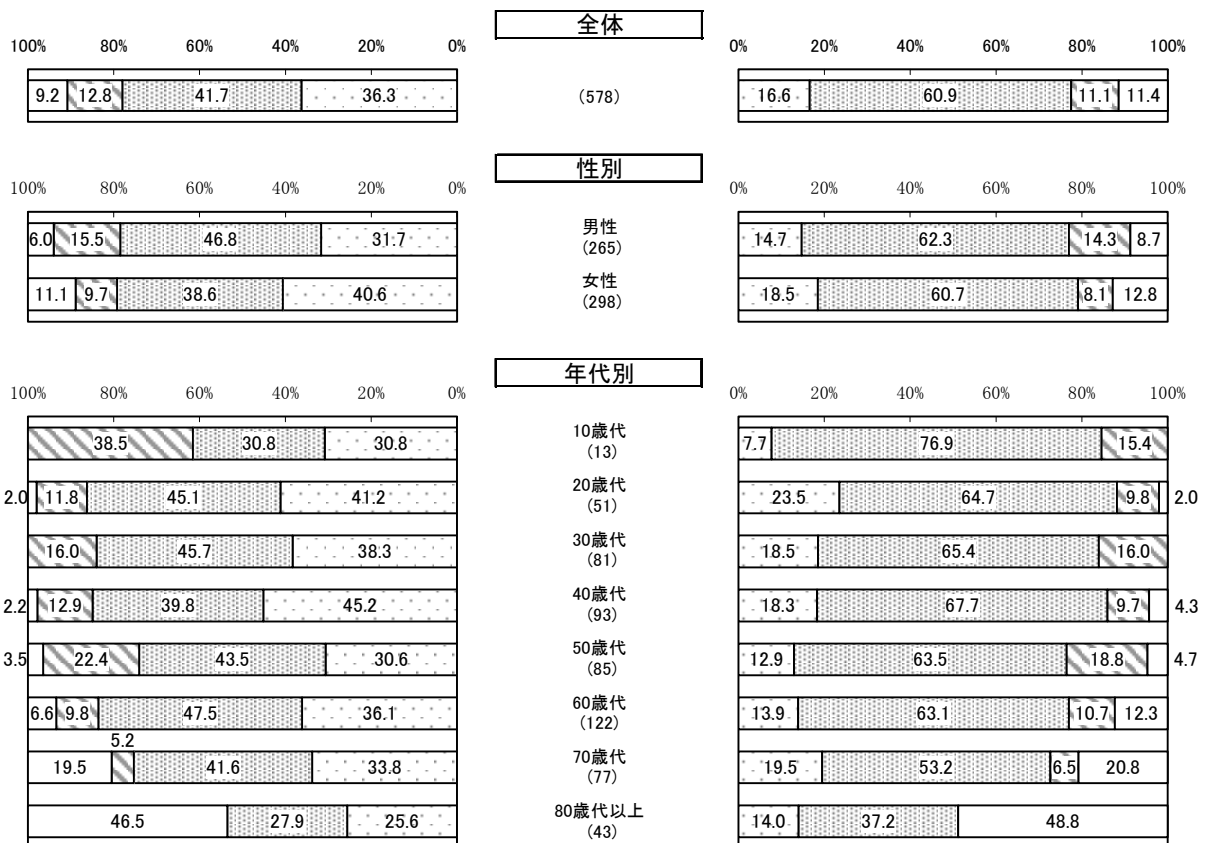
性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、20歳代、40歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「健康について考えるきっかけになると思う。」など事業を評価している意見が12件、「年6回だけなら各自ですべき。」など事業を評価していない意見が16件、「幅広い年代が参加できるようなイベントにすべき。」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

(3) 各種スポーツの市民大会の開催

(スポーツ振興課)

調査項目：各種スポーツの市民大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持や住民間の親睦を図っています。(種目：バレーボール、水泳、バドミントン、陸上、卓球、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール)

重要度については「重要」の割合が 36.2%、「どちらともいえない」の割合が 41.7%、「重要ではない」の割合が 12.1%となっています。

満足度については「満足」の割合が 17.0%、「どちらともいえない」の割合が 58.7%、「満足ではない」の割合が 12.6%となっています。

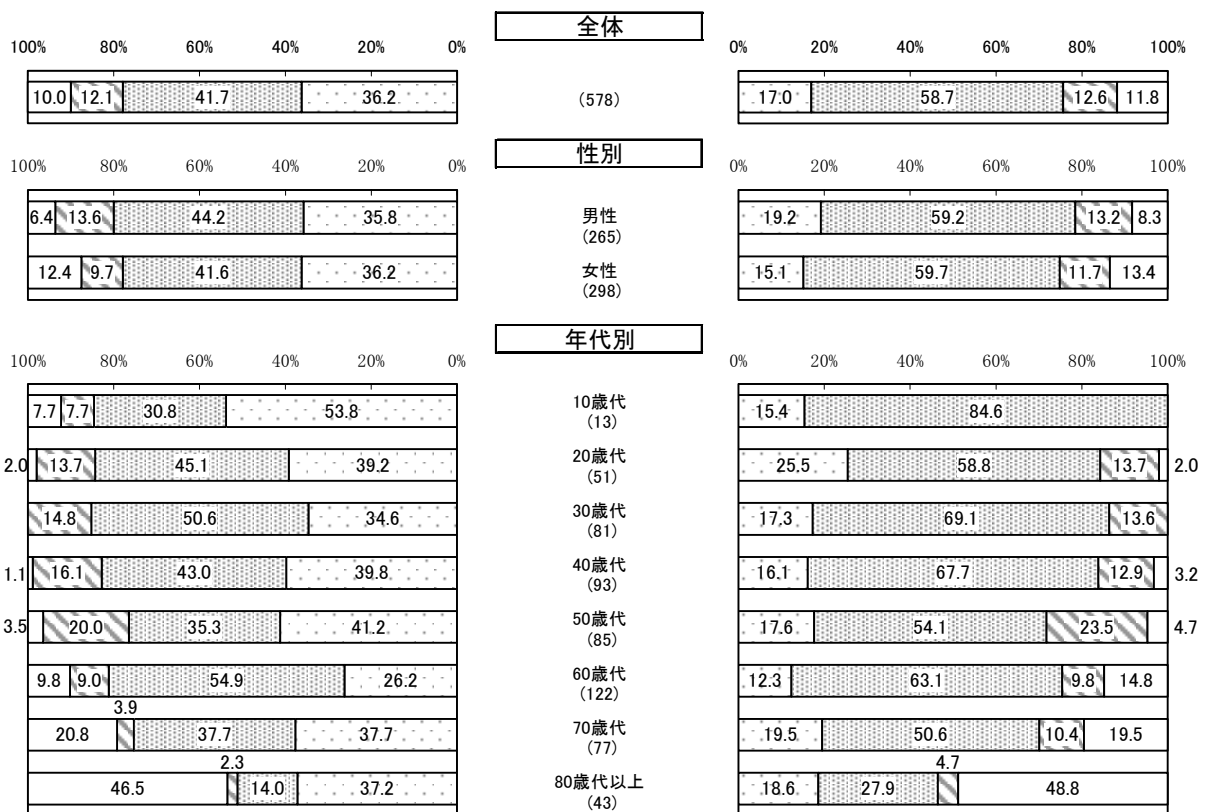
性別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「健康のためよい。」など事業を評価している意見が 9 件、「出なければならないという義務感が先に立ち、負担を感じている人が少なくない。」など事業を評価していない意見が 13 件、「スポーツのできない方も楽しんで見に行ける工夫がされるとよいと思います。」など今後の事業の課題についての意見が 23 件となっています。

(4) 前平野球場の利用

(スポーツ振興課)

調査項目：市を代表する前平野球場は、土のグラウンド（芝を張る必要がないグラウンド）のため高校野球など硬式野球はできませんが、スポーツ振興などの目的で、各種軟式野球大会やレクリエーション等に利用されています。

重要度については「重要」の割合が 42.4%、「どちらともいえない」の割合が 39.3%、「重要ではない」の割合が 8.3%となっています。

満足度については「満足」の割合が 24.0%、「どちらともいえない」の割合が 53.5%、「満足ではない」の割合が 10.0%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

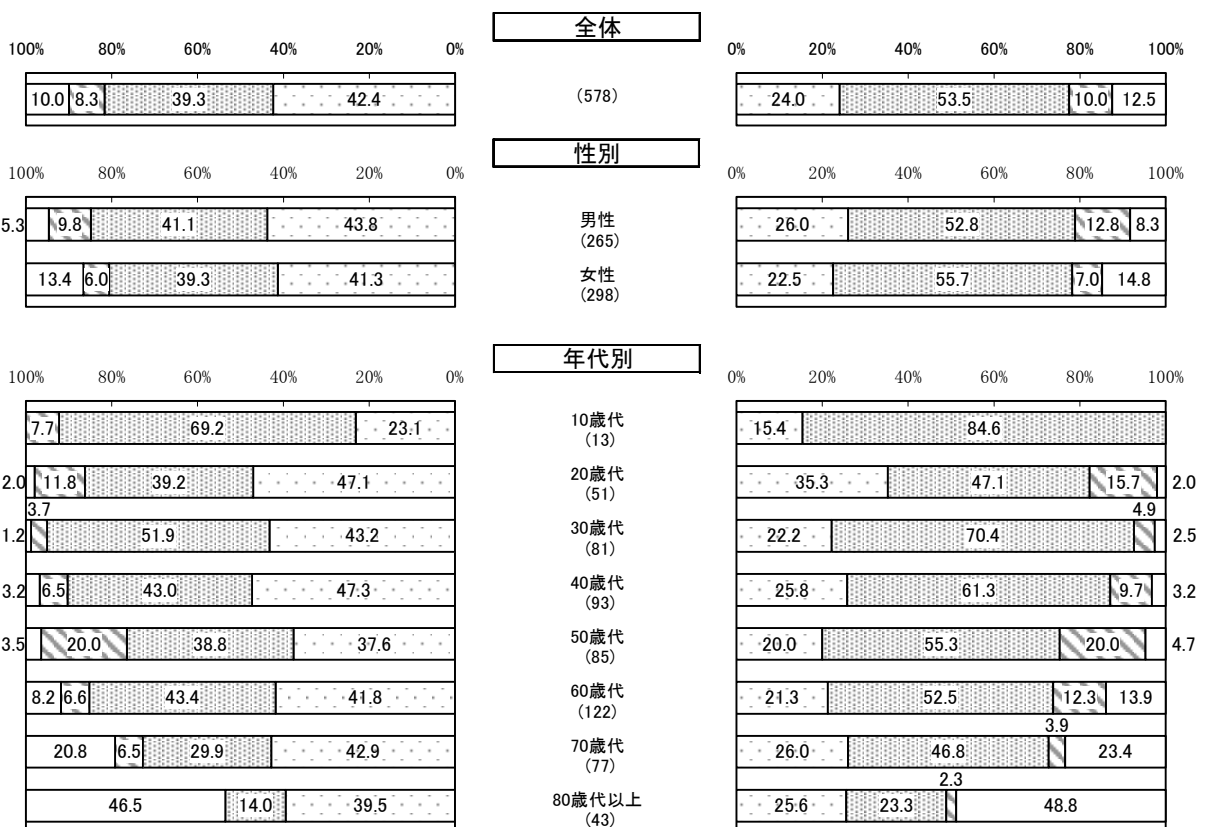
年代別でみると、50歳代で「重要ではない」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大会等に利用できる場所があるのは便利。」など事業を評価している意見が 11 件、「一部の人だけの利用に思えるため。」など事業を評価していない意見が 18 件、「硬式野球(特に高校野球、社会人野球)ができるような施設を希望する。」など今後の事業の課題についての意見が 12 件となっています。

(5) 前平市民プールの利用

(スポーツ振興課)

調査項目：前平市民プールは24年度は7月中旬から8月中旬まで38日間、25・50M プール（平成23年度からこども・幼児用プールを休止）を使用し、開園しています。

重要度については「重要」の割合が37.4%、「どちらともいえない」の割合が39.1%、「重要ではない」の割合が14.0%となっています。

満足度については「満足」の割合が17.8%、「どちらともいえない」の割合が47.9%、「満足ではない」の割合が23.0%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

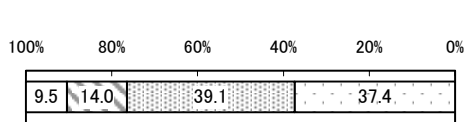
年代別でみると、30歳代、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。また、満足度では大きな差異はみられません。

【重要度】

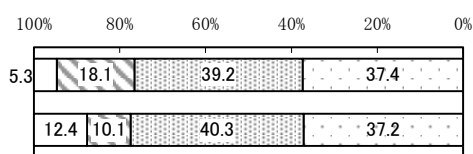
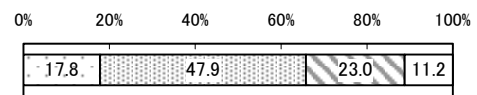
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

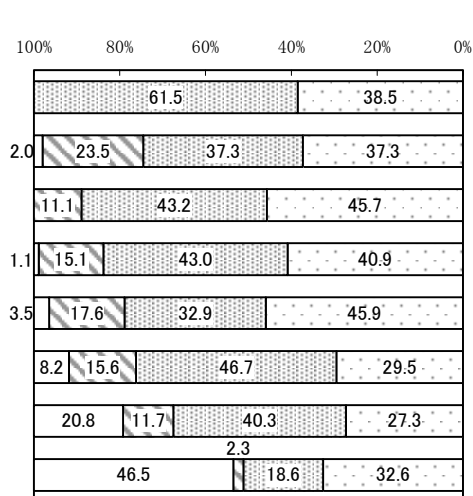
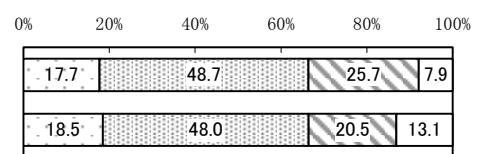
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



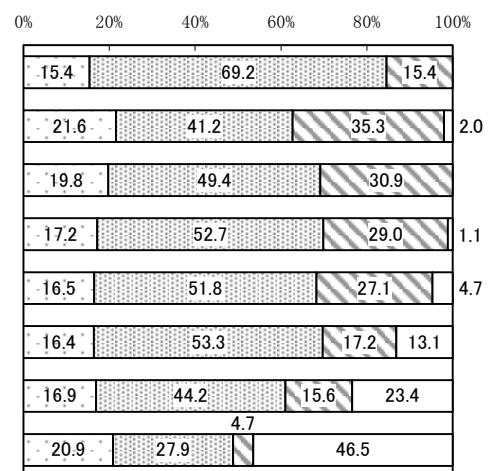
全体  
(578)



性別  
男性 (265)  
女性 (298)



年代別  
10歳代 (13)  
20歳代 (51)  
30歳代 (81)  
40歳代 (93)  
50歳代 (85)  
60歳代 (122)  
70歳代 (77)  
80歳代以上 (43)

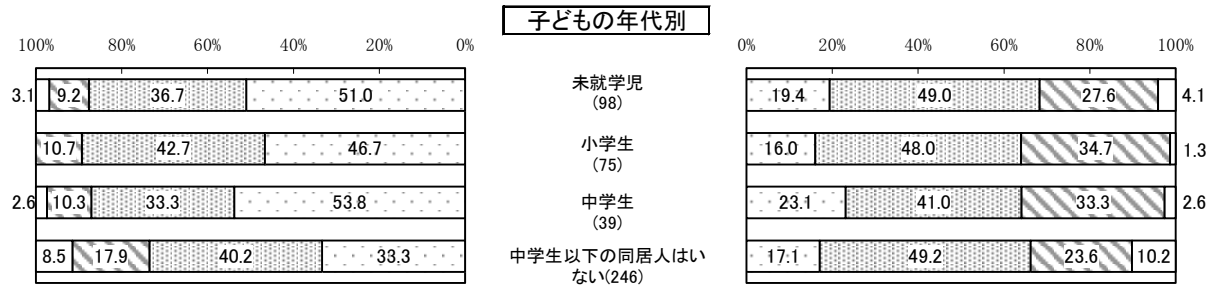


子どもの年代別で見ると、中学生以下の同居人はいない人に比べ、中学生以下の子どもがいる家庭で「重要」の割合が高く、約5割となっています。また、中学生で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「誰でも利用できる施設として必要。」など事業を評価している意見が6件、「学校のプールのみでよいと思う。」など事業を評価していない意見が38件、「子ども、幼児用プールも開園してほしい。」など今後の事業の課題についての意見が42件となっています。



(6) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化

(生涯学習課)

調査項目：市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動をする個人や団体と依頼者間の調整を行ったり、ボランティア養成講座を開いたりして、市民活動の活性化を図り、まちづくり活動への参加を促進する事業を行っています。

重要度については「重要」の割合が 55.0%、「どちらともいえない」の割合が 32.5%、「重要ではない」の割合が 2.9%となっています。

満足度については「満足」の割合が 20.1%、「どちらともいえない」の割合が 60.4%、「満足ではない」の割合が 7.3%となっています。

性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。また、満足度では大きな差異はみられません。

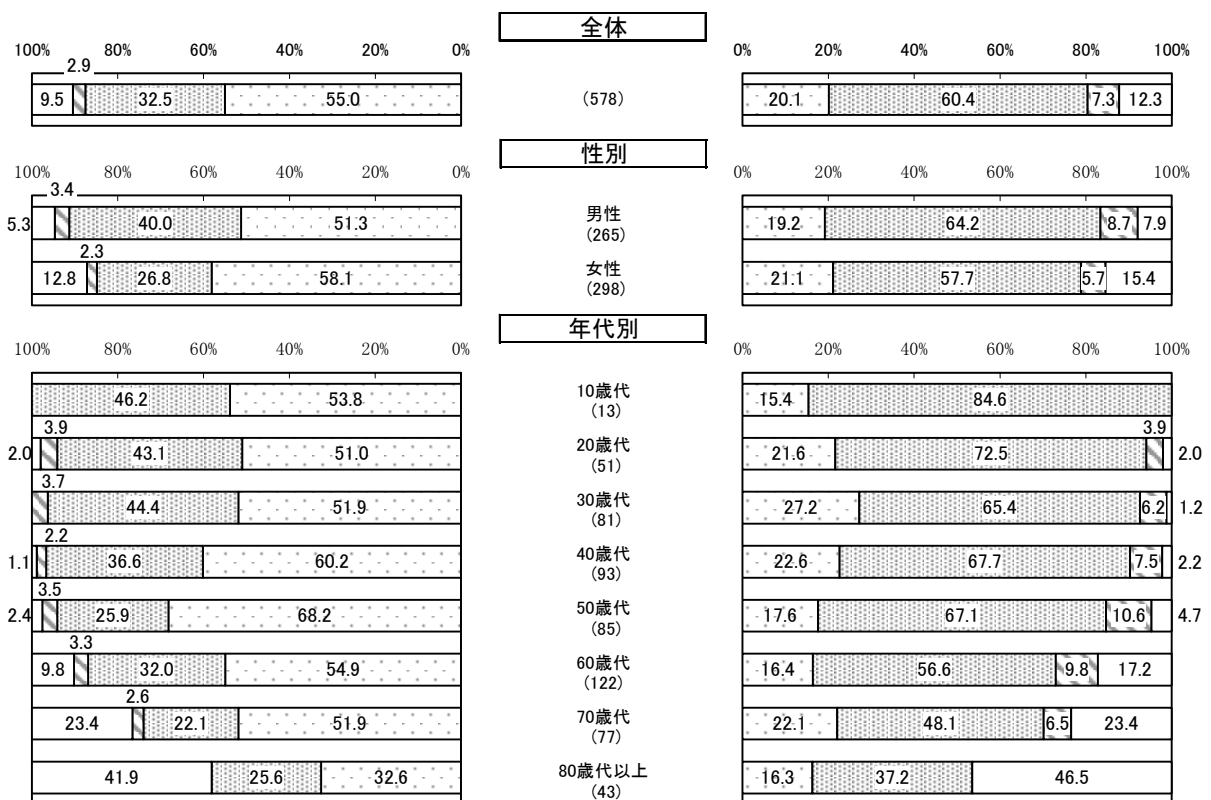
年代別でみると、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、30歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「さらなる積極的活動を望みます。」など事業を評価している意見が 8 件、「参加方法がわかりづらいです。」など事業を評価していない意見が 8 件、「もっと PR ししてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が 14 件となっています。

(7) 自治会活動

(地域振興課)

調査項目：自治会は185あり、ゴミ集積場の管理、地域の清掃活動、防犯灯(街路灯)などの住環境整備のほか、子ども、高齢者に対する福祉活動や運動会、ソフトバレー、自治会野球など体育振興活動が行われています。

重要度については「重要」の割合が58.3%、「どちらともいえない」の割合が27.2%、「重要ではない」の割合が5.2%となっています。

満足度については「満足」の割合が24.4%、「どちらともいえない」の割合が51.7%、「満足ではない」の割合が11.6%となっています。

性別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

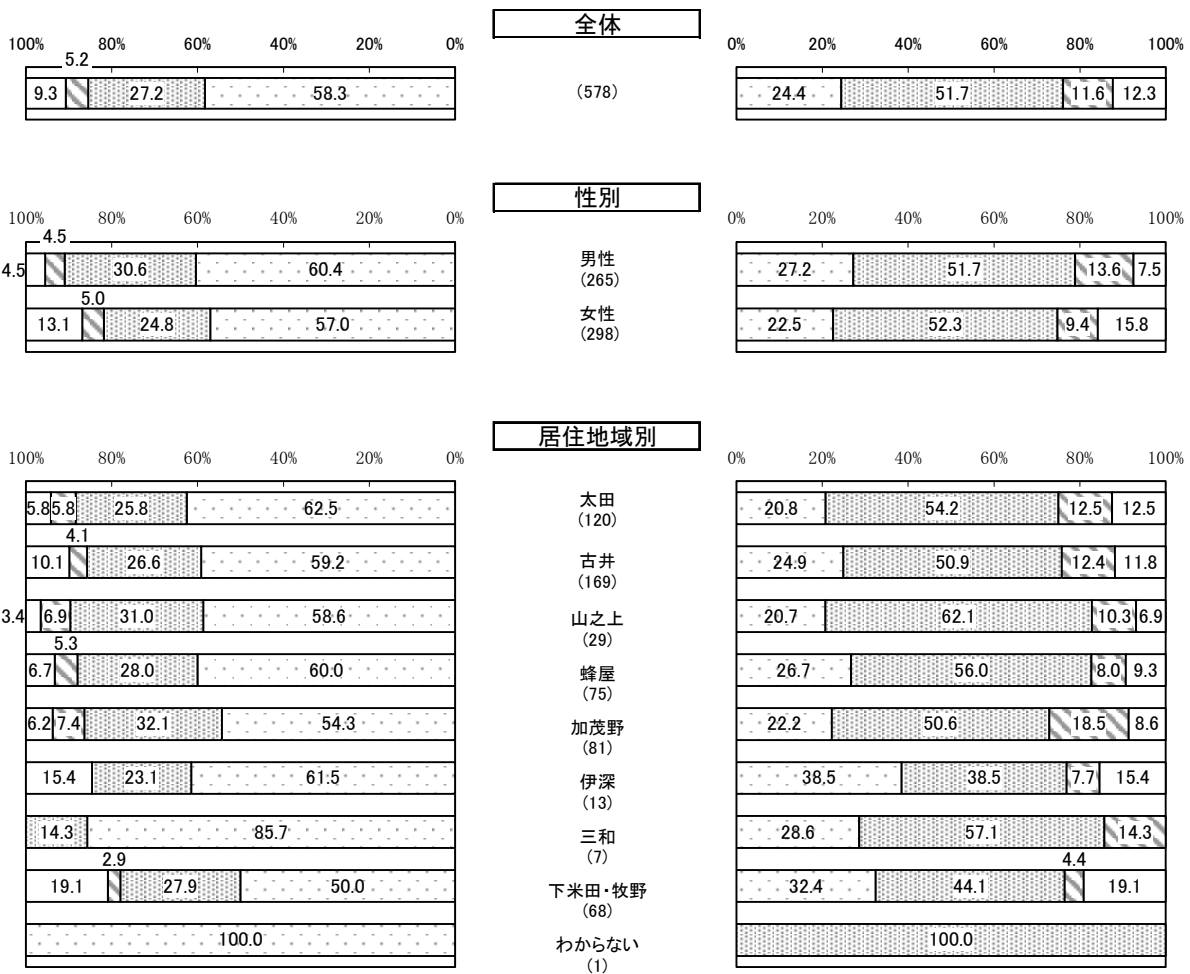
居住地域別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、伊深、下米田・牧野で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

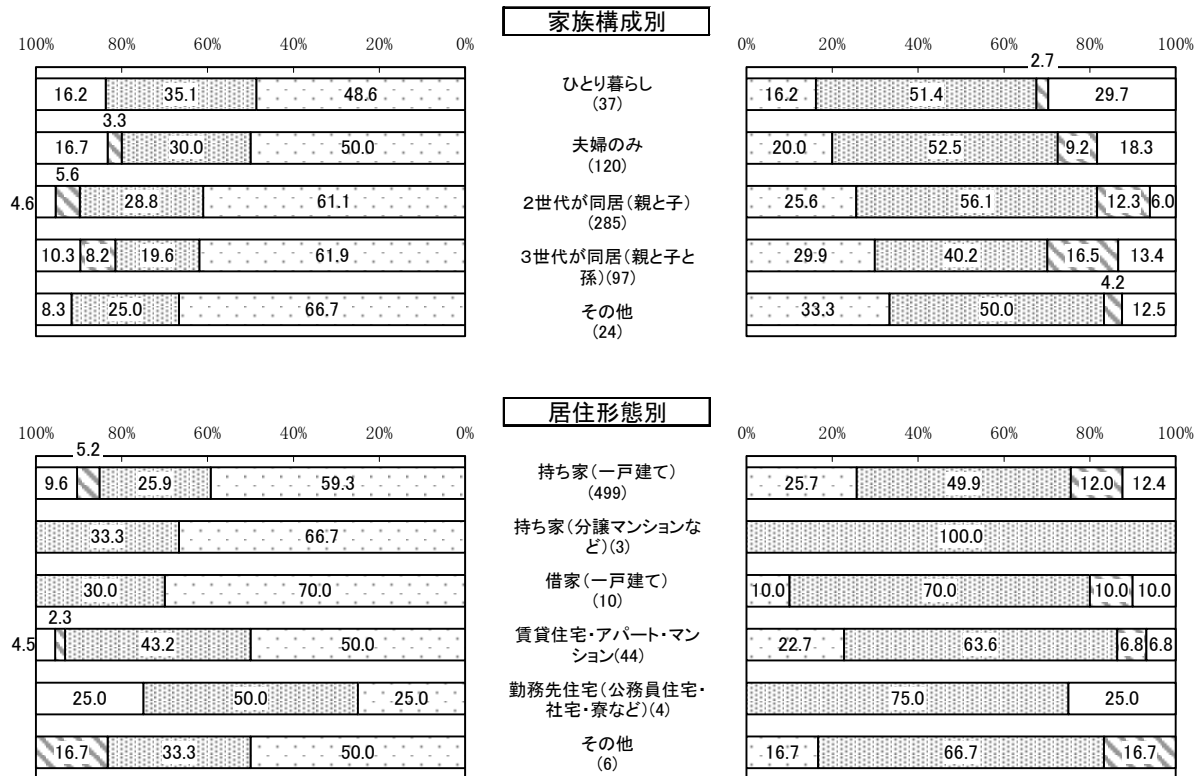
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



家族構成別でみると、ひとり暮らし、夫婦のみで「重要」の割合が他に比べて低く、約5割となっています。また、3世代が同居（親と子と孫）で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

居住形態でみると、持ち家（分譲マンションなど）、借家（一戸建て）で「重要」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。また、満足度では大きな差異はみられません。

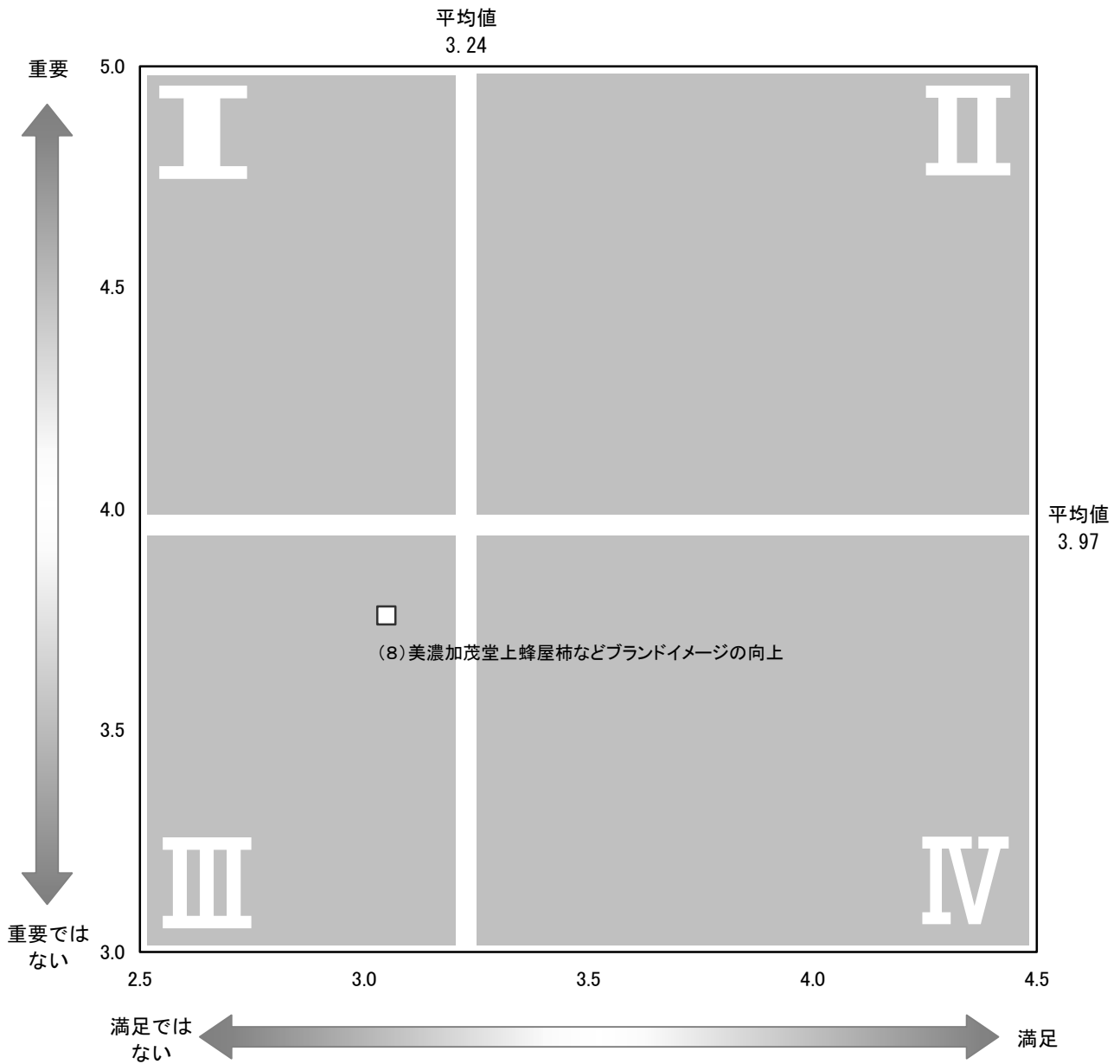
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「自治会のおかげでまちが保たれている面もありよいと思う。」など事業を評価している意見が7件、「運動会は必要ない気がする。」など事業を評価していない意見が29件、「役員の高齢化が問題である。」など今後の事業の課題についての意見が29件となっています。

## 2. - 2 産業の振興により新たな価値のあるまち

『(8) 美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。



(8) 美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上

(産業振興課)

調査項目：「美濃加茂堂上蜂屋柿」をトップブランドに位置付けて当市のイメージ向上に取り組んでいます。24年度には新パッケージを作成し、首都圏やアンテナショップでの販売をしました。これまでには関連商品として「堂上蜂屋柿ふいなんしえ」や「はちや豚」などを商品化して販売促進をしています。

重要度については「重要」の割合が45.7%、「どちらともいえない」の割合が37.4%、「重要ではない」の割合が7.6%となっています。

満足度については「満足」の割合が20.4%、「どちらともいえない」の割合が54.3%、「満足ではない」の割合が12.3%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

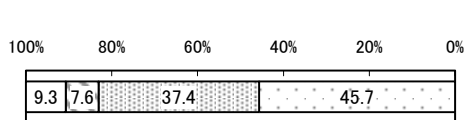
居住地域別でみると、蜂屋、加茂野で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、蜂屋で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

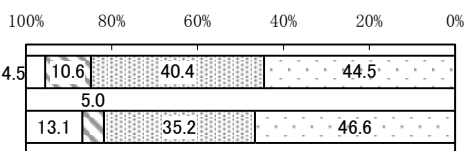
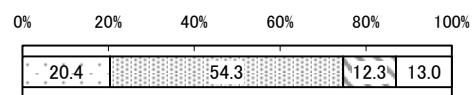
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

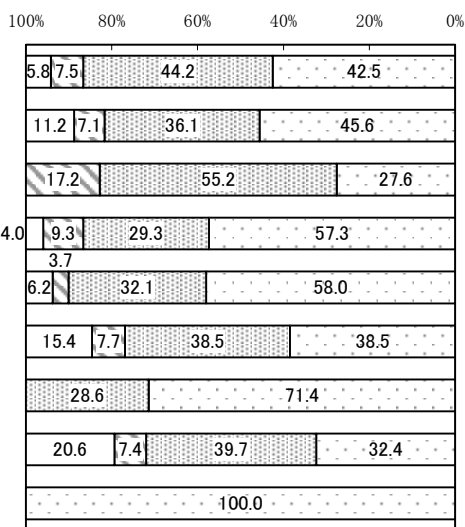
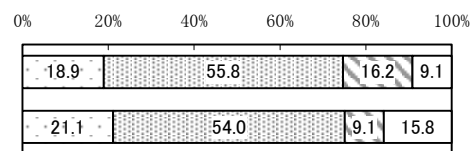
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



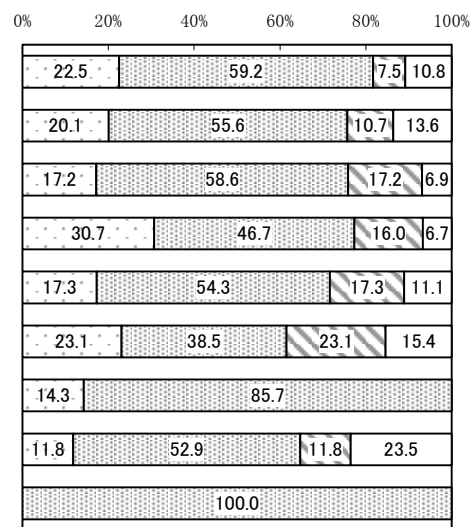
全体  
(578)



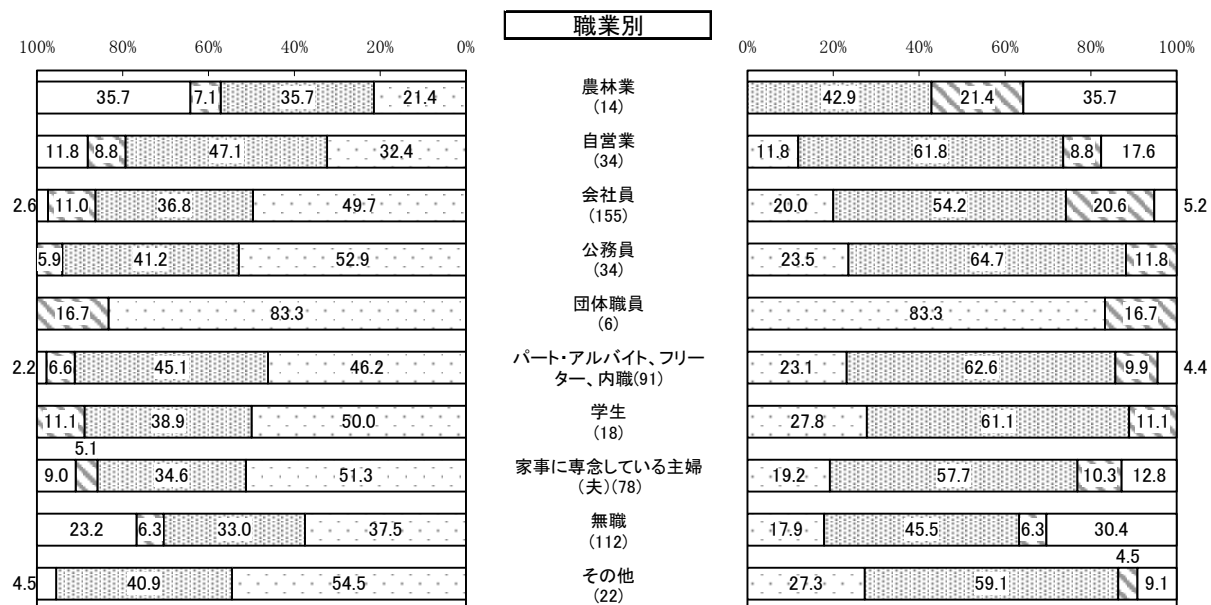
性別  
男性 (265)  
女性 (298)



居住地域別  
太田 (120)  
古井 (169)  
山之上 (29)  
蜂屋 (75)  
加茂野 (81)  
伊深 (13)  
三和 (7)  
下米田・牧野 (68)  
わからない (1)



職業別でみると、会社員、公務員、学生、家事に専念している主婦（夫）で「重要」の割合が他に比べて高く、5割となっています。また、学生で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。



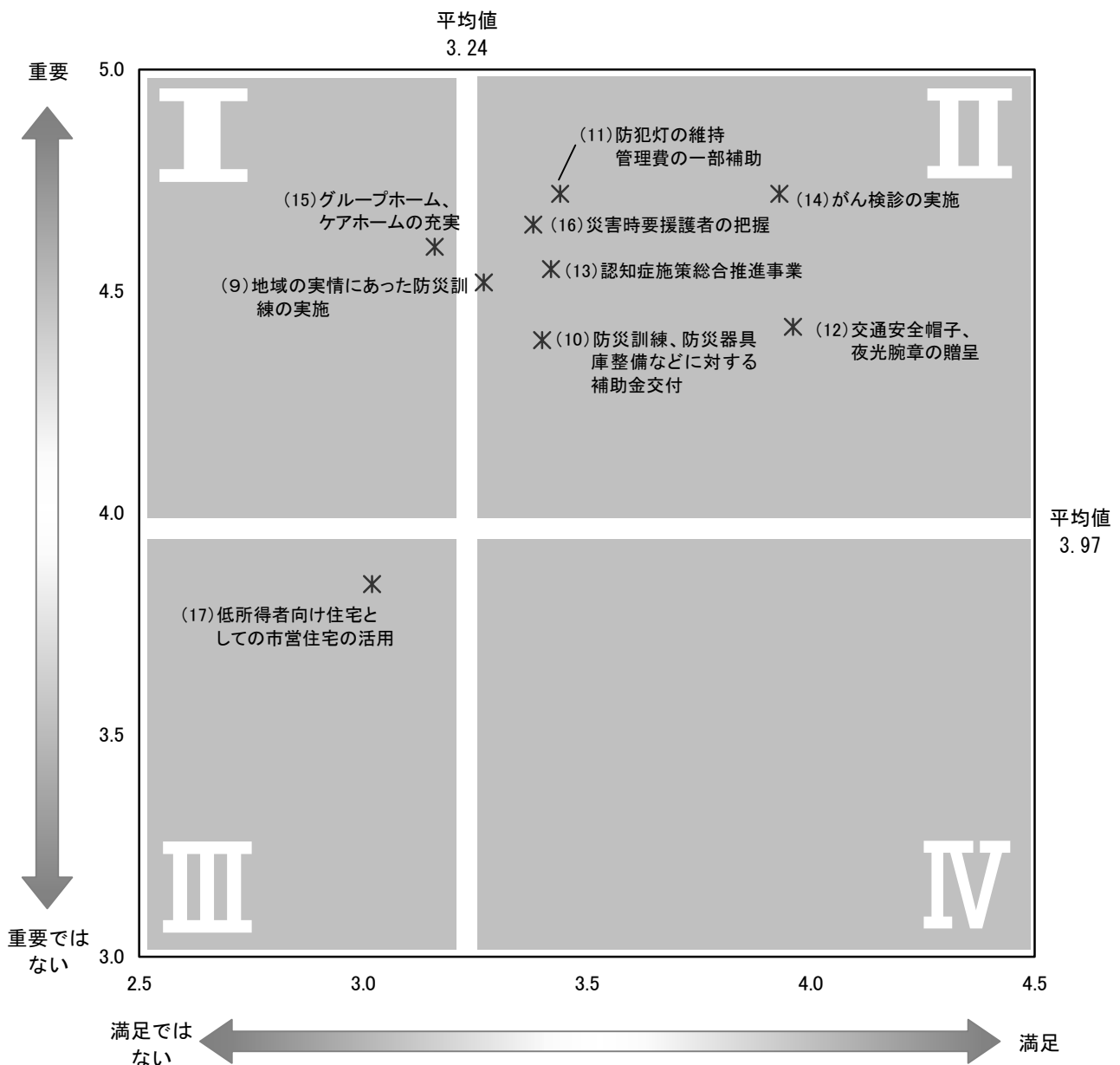
皆さんからの意見では、「蜂屋柿はどんどんおしていくべき。」など事業を評価している意見が16件、「市民にあまりなじみがあるように感じない。」など事業を評価していない意見が8件、「まだまだ知名度が低い」など今後の事業の課題についての意見が28件となっています。

### 2. - 3 安心して暮らせるまち

『(15) グループホーム、ケアホームの充実』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(9) 地域の実情にあった防災訓練の実施』、『(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付』、『(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助』、『(12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈』、『(13) 認知症施策総合推進事業』、『(14) がん検診の実施』、『(16) 災害時要援護者の把握』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。



(9) 地域の実情にあった防災訓練の実施

(防災安全課)

調査項目：地域の防災力を高めることを目的に、市民・地域が主体となって地域の防災訓練を計画し、地域の実情にあった防災訓練を市内8箇所で行いました。

重要度については「重要」の割合が71.6%、「どちらともいえない」の割合が17.1%、「重要ではない」の割合が1.9%となっています。

満足度については「満足」の割合が30.8%、「どちらともいえない」の割合が43.8%、「満足ではない」の割合が12.6%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、60歳代以下で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

居住地域別でみると、太田、山之上、蜂屋、加茂野、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、蜂屋で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答





家族構成別でみると、ひとり暮らし、夫婦のみで「重要」の割合が他に比べて低くなっています。また、ひとり暮らし、夫婦のみで「満足」の割合が他に比べて低くなっています。

職業別でみると、公務員で「重要」の割合が他に比べて高く、9割を超えています。また、公務員で「満足」の割合が他に比べて高く、約5割となっています。

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大切なことだと思う。」など事業を評価している意見が12件、「訓練のための訓練に終り、形式的である。」など事業を評価していない意見が6件、「もっと地域住民が主体となった、防災についての周知、防災意識の向上を図るべき。」など今後の事業の課題についての意見が22件となっています。

(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付

(防災安全課)

調査項目：地域の防災力強化や自主防災組織の意識の高揚を図るため、自主防災組織、自治会、自警隊が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置などに補助金を交付しています。

重要度については「重要」の割合が 67.5%、「どちらともいえない」の割合が 20.1%、「重要ではない」の割合が 2.9%となっています。

満足度については「満足」の割合が 31.0%、「どちらともいえない」の割合が 47.1%、「満足ではない」の割合が 9.0%となっています。

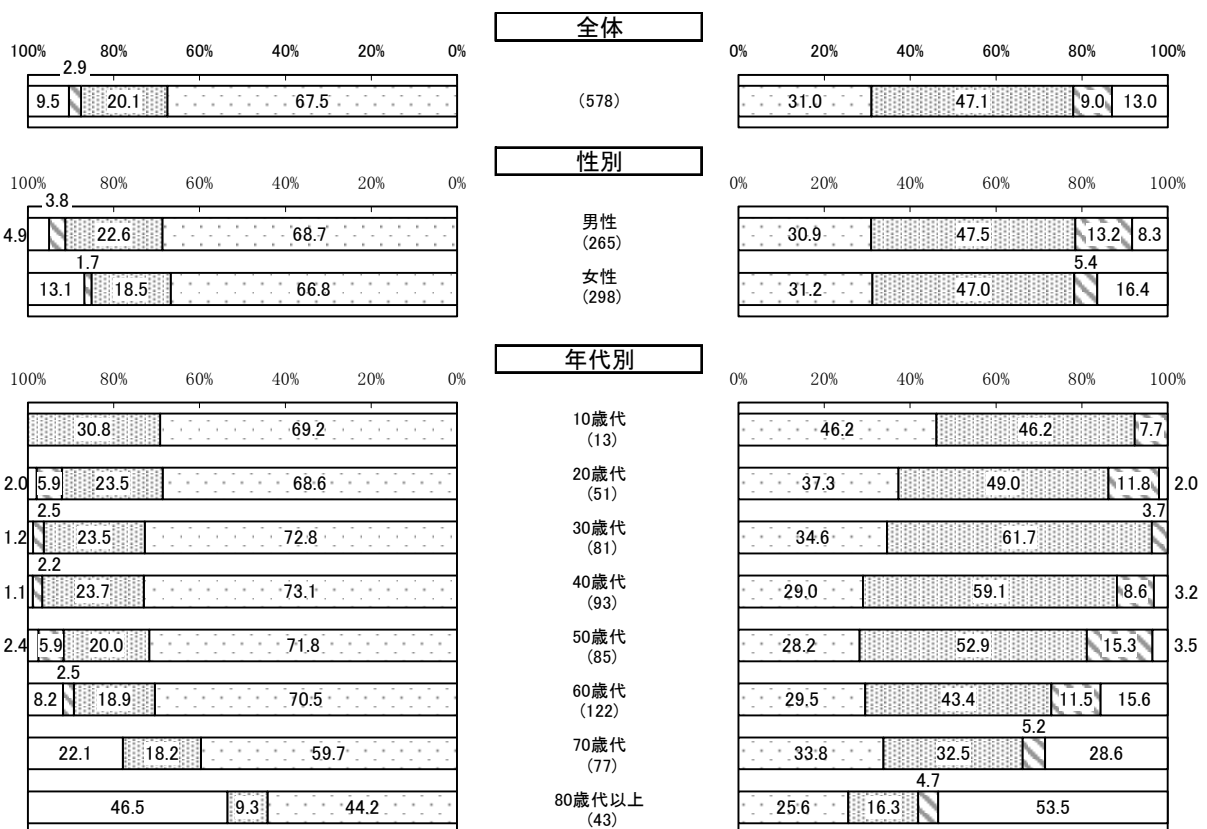
性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、30歳代から60歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、7割以上となっています。また、10歳代、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「巨大地震が来るという予想があり、大切なことです。」など事業を評価している意見が 11 件、「自警隊なんていない。」など事業を評価していない意見が 6 件、「設置されたものについては、定期点検をしてほしいと思う。」など今後の事業の課題についての意見が 12 件となっています。

(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助

(防災安全課)

調査項目：防犯灯は自治会の要望により、既設防犯灯との距離が原則として80m以上ある場合に設置しています。維持管理は自治会で行い、維持管理費の1部（電気料の2/3）を市が自治会に補助しています。

重要度については「重要」の割合が80.6%、「どちらともいえない」の割合が11.1%、「重要ではない」の割合が0.7%となっています。

満足度については「満足」の割合が40.0%、「どちらともいえない」の割合が36.2%、「満足ではない」の割合が13.5%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

居住地域別でみると、山之上で「重要」の割合が高く、約9割となっています。また、古井、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「安心できる。」など事業を評価している意見が11件、「市が全部負担してもよいのではないか。」など事業を評価していない意見が5件、「設置数が少ない。」など今後の事業の課題についての意見が37件となっています。

(12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈

(防災安全課)

調査項目：小学校の新入学児童に交通安全帽子、中学校の新入学生徒に夜光腕章を贈呈しています。

重要度については「重要」の割合が 71.6%、「どちらともいえない」の割合が 16.1%、「重要ではない」の割合が 4.3%となっています。

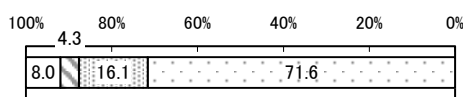
満足度については「満足」の割合が 51.9%、「どちらともいえない」の割合が 30.8%、「満足ではない」の割合が 6.1%となっています。

年代別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、10歳代、70歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。

居住地域別でみると、山之上、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。

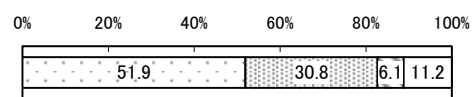
【重要度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

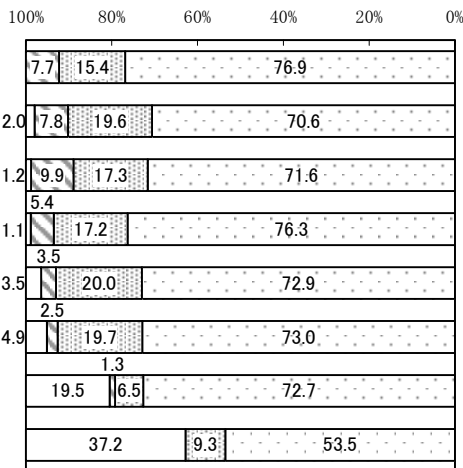


【満足度】

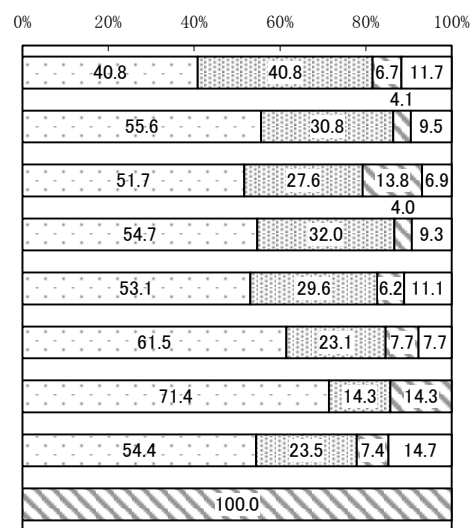
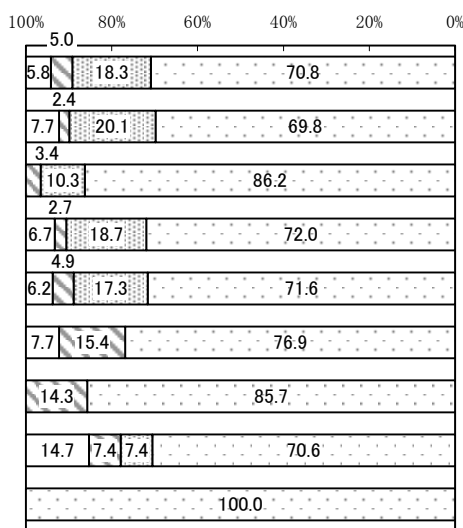
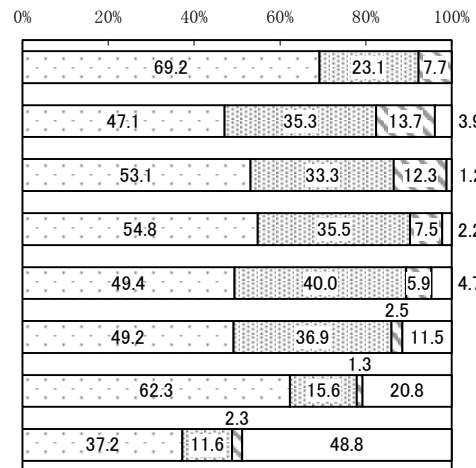
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



年代別



居住地域別



皆さんからの意見では、「安全上大切と思います。」など事業を評価している意見が 10 件、「腕章はいらぬ。していない子が多い。」など事業を評価していない意見が 15 件、「交通安全帽子については 6 年間使用するの、買い替え時の補助にも力を入れてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が 20 件となっています。

(13) 認知症施策総合推進事業

(長寿支援センター)

調査項目：長寿支援センターでは、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図るため、「認知症施策総合推進事業」を実施しています。

重要度については「重要」の割合が 73.0%、「どちらともいえない」の割合が 18.0%、「重要ではない」の割合が 1.0%となっています。

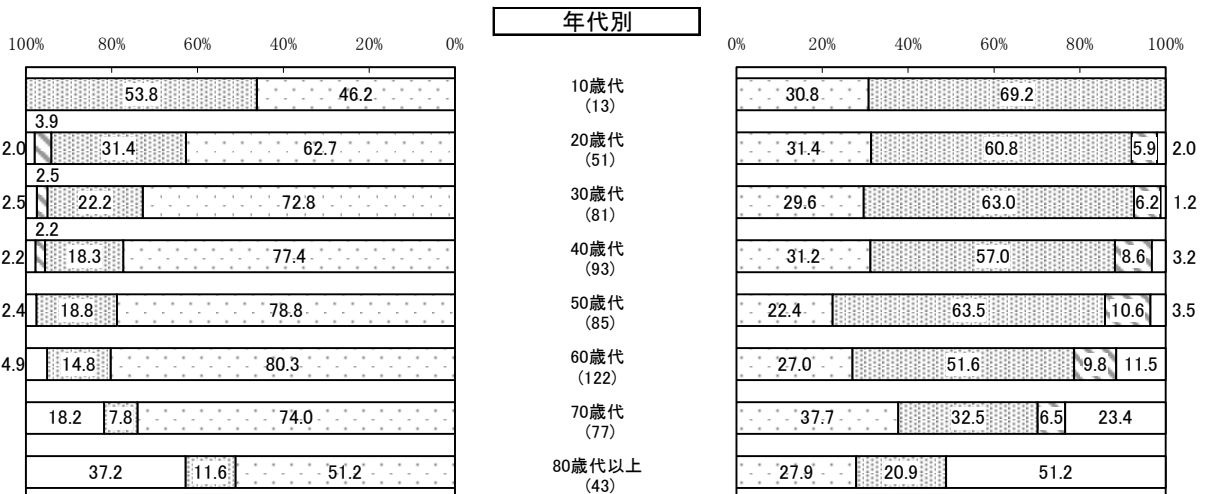
満足度については「満足」の割合が 29.4%、「どちらともいえない」の割合が 51.9%、「満足ではない」の割合が 7.3%となっています。

年代別でみると、60歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約8割となっています。また、70歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

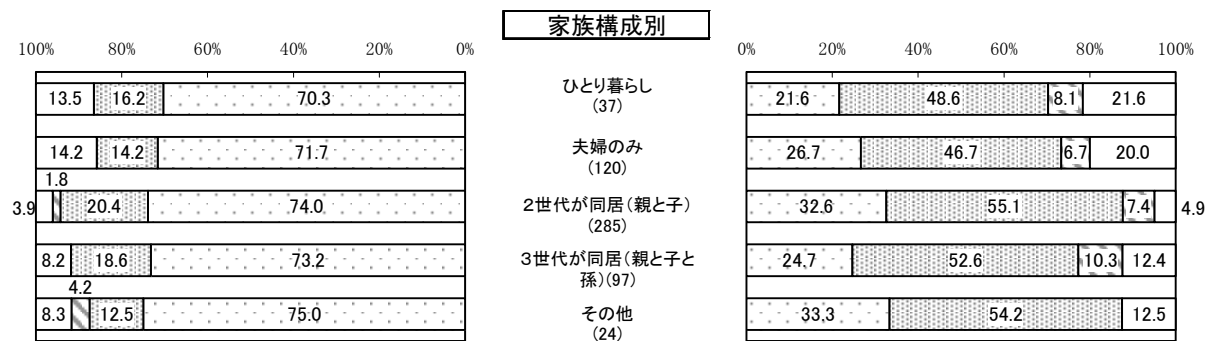
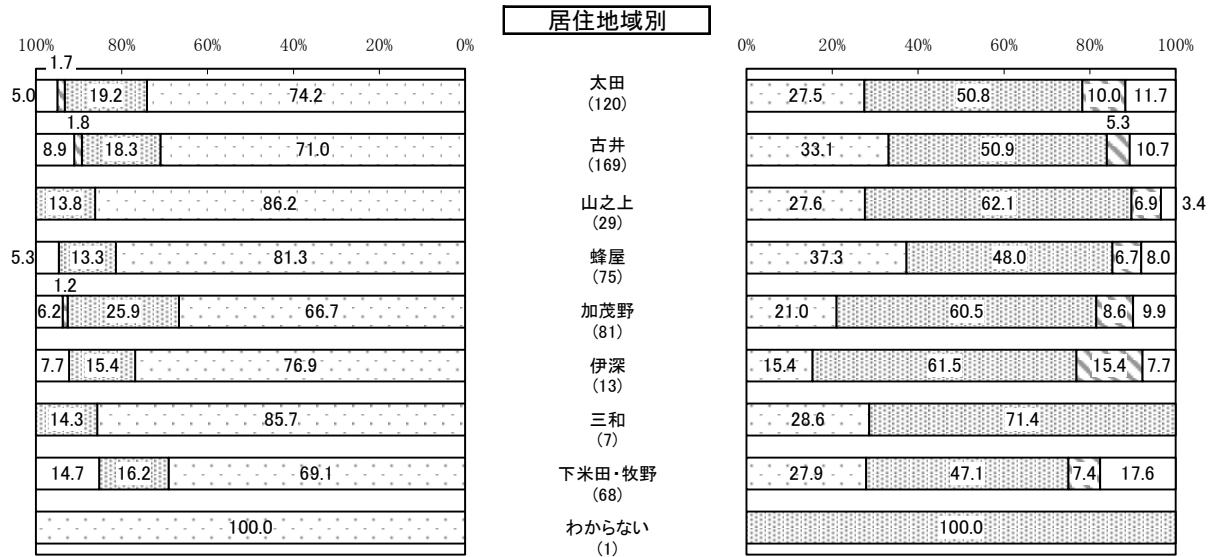
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、山之上、蜂屋で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、蜂屋で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

家族構成でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「身内のもので認知症になってしまった者がいたのでこういう活動はもっとやってほしい」など事業を評価している意見が6件、「映画会がそれにつながるとは思わないです。」など事業を評価していない意見が3件、「もっと広げてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が15件となっています。

(14) がん検診の実施

(健康課)

調査項目：がんの早期発見早期治療を目的とした『がん検診推進事業』として、大腸がん・子宮がん・乳がん検診を実施しています。対象の特定年齢者については、自己負担金を無料にしています。

大腸がん検診・乳がん検診：40・45・50・55・60歳

子宮がん検診：20・25・30・35・40歳

重要度については「重要」の割合が81.5%、「どちらともいえない」の割合が9.2%、「重要ではない」の割合が1.6%となっています。

満足度については「満足」の割合が51.4%、「どちらともいえない」の割合が29.9%、「満足ではない」の割合が6.9%となっています。

性別でみると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。また、満足度では大きな差異はみられません。

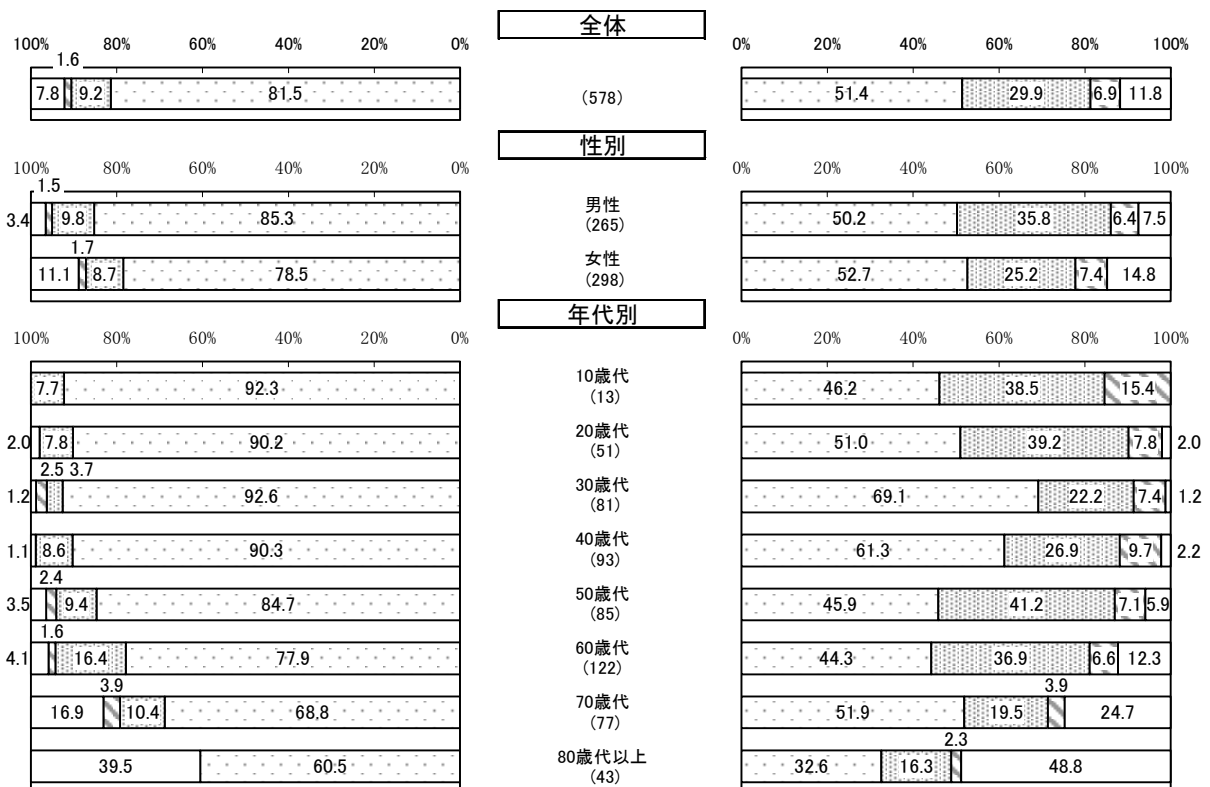
年代別でみると、40歳代以下で「重要」の割合が他に比べて高く、9割を超えています。また、30歳代、40歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、6割を超えています。

【重要度】

【満足度】

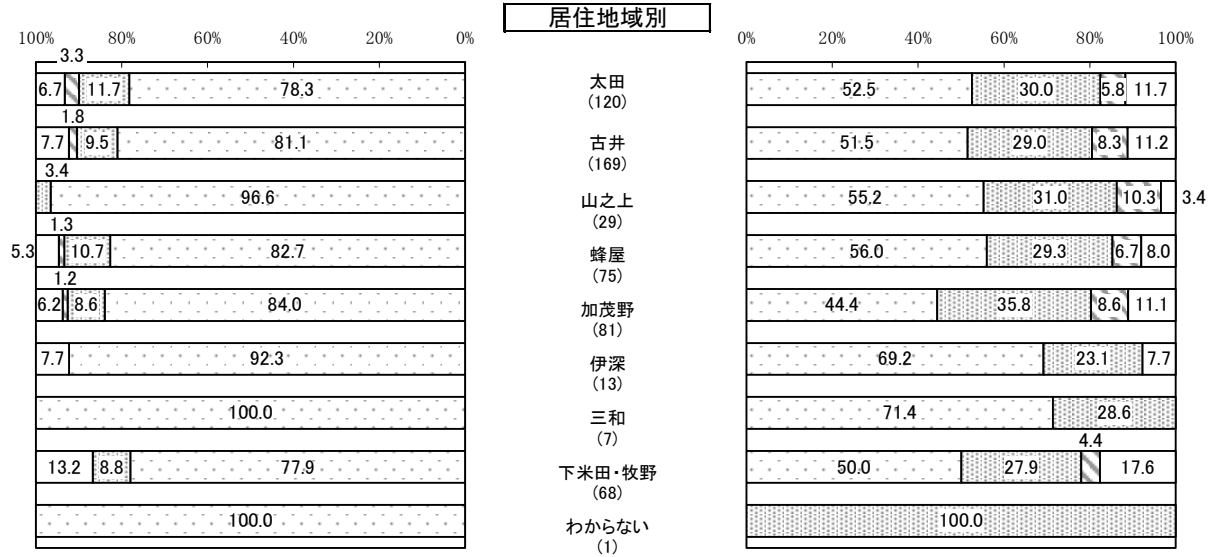
□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、山之上、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、9割を超えています。また、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、約7割となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「医療費の増大を防ぐために必要だと思う。」など事業を評価している意見が 14 件、「市の検診では早期がんの発見はないと思う。」など事業を評価していない意見が 4 件、「子宮がん検診の特定年齢者の年齢をもう少しのばした方がよい。」など今後の事業の課題についての意見が 28 件となっています。



(15) グループホーム、ケアホームの充実

(福祉課)

調査項目：障がいのある方も地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、民間活力による障がい者施設（グループホーム、ケアホーム）の充実に努めています。

重要度については「重要」の割合が 73.5%、「どちらともいえない」の割合が 17.6%、「重要ではない」の割合が 0.3%となっています。

満足度については「満足」の割合が 27.0%、「どちらともいえない」の割合が 47.6%、「満足ではない」の割合が 13.3%となっています。

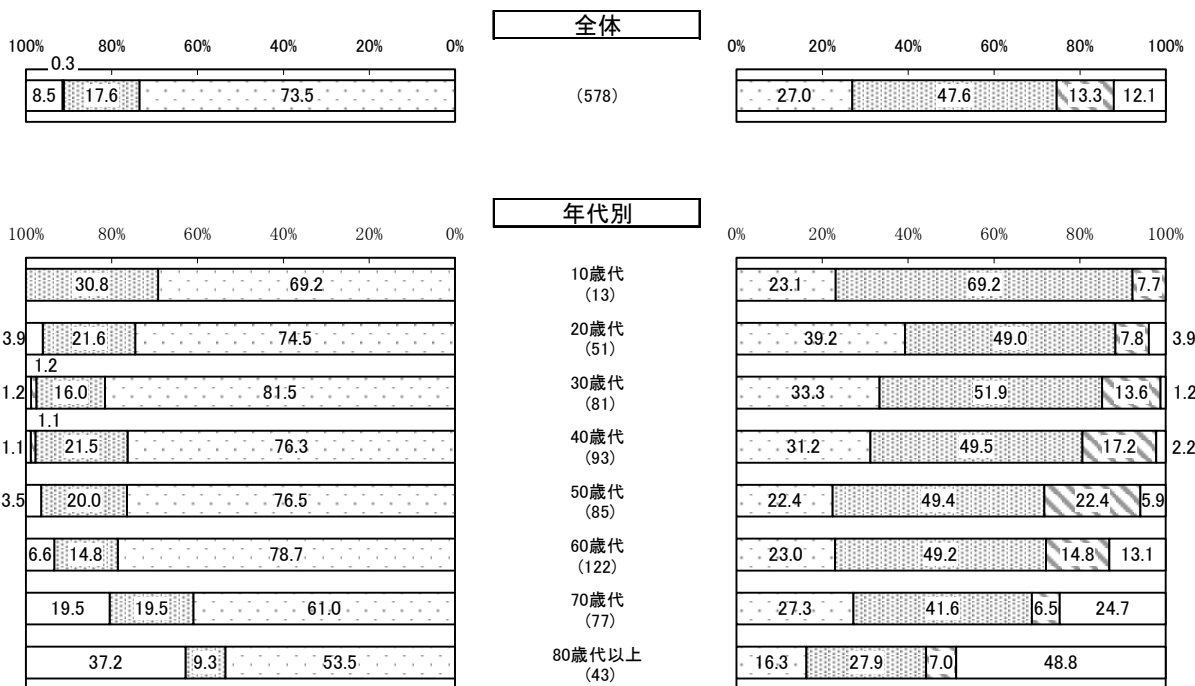
年代別でみると、30歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約8割となっています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

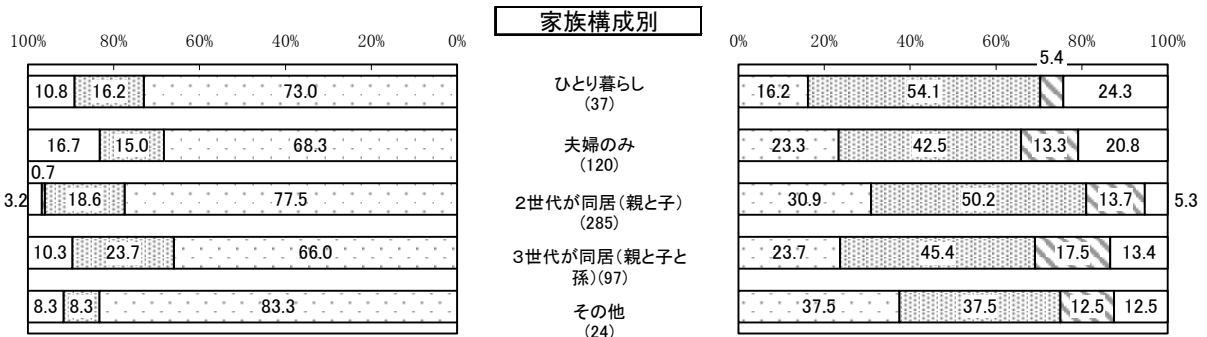
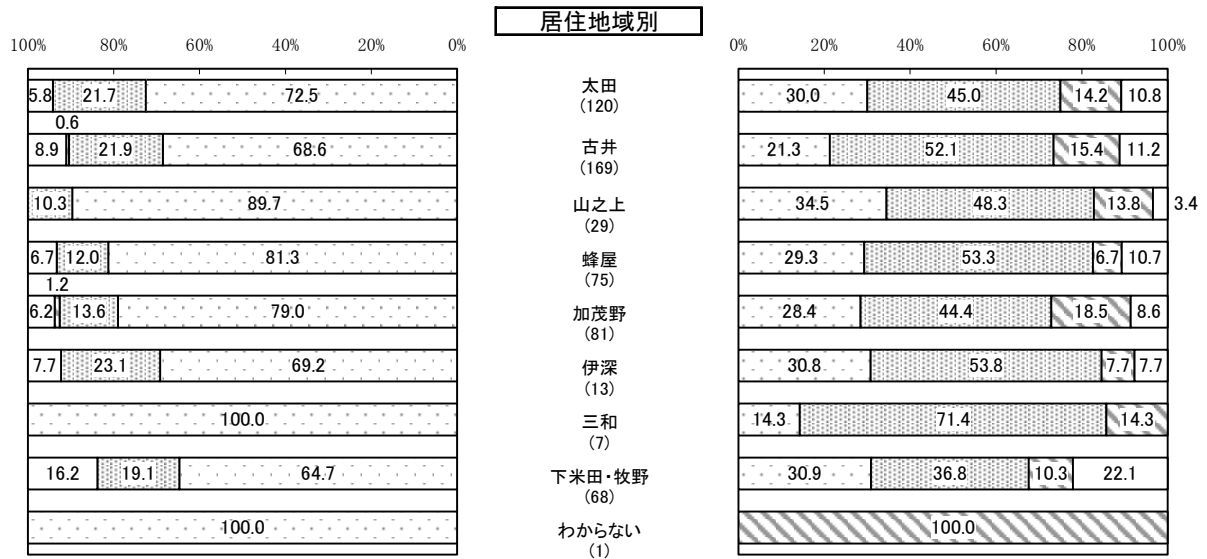
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、山之上、蜂屋、加茂野で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、山之上で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、ひとり暮らしで「満足」の割合が他に比べて低く、2割以下となっています。

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「積極的に進めてほしい。」など事業を評価している意見が3件、「需要と供給のバランスは。」など事業を評価していない意見が5件、「市に1か所は少ないと思う。」など今後の事業の課題についての意見が21件となっています。

(16) 災害時要援護者の把握

(福祉課)

調査項目：見守りと支えあいの地域福祉活動を推進するため、災害時に援護の必要な方の把握に努めています。

重要度については「重要」の割合が 77.2%、「どちらともいえない」の割合が 14.2%、「重要ではない」の割合が 0.7%となっています。

満足度については「満足」の割合が 26.1%、「どちらともいえない」の割合が 55.4%、「満足ではない」の割合が 6.4%となっています。

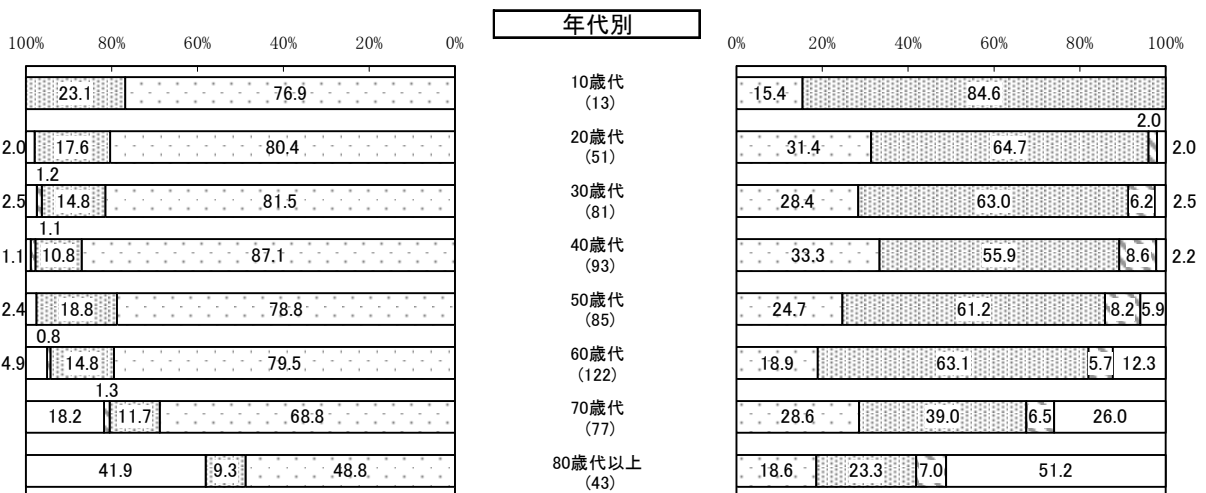
年代別でみると、40歳代で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、20歳代、40歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

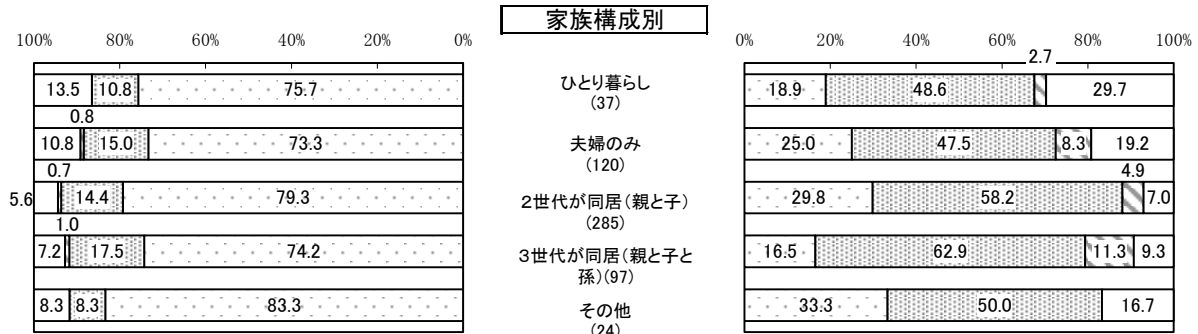
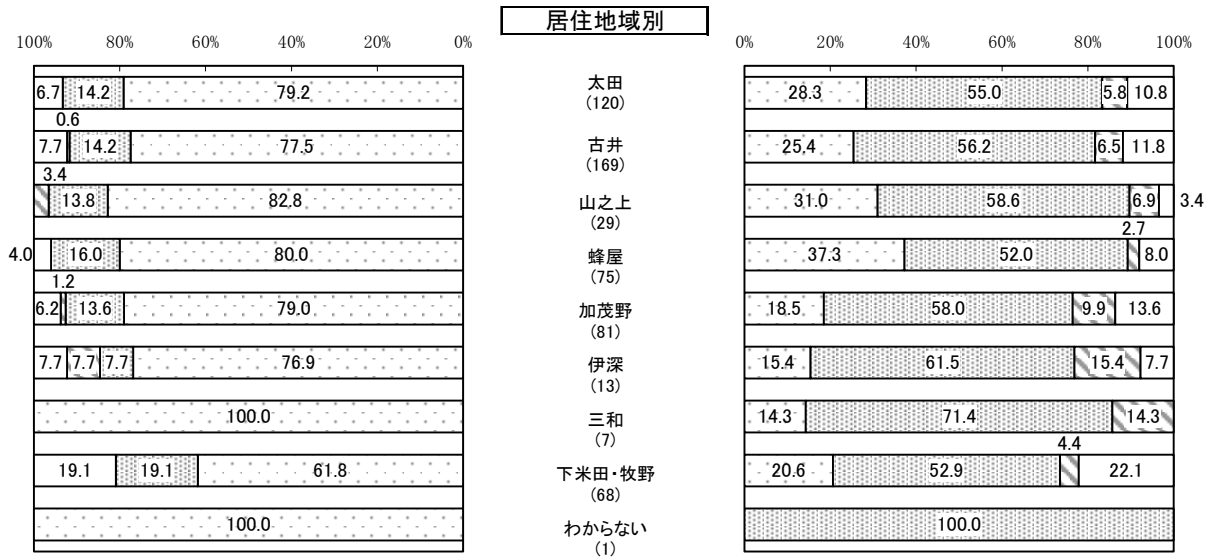
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、山之上で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、蜂屋で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、ひとり暮らし、3世代が同居（親と子と孫）で「満足」の割合が他に比べて低く、2割以下となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「プライバシーが問題になっていますがこういうことは大切なことと思います。」など事業を評価している意見が4件、「実際に災害が起きた場合、そのデータを活用できるかわからない。」など事業を評価していない意見が7件、「防災訓練時に組み込まれておらず、災害時にも機能するように充実すべき。」など今後の事業の課題についての意見が14件となっています。

(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

(総務課)

調査項目：市内には、12箇所（266部屋）の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。

重要度については「重要」の割合が46.0%、「どちらともいえない」の割合が38.2%、「重要ではない」の割合が5.5%となっています。

満足度については「満足」の割合が16.3%、「どちらともいえない」の割合が60.4%、「満足ではない」の割合が10.2%となっています。

年代別でみると、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。

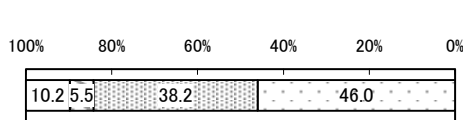
家族構成別でみると、3世代が同居（親と子と孫）で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、満足度では大きな差異はみられません。

【重要度】

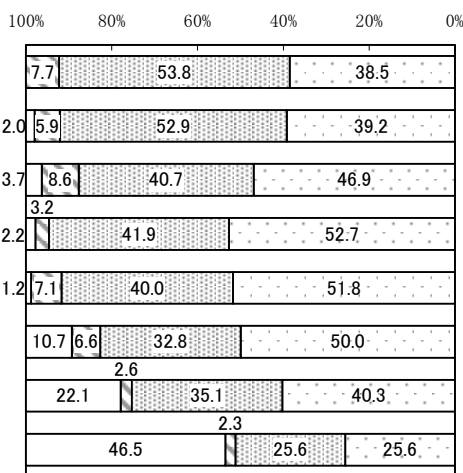
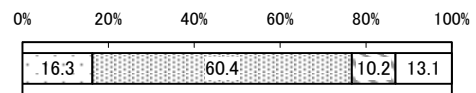
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答

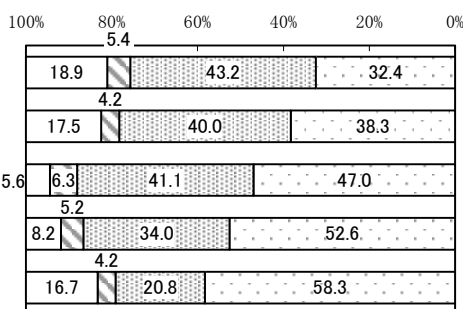
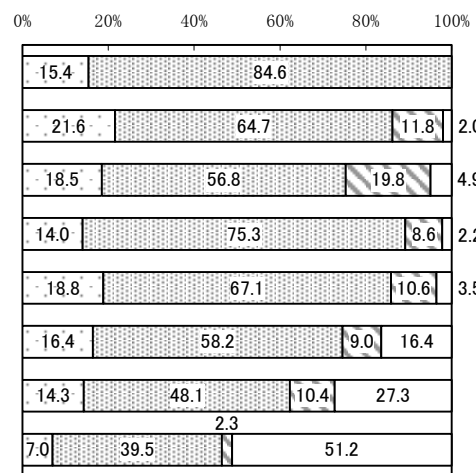


全体  
(578)



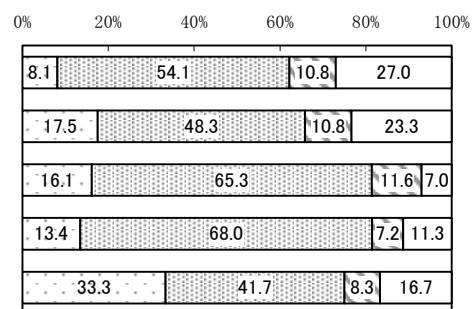
年代別

10歳代 (13)	15.4	84.6		
20歳代 (51)	21.6	64.7	11.8	
30歳代 (81)	18.5	56.8	19.8	
40歳代 (93)	14.0	75.3	8.6	
50歳代 (85)	18.8	67.1	10.6	
60歳代 (122)	16.4	58.2	9.0	16.4
70歳代 (77)	14.3	48.1	10.4	27.3
80歳代以上 (43)	7.0	39.5	2.3	51.2



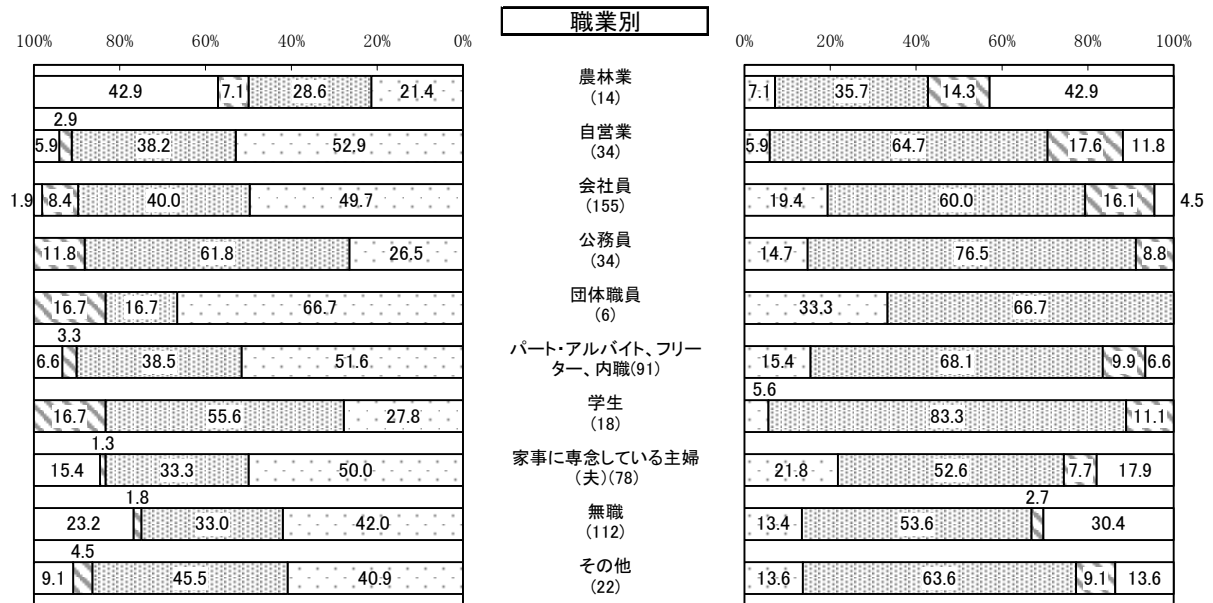
家族構成別

ひとり暮らし (37)	8.1	54.1	10.8	27.0
夫婦のみ (120)	17.5	48.3	10.8	23.3
2世代が同居(親と子) (285)	16.1	65.3	11.6	7.0
3世代が同居(親と子と孫) (97)	13.4	68.0	7.2	11.3
その他 (24)	33.3	41.7	8.3	16.7



職業別でみると、自営業、パート・アルバイト、フリーター、内職で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、家事に専念している主婦（夫）で「満足」が他に比べて高く、2割を超えています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「低所得者向けの住宅は必要だと思います。」など事業を評価している意見が3件、「維持管理費が高額すぎる。」など事業を評価していない意見が11件、「もう少し部屋数を増やしてほしい。」など今後の事業の課題についての意見が35件となっています。

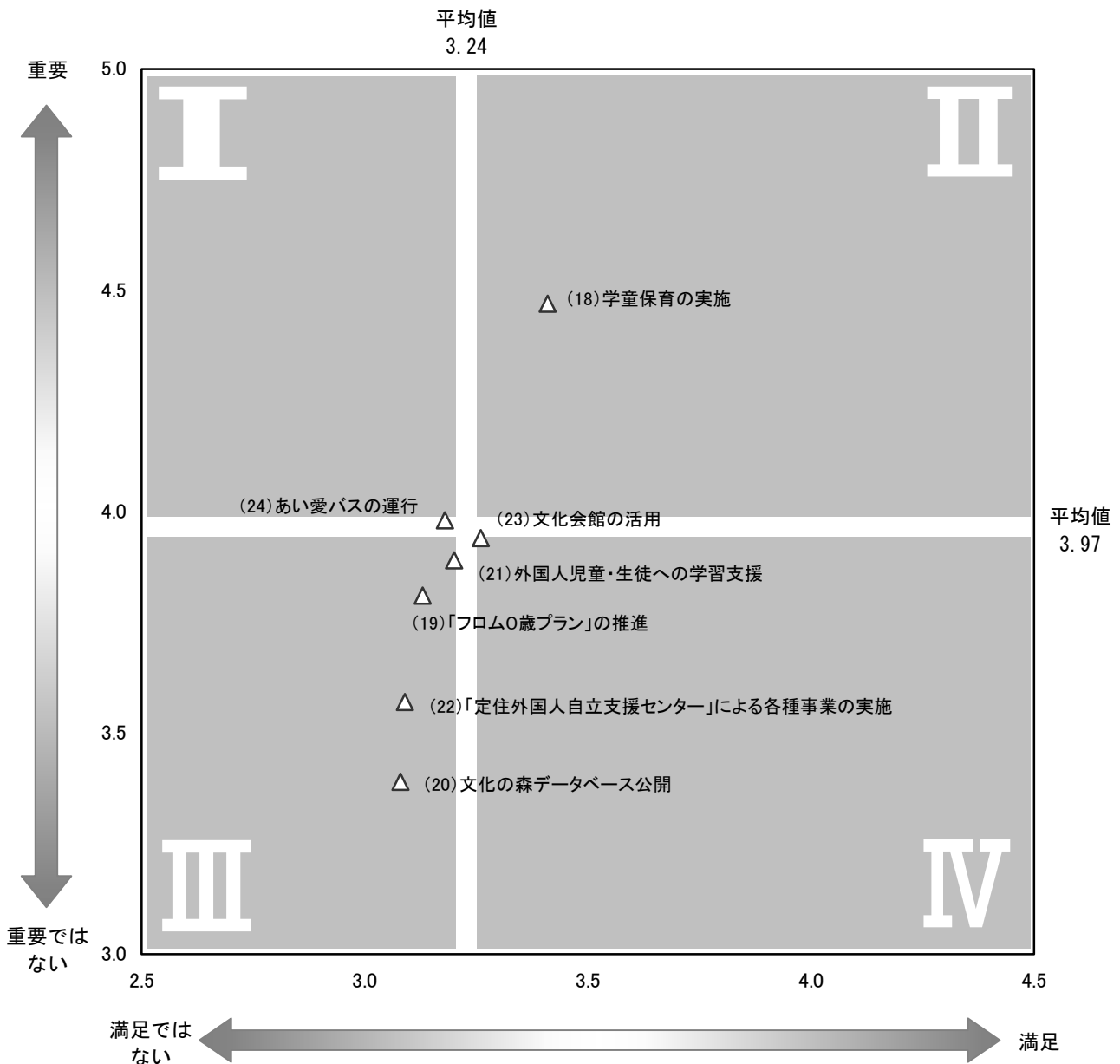
2. - 4 快適でこちよく定住できるまち

『(24) あい愛バスの運行』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

『(18) 学童保育の実施』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(19) 「フロム0歳プラン」の推進』、『(20) 文化の森データベース公開』、『(21) 外国人児童・生徒への学習支援』、『(22) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(23) 文化会館の活用』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(18) 学童保育の実施

(教育総務課)

調査項目：学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、放課後や長期休暇中などに保護者に代わって保育を行っています。24年度は、夏休みのみ4年生まで学童保育を拡張しました。(保育料は、月～金曜日利用の場合、月5,000円)

重要度については「重要」の割合が71.6%、「どちらともいえない」の割合が16.6%、「重要ではない」の割合が2.9%となっています。

満足度については「満足」の割合が31.7%、「どちらともいえない」の割合が46.5%、「満足ではない」の割合が9.2%となっています。

居住地区別でみると、太田で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

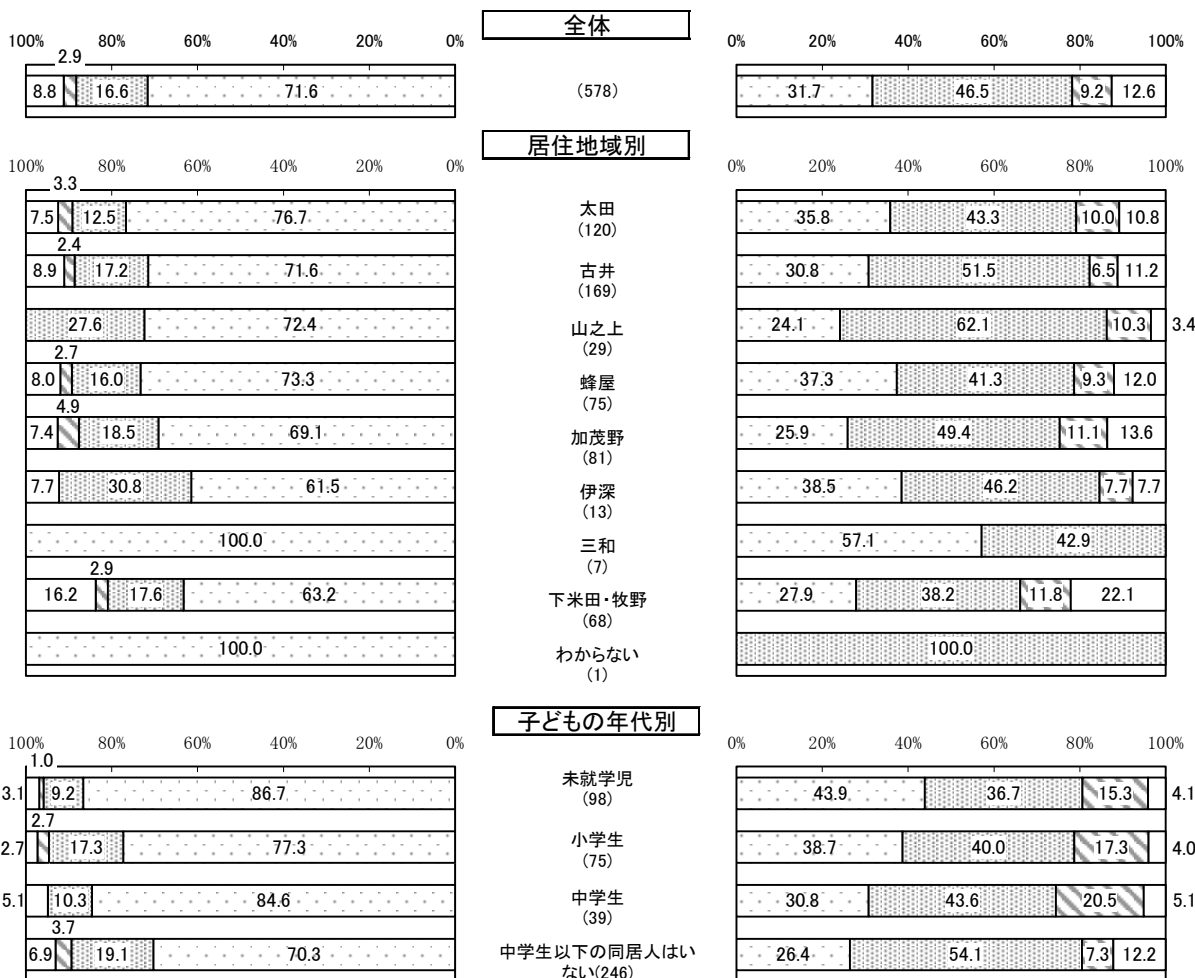
子どもの年代別でみると、未就学児、中学生で「重要」の割合が高く、8割を超えています。また、子どもの年代が低いほど「満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「子どもが小学生になったら利用してみたいので、ぜひ続けていただきたいです。」など事業を評価している意見が14件、「本来、保育育児は保護者が行うべきものである。」など事業を評価していない意見が8件、「6年生までにしてもよいのでは。」など今後の事業の課題についての意見が30件となっています。



(19)「フロム0歳プラン」の推進

(学校教育課)

調査項目：教育委員会では、幼稚園・保育園、小中学校、高等学校の連携と積み上げを大切にした『ロングスパン教育』、地域ぐるみで子どもを育てる『面による指導』、生きてはたらく学力を身に付ける『授業改革』を柱とした「フロム0歳プラン」を進めています。

重要度については「重要」の割合が46.0%、「どちらともいえない」の割合が37.7%、「重要ではない」の割合が6.4%となっています。

満足度については「満足」の割合が19.7%、「どちらともいえない」の割合が57.6%、「満足ではない」の割合が9.5%となっています。

性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。また、満足度では大きな差異はみられません。

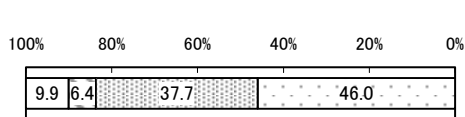
居住地区別でみると、蜂屋、伊深で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

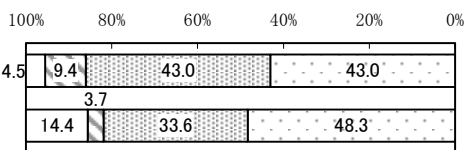
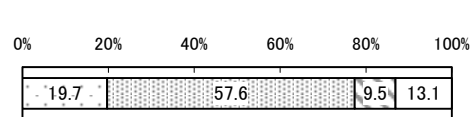
【満足度】

□無回答 □重要ではない □どちらともいえない □重要

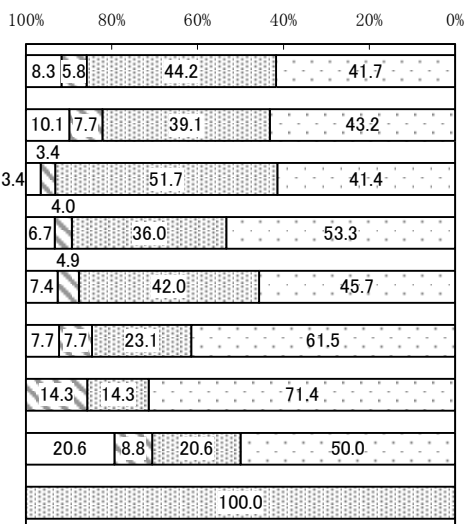
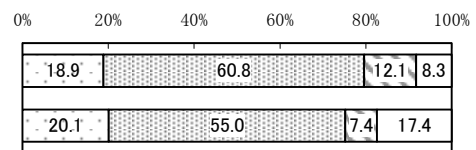
□満足 □どちらともいえない □満足ではない □無回答



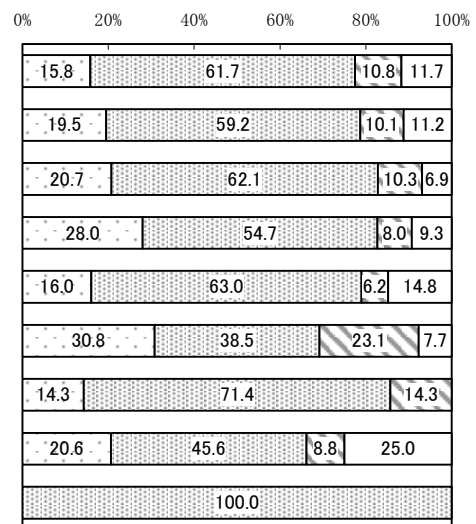
全体  
(578)



性別  
男性 (265)  
女性 (298)

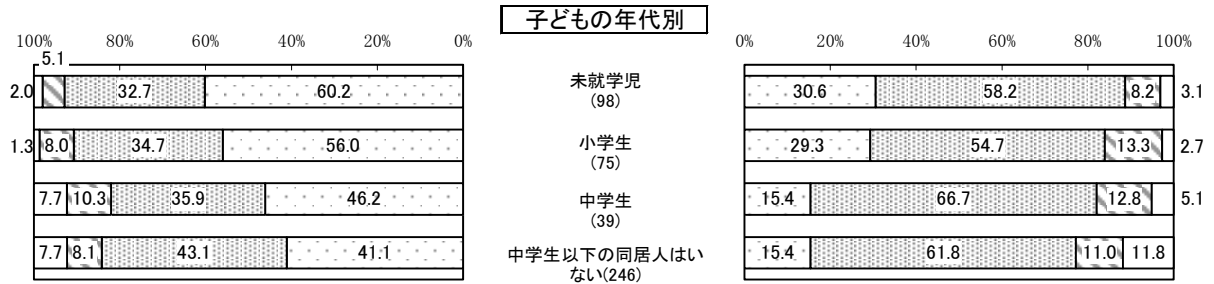


居住地域別  
太田 (120)  
古井 (169)  
山之上 (29)  
蜂屋 (75)  
加茂野 (81)  
伊深 (13)  
三和 (7)  
下米田・牧野 (68)  
わからない (1)



子どもの年代別でみると、子どもの年代が低いほど「重要」「満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「とても重要なこと。」など事業を評価している意見が 5 件、「何をしているのか、よくわからない。」など事業を評価していない意見が 10 件、「子どもの心のケアも大事である。」など今後の事業の課題についての意見が 8 件となっています。

(20) 文化の森データベース公開

(文化振興課)

調査項目：文化の森で開催する展覧会やコンサートなどの催しから所蔵する美術品、歴史、民俗、図書などのデータベースをホームページで公開しています。

重要度については「重要」の割合が 31.3%、「どちらともいえない」の割合が 48.8%、「重要ではない」の割合が 9.3%となっています。

満足度については「満足」の割合が 18.0%、「どちらともいえない」の割合が 58.5%、「満足ではない」の割合が 9.7%となっています。

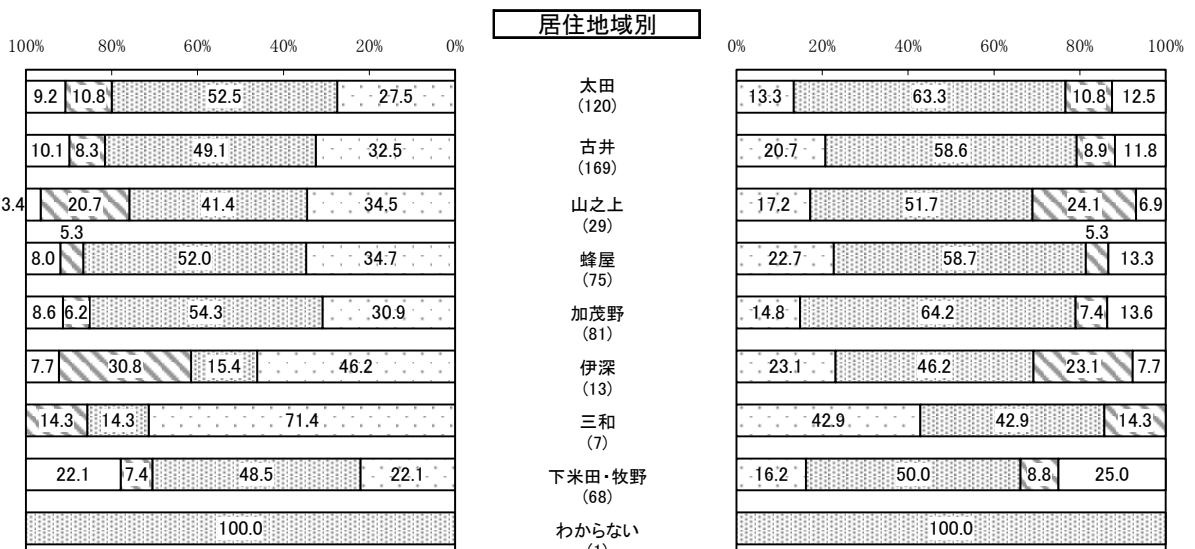
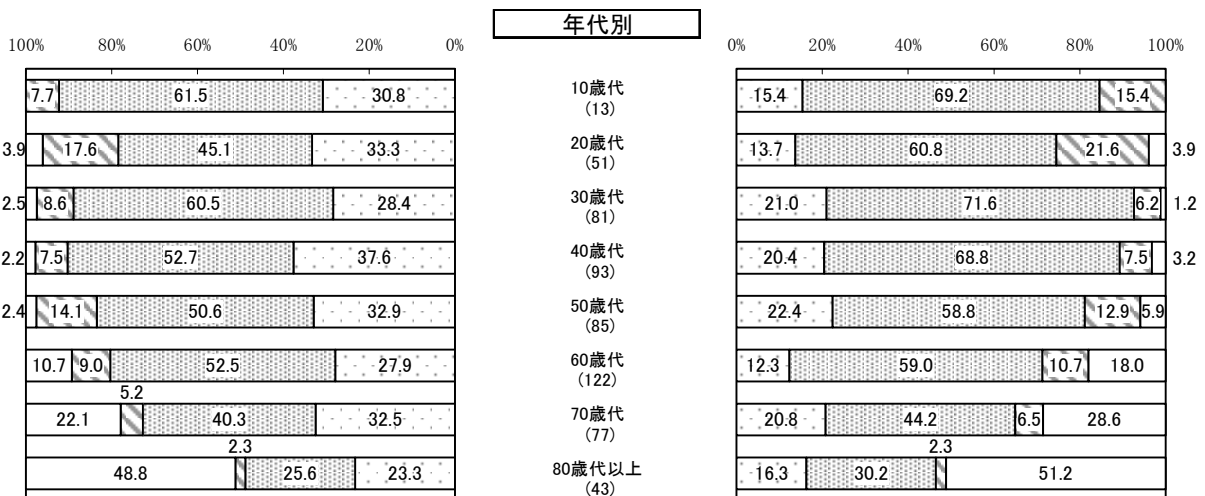
年代別でみると、40歳代で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、満足度では大きな差異はみられません。

居住地区別でみると、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、4割を超えています。また、伊深で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

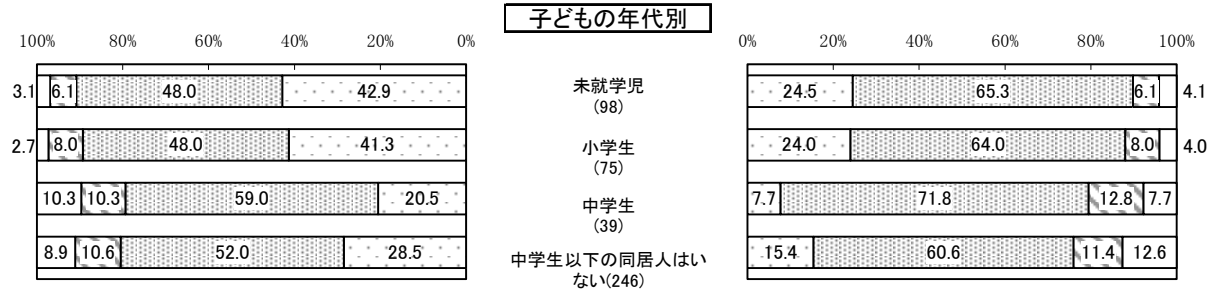
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



子どもの年代別で見ると、未就学児、小学生で「重要」の割合が他に比べて高く、約4割と  
なっています。また、未就学児、小学生で「満足」の割合が他に比べて高く、2割を超えてい  
ます。

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「市のPRになるだろうし、よいことだと思います。」など事業を評価している意見が8件、「なんでもインターネット。いかななものかと思う。」など事業を評価していない意見が15件、「活用方法をもっと広めたらよい。特に学生や生涯学習向けに。」など今後の事業の課題についての意見が14件となっています。

(21) 外国人児童・生徒への学習支援

(地域振興課)

調査項目：小中学校に通学している外国人児童・生徒の就学意欲を維持するため、放課後に日本語学習や家庭学習を支援しています。(外国人児童・生徒1人が支援教室に1回参加するにつき、およそ534円を市が負担しています。)

重要度については「重要」の割合が48.8%、「どちらともいえない」の割合が36.5%、「重要ではない」の割合が5.5%となっています。

満足度については「満足」の割合が18.2%、「どちらともいえない」の割合が62.1%、「満足ではない」の割合が6.4%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

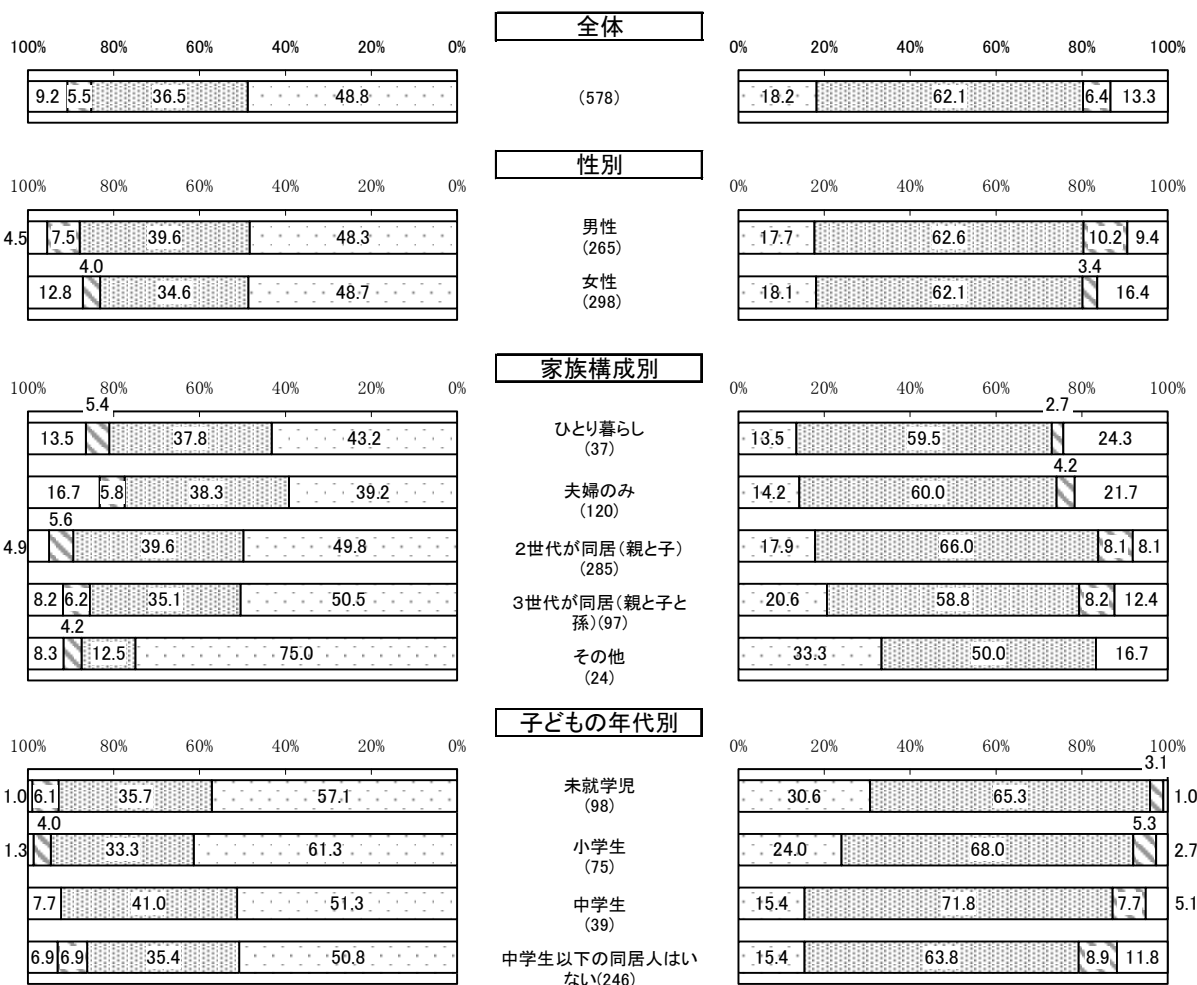
子どもの年代別でみると、未就学児、小学生で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、子どもの年代が低いほど「満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「学ぶ方も教える方も大変ですががんばってほしいです。」など事業を評価している意見が11件、「参加人数が少なすぎる。」など事業を評価していない意見が8件、「日本語だけでなく、日本の文化や風習なども、もっと教えたらどうか。」など今後の事業の課題についての意見が13件となっています。

(22) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施

(地域振興課)

調査項目：在住外国人の生活基盤の支援や社会参加を促進するため、「定住外国人自立支援センター」を21年7月に整備し、外国人の生活相談や就労支援、就業促進など各種事業を行っています。

重要度については「重要」の割合が37.9%、「どちらともいえない」の割合が43.9%、「重要ではない」の割合が8.1%となっています。

満足度については「満足」の割合が13.7%、「どちらともいえない」の割合が65.9%、「満足ではない」の割合が6.6%となっています。

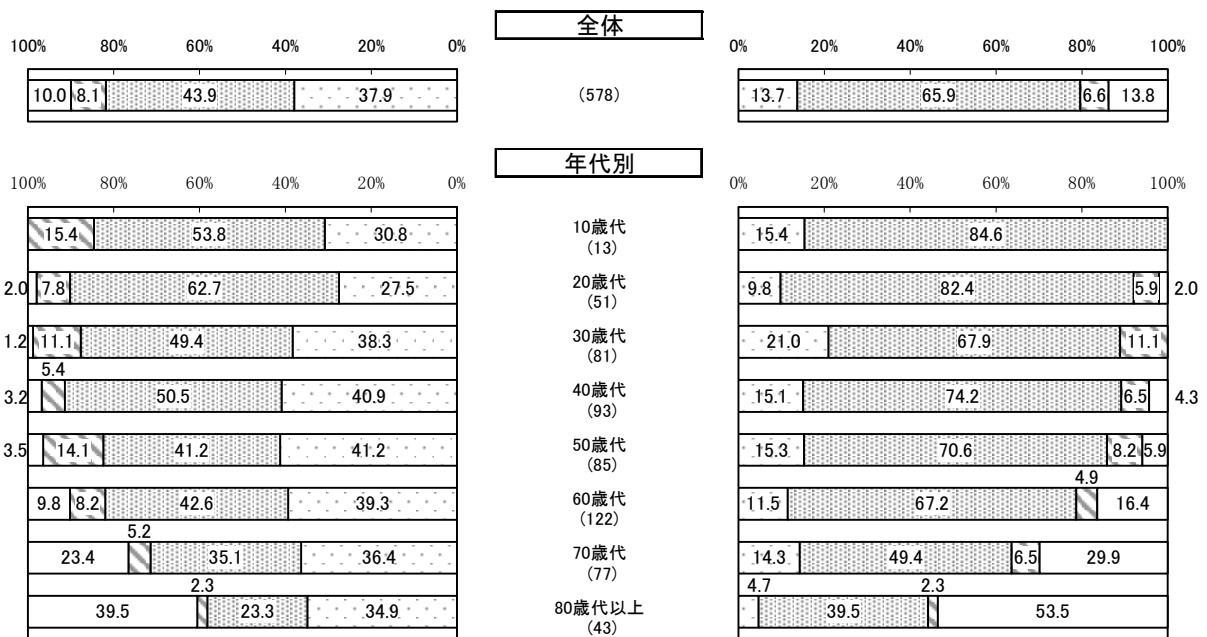
年代別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、30歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「今後も続けるべきである。」など事業を評価している意見が8件、「私たち日本人も働く所を支援してほしいくらいです。」など事業を評価していない意見が12件、「ハローワークと強い連携で実施してほしい。」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(23) 文化会館の活用

(生涯学習課)

調査項目：文化会館は、音楽をはじめ文化芸術活動を身近に感じてもらえる施設として、ホール（800人収容）をはじめ、練習室や展示室などでコンサートや各種団体の活動などに利用されています。

重要度については「重要」の割合が 50.0%、「どちらともいえない」の割合が 36.3%、「重要ではない」の割合が 4.7%となっています。

満足度については「満足」の割合が 25.6%、「どちらともいえない」の割合が 52.1%、「満足ではない」の割合が 9.5%となっています。

性別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

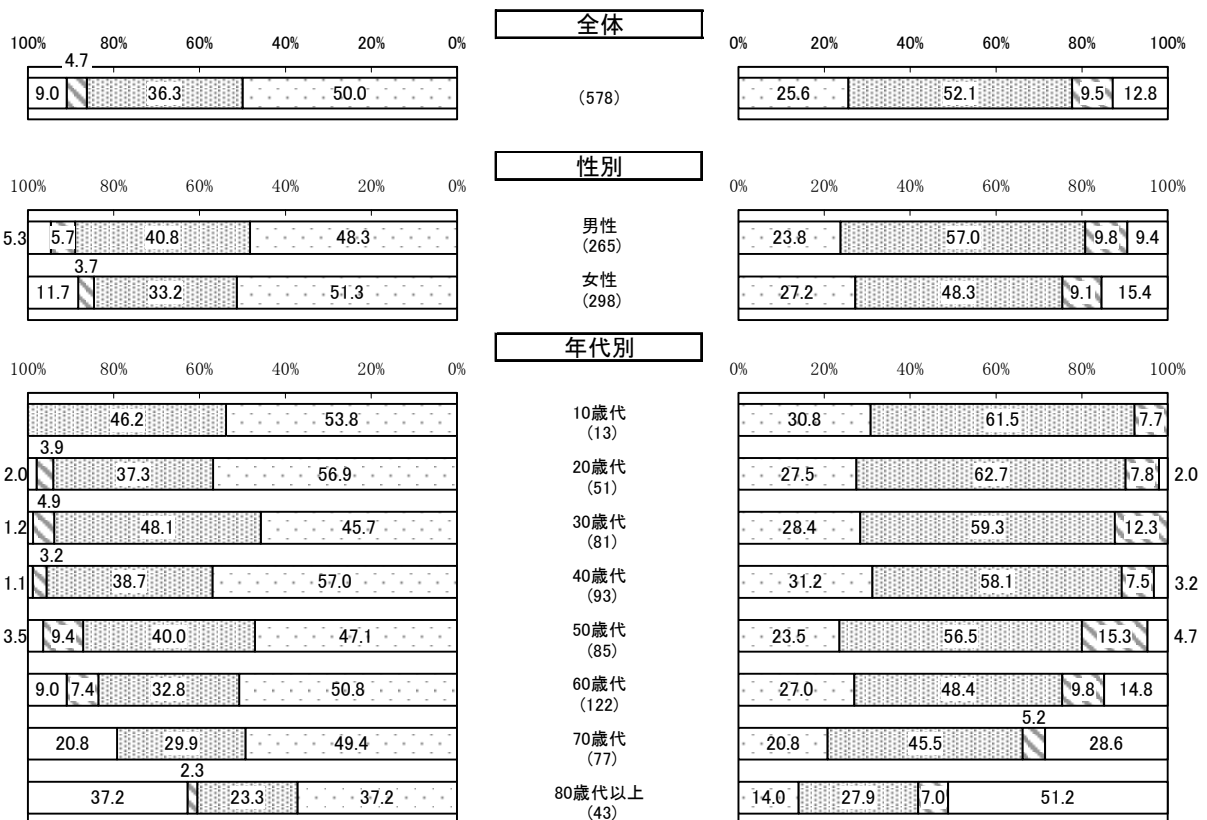
年代別でみると、20歳代、40歳代で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、10歳代、40歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

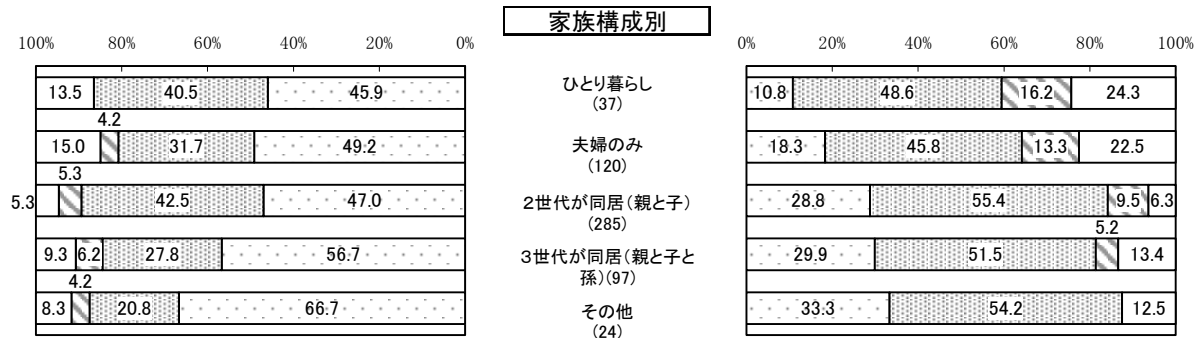
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



家族構成別でみると、3世代が同居（親と子と孫）で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、ひとり暮らし、夫婦のみで「満足」の割合が他に比べて低く、2割以下となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「関心のある人にはよいと思う。」など事業を評価している意見が 4 件、「魅力的な催しが少ない。」など事業を評価していない意見が 13 件、「多くの市民に利用してもらえる努力を。」など今後の事業の課題についての意見が 30 件となっています。



(24) あい愛バスの運行

(地域振興課)

調査項目：昨年5月から通院やお買い物にご利用いただける2台のあい愛バスが富加町へも乗入れを始めました。またアピタへも行けるように古井地区はタクシー車両を活用した予約制の運行を始めました。

重要度については「重要」の割合が52.6%、「どちらともいえない」の割合が32.0%、「重要ではない」の割合が5.5%となっています。

満足度については「満足」の割合が23.7%、「どちらともいえない」の割合が52.2%、「満足ではない」の割合が10.6%となっています。

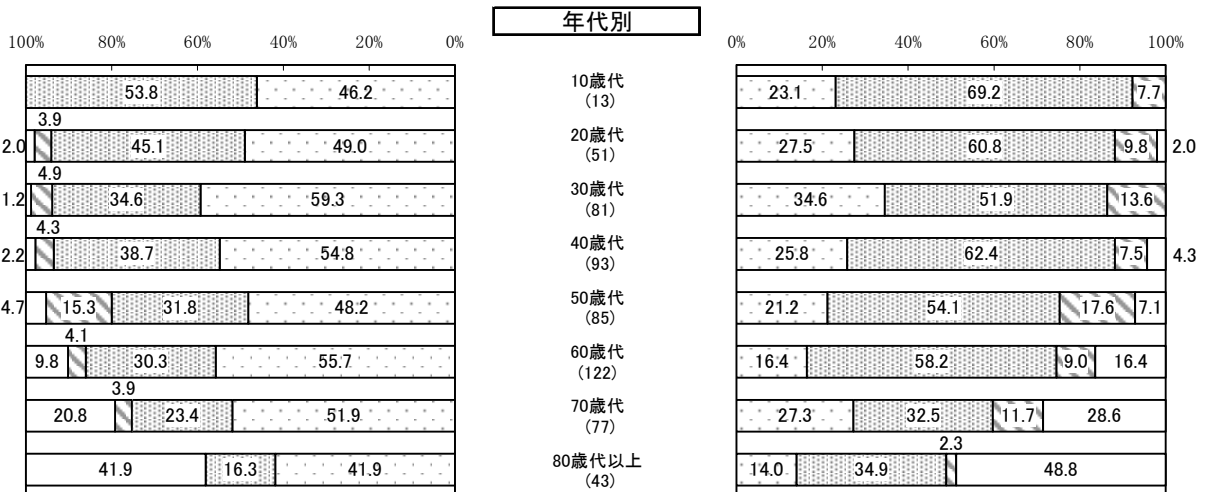
年代別でみると、30歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。また、30歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

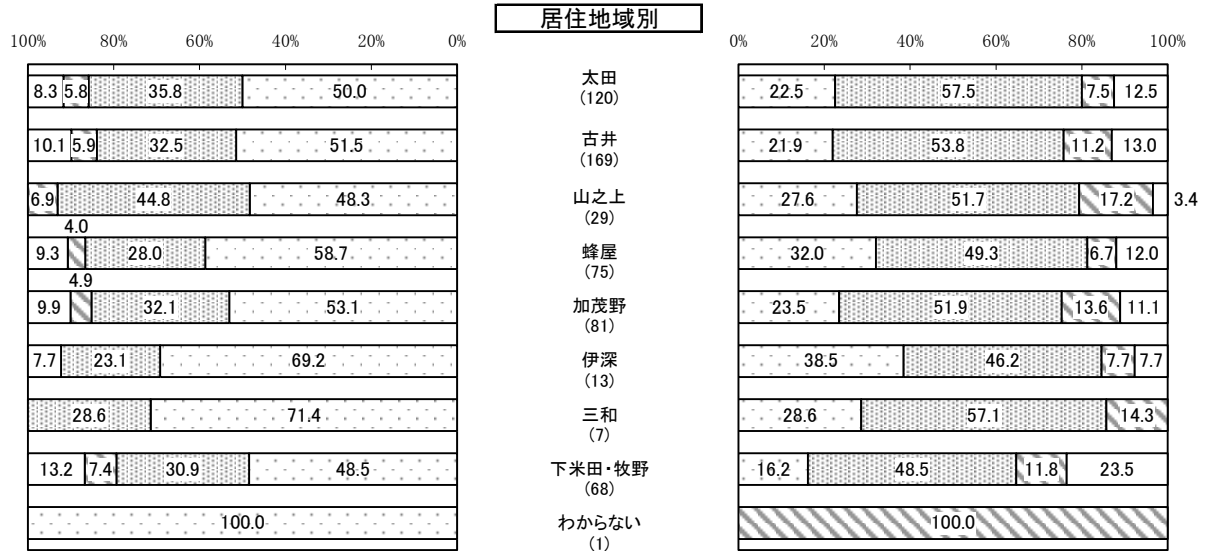
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、蜂屋、伊深で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



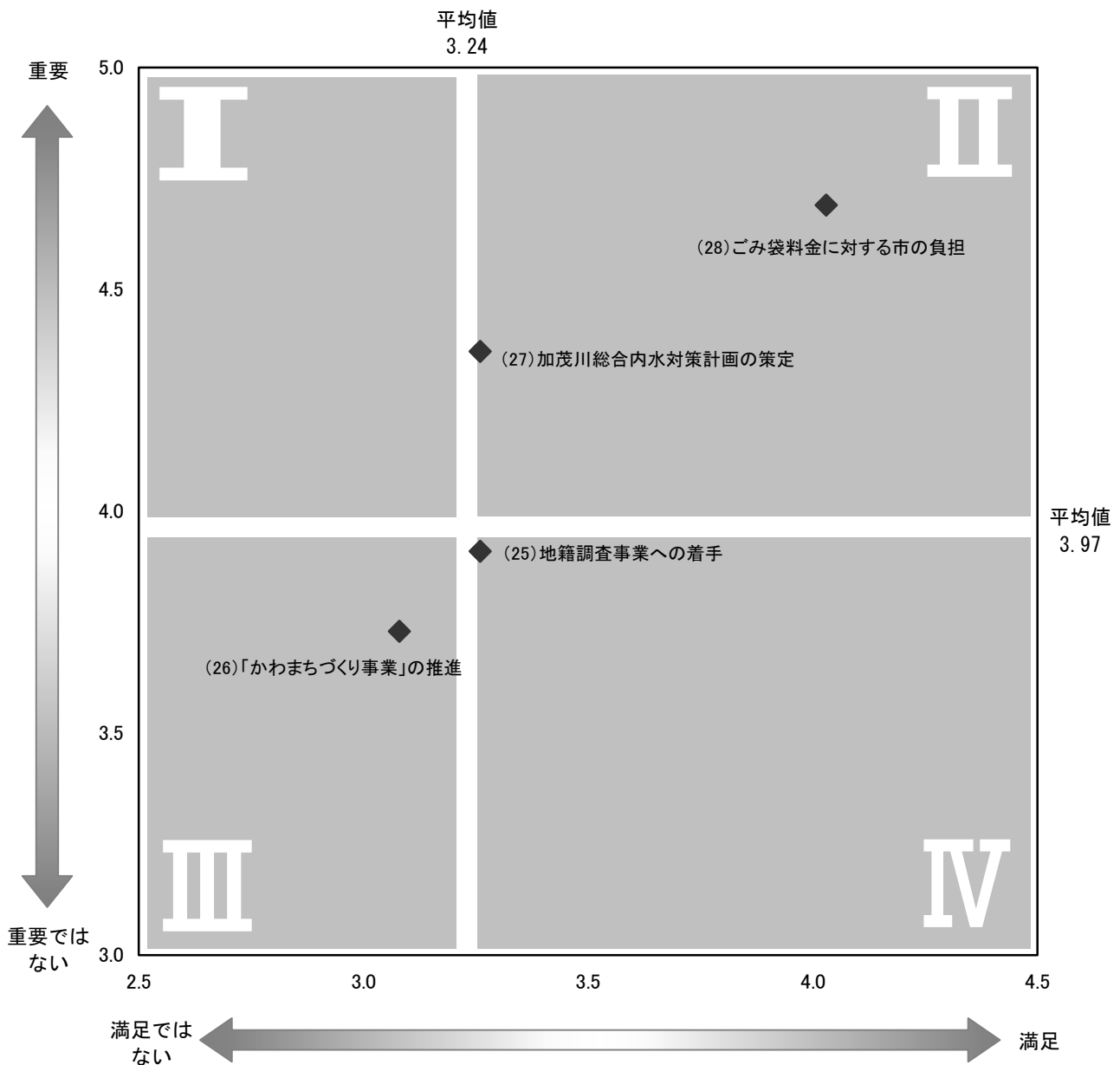
皆さんからの意見では、「古井地区の予約制（タクシー）は素晴らしいです。」など事業を評価している意見が7件、「利用者が減っているのに必要ですか。」など事業を評価していない意見が17件、「古井地区のデマンド方式を伊深、三和地区でも実施してほしい。」など今後の事業の課題についての意見が24件となっています。

## 2. - 5 美しい風景が残るまち

『(27) 加茂川総合内水対策計画の策定』、『(28) ごみ袋料金に対する市の負担』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『(26) 「かわまちづくり事業」の推進』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(25) 地籍調査事業への着手』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(25) 地籍調査事業への着手

(土木課)

調査項目：平成24年度より「国土調査法」に基づく地籍調査事業に着手しました。この事業では一筆ごとの土地について境界・所有者・地番・地目の調査及び境界の位置・面積の測量を行い、地図と簿冊を作成し、土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化に役立っています。

重要度については「重要」の割合が46.4%、「どちらともいえない」の割合が38.8%、「重要ではない」の割合が4.0%となっています。

満足度については「満足」の割合が20.4%、「どちらともいえない」の割合が58.8%、「満足ではない」の割合が6.2%となっています。

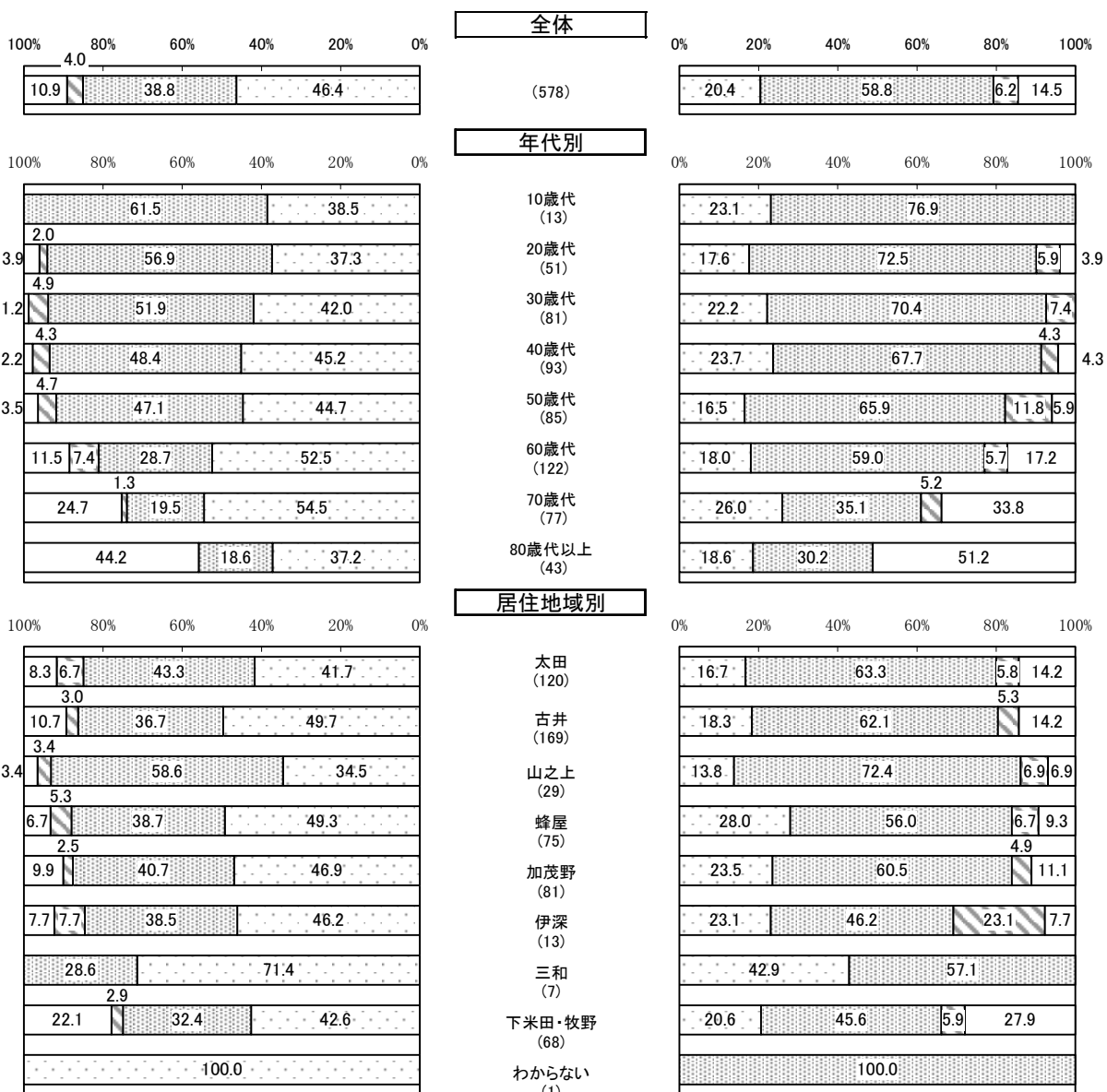
年代別でみると、60歳代、70歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、70歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

居住地域別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、蜂屋で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

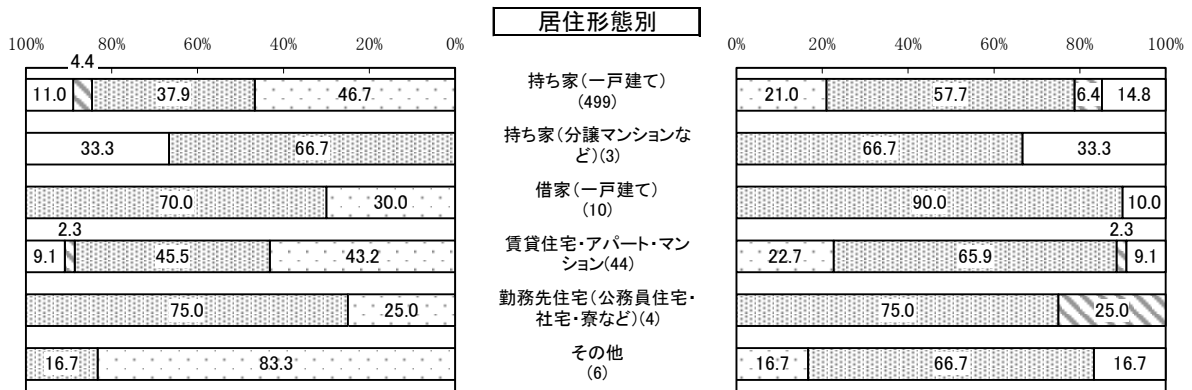
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



居住形態別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大事だと思う。」など事業を評価している意見が 2 件、「なぜ今ごろ。」など事業を評価していない意見が 1 件、「休耕地の管理をどうするか考えるべき。」など今後の事業の課題についての意見が 6 件となっています。

(26)「かわまちづくり事業」の推進

(土木課)

調査項目：木曾川の景観や観光資源を生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。

重要度については「重要」の割合が 44.5%、「どちらともいえない」の割合が 40.0%、「重要ではない」の割合が 7.4%となっています。

満足度については「満足」の割合が 18.5%、「どちらともいえない」の割合が 59.0%、「満足ではない」の割合が 10.0%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

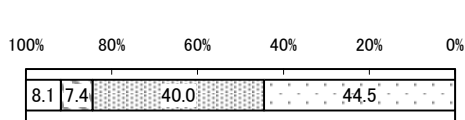
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、約5割となっています。また、20歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

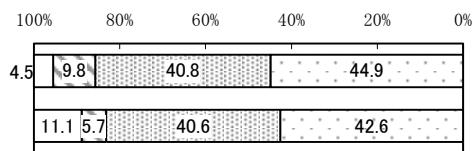
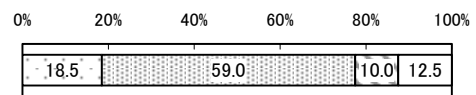
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

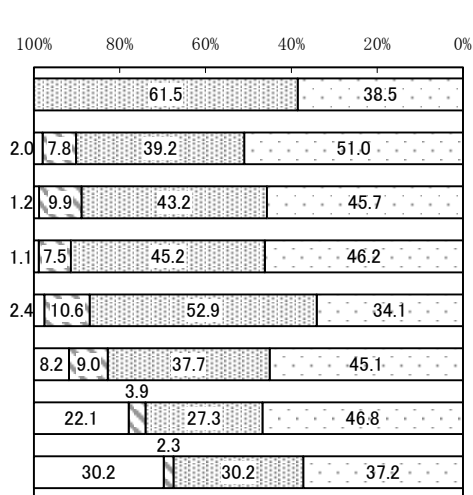
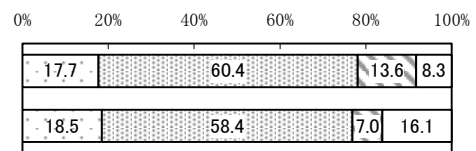
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



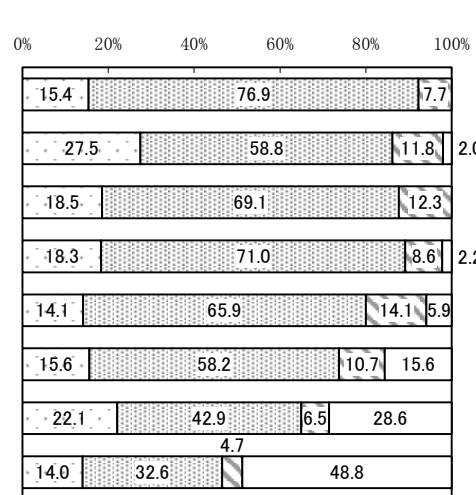
全体  
(578)



性別  
男性 (265)  
女性 (298)

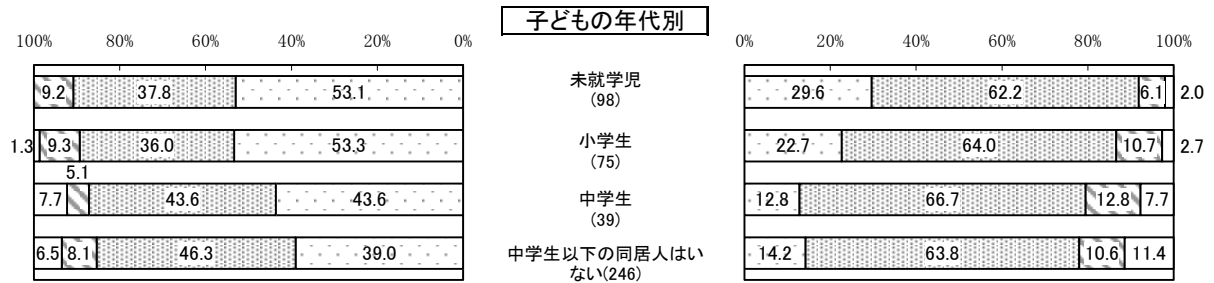


年代別  
10歳代 (13)  
20歳代 (51)  
30歳代 (81)  
40歳代 (93)  
50歳代 (85)  
60歳代 (122)  
70歳代 (77)  
80歳代以上 (43)



子どもの年代別で見ると、未就学児、小学生で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、未就学児で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「堤防の整備は必要。期待しています。」など事業を評価している意見が8件、「ライン下りがなくなってしまった以上、そこまでする必要があるのか。」など事業を評価していない意見が10件、「自然も残してほしい。」など今後の事業の課題についての意見が20件となっています。

(27) 加茂川総合内水対策計画の策定

(都市計画課)

調査項目：平成22年7月と23年9月の豪雨により、2年連続して加茂川下流域で甚大な浸水被害が発生しました。浸水被害を軽減することを目的に、国、県、市、坂祝町と、地域住民からなる対策協議会を立ち上げ、各種ハード事業とソフト対策からなる加茂川総合内水対策計画を策定しています。

重要度については「重要」の割合が65.1%、「どちらともいえない」の割合が23.9%、「重要ではない」の割合が2.1%となっています。

満足度については「満足」の割合が23.4%、「どちらともいえない」の割合が55.5%、「満足ではない」の割合が8.1%となっています。

居住地域別でみると、太田、蜂屋で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、満足度では大きな差異はみられません。

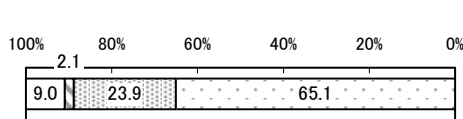
居住年数別でみると、5年以上10年未満、1年未満で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。また、10年未満で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

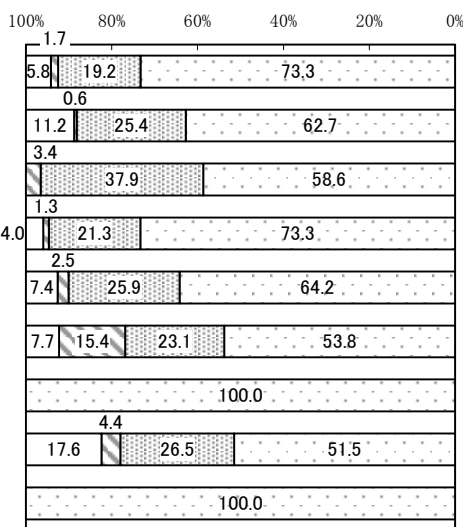
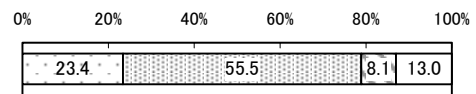
□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



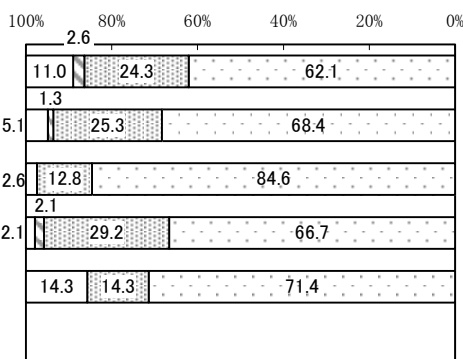
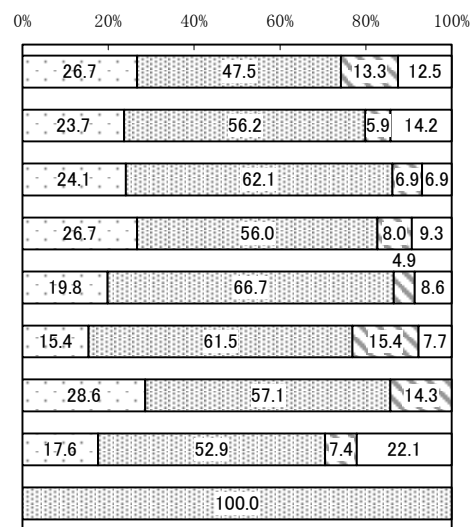
全体

(578)



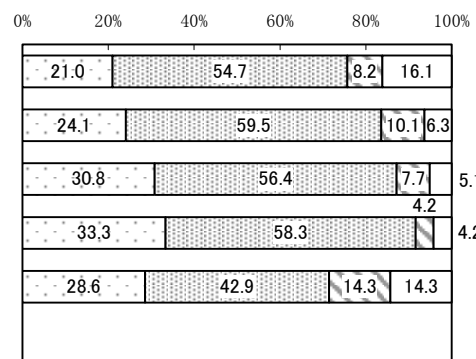
居住地域別

太田 (120)  
古井 (169)  
山之上 (29)  
蜂屋 (75)  
加茂野 (81)  
伊深 (13)  
三和 (7)  
下米田・牧野 (68)  
わからない (1)



居住年数別

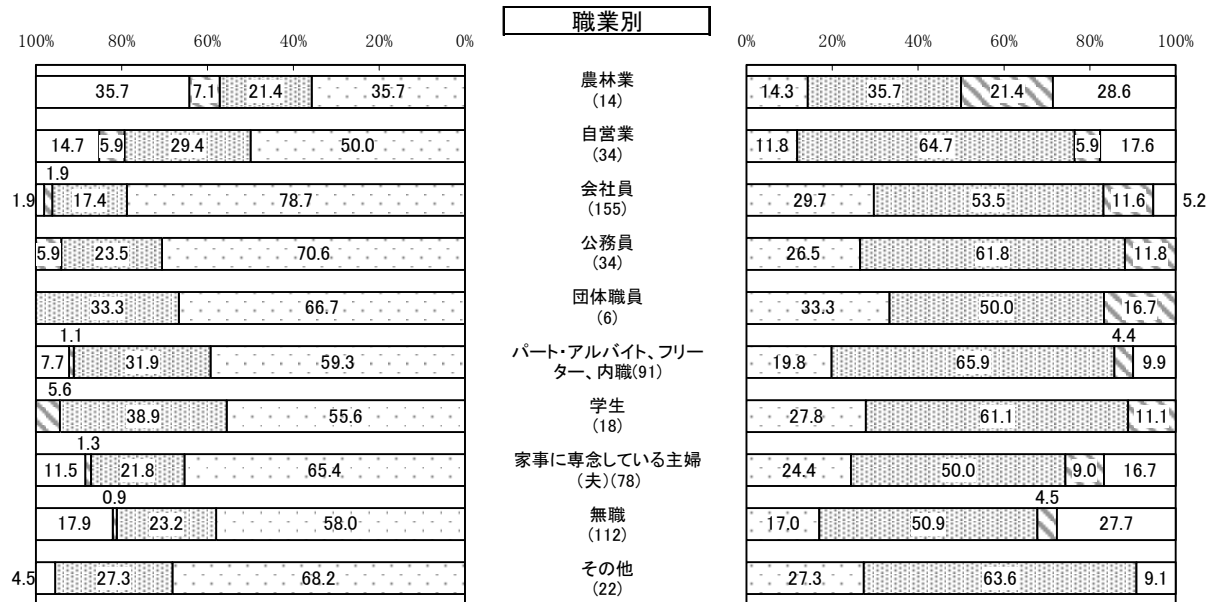
20年以上 (391)  
10年以上20年未満 (79)  
5年以上10年未満 (39)  
1年以上5年未満 (48)  
1年未満 (7)  
わからない (0)





職業別でみると、会社員、公務員で「重要」の割合が他に比べて高く、7割を超えています。  
また、会社員で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「市民が安心して生活できるよう力を入れていますので。」など事業を評価している意見が 5 件、「対策は非常に難しいと思います、また金もかかると思う。」など事業を評価していない意見が 4 件、「とりかかりが遅い。」など今後の事業の課題についての意見が 15 件となっています。

(28) ごみ袋料金に対する市の負担

(環境課)

調査項目：家庭から出る可燃ごみ1袋（6kg）の処理費用は、417円です。そのうちみなさんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り387円は市が負担しています。

（ごみ袋1枚の金額：可児市＝30円、関市＝60円、富加町＝50円、川辺町＝75円、八百津町＝100円、東白川村＝155円）

重要度については「重要」の割合が78.9%、「どちらともいえない」の割合が11.9%、「重要ではない」の割合が0.9%となっています。

満足度については「満足」の割合が55.0%、「どちらともいえない」の割合が27.5%、「満足ではない」の割合が6.2%となっています。

年代別でみると、10歳代、30歳代、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、40歳代、70歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約6割となっています。

【重要度】

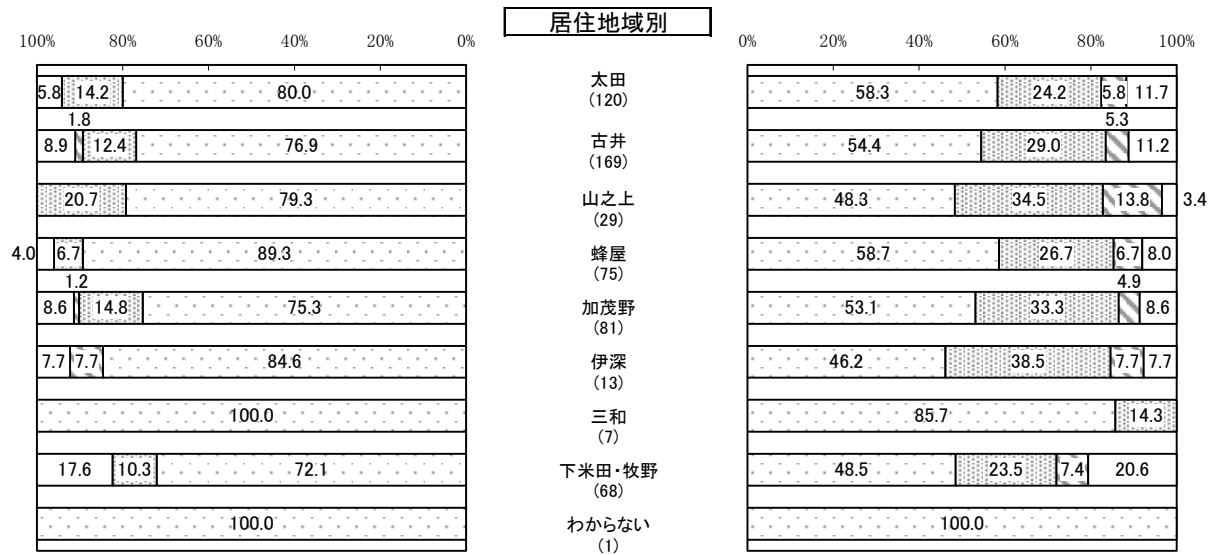
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



居住地域別でみると、蜂屋、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、8割を超えています。また、山之上、伊深、下米田・牧野で「満足」の割合が他に比べて低く、5割以下となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

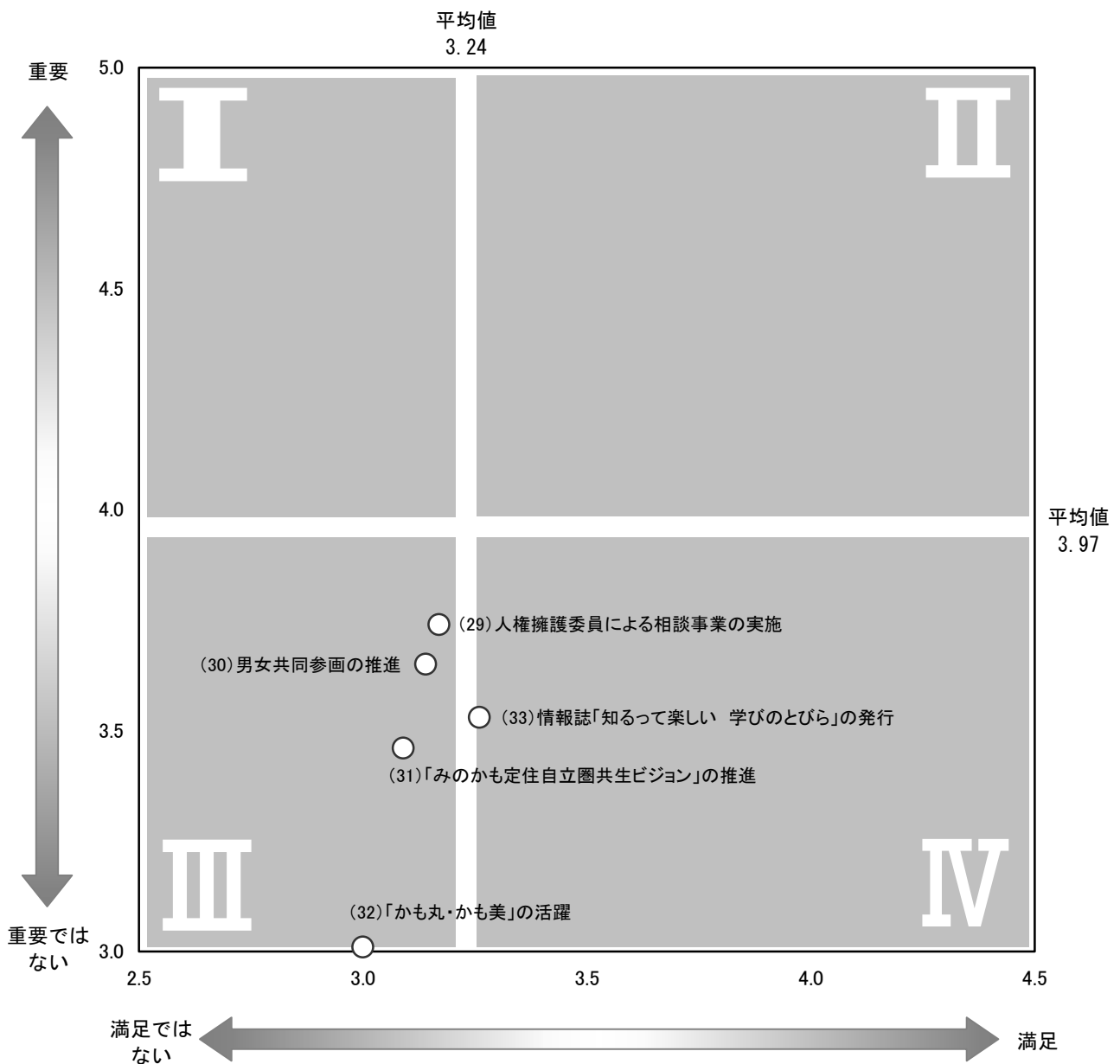


皆さんからの意見では、「市の方でかなり負担していただいて感謝しています。」など事業を評価している意見が12件、「ゴミ袋の代金が高いと思います」など事業を評価していない意見が12件、「もう少しゴミ袋代を上げて良いのでは。」など今後の事業の課題についての意見が51件となっています。

## 2. - 6 市役所の経営方針

『(29) 人権擁護委員による相談事業の実施』、『(30) 男女共同参画の推進』、『(31) 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進』、『(32) 「かも丸・かも美」の活躍』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、重要度および満足度が低い理由について検証が必要なタイプⅢに分布しています。

『(33) 情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプⅣに分布しています。



(29) 人権擁護委員による相談事業の実施

(地域振興課)

調査項目：人権が尊重され、差別や偏見のない社会を実現するため、イベントでの啓発活動や人権啓発講演会を開催するとともに、人権擁護委員による相談事業を行いました。

重要度については「重要」の割合が 44.3%、「どちらともいえない」の割合が 38.8%、「重要ではない」の割合が 7.3%となっています。

満足度については「満足」の割合が 18.9%、「どちらともいえない」の割合が 60.4%、「満足ではない」の割合が 7.8%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足」の割合が女性に比べて高くなっています。

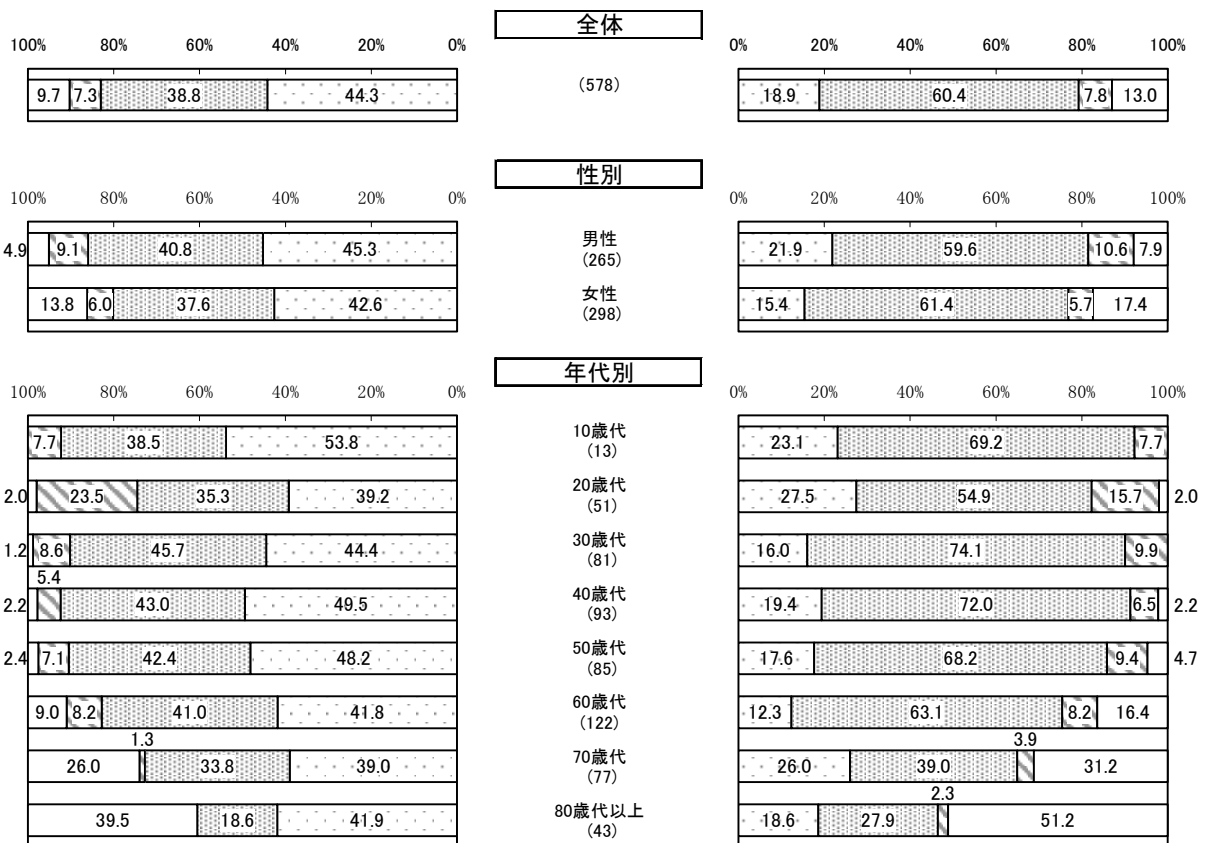
年代別でみると、10 歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5 割を超えています。また、20 歳代、70 歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「成果が出てくるまで継続してもらいたい。」など事業を評価している意見が 3 件、「そこまでお金をかけて市としてやるものではない。」など事業を評価していない意見が 12 件、「小中学生の啓蒙が何より大切かと思えます。」など今後の事業の課題についての意見が 8 件となっています。

(30) 男女共同参画の推進

(地域振興課)

調査項目：男女がお互いに尊重し、性別に関わりなく個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、男女共同参画事業を推進しています。24年度は、男女共同参画推進委員会による「第二次みのかも男女共同参画基本計画」の進捗状況の審査と市への提言や図書館での関連図書展示による啓発活動などを行いました。

重要度については「重要」の割合が41.0%、「どちらともいえない」の割合が41.9%、「重要ではない」の割合が7.6%となっています。

満足度については「満足」の割合が18.5%、「どちらともいえない」の割合が59.9%、「満足ではない」の割合が8.3%となっています。

性別でみると、重要度では大きな差異はみられません。また、男性で「満足」の割合が女性に比べて高くなっています。

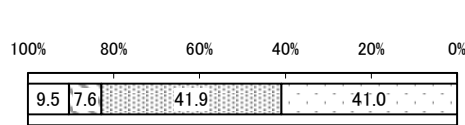
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が他に比べて高く、5割を超えています。また、10歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

【重要度】

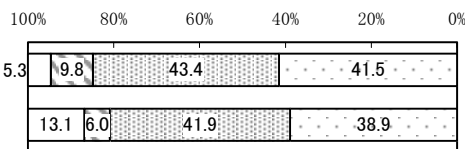
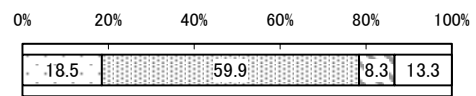
【満足度】

□ 無回答 ■ 重要ではない ▨ どちらともいえない □ 重要

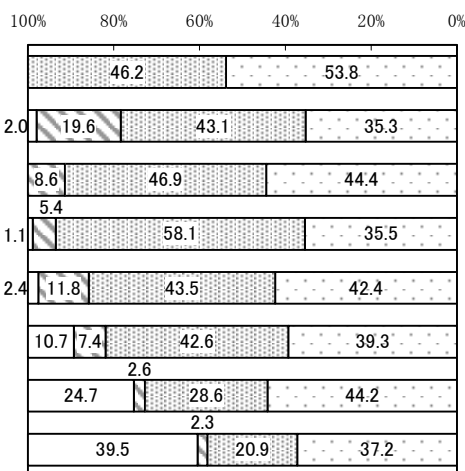
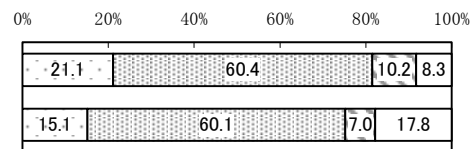
□ 満足 ▨ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



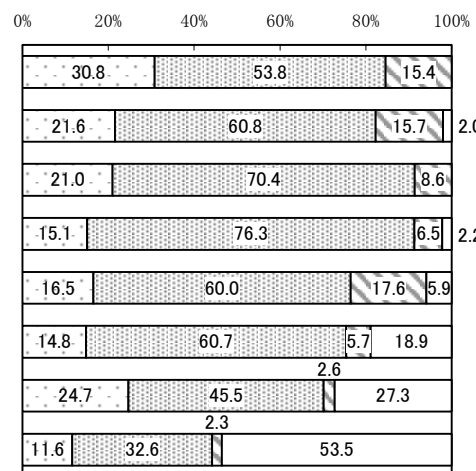
全体  
(578)



性別  
男性 (265)  
女性 (298)

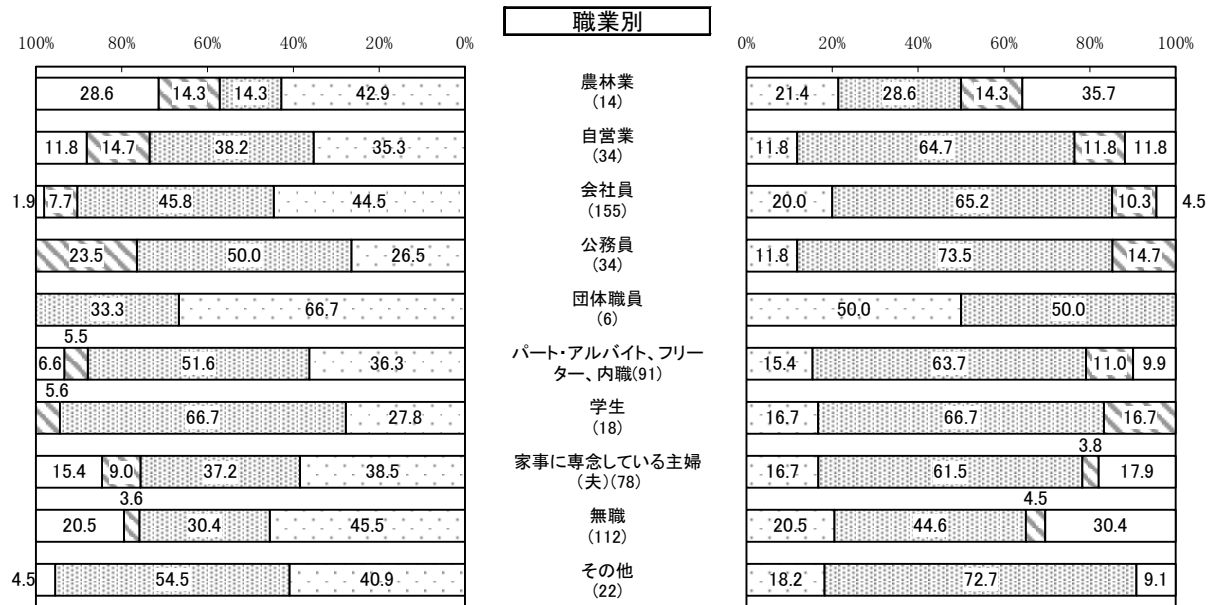


年代別  
10歳代 (13)  
20歳代 (51)  
30歳代 (81)  
40歳代 (93)  
50歳代 (85)  
60歳代 (122)  
70歳代 (77)  
80歳代以上 (43)



職業別でみると、公務員で「重要ではない」の割合が他に比べて高く、2割を超えています。  
また、自営業、公務員で「満足」の割合が他に比べて低く、約1割となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「よい。」など事業を評価している意見が2件、「わかりづらい。」など事業を評価していない意見が9件、「見てほしい人に限って、見ないものだと思う。」など今後の事業の課題についての意見が5件となっています。

(31) 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進

(地域振興課)

調査項目：美濃加茂市と加茂郡町村は平成22年に「みのかも定住自立圏共生ビジョン」をつくり47事業に取り組むこととしています。専用HPには、それぞれの事業の取り組み状況を掲載しています。

重要度については「重要」の割合が31.7%、「どちらともいえない」の割合が49.7%、「重要ではない」の割合が7.6%となっています。

満足度については「満足」の割合が13.3%、「どちらともいえない」の割合が65.9%、「満足ではない」の割合が6.4%となっています。

性別でみると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足」の割合が女性に比べて高くなっています。

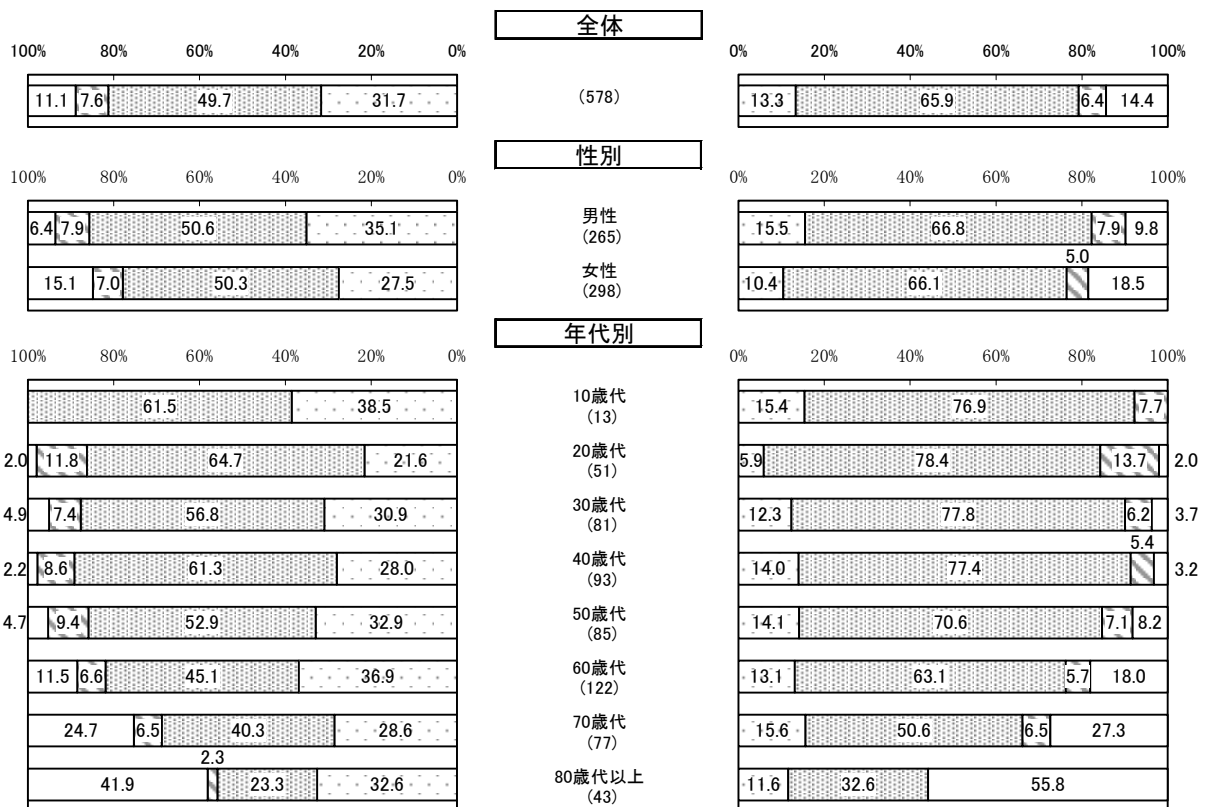
年代別でみると、10歳代、60歳代で「重要」の割合が他に比べて高くなっています。また、満足度では大きな差異はみられません。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

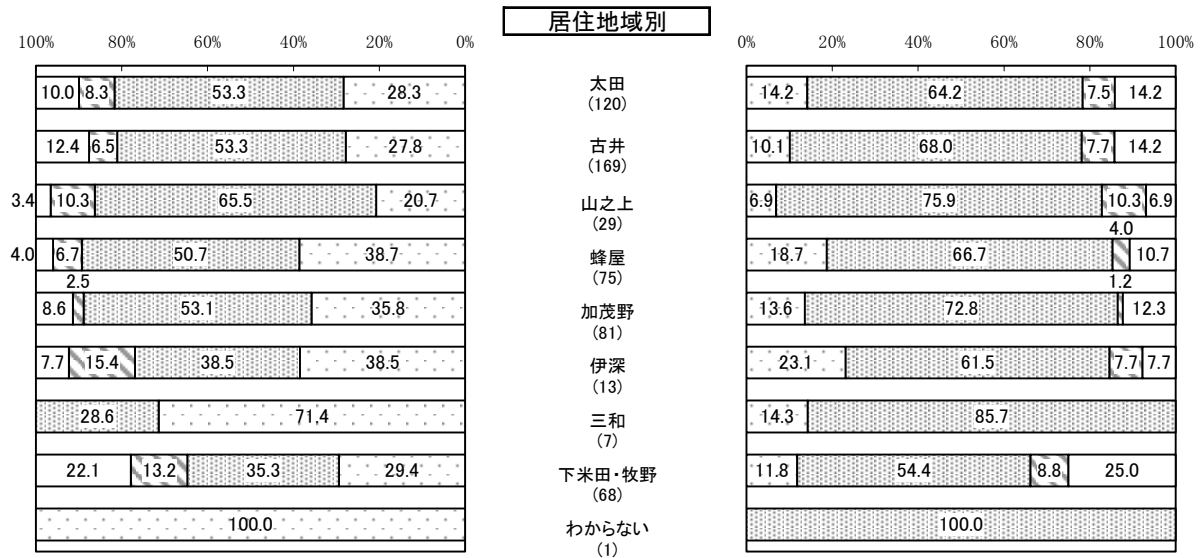
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答





居住地域別でみると、蜂屋、伊深で「重要」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。また、蜂屋、伊深で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「図書館の相互協力ができるようになったのがよいと思います」など事業を評価している意見が1件、「ホームページを見ない。」など事業を評価していない意見が12件、「市のホームページからの導線強化」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(32)「かも丸・かも美」の活躍

(地域振興課)

調査項目：みのかも定住自立圏マスコットキャラクター「かも丸・かも美」の着ぐるみが、住民のみなさんの活動や、市町村のイベントのPRなどに活躍しています。

重要度については「重要」の割合が 27.0%、「どちらともいえない」の割合が 45.5%、「重要ではない」の割合が 17.8%となっています。

満足度については「満足」の割合が 17.6%、「どちらともいえない」の割合が 56.9%、「満足ではない」の割合が 11.8%となっています。

性別でみると、男性で「重要ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、30歳代以下で「重要」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。また、30歳代で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

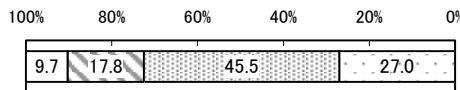
子どもの年代別でみると、未就学児、小学生で「重要」の割合が他に比べて高く、3割を超えています。また、子どもの年代が低いほど「満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

【重要度】

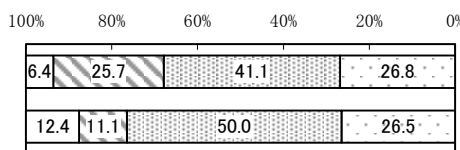
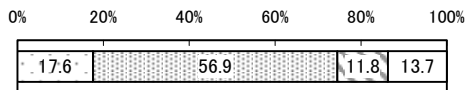
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

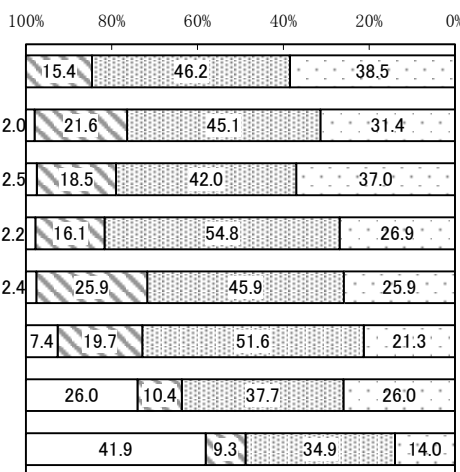
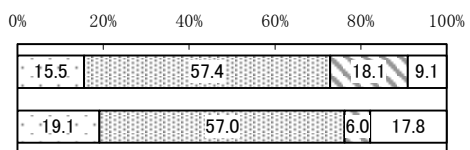
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



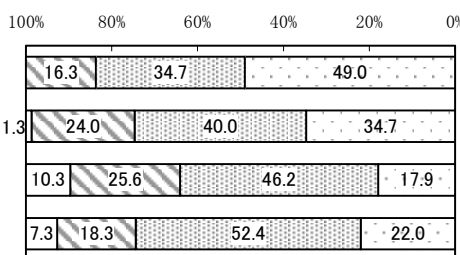
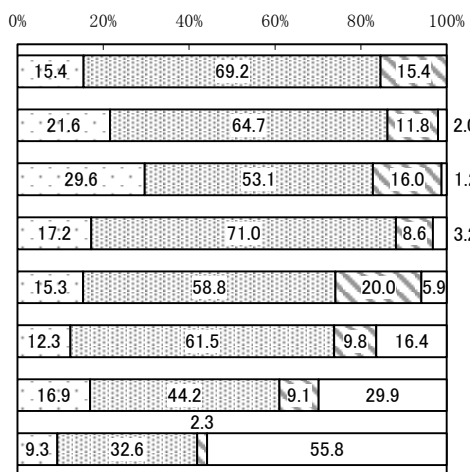
全体 (578)



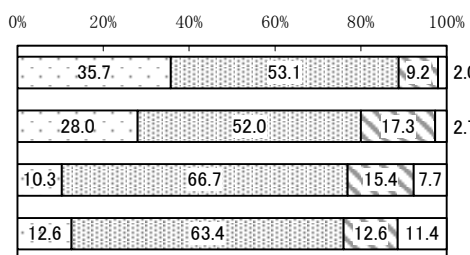
性別  
男性 (265)  
女性 (298)



年代別  
10歳代 (13)  
20歳代 (51)  
25歳代 (81)  
22歳代 (93)  
24歳代 (85)  
60歳代 (122)  
70歳代 (77)  
80歳代以上 (43)



子どもの年代別  
未就学児 (98)  
小学生 (75)  
中学生 (39)  
中学生以下の同居人はいない (246)



皆さんからの意見では、「愛嬌があってよい。」など事業を評価している意見が 16 件、「世間に流されず、美濃加茂らしさをもっと重視すべきです。」など事業を評価していない意見が 21 件、「せっかくやるなら、予算をもっとつけて思いきったことを。」など今後の事業の課題についての意見が 11 件となっています。

(33) 情報誌「知って楽しい 学びのとびら」の発行

(生涯学習課)

調査項目：市民の皆さんにいろいろな「学び」に触れていただくために、生涯学習講座を掲載した情報誌「知って楽しい 学びのとびら」を坂祝町と共同で年間2回発行し、生涯学習に関する情報を提供しています。

重要度については「重要」の割合が 35.6%、「どちらともいえない」の割合が 46.9%、「重要ではない」の割合が 7.8%となっています。

満足度については「満足」の割合が 20.8%、「どちらともいえない」の割合が 59.3%、「満足ではない」の割合が 6.4%となっています。

性別でみると、重要度・満足度ともに大きな差異はみられません。

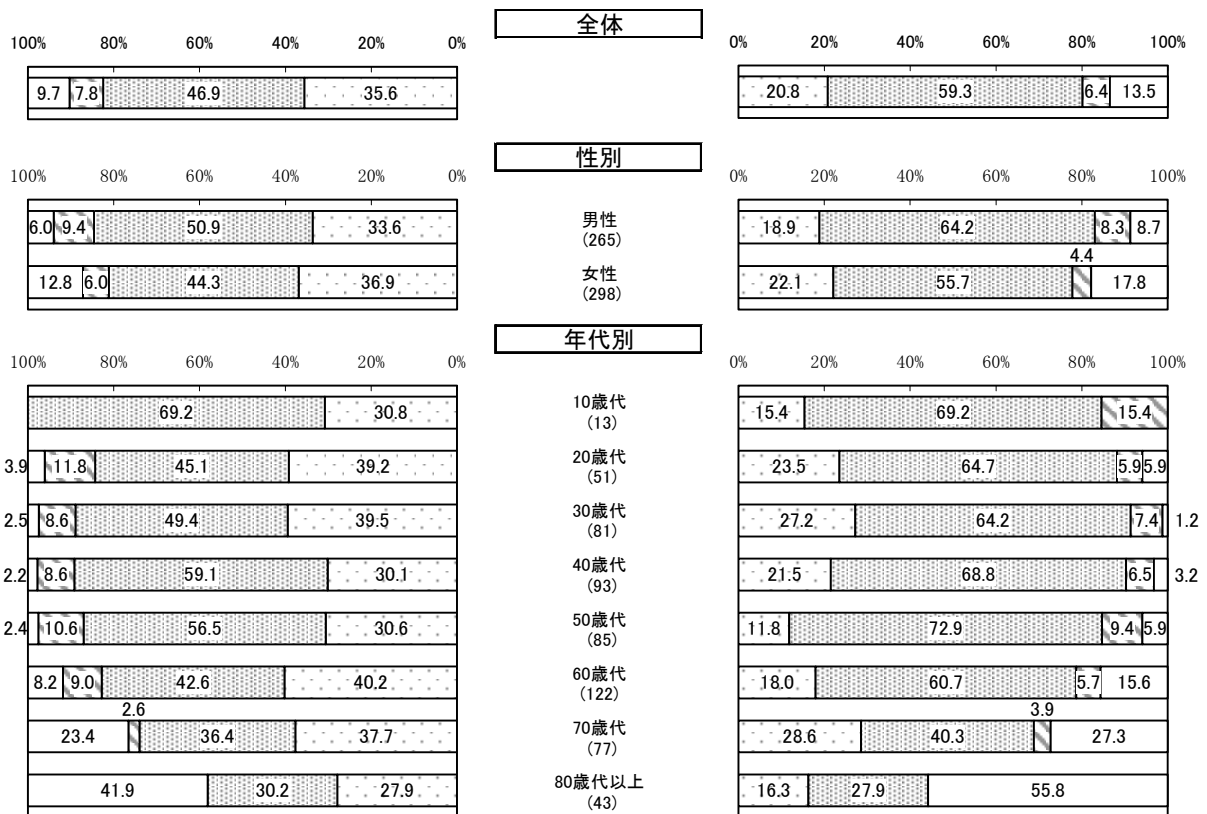
年代別でみると、10歳代、40歳代、50歳代で「重要」の割合が他に比べて低く、約3割となっています。また、30歳代、70歳代で「満足」の割合が他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

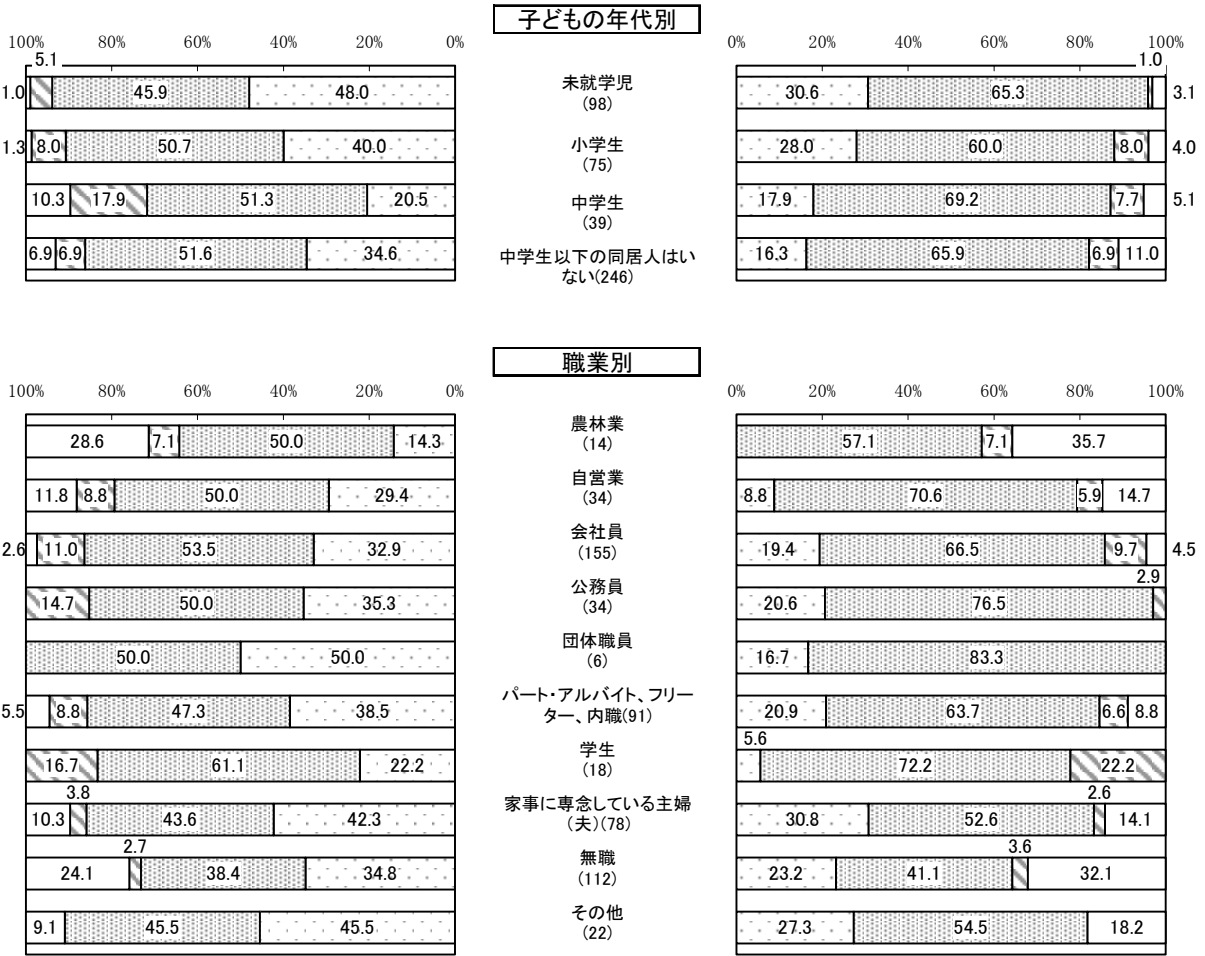
□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



子どもの年代別でみると、未就学児で「重要」の割合が他に比べて高く、約5割となっています。また、未就学児、小学生で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

職業別でみると、家事に専念している主婦（夫）で「重要」の割合が他に比べて高く、約4割となっています。また、家事に専念している主婦（夫）で「満足」の割合が他に比べて高く、約3割となっています。

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要 □ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「いろいろな講座があり大変勉強になります。」など事業を評価している意見が7件、「反響はあるのか疑問。」など事業を評価していない意見が6件、「時間帯が昼間ばかりで普通に仕事している人は学べない。」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

参考資料



# みなさんの意見でまちづくりを進めます

## ～市民満足度調査にご協力ください～

これからのまちづくりにみなさんのご意見を反映して進めていく目的で、「美濃加茂市市民満足度調査」を行います。

みなさんは、日ごろの生活の中で、市が行っている事業に対してどのように感じてみえますか？「この事業はとても重要だけれど、まだまだ満足できない」とか、「この事業はサービスが過剰だ。重要だとは思わない」など、さまざまな考えをお持ちだと思います。

この調査は、そんなお考えやご意見をもとにそれぞれの項目にお答えください。

過去には、調査の結果から、防犯灯の設置基数の増加や市民プールの子供用コースの閉鎖、敬老会補助金の見直しなどを実施しました。

みなさんのお考えで美濃加茂市をくらしやすいまちにしていきたいと思います。

ぜひ、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

なお、この調査結果は、後日広報紙やホームページなどで公表させていただきます。

平成25年 3月

美濃加茂市長 渡辺 直由

### ◆ご記入にあたってのお願い◆

- この調査をお願いする方は、美濃加茂市在住の18歳以上の方で住民基本台帳から1,500人を無作為に抽出させていただきました。回答は、可能な限り**封筒の宛て名のご本人様**がご記入下さい。
- この調査は、無記名でご回答いただきますし、他の目的には使用しませんので回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- 質問は、選択式になっておりますのであてはまる番号に、「○」をつけてください。また、質問ごとにご意見等がありましたらご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れて、**平成25年3月26日（火）まで**に郵便ポストに投函して下さい。**調査票、返信用封筒ともに無記名**で結構です。また、**切手は不要**です。

(お問い合わせ先)

美濃加茂市役所 経営企画部 市政情報課

担当(井藤・大坪)

電話 0574-25-2111 (内線243・244)





## くらしについておたずねします。

問9 あなたのくらしは、去年の今頃と比べていかがですか。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 楽になった | 3. 苦しくなった |
| 2. 変わらない | 4. わからない  |

問10 あなたは、今のくらしについてどう思われますか。(○は1つ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 十分満足している   | 3. まだまだ不満だ |
| 2. おおむね満足している | 4. きわめて不満だ |
|               | 5. わからない   |

問11 あなたは、日ごろのくらしの中で、どのようなことに不満を感じていますか。(○は3つまで)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 収入や貯蓄のこと        | 8. 住まいの環境のこと    |
| 2. 景気や生活費のこと       | 9. 環境問題のこと      |
| 3. 就職や失業・倒産など仕事のこと | 10. 犯罪や防犯のこと    |
| 4. 家族の健康や生活上の問題のこと | 11. 事故や災害のこと    |
| 5. 自分の病気や老後のこと     | 12. その他( )      |
| 6. 子どもの保育や教育のこと    | 13. 不満を感じることはない |
| 7. 近所づきあいのこと       | 14. わからない       |

問12 あなたが、今後くらしの中で力を入れていきたいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 高い所得や多くの財産があること   | 9. 子どもの保育や教育          |
| 2. 社会的地位を高めること       | 10. 衣食住生活の改善、充実       |
| 3. 仕事・家業・学業にうちこむこと   | 11. 趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと |
| 4. 知識や教養を高めること       | 12. 社会的奉仕活動をする        |
| 5. 健康であること           | 13. 人間関係を大切にすること      |
| 6. 老後の生活への準備         | 14. その他( )            |
| 7. 家族の介護             | 15. 特にな               |
| 8. 家族との団らん時間を大切にすること | 16. わからない             |

## 今後の定住意向についておたずねします。

### 問 13 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(〇は1つ)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住みよい      | 4. あまり住みよいとはいえない |
| 2. まあまあ住みよい  | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない         |

### 問 14 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいですか。(〇は1つ)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい  | 4. できれば住み続けたくない |
| 2. できれば住み続けたい | 5. 住み続けたくない     |
| 3. どちらともいえない  | 6. わからない        |

### 問 15 これから美濃加茂市で住み続けていくためには、何があったらよいと思いますか。 (〇は3つまで)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自然環境が豊かであること      | 10. 医療機関や福祉施設が整っていること    |
| 2. 交通の利便性がよいこと       | 11. 教育環境が充実していること        |
| 3. 住宅地などの住まいの環境がよいこと | 12. スポーツ活動や余暇活動が充実していること |
| 4. まちのイメージや雰囲気がよいこと  | 13. 物価や家賃が安いこと           |
| 5. 買い物に便利であること       | 14. まちに親しみや愛着があること       |
| 6. 治安がよいこと           | 15. 市民の意見が行政に反映されること     |
| 7. 近所づきあいがよいこと       | 16. その他 ( )              |
| 8. 働く場が充実していること      | 17. わからない                |
| 9. 通勤・通学が便利であること     |                          |

#### ■ 美濃加茂市第5次総合計画

平成22年4月から10年間の美濃加茂市のまちづくりの指針となるのが第5次総合計画です。

その中で10年後のあるべき姿として、夢のある明るい未来がイメージできるよう、「**まあるいまち みのかも**」を掲げています。

まあるいまちをつくるには、市民一人ひとりがまちづくりの主役として活躍していくことが大切です。すべての人がいきいきと輝き、すべての人がともに成長する、魅力いっぱいの「**まあるいまち みのかも**」をつくっていきましょう。

問16 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を下の  に記入してください。(3つまで)

1	●広報紙やホームページなどでの情報共有の推進 ●市政への市民参加の充実
2	●生涯学習機会の充実 ●地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実
3	●市民や団体、市役所などとの協働 ●市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化
4	●新たな分野の産業をつくりだすための環境整備 ●商品や製品の高付加価値化 ●美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信
5	●企業誘致の推進 ●既存商工業の基盤強化 ●雇用環境の充実
6	●中心市街地の整備 ●商店街の活性化によるまちなかの再生
7	●農業の担い手の育成・確保 ●農業経営基盤の強化
8	●観光交流資源の魅力向上 ●観光客の受入体制づくり
9	●地域ぐるみの防災・減災体制の整備 ●地域の防犯・交通安全活動の活性化
10	●予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進 ●地域医療体制の強化
11	●見守りと支えあいの地域福祉活動の推進 ●協働による福祉サービスの充実
12	●子育て支援の充実 ●魅力ある学校教育の推進 ●地域教育の推進
13	●外国人市民の定住環境の整備 ●地域での外国人市民との共生社会づくり
14	●地域に密着した文化の継承と保存 ●文化や芸術活動の振興
15	●市内の交通ネットワークの充実 ●広域交通網や地域間交通ネットワークの強化
16	●優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和 ●快適な住環境の整備
17	●美しいまちなみづくり ●身近な公園の整備や緑化の推進
18	●森林や里山、河川の保全 ●循環型社会の形成 ●温暖化防止・クールタウンの構築
19	●市職員の経営能力の育成 ●効果の上がる市役所の組織づくり
20	●市の行財政改革の徹底 ●事業に対する目標の管理と評価による改善
21	●周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり

番号記入欄 →

--	--	--

## 市の主な施策について「重要度」と「満足度」をおたずねします。

問17 次の各項目の取り組みについて、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。3点満点で評価し、該当する数字を1ずつ〇で囲んでください。

No.	調査項目	重要度			満足度							
		重要	どちらともいえない	重要ではない	満足	どちらともいえない	満足ではない					
(1)	<b>生涯学習センター（旧中央公民館）は、生涯学習を推進する拠点として、各種講座や活動及び会議などに活用されています。</b>						3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください											
	23年度利用者数	年間維持管理費	利用者一人当たり市負担額									
	79,782人	4,634万円	581円									
(2)	<b>市民の皆様の健康、体力維持のため、年6回、市内6地区で「ウォークみのかも」（約6km）を開催しています。保健師による健康相談や血圧・体脂肪測定も行っています。</b>						3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください											
	23年度参加者数	年間事業費	参加者アンケートによる平均満足度									
	590人	20万円	86.3点									
(3)	<b>各種スポーツの市民大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持や住民間の親睦を図っています。（種目：バレーボール、水泳、バドミントン、陸上、卓球、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール）</b>						3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください											
	23年度参加者数	事業費	うち参加者負担金									
	3,718人	152万円	52万円									
(4)	<b>市を代表する前平野球場は、スポーツ振興などの目的で、各種軟式野球大会やレクリエーション等に利用されています。</b>						3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください											
	23年度利用者数	13,250人										
	年間維持管理費	426万円										
(5)	<b>前平市民プールは24年度は7月中旬から8月中旬まで38日間、25・50Mプール（平成23年度からこども・幼児用プールを休止）を使用し、開園しています。</b>						3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください											
	23年度利用者数	24年度利用者数	年間維持管理費									
	3,700人	3,017人	1,075万円									

No.	調 査 項 目	重 要 度			満 足 度		
		重 要	ど ち ら と も い え な い	重 要 で は な い	満 足	ど ち ら と も い え な い	満 足 で は な い
(6)	<p><b>市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動をする個人や団体と依頼者間の調整を行ったり、ボランティア養成講座を開いたりして、市民活動の活性化を図り、まちづくり活動への参加を促進する事業を行っています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください						
	23年度末登録団体数	ボランティア活動数	事業費				
	91団体	152件	74万円				
(7)	<p><b>自治会は185あり、ゴミ集積場の管理、地域の清掃活動、防犯灯(街路灯)などの住環境整備のほか、子ども、高齢者に対する福祉活動や運動会、ソフトバレー、自治会野球など体育振興活動が行われています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください						
			24年度	23年度			
	自治会加入率	61.5%	61.1%				
	加入世帯あたり自治会補助予算額	1,142円	1,219円				
(8)	<p><b>「美濃加茂堂上峰産柿」をトップブランドに位置付けて当市のイメージ向上に取り組んでいます。24年度には新パッケージを作成し、首都圏やアンテナショップでの販売をしました。これまでに関連商品として「堂上峰産柿ふいなんしゅ」や「はちや豚」などを商品化して販売促進をしています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください						
	実行委員会総事業費	左記の内、市負担分	その他PR事業費				
	132万円	26万円	115万円				
(9)	<p><b>地域の防災力を高めることを目的に、市民・地域が主体となって地域の防災訓練を計画し、地域の実情にあった防災訓練を市内8箇所で開催しました。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください						
	24年度参加者数	24年度防災訓練費用					
	5,563人	50万円					
(10)	<p><b>地域の防災力強化や自主防災組織の意識の高揚を図るため、自主防災組織、自治会、自警隊が行う防災訓練、防災器具庫の整備や防災設備の設置などに補助金を交付しています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください						
	23年度補助件数	23年度補助額	自主防災組織率				
	29件	256万円	61.6%				

No.	調査項目	重要度			満足度			
		重要	どちらともいえない	重要ではない	満足	どちらともいえない	満足ではない	
(11)	<p><b>防犯灯</b>は自治会の要望により、既設防犯灯との距離が原則として80m以上ある場合に設置しています。<b>維持管理は自治会で行い、維持管理費の1部（電気料の2/3）を市が自治会に補助しています。</b></p>		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	23年度防犯灯設置数	23年度自治会管理防犯灯数	23年度防犯灯電気料補助額					
	74基	3,330基	535万円					
(12)	<p>小学校の新入学児童に<b>交通安全帽子</b>、中学校の新入学生徒に<b>夜光腕章</b>を贈呈しています。</p>		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	23年度交通安全帽子贈呈数	23年度夜光腕章贈呈数	23年度市内小中学生交通事故件数（事故報告書届出分）					
	552人	557人	9件					
(13)	<p>長寿支援センターでは、<b>認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるよう</b>、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図るため、「<b>認知症施策総合推進事業</b>」を実施しています。</p>		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	主な事業等	講演会・映画会開催などの認知症啓発事業、介護者のつどい開催などの家族支援事業、社会資源マップ・認知症ホームページ作成など						
	24年度事業費	159万円						
(14)	<p><b>がんの早期発見早期治療を目的</b>とした『がん検診推進事業』として、<b>大腸がん・子宮がん・乳がん検診を実施</b>しています。対象の<b>特定年齢者については、自己負担金を無料</b>にしています。 大腸がん検診・乳がん検診：40・45・50・55・60歳 子宮がん検診：20・25・30・35・40歳</p>		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	24年度利用者数	受診率	受診者一人当たり市負担額					
	1,354人	18.77%	4,737円					
(15)	<p><b>障がいのある方も地域で安心して暮らせるまちづくり</b>を推進するため、<b>民間活力による障がい者施設（グループホーム、ケアホーム）の充実に努めています。</b></p>		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	市内設置箇所数（12月末現在）	1箇所						

No.	調 査 項 目			重 要 度			満 足 度			
				重 要	ど ち ら と も い え な い	重 要 で は な い	満 足	ど ち ら と も い え な い	満 足 で は な い	
(16)	見守りと支えあいの地域福祉活動を推進するため、災害時に援護の必要な方の把握に努めています。			3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください									
	登録者数 (12月末現在)	独居高齢者登録者数	市内独居高齢者数							
	1,463人	717人	1,789人							
(17)	市内には、12箇所(266部屋)の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。			3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください									
	市が負担する1部屋分の年間維持管理費	23年度維持管理費								
	39万円	1億459万円								
(18)	学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童を対象に、放課後や長期休暇中などに保護者に代わって保育を行っています。24年度は、夏休みのみ4年生まで学童保育を拡張しました。 (保育料は、月～金曜日利用の場合、月5,000円)			3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください									
	24年度利用者数 (月平均)	24年度事業費	一人当たりの費用 (月平均)							
	355人	5,601万円	13,200円							
(19)	教育委員会では、幼稚園・保育園、小中学校、高等学校の連携と積み上げを大切にした『ロングスパン教育』、地域ぐるみで子どもを育てる『面による指導』、生きてはたらく学力を身に付ける『授業改革』を柱とした「フロム0歳プラン」を進めています。			3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください									
	主な事業	学校の特徴ある活動の支援、あじさい賞、わくわくサイエンスツアー、わくわくサイエンスショー等								
	24年度事業費	119万円								
(20)	文化の森で開催する展覧会やコンサートなどの催しから所蔵する美術品、歴史、民俗、図書などのデータベースをホームページで公開しています。			3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください									
	23年度年間アクセス数		20,533件							
	年間維持管理費		119万円							

No.	調 査 項 目	重 要 度			満 足 度										
		重 要	ど ち ら と も い え な い	重 要 で は な い	満 足	ど ち ら と も い え な い	満 足 で は な い								
(21)	<p>小中学校に通学している<b>外国人児童・生徒の就学意欲を維持するため、放課後に日本語学習や家庭学習を支援しています。</b>(外国人児童・生徒1人が支援教室に1回参加するにつき、およそ534円を市が負担しています。)</p>	3	2	1	3	2	1								
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください														
	<table border="1"> <tr> <td>23年度在籍者数 (月平均)</td> <td>年間教室開催回数</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>中学生11.2人 小学生19.1人</td> <td>中学生 76回 小学生114回</td> <td>162万円</td> </tr> </table>	23年度在籍者数 (月平均)	年間教室開催回数	事業費	中学生11.2人 小学生19.1人	中学生 76回 小学生114回	162万円								
23年度在籍者数 (月平均)	年間教室開催回数	事業費													
中学生11.2人 小学生19.1人	中学生 76回 小学生114回	162万円													
(22)	<p><b>在住外国人の生活基盤の支援や社会参加を促進するため、「定住外国人自立支援センター」を21年7月に整備し、外国人の生活相談や就労支援、就業促進など各種事業を行っています。</b> ※所在地:加茂川町1丁目1-1</p>	3	2	1	3	2	1								
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください														
	<table border="1"> <tr> <td>23年度相談人数</td> <td>23年度各種事業</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>878人</td> <td>6事業 延べ参加者778人</td> <td>1,163万円</td> </tr> </table>	23年度相談人数	23年度各種事業	事業費	878人	6事業 延べ参加者778人	1,163万円								
23年度相談人数	23年度各種事業	事業費													
878人	6事業 延べ参加者778人	1,163万円													
(23)	<p><b>文化会館は、音楽をはじめ文化芸術活動を身近に感じてもらえる施設として、ホール(800人収容)をはじめ、練習室や展示室などでコンサートや各種団体の活動などに利用されています。</b></p>	3	2	1	3	2	1								
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください														
	<table border="1"> <tr> <td>23年度利用者数</td> <td>年間維持管理費</td> <td>1人あたり市負担額</td> </tr> <tr> <td>71,294人</td> <td>7,614万円</td> <td>1,068円</td> </tr> </table>	23年度利用者数	年間維持管理費	1人あたり市負担額	71,294人	7,614万円	1,068円								
23年度利用者数	年間維持管理費	1人あたり市負担額													
71,294人	7,614万円	1,068円													
(24)	<p>昨年5月から通院やお買い物にご利用いただける<b>2台のあい愛バスが富加町へも乗入れを始めました。またアビタへも行けるように古井地区はタクシー車両を活用した予約制の運行を始めました。</b></p>	3	2	1	3	2	1								
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください														
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23年度</td> <td>22年度</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>20,721人</td> <td>23,419人</td> </tr> <tr> <td>利用者一人あたり 運行補助額</td> <td>986円</td> <td>828円</td> </tr> </table>		23年度	22年度	利用者数	20,721人	23,419人	利用者一人あたり 運行補助額	986円	828円					
	23年度	22年度													
利用者数	20,721人	23,419人													
利用者一人あたり 運行補助額	986円	828円													
(25)	<p>平成24年度より「<b>国土調査法</b>」に基づく<b>地籍調査事業に着手</b>しました。この事業では一筆ごとの土地について境界・所有者・地番・地目の調査及び境界の位置・面積の測量を行い、地図と簿冊を作成し、<b>土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化に役立ちます。</b></p>	3	2	1	3	2	1								
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください														
	<table border="1"> <tr> <td>24年度実績</td> <td>24年度事業費</td> <td>事業費における市負担額</td> </tr> <tr> <td>施行面積:56ha</td> <td>650万円</td> <td>275万円</td> </tr> </table>	24年度実績	24年度事業費	事業費における市負担額	施行面積:56ha	650万円	275万円								
24年度実績	24年度事業費	事業費における市負担額													
施行面積:56ha	650万円	275万円													



No.	調査項目	重要度			満足度		
		重要	どちらともいえない	重要ではない	満足	どちらともいえない	満足ではない
(26)	<p><b>木曾川の景観や観光資源を生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	<p>24年度事業内容・事業費 木曾川堤防側帯整備詳細設計 523万円</p> <p>今後の予定 市民を中心に構成された推進部会において整備内容を精査し、国の事業と並行して進めてまいります。平成25年度は木曾川沿いの遊歩道整備と、堤防上部休憩所整備の一部を行う予定です。</p>	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
(27)	<p>平成22年7月と23年9月の豪雨により、2年連続して加茂川下流域で甚大な浸水被害が発生しました。 <b>浸水被害を軽減することを目的に、国、県、市、坂祝町と、地域住民からなる対策協議会を立ち上げ、各種ハード事業とソフト対策からなる加茂川総合内水対策計画を策定しています。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	<p>H23年9月災害時床上浸水被害戸数 H29年度目標値 計画策定費用</p>	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	<p>9戸 0戸 0円</p>						
(28)	<p>家庭から出る<b>可燃ごみ1袋（6kg）の処理費用は、406円</b>です。そのうち<b>みなさんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残りの376円は市が負担しています。</b>（ごみ袋1枚の金額：可児市＝30円、富加町＝50円、川辺町＝75円、八百津町＝100円、東白川村＝155円）</p>	3	2	1	3	2	1
	<p>処理費用 うち市負担分</p>	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	<p>23年度可燃ごみ処理費用 6億1,905万円 5億7,330万円</p>						
(29)	<p><b>人権が尊重され、差別や偏見のない社会を実現するため、イベントでの啓発活動や人権啓発講演会を開催するとともに、人権擁護委員による相談事業を行いました。</b></p>	3	2	1	3	2	1
	<p>24年度事業及び開催回数 事業費</p>	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	<p>人権啓発2回、講演会1回、人権相談6回 111万円</p>						
(30)	<p><b>男女がお互いに尊重し、性別に関わりなく個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、男女共同参画事業を推進しています。</b></p> <p>24年度は、男女共同参画推進委員会による「第二次みのかも男女共同参画基本計画」の進捗状況の審査と市への提言や図書館での関連図書展示による啓発活動などを行いました。</p>	3	2	1	3	2	1
	<p>24年度事業及び開催回数 事業費</p>	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	<p>展示啓発2回、委員会3回 22万円</p>						

No.	調査項目	重要度			満足度			
		重要	どちらともいえない	重要ではない	満足	どちらともいえない	満足ではない	
(31)	<p>美濃加茂市と加茂郡町村は平成22年に「みのかも定住自立圏共生ビジョン」をつくり47事業に取り組むこととしています。専用HPには、それぞれの事業の取り組み状況を掲載しています。</p>		3	2	1	3	2	1
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>							
	閲覧の延べ人数 (23年12月末現在)	ページ閲覧数 (23年12月末現在)	24年度年間維持管理費					
	1,160人	4,357回	29万円					
(32)	<p>みのかも定住自立圏マスコットキャラクター「かも丸・かも美」の着ぐるみが、住民のみなさんの活動や、市町村のイベントのPRなどに活躍しています。</p>		3	2	1	3	2	1
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>							
	出勤回数 (23年4~12月)	利用団体数 (23年4~12月)	導入費用					
	128回	27団体	143万円					
(33)	<p>市民の皆さんにいろんな「学び」に触れていただくために、生涯学習講座を掲載した情報誌「知って楽しい 学びのとびら」を坂祝町と共同で年間2回発行し、生涯学習に関する情報を提供しています。</p>		3	2	1	3	2	1
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>							
	発行部数	掲載講座数	講座延べ受講者数					
	16,300部	約50講座 (1回発行あたり)	1,670人 (前期開講分)					

市民の皆さんが安全で安心な生活を過ごすことができるように、緊急災害情報、防犯・防災情報・子育て情報など、暮らしに直接結びつく情報をお手持ちの携帯電話にメールで配信する「すぐメールみのかも」を平成23年4月1日から開始しています。登録は無料ですので、ぜひご活用ください。

\*登録は無料ですが、利用登録や退会、メール受信にかかるパケット通信料や通信費は登録した人の負担となります。登録案内の「利用規約」をご確認ください。

バーコードリーダー機能がない場合、下記「空メール用アドレス」を直接入力して、送信してください。折り返し登録案内のメールが返信されます。メール受信拒否等の設定によっては、返信メールが受信できない場合があります。

空メール用アドレス minokamo@sg-m.jp

登録用  
QRコード



※質問は以上です。

※この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに、

**3月26日(火)までに**ポストに投函してください。

※ご協力、誠にありがとうございました。

平成 24 年度  
美濃加茂市市民満足度調査  
報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp

平成 24 年度  
美濃加茂市市民満足度調査

自由意見報告書

平成 25 年 6 月

美濃加茂市



# 目次

(1) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用	(生涯学習課) …………… 1
(2) 「ウオークみのかも」の開催	(スポーツ振興課) …………… 4
(3) 各種スポーツの市民大会の開催	(スポーツ振興課) …………… 7
(4) 前平野球場の利用	(スポーツ振興課) …………… 10
(5) 前平市民プールの利用	(スポーツ振興課) …………… 13
(6) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化	(生涯学習課) …………… 17
(7) 自治会活動	(地域振興課) …………… 19
(8) 美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上	(産業振興課) …………… 22
(9) 地域の実情にあった防災訓練の実施	(防災安全課) …………… 25
(10) 防災訓練、防災器具庫整備などに対する補助金交付	(防災安全課) …………… 28
(11) 防犯灯の維持管理費の一部補助	(防災安全課) …………… 30
(12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈	(防災安全課) …………… 33
(13) 認知症施策総合推進事業	(長寿支援センター) …… 36
(14) がん検診の実施	(健康課) …………… 38
(15) グループホーム、ケアホームの充実	(福祉課) …………… 41
(16) 災害時要援護者の把握	(福祉課) …………… 43
(17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	(総務課) …………… 45
(18) 学童保育の実施	(教育総務課) …………… 48
(19) 「フロム0歳プラン」の推進	(学校教育課) …………… 51
(20) 文化の森データベース公開	(文化振興課) …………… 53
(21) 外国人児童・生徒への学習支援	(地域振興課) …………… 55
(22) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施	(地域振興課) …………… 57
(23) 文化会館の活用	(生涯学習課) …………… 59
(24) あい愛バスの運行	(地域振興課) …………… 62
(25) 地籍調査事業への着手	(土木課) …………… 65
(26) 「かわまちづくり事業」の推進	(土木課) …………… 66
(27) 加茂川総合内水対策計画の策定	(都市計画課) …………… 68
(28) ごみ袋料金に対する市の負担	(環境課) …………… 70
(29) 人権擁護委員による相談事業の実施	(地域振興課) …………… 74
(30) 男女共同参画の推進	(地域振興課) …………… 76
(31) 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進	(地域振興課) …………… 77
(32) 「かも丸・かも美」の活躍	(地域振興課) …………… 79
(33) 情報誌「知るって楽しい 学びのとびら」の発行	(生涯学習課) …………… 82



## (1) 生涯学習センター（旧中央公民館）の活用

(生涯学習課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	次年度に 1 階栄養指導室のリフォームがあると聞いているので期待大です。
男性	60 歳代	下米田・牧野	近隣なので都合がよい。
女性	20 歳代	古井	講座などに参加してとてもよい経験ができたので重要です。
男性	60 歳代	加茂野	今後 30 年間は高齢化社会が続く中で、高齢者の生きがい、楽しみを提供し、サロン活動を継続していく上で、各種の講座を用意してくれるセンターは必要。
女性	20 歳代	加茂野	子どもが生まれ、不安がいっぱいでしたが「はじめの一步」に参加し、近所にママ友ができて交流し合うことができました。
女性	70 歳代	古井	よいと思います。
女性	50 歳代	蜂屋	あるとよいとは思いますが利用者が限定されます。
女性	60 歳代	太田	多彩な催しものにより参加しやすいため。
女性	60 歳代	加茂野	いろいろ学習できてよい。
男性	30 歳代	蜂屋	まだ利用していないが今後利用したい。必要だと感じる。
女性	60 歳代	古井	常日ごろセンターを利用させていただいています。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	55,000 人の市で 8 万人が利用していればよしとする。どんな人がどう使っているのか。私でも使えるのか。年に 460 万円(一人当たり 581 円)は高い。利用料、管理方法を見直してほしい。
男性	70 歳代	加茂野	年維持費こんなに高いのですか。
男性	50 歳代	加茂野	維持費と市負担額の関係が不明(581×79,782=46 百万円)。
女性	50 歳代	古井	9 時からの使用料金が改正され、減免がなくなるとのこと。市民がいきいきとする場が失われる。
男性	30 歳代	古井	高齢層、特定の人しか利用していない。
男性	50 歳代	太田	特定の団体の利用となっていないだろうか。利用者負担はあるのだろうか。
女性	60 歳代	古井	管理費が高すぎる。
男性	60 歳代	古井	市負担額。
女性	50 歳代	下米田・牧野	活用することができない。
男性	20 歳代	古井	年間維持費が高すぎでは。



性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	加茂野	費用対効果が不明のため。
男性	50 歳代	蜂屋	一部の人間しか利用していない。
女性	30 歳代	古井	あまり活用しないので。
男性	50 歳代	加茂野	行ってみたいと思わないことが現状の認識を表している。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	加茂野	キャリアアップできる講座が増えるとうれしいです。
男性	60 歳代	太田	もっと多くの市民に利用されたい。駐車場が狭すぎる。
女性	50 歳代	下米田・牧野	たくさんの方が参加されることが望ましいのですが、興味の対象がないと見聞きもされません。
男性	80 歳代	山之上	各種選挙の場合、土足で登るような準備がほしい。老人の利用も多いことからそう思います。
女性	70 歳代	古井	受益者負担を原則にしてほしい。
男性	40 歳代	加茂野	駐車場が問題。
男性	20 歳代	下米田・牧野	各種講座について利用できる人とできない人との差がある。
女性	40 歳代	太田	小学校の空き教室の利用はどうでしょうか。年寄りと子どもの交流に。
男性	60 歳代	蜂屋	どのような講座があるのかわかりにくい。広報には載っているがインパクトが弱い。
女性	30 歳代	伊深	建物が古い。1 階などがうす暗い。
女性	30 歳代	太田	センターの利用方法についてもっと周知するべき。魅力ある講座の開設、講座内容について広報すべき。
女性	50 歳代	蜂屋	都市部ばかりで開かれていて、私たち周辺のまちには何もない。
男性	20 歳代	蜂屋	利用者の固定化、使い方の周知が必要。
女性	40 歳代	蜂屋	平日の講座が多いので参加したくてもできないのが残念。
男性	30 歳代	古井	もっとセンターを活用するような工夫があればよい。
男性	60 歳代	太田	寮生活に活用できる講座を、センターにて直接指導、会費は実費にて開催。
女性	60 歳代	加茂野	設備や広さが中途半端。席数 500 位固定、2 階も外光がない。
無回答	無回答	無回答	学習の種類を多くしてほしい。
男性	70 歳代	古井	活動のPR不足と思う。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
無回答	無回答	無回答	自分自身は今のところ利用していない。
女性	20歳代	太田	利用していないため。
女性	20歳代	太田	利用しないから。
男性	50歳代	古井	利用する機会が少なかったため内容をよく理解していない。
男性	60歳代	山之上	遠方のため利用したことがない。
男性	50歳代	下米田・牧野	情報は出されていると思いますが、自分が知るに至っていない。
男性	60歳代	太田	認識不足のため、取り組みがあることを知らず、参加することもない。
女性	70歳代	古井	古井地区ですが、中央公民館までは車がないのでいけません。
女性	50歳代	太田	今のところ利用していないので、はっきりいってわからない。
男性	60歳代	加茂野	まだ一度も利用したことがない。
男性	60歳代	古井	利用していないからわからない。
男性	20歳代	古井	住民サービスの施設として素晴らしいものだと思うが、利用者数だけでは幅広く市民が活用しているのか、一部の人が利用しているのかわからない。
女性	80歳代	太田	各種行事参加のための交通手段がわからない。
女性	60歳代	下米田・牧野	利用したことがない。
女性	70歳代	下米田・牧野	たずさわったことがないから。
女性	60歳代	古井	たまに参加してみようと思う講座があるが、まだ行ったことがない。
女性	20歳代	古井	利用する機会がないためわからない。
女性	60歳代	太田	参加したことがないので評価できない。
女性	70歳代	太田	行ったことがない。
男性	40歳代	太田	知らない。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。
女性	60歳代	蜂屋	利用したことがない。
女性	40歳代	加茂野	使わない。
女性	80歳代	古井	あまり参加していないから。
男性	40歳代	山之上	参加したことがないので。
女性	30歳代	太田	今の所利用したことがない。
女性	60歳代	古井	利用する人はいつも同じ人。
男性	50歳代	太田	何日に、何をやっているのかわからない。
男性	40歳代	古井	教育活動で使用する時、優遇されるとよいと感じた。

## (2)「ウオークみのかも」の開催

(スポーツ振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	20 歳代	古井	そういうものがあることを知らなかった。一度参加してみたいと思った。
女性	60 歳代	加茂野	よいとは思いますが参加したことはない。
女性	60 歳代	古井	歩くことにより体力がつき、健康を維持することができ、ストレス解消にもなる。続けていただけるとよいと思う。
女性	40 歳代	加茂野	「ウオークみのかも」は体験したことはないが、参加しやすい健康づくりなので続けてほしいです。
女性	30 歳代	加茂野	健康づくりに力を入れて、参加される方も多くいらっしやる。
女性	50 歳代	古井	健康増進には必要。高齢者が多くなる。市民体育大会はやめてほしい。
男性	60 歳代	加茂野	一度参加したい。
女性	20 歳代	古井	健康について考えるきっかけになると思う。
女性	70 歳代	古井	よいと思います。
女性	60 歳代	太田	参加しています。有益な行事と思います。
女性	60 歳代	加茂野	健康のためによい。
女性	30 歳代	加茂野	平日もやってほしい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	古井	少ない人数ならやめた方がよい。
女性	70 歳代	古井	健康管理は自主自立が望ましい。
女性	20 歳代	太田	利用しないから。
男性	50 歳代	加茂野	参加者少数のために廃止し、健康の森、さわやかウォーキング等を活用すること。
男性	30 歳代	古井	知名度がない。何のための行事なのかわからない。
男性	50 歳代	太田	自分自身で管理すべきこと。
男性	40 歳代	加茂野	血圧や体脂肪は自己管理すべきであり、行政が行うことではない。
男性	20 歳代	古井	参加したことがないのと、参加者数が少ないため。
男性	20 歳代	太田	参加していないのでわかりませんが、満足度が 90 点以下なら必要ないと思います。
男性	30 歳代	古井	年 6 回で参加者 590 人は少ない。満足度も高いものではなく、必要な事業か疑問に思う。
女性	20 歳代	下米田・牧野	参加者が少ない。

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	蜂屋	個人で毎日ウォーキングしている。毎日の積み重ねが大切であり、この時だけの参加では効果が疑問。
男性	30 歳代	加茂野	年 6 回だけなら各自ですべき。平均満足度も低い。
男性	30 歳代	蜂屋	年 6 回で 590 人の参加は少ないと感じる。
女性	30 歳代	太田	参加者数が少ない。知名度がないのでは。
男性	50 歳代	加茂野	個人で行動すべきもので、公的な機関がすべきものとは思わない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	加茂野	時間を選ばずにウォーキングスポットの紹介だけでよい。
女性	30 歳代	加茂野	企画の情報発信が必要と思います。
女性	50 歳代	古井	年 4 回程度でよい。市内でウォーキングによい所の発信は必要と思う。市イベント中の催しに取り入れてもよいと思う。
男性	60 歳代	太田	地区連絡所のPRがない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	参加人数が少ないのが気になります。
男性	50 歳代	下米田・牧野	誰をターゲットにして、実際の参加はどうだったのかわからない。人集めをもう少し考えてはどうか。
女性	40 歳代	太田	もっと身近なものになるとよいですね。
女性	50 歳代	下米田・牧野	参加者が少ないように思う。
男性	20 歳代	古井	費用対効果としてはよいと思う。ただせっかく市内を 6km 歩くのなら、コースを再考して、美濃加茂のよさを再発見できるようなものにしたらどうか。
女性	30 歳代	太田	幅広い年代が参加できるようなイベントにすべき。
女性	50 歳代	蜂屋	参加の声かけもない。チラシだけではなく、役員等の人による呼びかけ等を努力してほしい。
男性	20 歳代	蜂屋	20 万円ならよいかもしれない。参加者の内訳にもよる。リピーターの状況がわからない。
女性	30 歳代	蜂屋	年 6 回行うより、年 1 回の大きなものにして、市民が参加したいと思えるイベントにしたらどうか。
男性	60 歳代	太田	健康課の充実した設備と指導に重点を置く。ウォークは自発、自覚的に実行できるような方向で、モデルコース等の宣伝を公報（有線）で知らせる。
男性	40 歳代	古井	宣伝が足りないのでは。
女性	40 歳代	加茂野	行ってみたいが情報が少なすぎる。
男性	50 歳代	蜂屋	時期により、他イベントが重なっている。
男性	40 歳代	古井	参加PRをもっと適切に、あまり知らなかった。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	参加者の満足度は高点でよい。参加者数が少なすぎる。
女性	80 歳代	蜂屋	係りの方はご苦労様です。
男性	70 歳代	加茂野	健康は他人のためじゃなく自分のこと。
無回答	無回答	無回答	自分は参加していない。
女性	20 歳代	太田	利用していない。
男性	60 歳代	下米田・牧野	満足度についてはまだ参加したことがないため。
男性	60 歳代	太田	開催したことを知らない。
女性	80 歳代	太田	老齢で参加していないのでわからない。
女性	40 歳代	太田	参加したことがないので満足度はわかりません。
男性	60 歳代	太田	認識不足のため、取り組みがあることを知らず、参加することもない。
女性	60 歳代	古井	参加したことはありませんので。
男性	60 歳代	古井	参加していないからわからない。
女性	30 歳代	伊深	参加したことがない。
女性	80 歳代	太田	各種行事参加のための交通手段がわからない。
女性	60 歳代	下米田・牧野	参加したことがない。
女性	70 歳代	下米田・牧野	知らなかった。
女性	60 歳代	古井	参加したことがないので。
女性	50 歳代	下米田・牧野	体が仕事でつかれているし、母親の介護で参加できない。
男性	30 歳代	古井	不参加なため。
女性	60 歳代	太田	参加したことがないので評価できない。
女性	50 歳代	蜂屋	やる方が限定されるので、やらないとわからない。
女性	70 歳代	太田	行ったことがない。
男性	40 歳代	太田	知らない。
女性	80 歳代	古井	参加していない。
男性	40 歳代	山之上	参加したことがない。
女性	30 歳代	太田	小さな子どもと一緒に参加したいのですが、できるのでしょうか。
男性	50 歳代	太田	聞いたことがない。
女性	30 歳代	古井	参加したことがないのでわからない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (3) 各種スポーツの市民大会の開催

(スポーツ振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80歳代	下米田・牧野	若い人はどしどし体力づくりをやってほしい。
男性	20歳代	下米田・牧野	スポーツを通して人との交流があれば、楽しい生活となりそうだから。
女性	30歳代	伊深	スポーツは楽しいからよい。
女性	70歳代	下米田・牧野	よいことだと思う。
女性	20歳代	古井	大会の開催で交流できるのでよい。
女性	70歳代	古井	よいと思います。
女性	60歳代	加茂野	健康のためよい。
女性	60歳代	太田	若い頃にやっていて、現在もその人たちと親睦があるのでよいことだと思います。
男性	50歳代	古井	スポーツ振興は活発にやっています。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30歳代	伊深	事業費がかかりすぎではないか。
男性	60歳代	太田	一部の人だけの利用。
男性	50歳代	太田	利用者負担はあるのか。
男性	60歳代	蜂屋	出なければならぬという義務感が先に立ち、負担を感じている人が少なくない。
女性	40歳代	太田	市民大会といっても、市民以外が多く参加している種目のあることが不満。
男性	40歳代	加茂野	スポーツができる人だけのイベントではないか考えるべき。
男性	40歳代	古井	施設が中途半端。
女性	60歳代	蜂屋	義理での参加もあつたりする。(家庭の都合でも参加が強制の場合もある)。
男性	40歳代	山之上	参加者が限定されている。
男性	30歳代	加茂野	実施することが目的になっていないか。
男性	40歳代	古井	参加しづらい気がする。
男性	50歳代	加茂野	個人的にスポーツ(公的主催)には参加したいと思わない。
男性	20歳代	蜂屋	参加者が固定化しているが、参加者負担もあるのでよとする。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	加茂野	スポーツを行う施設をもっと充実させた方がよい。
女性	50 歳代	古井	高齢者により健康保持スポーツがあるとよい。
男性	70 歳代	太田	宣伝の仕方がよくない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	スポーツのできない方も楽しんで見に行ける工夫がされるとよいと思います。
男性	80 歳代	山之上	県下で一番施設が悪いので、他の施設と同程度の設備が必要(ただしゲートボール)。
女性	20 歳代	太田	参加者だけが負担金を出すならよいと思う。
女性	70 歳代	古井	受益者負担が原則。
男性	50 歳代	古井	参加者が固定しがちで、地域全体の親睦を高めるまでの効果が上がっていない。もう一工夫ほしい。
男性	50 歳代	下米田・牧野	スポーツ振興で、気軽に参加できるような内容。
女性	30 歳代	加茂野	もう少しいろいろな方がわかりやすいように工夫すると、なおよいのではないか。
女性	50 歳代	古井	カルチャーサークルをつくるにはよい。強制はよくない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	参加者が楽しめる工夫が足りないように思われる。
男性	20 歳代	太田	市内だけではなく、他の地区の方も参加しやすい大会等をつくっていただいた方が(種目をしぼって)よいと思います。
女性	30 歳代	蜂屋	一部の人で実施されるものより、文科系の方が、より多く参加できるのではないだろうか。
男性	70 歳代	古井	65 歳以上(健寿会)が、常設グランドゴルフ場が利用は多いと考える。
男性	30 歳代	古井	活動している人にとってはよい機会であると思うが、そうでない人にとっても活用できるようにしてほしい。
男性	60 歳代	太田	市は大会運営の指示のみではないのか。各地区、体育委員の努力に協力をねがう。全種目参加者数は市民数と比較するとかなり比重が高い。参加者にドリンク等のサービスがあると、体育委員は少し楽になる。
男性	50 歳代	山之上	一部参加型である。全員参加型に。
男性	30 歳代	蜂屋	もう少し広告をしてほしい。
男性	40 歳代	古井	知らない人も多くいるのでもっと宣伝するべき。
女性	30 歳代	加茂野	積極的なアピールが足りない。
女性	50 歳代	太田	やりたい人ばかりではないので、好きな人でやっていけばよいと思う(班で人を集めてやらないでほしい)。
男性	50 歳代	蜂屋	各連盟により、力の入れ具合の違いがあるように思う。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	町内の役の人もいろいろ大変です。子どもも少なくなって大変です。
無回答	無回答	無回答	自分は参加していない。
女性	80 歳代	太田	老齢で参加していないのでわからない。
男性	30 歳代	古井	もっと具体的に。
男性	60 歳代	太田	認識不足のため、取り組みがあることを知らず、参加することもない。
男性	60 歳代	古井	参加していないからわからない。
男性	20 歳代	古井	競技人口の多いサッカーがないのはなぜ。
女性	80 歳代	太田	各種行事参加のための交通手段がわからない。
女性	60 歳代	下米田・牧野	参加したことがない。
男性	60 歳代	三和	調査項目の施設名について具体的例示がない。
女性	50 歳代	蜂屋	10 年以上参加していない。
女性	60 歳代	古井	50 歳位までは参加していたが現在は無い。
女性	50 歳代	下米田・牧野	体が仕事でつかれているし、母親の介護で参加できない。
女性	60 歳代	太田	参加したことがないので評価できない。
女性	50 歳代	蜂屋	なんにもいえない。必要とはある程度思う。
男性	40 歳代	太田	知らない。
男性	50 歳代	太田	何日、何をやっているかわからない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。



## (4) 前平野球場の利用

(スポーツ振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	スポーツ発展のために必要。
女性	30歳代	伊深	公園もあってよいと思う。
女性	20歳代	古井	大会等に利用できる場所があるのは便利。
女性	70歳代	古井	よいと思います。
女性	50歳代	蜂屋	前平は近くにあるので時々利用しています。
女性	60歳代	蜂屋	美濃加茂以外からの利用者もありスポーツ振興にはよい。
女性	60歳代	加茂野	利用はしていませんが必要でしょう。
女性	60歳代	加茂野	野球・サッカーなど活発に利用してもらってよい。
男性	50歳代	古井	野球グラウンドの数はますますだと思えます。
男性	30歳代	蜂屋	よく利用させてもらっています。
無回答	無回答	無回答	月に1回位、孫と遊びに行っている。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20歳代	古井	やめた方がよい。
女性	70歳代	下米田・牧野	近くに住む人はよいが年齢の高い人は少し行きにくい。
女性	30歳代	伊深	利用者が少ない。
女性	20歳代	太田	管理費が高い。
男性	10歳代	加茂野	汚い。
男性	60歳代	太田	一部の人が多数利用しているだけ。
女性	50歳代	古井	多様化しているのに、利用者は限られている。一般的なスポーツなのか。
女性	60歳代	古井	一部の人だけの利用に思えるため。
男性	40歳代	加茂野	野球しかできないようなグラウンドはいらない。多目的に使用できるようにするべき。
男性	40歳代	古井	高校野球の試合がない。
男性	20歳代	太田	子どもたちが外で遊ぶ場は必要だと思います。レクリエーションでは何をやられているのか知らないため何ともいえません。
女性	20歳代	下米田・牧野	特定の人しか参加できない雰囲気があるように思う。
女性	40歳代	加茂野	維持費削減を望む。
男性	50歳代	山之上	一部参加者スポーツ。
男性	40歳代	山之上	参加者が限定されている。
男性	30歳代	加茂野	収益はあるのか、ないのであれば利用者に理解を得て利用料をとるべき。

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	一部団体の独占である。
男性	50 歳代	加茂野	自治会役員で利用したことがあるのみで、個人的にはニーズはない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	80 歳代	山之上	できたら前のように県大会の予選ができるような方策をとってほしい(たとえば高校野球等)。
男性	50 歳代	古井	財政を充実させ、より大きな大会で利用できるように設備を整えると、市内のイメージアップにつながると思う。
女性	30 歳代	太田	子どもを連れて利用しますが、もう少し遊具の充実をお願いします。休日などは子どもが多くて遊べない時もある。
男性	50 歳代	下米田・牧野	日常使える施設を併設してはどうか。
男性	30 歳代	古井	子どもに対しての利用を促すとよいと思う。
男性	40 歳代	太田	外野に芝生を植えてほしい。
男性	60 歳代	加茂野	硬式野球(特に高校野球、社会人野球)ができるような施設を希望する。
男性	20 歳代	蜂屋	整備、維持管理をしっかりと行い、様々な利用を考えるべき。
男性	30 歳代	古井	活動している人にとってはよい機会であると思うが、そうでない人にとっても活用できるようにしてほしい。
男性	60 歳代	太田	ナイター使用は土曜日のみとし、20 時終了全額負担で利用する。
男性	80 歳代	太田	高校野球の公式戦でも行えるよう整備し、当市へ他市から訪れる人を増加させ、市の活性化に役立たせる。
女性	60 歳代	太田	夏の全国大会の地方予選(高校)を、前平野球場で応援したい。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	古井	昔は、高校野球の予選会場でもあったのに最近は、さびれてきていて寂しい気がする。
女性	80 歳代	下米田・牧野	牧野では遠く足がなくて行けない。
男性	60 歳代	太田	利用者の負担金はいくらでしたか。維持費の 30%以上であれば重要度 2、満足度 2 です。
女性	50 歳代	下米田・牧野	ほとんど行かないです。
女性	80 歳代	太田	老齢で参加していないのでわからない。
男性	60 歳代	太田	認識不足のため、取り組みがあることを知らず、参加することもない。
男性	60 歳代	古井	参加していないからわからない。

性別	年代	居住地区	意見
男性	20 歳代	古井	施設の老朽化が激しい。利用人数だけで良し悪しは判断できない。
女性	80 歳代	太田	各種行事参加のための交通手段がわからない。
女性	60 歳代	下米田・牧野	利用したことがない。
女性	50 歳代	蜂屋	10 年以上、利用していない。
女性	70 歳代	下米田・牧野	行ったことがないのでわからない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	体が仕事でつかれているし、母親の介護で参加できない。
男性	40 歳代	古井	あまり身近でない。
女性	30 歳代	加茂野	初めて知った。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (5) 前平市民プールの利用

(スポーツ振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	河川事故を防ぐために必要。子どもにとって必要。
男性	20 歳代	古井	子どもは満足してくれる。自分もそうだった。
女性	50 歳代	蜂屋	あった方がよいと思うが、マナーが守られているか。
女性	60 歳代	蜂屋	利用はしたことありませんが近場で利用できてよいと思う。
男性	10 歳代	古井	市民プールは子どもの楽しみの 1 つである。
男性	50 歳代	加茂野	誰でも利用できる施設として必要。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	施設規模が中途半端。
女性	40 歳代	加茂野	子どもたちを見ていると坂祝のプールに行くので。
男性	60 歳代	太田	利用者一人当たり 3,500 円以上の維持管理費は高額すぎる。近隣のプールを利用すればよい(例:坂祝町、各務原市等)。100% むだな事業である。
女性	50 歳代	下米田・牧野	子ども中心になりますから、子どもがいないと行きません。
男性	50 歳代	加茂野	維持費が利用者数に対し多いのではないか。
男性	10 歳代	加茂野	汚い。
男性	20 歳代	下米田・牧野	少子化にあたり利用数も減ってくるのが予想できる。それに伴い施設も古くなってきてお金がかかりそう。
女性	40 歳代	太田	年間 38 日間しか利用できなくて 1,075 万円。子ども用もないとなると、このプールの必要性があまり感じられません。
男性	50 歳代	太田	学校のプールを利用すればよい。
男性	30 歳代	蜂屋	外国人のマナーが悪い。汚い。
女性	20 歳代	加茂野	古い。ただのプールだけでは時代に合わない。(学校ので十分、期間も同じだし)管理費の高さにおどろきました。
男性	20 歳代	古井	現在のプールに魅力を感じないし、子どもが利用できないなら、今後さらに利用人数が減るのではないかと思う。廃止か改修して、競技専用プール等にしたらどうか。
男性	20 歳代	蜂屋	子ども用がなければむだ。関市のような施設になれば別だが、屋外で単体はどうなのか。
女性	20 歳代	古井	利用者が減少していることが気になった。
男性	40 歳代	古井	施設がない。
女性	40 歳代	加茂野	プールとしては、坂祝のプールの方がきれいで利用しやすい。
男性	50 歳代	古井	維持費が高つく。

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	三和	水質が悪くて行く気になれません。外国の方のマナーが気になります。
女性	60 歳代	太田	坂祝市民プールと比べると落ちる。
男性	20 歳代	太田	近くにあるのはよいですが、必要性はないかと思います。
男性	20 歳代	加茂野	年間維持費がかかるわりに、1 か月しか使えないなんてむだです。1 年を通して使えるプールにしてほしいです。
女性	30 歳代	蜂屋	学校のプールへ参加せず、前平市民プールに参加する児童も多いようだが、これは本来の目的にそっているものなのか。
男性	40 歳代	加茂野	年間維持管理費に負担がかかりすぎていると思う。
男性	70 歳代	古井	学校のプールで十分。市民プールは必要ない。一度も利用していない。必要とも思わない。
男性	30 歳代	古井	閉鎖して坂祝のプールを活用した方がよい。
男性	30 歳代	加茂野	坂祝で十分。
女性	30 歳代	古井	他市町村や他県の市民プールの方が利用しやすく楽しめるため。
女性	40 歳代	蜂屋	施設が古くてきれいではない。小さい子どもが使用できないため。
女性	80 歳代	古井	外人ばかりで入りにくいと聞いた。
男性	40 歳代	山之上	参加者が限定されている。
女性	70 歳代	太田	プールはいらない。民間の施設を使えばよい。
男性	30 歳代	加茂野	1 日 80 人(134,000 円)ではむだ。
男性	30 歳代	蜂屋	適正価格ですか。
男性	60 歳代	下米田・牧野	維持管理が大変である。
男性	50 歳代	太田	人が多すぎて泳げない、特に休日。
男性	40 歳代	古井	学校のプールのみでよいと思う。
男性	60 歳代	太田	外人が多くマナーが守れてないので閉鎖してもよい。
男性	70 歳代	古井	利用者が少なすぎる。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	美濃加茂に来てから行ったことがないですが、室内プールで年中やっているプールがあるとよいです。
女性	30 歳代	伊深	小学生や未就学児が行きやすく、使いやすくしてほしい。
男性	20 歳代	古井	小さい子が安心して入れるプールがやはりほしいです。
女性	30 歳代	蜂屋	汚い。屋内がよい。
女性	30 歳代	加茂野	もう少し長く開園した方がよいのでは。
女性	60 歳代	太田	市営室内プールがほしい。
無回答	無回答	無回答	子ども、幼児にも開放してほしい。

性別	年代	居住地区	意見
女性	60歳代	太田	年間通して利用する方向へ。
女性	50歳代	古井	幼稚園、学校のプールは使用日数も少なくなっている今、まず学校プールの使用日を増やしてほしい。
女性	60歳代	古井	残暑も結構暑い日が多い。夏休み中開園してもらいたい。
男性	50歳代	蜂屋	もう少し期間を長くしてほしい。
女性	70歳代	古井	他市に比べて安全面が不安。
男性	50歳代	古井	子どもが小さい時期に何回か利用したが、現在は利用していない。温水プールで年中利用できれば、健康のために利用したい。
女性	40歳代	加茂野	関市や各務原市や小牧市のように屋内プールが充実されると年中利用できるし、市の活性化につながると思います。
女性	30歳代	太田	小学生の娘がよく利用しますが、すべり台等のあそべる設備がほしいです。
女性	20歳代	古井	子ども、幼児用プールも開園してほしい。
男性	50歳代	下米田・牧野	市民プールとして、健康増進に役立つようなところしてほしい。利用者 3,000 人弱に、これだけの維持管理費がかかるのであれば、委託業者にやらせてみてはどうか。
男性	30歳代	古井	改装してはどうか。
男性	60歳代	蜂屋	外国人に占拠され、日本人が肩身の狭い思いをしているので何とかしてほしい。
女性	30歳代	古井	屋内プールにして年中利用できたらよいと思う。
女性	50歳代	下米田・牧野	温水プール等、年間通して利用できる施設になれば有効と思う。
女性	30歳代	伊深	新しくきれいにして幼児用プールも再開してほしい。
女性	30歳代	太田	子ども用プールを充実させてほしい。そうすれば利用者数も増加すると思う。
男性	30歳代	蜂屋	子どもが2歳、1歳なので幼児用プールがほしい。
男性	70歳代	蜂屋	開園期間が中途半端だと思う。
女性	60歳代	古井	幼児、子どものためのプールの方が必要だと思う。
女性	20歳代	加茂野	小さな子どもも遊べるプールがあるとよい、と思います。
女性	30歳代	加茂野	子ども、幼児用プールが休止になってしまい、小さな子どもが入れるプールが近くなってしまうのが残念です。
男性	30歳代	伊深	市民プールを閉園し、B&G海洋センターや学校のプールを活用していった方がよいと思います。(利用者数減少、施設老朽化、管理費多等の観点から)
女性	40歳代	蜂屋	子ども、幼児用プールも利用できるようにしてほしい。
女性	60歳代	太田	外国人が多く、風紀も悪いと評判です。子ども、幼児用こそ必要ですし、温水プールがほしいです。
女性	40歳代	蜂屋	幼児用プールはあってほしい。
女性	30歳代	太田	早く幼児用を再開してほしい。

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	下米田・牧野	期間が短い。
女性	60 歳代	加茂野	紫外線の問題もあり、開園のためには屋根が必要となるでしょう。
女性	60 歳代	加茂野	もっと利用する人が多いとよいと思う。幼児用を再開してほしい。
女性	40 歳代	古井	できれば子ども、幼児用プールを開いていただきたいです。
女性	70 歳代	加茂野	リハビリのために温水プールが必要。
女性	30 歳代	太田	市民プールは重要だと思うが、子ども用がないので使えない。
女性	30 歳代	古井	子どもが小さいので、子ども、幼児用プールがなくなったのは残念。小さい子どもを持つ親は私の周りでも、みんなすごく残念と言っている。
女性	30 歳代	加茂野	夜間営業してほしい。
女性	20 歳代	太田	幼児用プールを再開してほしい。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	健康は他人のためじゃなく自分のこと。
女性	60 歳代	古井	利用していないのでわからない。
女性	80 歳代	下米田・牧野	遠いので行けない。
女性	80 歳代	太田	老齢で参加していないのでわからない。
男性	60 歳代	太田	認識不足のため、取り組みがあることを知らず、参加することもない。
男性	60 歳代	古井	参加していないからわからない。
女性	80 歳代	太田	各種行事参加のための交通手段がない。
女性	60 歳代	下米田・牧野	利用したことがない。
女性	50 歳代	蜂屋	10 年以上、利用していない。
女性	40 歳代	加茂野	子どもが利用していないので、判断ができません。
女性	70 歳代	太田	行ったことがない。
女性	40 歳代	加茂野	行かない。
男性	40 歳代	古井	子連れとしては、他の所へ行っている。なぜか理由がわからない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (6) 市民活動サポートセンターによる市民活動の活性化

(生涯学習課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	できることは何でもやるという精神があるから美濃加茂市はよいのです。
男性	70 歳代	加茂野	「地域・人のつながり」がこれからのキーワードになると思うから。
女性	50 歳代	古井	行政の不備を補える。
男性	60 歳代	加茂野	今後 30 年間は高齢化社会が続く中で、高齢者の生きがい、楽しみを提供し、サロン活動を継続して行く上で、各種の講座を用意してくれるセンターは必要。
女性	80 歳代	太田	さらなる積極的活動を望みます。
女性	70 歳代	下米田・牧野	活動はとてもよいこと。
女性	20 歳代	古井	ボランティアは必要だと思うので、積極的に行ってもらいたい。
女性	60 歳代	加茂野	皆が登録していろいろ活動したら楽しいと思う。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	下米田・牧野	よかれと思って参加しても、ボランティアの方からいろいろ言われるのが嫌です。
女性	70 歳代	古井	審査基準の不確かさ。
男性	30 歳代	古井	ボランティアなら個人の責任ではないのか。
女性	50 歳代	蜂屋	予算が少ない。これからもっと高齢者が増え、人の役に立ちたい人も増えます。しかし、持ち出しが多くては活動が続きません。
女性	60 歳代	古井	参加しようと思う気持ちがあまりわからない。
女性	60 歳代	太田	参加方法がわかりづらいです。
女性	40 歳代	加茂野	活動の成果を実感していない。
女性	60 歳代	古井	個人として利用(参加)しづらい。



【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	実際に活動しているかどうかを調べる必要あり。書類だけで助成を受けているものが数グループある。
男性	50 歳代	下米田・牧野	内容紹介をもっと積極的に。
女性	40 歳代	太田	中学生、高校生がしているボランティア活動はどうかなと思います。
男性	20 歳代	古井	若い人から高齢者まで、もっと幅広くボランティア活動に参加してもらえるように、広報活動などにもっと予算を使ってもよいと思う。
女性	30 歳代	太田	どのようなボランティア活動があるのか、どのようにして参加できるのか、どのように利用できるのか、などが周知されていない。
男性	20 歳代	蜂屋	今後、重要度は増してくる。地域活動のリーダーを育成してほしい。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	30 歳代	古井	よい取り組みだが、あまり知られていないと感じる。
男性	60 歳代	太田	市として NPO に支援を強化し、ボランティアはボランティアとして必要に応じ養成する。
無回答	無回答	無回答	事業費の増加。
男性	30 歳代	蜂屋	もう少し広告をしてほしい。
男性	50 歳代	蜂屋	もっとPRしてほしい。
男性	40 歳代	古井	もっとするべきボランティアが幅広くあるはずです。
男性	70 歳代	古井	もっと予算を付けて活性化するとよい。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	加茂野	参加したことがない。
男性	20 歳代	下米田・牧野	よく知らない。
男性	60 歳代	古井	参加していないからわからない。
女性	60 歳代	下米田・牧野	参加したことがない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	ボランティア活動をする時間がない。
女性	60 歳代	太田	参加したことがないので評価できない。
女性	50 歳代	蜂屋	必要だと思うがよくわからない。
女性	70 歳代	三和	満足度についてはわかりません。
男性	50 歳代	太田	知らない。
男性	70 歳代	古井	市民活動サポートセンターはどこにありますか。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (7) 自治会活動

(地域振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	伊深	町民運動会は楽しい。
女性	80 歳代	太田	さらなる積極的活動を望みます。
女性	50 歳代	下米田・牧野	可児などと比べると夏の間だけでもごみ収集が週 3 回あることで助かっている。
男性	30 歳代	古井	自治会のおかげでまちが保たれている面もありよいと思う。
男性	40 歳代	山之上	非常に重要。
男性	10 歳代	古井	ごみの少ないよいまちです。
女性	60 歳代	加茂野	ごみ集積場が近くにあり助かっています。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	40 歳代	古井	運動会は必要ない気がする。
女性	80 歳代	太田	市民運動会は一部の方(役員等)の参加のみであるため、昔と比べ、やる意味がないのではないか。
女性	70 歳代	古井	住環境整備は必要だが、いい位の使い方をされるのは不要。
女性	40 歳代	加茂野	運動会は必要ないと思う。毎年役員の人に参加する人(競技に出る人)に頼む事が大変。そこまでの必要性があるのか疑問。
男性	50 歳代	古井	加入率が低い。私の地域でも脱会される事例がある。
男性	30 歳代	太田	市民運動会は必要ないと思います。
男性	60 歳代	太田	自治会活動を強制されることがあり、非常に不愉快な思いをしている。
男性	60 歳代	古井	防犯灯が少ない。
女性	50 歳代	古井	未加入の方に対し、自治会の必要性が説明不足。
女性	50 歳代	古井	運動会などの行事は、自治会の体育委員や役員が、参加者を集めるために大変な思いをしています。やめてほしい。
男性	70 歳代	古井	行政の積極性が乏しい。やめたいばかり。
女性	20 歳代	蜂屋	自治会の活動が、めんどうだと思ふことがあるから。
女性	50 歳代	太田	運動会はなくした方がよい。参加する人は老人が多く負担が大きい。やりたい人が参加するようにする。
男性	40 歳代	古井	市民運動会は必要ないと思う。体育委員の方が毎年困っていて意味がない。
女性	30 歳代	伊深	未加入者もごみを出すのに、管理などないのはおかしい。
女性	30 歳代	太田	自治会未加入の方が多いのか、役員等は何度も同じ人がするような感じがします。

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	古井	未加入世帯でも同じサービスを受けられ、ごみも捨てられるのに清掃はない。不公平ではないのか。
男性	30 歳代	蜂屋	自治会の方は、後から引越しをしてきた人に対して冷たいです。
女性	60 歳代	古井	つながりは大切だけれど、かえって窮屈な場合もある。
男性	40 歳代	加茂野	自治会としての本来の目的から外れていないか。ソフト、バレー、野球で団結力が生まれるのか。
女性	60 歳代	太田	今はごみ集積場の管理が自治会の重要な仕事になっている。しかし、自治会に入っていないアパート生活の人たちが、ごみの分別もしないで、自治会のごみ集積場に置いていく(回収されない)。
女性	50 歳代	蜂屋	最近脱会していく人が出てきて不公平感が生まれている。
女性	80 歳代	古井	入らない人が増えてきた。
女性	60 歳代	古井	自治会加入率少ないのですね。
男性	50 歳代	太田	自治会に入っていない人はどうするのか、アパートの人は入っていない。
男性	70 歳代	古井	約 40%の市民が自治会に入っていないことは、非常に不満である。ごみ、防犯灯などをなぜ自治会で面倒みるのか。
男性	40 歳代	古井	市民運動会もなくなった、地域の関係が薄くなっていく。
男性	60 歳代	太田	新しい住人の受け入れが十分でない。
男性	50 歳代	加茂野	自治会に加入しなくても何の不自由もないのに、役をやっていることに不満。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	古井	市民の(自治会員)の協力があつてできることが多々あり、今後も地域の和を計っていく上で重要。
男性	70 歳代	加茂野	ますます「人のつながり」が重要となるが、自治会加入率が低下している。
女性	50 歳代	古井	これからの自治会活動については、いろいろな面を変えていかないといけない。
男性	60 歳代	太田	役員の高齢化が問題である。
女性	50 歳代	太田	防犯灯、街路灯を市で算出してほしい。バレーなどは不要。
女性	60 歳代	加茂野	自治会に加入しない人が増えている。多くの方が加入するようになって行くといい。
女性	40 歳代	加茂野	自治会内での親睦が災害時、非常時のよいつながりになるので、イベントなどは必要。市民も参加する必要ありと考える。
女性	50 歳代	古井	自治会の加入率を上げるように働きかけが必要だと思う。
男性	50 歳代	下米田・牧野	強制はできないが、強力な加入促進を願う。
男性	60 歳代	蜂屋	自治会未加入者へのペナルティを考えてほしい。

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	運動会はやめてほしい。代わりにウォーキングコースを2つくらいにする。
男性	60 歳代	加茂野	自治会がなくなると無法地帯になる。(安全、住環境が悪化する)
男性	20 歳代	古井	自治会の加入等は今後も減少が予想されるので、減少しても維持できる体制を考えた方がよい。
女性	50 歳代	蜂屋	自治会には 100%加入するものと思っていましたが、加入は自由ときいて驚いています。
男性	80 歳代	古井	当地は外人が多く、地域の方々と多く融合できるためには、自治会等の加入も役に立つと思います。
女性	60 歳代	古井	地域活動を普段からすることで災害時の助け合いにつながる。
男性	20 歳代	蜂屋	負担が大きい。市全体で行う行事は減らして、その自治体ごとで活動を考えた方がよい。
女性	20 歳代	古井	特に住環境整備は、生活する上で必須になる。
男性	20 歳代	太田	バレー、野球は、絶対必要なのでしょうか。それをやるなら、大会費に回した方がよいと思います。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	60 歳代	太田	市政として仮称名「自治会」課をつくるべき(全体を合理化し)。自治会参加、不参加で大きな違いがある。新築転入等の指導をするべき。市提起のボランティアも差がでている。ごみも名前なし、生、不燃など分別なく出す。
女性	70 歳代	三和	防犯灯の増加、及び清掃活動に力をつくしていただきたいと思います。
女性	60 歳代	太田	振興活動は十分でないと思います。
男性	80 歳代	太田	太田地区では高齢、独居世帯が多くなり、自治会運営ができない会がでている。要改善策の考究。
男性	60 歳代	下米田・牧野	各自治会のペットボトル、トレイの集積は無料でやるべき。ボランティアでやるべき。
男性	50 歳代	古井	最近自治会に入らない若い人がいることは、なんとかしないといけない。
男性	40 歳代	太田	ごみ集積場の仕様を統一してほしい。
女性	60 歳代	太田	自治会加入率をあげたい。
女性	60 歳代	古井	若い人たちの参加がありますか。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	加茂野	自治会に加入していない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	会員のためにいろいろしてくださっていると信じていますが、どうなのでしょう。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (8) 美濃加茂堂上蜂屋柿などブランドイメージの向上

(産業振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50歳代	下米田・牧野	「美濃加茂市のものです」と、自信を持って言えることが嬉しいです。
男性	50歳代	古井	商工の充実は、最終的に税収増に結びつく形で行う必要があると思う。市全体に広がる産業型に集中し、促進した方がよいと思う。
男性	40歳代	太田	まちの活性化に貢献している。
女性	30歳代	伊深	蜂屋柿、すごく喜んでもらえています。
男性	20歳代	古井	蜂屋柿は首都圏でもそこそこ知名度が上がっているので、引き続きがんばってほしい。ただ供給量と、季節ものでもあるので、はちや豚の方もがんばってもらいたい。また「蜂屋＝美濃加茂市」のイメージ戦略も必要だと思う。
男性	60歳代	加茂野	知名度が低い。
男性	20歳代	蜂屋	蜂屋柿はどんどんおしていくべき。
女性	20歳代	古井	市のイメージアップになると思う。
男性	20歳代	太田	梨も促進してほしいです。
女性	60歳代	蜂屋	市のブランド商品があるのは知名度もアップしてよい。
女性	60歳代	太田	美濃加茂PRはもっと必要と思います。
女性	40歳代	加茂野	地元でも知らなかった。活性化につながるとよいですね。
女性	80歳代	古井	名物はあった方がよい。
女性	70歳代	太田	PRが足りない。
男性	50歳代	古井	シティホテルにかかっているが、PRがいまいちである。地元特産品としてはまだ知名度が足りない。
女性	60歳代	古井	アピール不足のような気がする。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70歳代	古井	農協の仕事ではないか。市側はあくまで援助で。
男性	10歳代	加茂野	柿では厳しい。柿では他県からは来ない。
男性	30歳代	古井	柿を好む人は少ない。
女性	60歳代	古井	市民にあまりなじみがあるように感じない。
男性	80歳代	太田	山之上産の果実は無視ですか。蜂屋も商工会に任せたらどうかと思料する。
無回答	無回答	無回答	柿では無理だと思う。
男性	70歳代	古井	意味が理解できない。PR不足。

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	古井	市の施策として必要か。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	市は本腰を入れていますか。蜂屋柿生産者に対し基本的なこと（農業指導員または研究者を参加させる）はJA任せではいけません。また、後継者の育成は考えていますか。山之上の農園面積は減少しています。
女性	60 歳代	古井	美濃加茂市の有名ブランドを増やすことにより、観光に結びつくことが予想されるかなと思います。
女性	30 歳代	加茂野	柿を使用したお菓子、おみやげの商品開発やPRをもっとした方がよい。
男性	40 歳代	古井	もっと力を入れてほしい。
女性	50 歳代	古井	シティホテルなどで食べられるのでしょうか、はちや豚などが。
男性	80 歳代	山之上	目下のところ、若者には目玉がない。なにか一つできますように。
女性	60 歳代	加茂野	もっともっと蜂屋柿を宣伝していき、美濃加茂のイメージをよくしていくとよい。
女性	20 歳代	太田	全国的にもっとPRすべき。
男性	20 歳代	下米田・牧野	アピールするのならとことんしていきたい。もうすこしPRして、皆が知っているくらいにする。
女性	30 歳代	古井	美濃加茂市内の者だったら柿や梨が有名なことは知っているが、他のまちに住んでいる人はそんなに知らない。ブラジル人の多い市としてPRした方がよいと思う。
女性	50 歳代	古井	付加価値をつけるなど新たな商品づくりが必要。
女性	80 歳代	太田	各種商品の開発、ブランド化。
男性	70 歳代	蜂屋	商品単価が一寸高価すぎるのでは。
女性	50 歳代	蜂屋	高齢化により、蜂屋柿の農家が減っていると聞いています。柿畑の荒れた所もあります。危機感を抱いています。
男性	20 歳代	古井	美濃加茂ブランドはよいが、蜂屋柿は美濃加茂市民すら知らない人が多い。
男性	30 歳代	伊深	有名な料理人にこれらの食材を使用してもらい、全国ネット（最初は東海地方局でも OK）で放映してもらおう。その後はネット（楽天等）でも販売する。高速のサービスエリア等でも販売する。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	30 歳代	蜂屋	市民の中で広まっていない。スーパーなどで「はちや豚」を販売したりして、まず市民からアピールを。
女性	40 歳代	蜂屋	柿などは若い人にはうけないので、もっといろいろな年齢の方に受け入れられる商品を開発してほしい。

性別	年代	居住地区	意見
男性	10 歳代	古井	イメージキャラクターなど、親しみやすいキャッチコピーがあるとよい。
女性	60 歳代	加茂野	安全な環境を保ち開発してほしい。
女性	60 歳代	加茂野	もっと皆で盛上げてほしい。
男性	30 歳代	蜂屋	まだまだ全く認知されていないと思う。
女性	30 歳代	太田	後継者の確保が心配。(特に蜂屋柿)
男性	50 歳代	蜂屋	まだまだ知名度が低い、岐阜県内で知らない人が多い。
女性	60 歳代	古井	もっと市民も買えるような品もあると、よいと思います。
女性	40 歳代	加茂野	市のブランド商品は必要。でも今の商品は好きではない。
女性	50 歳代	太田	はちや豚はあまり知られていないのでもっとアピールが必要。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	太田	蜂屋柿のカステラは高くないですか。「ふいなんしえ」は甘すぎ。
女性	30 歳代	加茂野	全く知らない。
男性	60 歳代	古井	買ったことがないためわからない。
女性	40 歳代	加茂野	知らなかった。
女性	50 歳代	蜂屋	口にしていないのでよくわからない。
男性	70 歳代	太田	なぜか市民に小売りをしてくれない。地元、市内の人に蜂屋柿をなかなか売ってもらえないのはなぜなのか。蜂屋の産地へ行ってもまったく売ってもらえなかった。
女性	30 歳代	下米田・牧野	フィナンシェ美味しかったです。
女性	70 歳代	三和	満足度についてはわかりません。
女性	40 歳代	蜂屋	市民が食べる機会がありません。
男性	40 歳代	山之上	山之上の梨はどうなのか。
女性	30 歳代	太田	知らない。市内にいないから初めて聞きました。
無回答	無回答	無回答	実家へフィナンシェを持っていったら喜ばれました、ありがとうございました。
男性	50 歳代	太田	聞いたことがない。
男性	40 歳代	古井	あまり認知度が高くない。
女性	30 歳代	加茂野	この商品自体知らない。初めて知った。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (9) 地域の実情にあった防災訓練の実施

(防災安全課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70 歳代	下米田・牧野	大切なことだと思う。
男性	70 歳代	加茂野	実地訓練がいざというとき役に立つ。
女性	50 歳代	下米田・牧野	備えあれば憂いなしということで。
男性	40 歳代	太田	震災発生時に備えるため、必要である。
男性	60 歳代	加茂野	自治会単位の、小域での訓練が必要と考える。
女性	80 歳代	太田	防災力強化。
女性	70 歳代	下米田・牧野	大事なこと、続けてほしい。
男性	40 歳代	加茂野	もっと力を入れるべきである。
男性	20 歳代	太田	必要です。
男性	40 歳代	加茂野	とても重要なことだと思うのでこれからも続けるべきだと思う。
女性	50 歳代	蜂屋	必要とは思う。
男性	40 歳代	古井	必要です。独居老人への配慮がなされているかが心配です。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	参加者が非常に少なかった。自治会役員のみ。問題あり。
男性	50 歳代	加茂野	消防署等が主体となるべき。
男性	30 歳代	蜂屋	必要ない。
男性	60 歳代	蜂屋	訓練のための訓練に終り、形式的である。
男性	60 歳代	古井	朝早くから集合しただけで意味がなかった。
女性	60 歳代	古井	終り方が良くなかった。費用の使い方が見えない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	20 歳代	古井	前回の訓練はその日に広報の放送で知りました。もう少し前にいろいろな方法で、実施することを知らせてほしいです。
男性	50 歳代	蜂屋	年に 3 回ぐらいにしないと、この先何が起こるかわからない。
男性	50 歳代	古井	防災に関しては個々の意識は高いと思う。形式的な訓練で終わらず、内容を高めてほしい。
女性	30 歳代	太田	主人が消防団員ですが、もっと若い方も参加してもらいたいと話しています。
男性	20 歳代	下米田・牧野	たくさんの人に参加してほしいです。また、消防署の人たちにもう少し協力してもらおうとよいと思います。



性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	市内は地盤が固いので地震には強いと思うが、水害、土砂崩れには工夫が必要だ。
男性	20 歳代	古井	参加者は、消防団と高齢者と役所の職員がほとんどではないでしょうか。もっと幅広く、特に子どもに多く参加してもらうために、小中学校との連携をもっと取ってはどうか。
女性	30 歳代	太田	もっと地域住民が主体となった、防災についての周知、防災意識の向上を図るべき。
女性	50 歳代	蜂屋	防災訓練の周知が徹底していない。多くの人に参加してほしいのならもっとPRすべき。
男性	20 歳代	蜂屋	地区で計画をして、市としてサポートをしてほしい。
女性	20 歳代	古井	東日本大震災を教訓に、起こり得る危険として、市民にできる対策を周知してもらいたい。
男性	30 歳代	伊深	訓練には自治会役員の方と、消防団員しか参加されていなかったような気がします。災害発生に備えた訓練に、参加することの大切さを市民の皆さんに周知してもらう機会(学校の保護者会、自治会総会等)を、増やす必要があると思います。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	70 歳代	古井	災害への市民意識の向上。
男性	60 歳代	太田	有線の活用をもっと強化する。
女性	60 歳代	太田	実感できる内容にしてほしいです。
女性	70 歳代	太田	自治会に入っていない(マンションなどの)人もお願いします。
女性	60 歳代	加茂野	小さい範囲で計画してほしい。校区別より各自治会の活用が大切と思う。
無回答	無回答	無回答	訓練は全自治体が同じ日に、一斉に行う方がよい。
女性	60 歳代	加茂野	全員参加の呼び掛け。
男性	70 歳代	古井	9 月 1 日は防災の日です。市全体で徹底した防災訓練が必要だと思います(当市の訓練は効果が低い)。
女性	60 歳代	太田	防災訓練をもう少し多くした方がよい。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	加茂野	参加していないためわからない。
男性	30 歳代	古井	聞いたことがない。
女性	40 歳代	太田	訓練に参加していないので満足度はわかりません。
女性	30 歳代	加茂野	地域で消防の訓練は行っているが、終わった後お酒の飲めない人はつまらないし、小さなお子様がいる家庭は夫が不在だとかわいそう。
女性	50 歳代	下米田・牧野	老人をかかえていると訓練にも参加できない。

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	加茂野	アパート暮らしなのでご近所づき合いが少なく、もしもの時に不安があります。
女性	40 歳代	加茂野	知りませんでした。
女性	70 歳代	三和	満足度についてはわかりません。
女性	40 歳代	加茂野	知らなかった。
男性	40 歳代	山之上	ただし、市民に浸透しているかは不明。(重要度 3、満足度 3)
女性	40 歳代	古井	防災訓練についてよくわからなかった。どこに集まりどうするのかなど。
女性	30 歳代	太田	子どもが小さくて参加できない。参加したくてもできない場合はどうするのか。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	加茂野	備えあれば憂いなし。
女性	50歳代	下米田・牧野	巨大地震が来るという予想があり、大切なことです。
男性	40歳代	太田	震災が発生時に備えるために必要である。
女性	30歳代	太田	最近、青いパトライトをつけた見回りの車を市内でよく見かけます。とてもよいと思います。
女性	80歳代	太田	防災力強化。
男性	20歳代	蜂屋	地区にあったものを、充実させておくべき。
女性	20歳代	古井	常に最善の状態を維持してもらいたい。それが確認できると安心できる。
女性	50歳代	蜂屋	重要だとは思う。
女性	40歳代	加茂野	有事に役立ててください。
女性	60歳代	加茂野	有効に利用されたい。
女性	60歳代	加茂野	これから大切。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	30歳代	古井	消防団のむだ使いを知っていますよね。なぜ放置するのですか。
男性	20歳代	古井	消防団は本当に必要か。
男性	40歳代	太田	自警隊なんていない。役に立たない。
男性	60歳代	太田	設問(7)同様「自治会」課を作り指導すべき。自治会組織図はあっても、全住民が参加(加入)していない。期限切れの非常食はいずこに。
男性	50歳代	太田	補助金の使い道が疑問。
女性	60歳代	古井	終り方がよくなかった。費用の使い方が見えない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	古井	自治会任せにしていますか。自治会への指導をおねがいします。
女性	50歳代	古井	秋の運動会へ地域の参加が少なくなりつつある今、防災力を高めるため、子どもから高齢者まで参加できる防災運動会のようなもので、市民の意識高揚を図ることを考えてはどうか。いつも役員のみ参加では困る。
男性	60歳代	太田	重要ではあるが、高齢化(若者の無関心)により参加者が少なす

性別	年代	居住地区	意見
			ぎます。
女性	50 歳代	太田	補助金でなく全額出してほしい。
男性	50 歳代	古井	活動の実態は地域ごとで差がある。おしきせになってもいけないが、行政からの指導等がもう少しあり、活性化するような方向付けをした方がよいと思う。
男性	20 歳代	下米田・牧野	設置されたものについては、定期点検をしてほしいと思う。
女性	50 歳代	古井	循環のできる食料の備蓄は必要かと思う。
男性	60 歳代	三和	自主防災組織(災害支援協力隊など)のヘルメット、ベストなどが十分に支給されていない。
男性	40 歳代	加茂野	防災器具等の整備に力を入れるべき(調査は行われているのか)。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	60 歳代	太田	実感できる内容にしてほしいです。
男性	40 歳代	古井	東北の例から学ぶべき地域のつながりをもっと大切に。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	できることは何でもやるという精神があるから美濃加茂市はよいのです。
女性	30 歳代	加茂野	参加していないため、わからない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	老人をかかえていると訓練にも参加できない。
女性	70 歳代	三和	満足度についてはわかりません。
男性	50 歳代	古井	私たちの自治会も自主防災組織を立ち上げて活動開始しました。
男性	70 歳代	古井	185 ある自治会のうち自警隊があるのは少ないと思います。防災器具のない自治会もあります。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	防犯第一のためのよいことだと思う。
男性	60 歳代	下米田・牧野	身の安全として必要。
男性	50 歳代	山之上	防犯灯は多く設置が望ましいが、自治会からの電気代が増える。
男性	20 歳代	下米田・牧野	防犯灯は田舎には大切。防犯になるから。
女性	80 歳代	下米田・牧野	安心できる。
女性	20 歳代	古井	現状で満足している。
女性	50 歳代	蜂屋	防犯上必要だと思います。技術がすすんでセンサータイプもあればよいです。
女性	60 歳代	加茂野	大切。
女性	40 歳代	古井	とても暗い所があり、防犯灯を増やしていただきたいです。
男性	60 歳代	太田	防犯灯は必要であり、市が保守から行うべきです。
男性	40 歳代	古井	これからも大切にしたい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	電気料は 1/2 でもよいと思う。
男性	20 歳代	古井	市が全部負担してもよいのではないか。
女性	30 歳代	古井	電球が切れているのをよく見かけるため。
男性	60 歳代	加茂野	市の仕事で自治会のやることではない。
女性	30 歳代	太田	充足率がわからないので、どちらともいえない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
無回答	無回答	無回答	80mの間に家があるが、どちらの街灯も曲がった先にあるので、家の前の道には一つも灯がない。暗いので恐いです。防犯のためにも設置していただきたいです。
男性	70 歳代	古井	照明など、本当に暗い処でない所が多い。交通量などを考えた優先順位で設置してほしい。
女性	70 歳代	下米田・牧野	山の近くに住んでいて、夜などもう少し防犯灯の数がほしいと思います。
女性	60 歳代	古井	たまに歩いていて、防犯灯があると安心だなと感じることがあります。その地区の自治会が積極的に注意し協力してほしい。
女性	30 歳代	加茂野	もう少し増やした方がよい。
女性	50 歳代	古井	夜自転車で走ると、まだまだ必要な所があると感じる。

性別	年代	居住地区	意見
女性	80歳代	下米田・牧野	もっと市を明るくするよう、灯の設置をしてください。
女性	50歳代	太田	防犯灯、駅前通などの街路灯は全額出してほしい。
男性	50歳代	古井	数が全く不足していると思う。また防犯灯はあっても暗く、安心なまちとはとても思えない。
女性	10歳代	古井	もっと増やしてほしい。
男性	50歳代	下米田・牧野	メンテナンス(灯交換)を入札にして価格を統一して下げる。
男性	30歳代	古井	暗い道が多すぎる。距離より光量。
女性	70歳代	古井	防犯灯と防犯灯の間の距離が80m以上あるところもあり、もう少し短距離にしてほしい。新築家屋ができてても暗い。
男性	40歳代	蜂屋	節電のために電気がついていないことがある。何のための防犯灯や街灯なのか。
男性	60歳代	古井	1年切れたままの防犯灯があるから、市で管理してほしい。
女性	50歳代	古井	事故が多いところには防犯カメラの必要があるかも。警察と自治体が相談。
男性	60歳代	加茂野	設置数が少ない。
男性	60歳代	古井	防犯灯の距離が長すぎる(80m以上ある)。
女性	30歳代	伊深	もう少し増やしてほしい。
女性	60歳代	古井	防犯灯が切れていても直すまでに時間がかかる。
男性	20歳代	蜂屋	必要なくなった防犯灯(切れたまま放置)の廃止も検討。デザインも検討。
男性	80歳代	太田	カメラの設置はいかが。
女性	50歳代	古井	治安の悪化を感じています。防犯活動を強化してほしい。
女性	60歳代	太田	まだ足りない。
女性	70歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	40歳代	加茂野	全体的に美濃加茂市は防犯灯が少ないと思う。
男性	60歳代	太田	各自治会の設置か所の要望は一括されていますが、それに基づいて調査はしましたか。やはり「自治会」課が必要。
女性	70歳代	三和	山林の多い地域(三和)は、多少増やしていただきたいと思いません。
女性	40歳代	加茂野	居住地区には防犯灯がない。
男性	50歳代	山之上	通学路にこだわらずもっと設置を。
男性	50歳代	下米田・牧野	自治会間の防犯灯(道路)が不足。
女性	40歳代	古井	中部台は防犯灯が多く、他は少なくかなり暗い所もある。
男性	50歳代	古井	防犯灯は本当に大事です。ソニーの撤退で地元の防犯は大事になります。
男性	70歳代	古井	(7)で記しましたが、防犯灯の必要なのは自治会員だけでない。自治会単位の地域内に住んでいる個数で頭割りし、市で徴収してほしい。

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	加茂野	電球切れが多い。素早く交換してください。
男性	50 歳代	太田	80m 以上ないと思いますが。
女性	40 歳代	太田	まだまだ夜道の暗いところはたくさんあります。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	太田	最小限、現状を要望します。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (12) 交通安全帽子、夜光腕章の贈呈

(防災安全課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	必要だと思います。
女性	50 歳代	下米田・牧野	子どもを守るためには大切だと思います。
男性	60 歳代	下米田・牧野	身の安全として必要。
女性	30 歳代	加茂野	子を守る上でも大切なこと。とてもよいと思います。
女性	20 歳代	古井	現状で満足している。
女性	50 歳代	蜂屋	安全上大切と思います。
女性	40 歳代	加茂野	安全のため継続してください。
女性	60 歳代	加茂野	よい。
男性	30 歳代	蜂屋	必要です。
女性	60 歳代	古井	子どもたちの安全が大切です。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	太田	腕章はいらない。していない子が多い。そんなに遅い時間に帰らない。
女性	60 歳代	太田	小学校ですが、近頃は全学年がかぶるようになり、嫌です。1 年生だけがかぶるように戻してほしいです。
女性	40 歳代	加茂野	小学生の交通安全帽子を見るとドライバーとしても気をつけようと思います。学生服は蛍光腕章あった方が民間人を確認しやすいです。
女性	20 歳代	太田	使っている生徒をあまり見ないのでむだな気がする。それより中学生の下校の指導をしてほしい。
男性	30 歳代	古井	いらない。それより交通マナー向上の啓発。
男性	20 歳代	下米田・牧野	帽子はいらない。腕章はいると思う。
女性	30 歳代	古井	交通安全帽子は小学 1 年生の時しかかぶらず、夜光腕章も中学の時制服に縫い付けてあったにもかかわらず、帰りはジャージだったので意味あるかなと思ったことがある。
男性	20 歳代	蜂屋	帽子はいらないかも。
男性	20 歳代	太田	使っている子が少ないため。
女性	40 歳代	蜂屋	小学校の安全帽子は活用されているが、中学生の腕章については使用していない生徒が多いと思う。廃止してよいのではないか。
女性	50 歳代	太田	贈呈しても帽子は一年生の時ぐらいしかかぶらない。腕章も使っているか見たことがない。



性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	太田	車に乗っていて夜光腕章によって人に気づいたことがない。
男性	30 歳代	古井	活用されていないのでは。
男性	10 歳代	古井	付けない子がほとんどだと思われる。
女性	60 歳代	山之上	中学生が夜光腕章をしている所をあまり見ない。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	古井	車を運転している際、夜の暗闇で黒い服装で歩いている人を見てヒヤリとすることが多々あります。子どもだけでなく腕章を市民に配布してほしい。
男性	70 歳代	加茂野	「小さなことから始める」が大切。活用着用率を高める働きかけが必要である。
男性	40 歳代	古井	交通安全帽子については 6 年間使用するの、買い替え時の補助にも力を入れてほしい。
女性	20 歳代	山之上	新入学生徒だけにつけさせるのではなく全生徒にきちんとつけさせるべき。(特に夜光腕章を冬の期間に)
女性	50 歳代	古井	腕章は贈呈ではなく、卒業の時に返却。腕章をつけている学生が少なく思える。(自転車の無灯火が多い。中学生だけでなく高校生も)
女性	40 歳代	太田	着用されているのをあまり見たことがありません。形状を変えられたほうがよいのでは。
女性	40 歳代	太田	安全帽子は太田小の子は 1 年生しかかぶってないからもったいない。
男性	60 歳代	太田	理想はこうした取り組みが必要のない社会環境の構築。
女性	50 歳代	古井	防犯意識は高める必要がある。
女性	50 歳代	太田	夜光腕章の使用の徹底が必要
男性	40 歳代	加茂野	子どもの意見を聞くべき。帽子で安全が防ぐことができるのか。ヘルメットにすべきでは。(安全なら)
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	30 歳代	太田	小学校の新入学児童だけでなく全児童が安全帽子をかぶった方がよいと思います。
女性	60 歳代	太田	安全帽子は通気性良好でしょうか。
男性	30 歳代	加茂野	学校側が着用の義務を徹底してればよい
女性	40 歳代	古井	途中から 6 年間安全帽子を使用するのではなく、新入生から 6 年間使用することを確認し行えるとよかったですと思います。
女性	40 歳代	古井	黄色い帽子とランドセルカバーはとてもありがたいです。
男性	40 歳代	古井	かっこ悪くて付けないということもあるのでは、他の方法も。
女性	30 歳代	加茂野	贈呈していても使われなければ意味がない。学校を通じて使用する

性別	年代	居住地区	意見
			る指導も必要。
男性	60 歳代	蜂屋	中学生の自転車通学にも必要だと思う。マナーが悪いの一言です。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	太田	指導方法がわからない。
男性	70 歳代	加茂野	結果が出ている訳ですよ。
女性	30 歳代	加茂野	中学生を見かけないため使用しているのかわからない。
女性	50 歳代	古井	帽子、腕章が活用されているかどうかが問題。
男性	30 歳代	蜂屋	西中学校区だったのに東中学校区になったのが納得いかない。西中だったら徒歩 20 分なのに東中になるとものすごく遠くなる。
女性	80 歳代	太田	最小限、現状を要望します。
女性	50 歳代	下米田・牧野	学生が夜、自転車で走って行くことに、電気を付けずに走るのでも怖い。
男性	30 歳代	加茂野	通学路の整備してほしい。
女性	30 歳代	太田	未就学なので
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	「地域・人々の支え合い」の啓発活動に期待します。
男性	60 歳代	下米田・牧野	高齢化社会のため
男性	20 歳代	下米田・牧野	現状がわからないが老人が多いので大切だと思う。
女性	30 歳代	古井	身内のものでも認知症になってしまった者がいたのでこういう活動はもっとやってほしい。
女性	80 歳代	太田	引き続きさらなる実施を望みます。
女性	60 歳代	太田	身内で、認知症が出て行政にも大変お世話になりました。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	太田	認知症の家族がいるのに集いに行けないと思う。
女性	40 歳代	加茂野	映画もよいものを選んでいのに PR がまだ不足かと思えます。
男性	20 歳代	太田	映画会がそれにつながるとは思わないです。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	来年度の広がり期待、各地域で自治会とも連携しての事業の展開もありかと。
女性	50 歳代	太田	家族は大変だし、老老介護だったりする。施設を増やしてあげたい。
男性	50 歳代	下米田・牧野	間接的な予防事業も積極的に進めてほしい。
女性	70 歳代	古井	老人核家族のための支援がほしい。
女性	50 歳代	古井	大変重要でさらに増える老人に対し予防や有効な方法と実績のあることを手本に進めるとよい。医療費の増大を防ぐ上で。
女性	50 歳代	蜂屋	長寿支援センターはどこにあるのですか。中央公民館、文化会館、図書館は中央部にあるのもわかるが、このような支援センターはせめて蜂屋にもほしい。
女性	70 歳代	下米田・牧野	もっと広げてほしい。
男性	40 歳代	加茂野	本来は家庭への支援をすべきではないのか。
男性	20 歳代	蜂屋	具体的な支援を行った方が。(もちろん、啓発も必要だが)
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	50 歳代	蜂屋	必要ですが意外に金額が少ない気がします。
男性	60 歳代	太田	提起されている市の職員も将来を考えた政策を。明日は私、あなただから。

性別	年代	居住地区	意見
女性	60歳代	加茂野	もっとやってほしい。
男性	30歳代	蜂屋	もっと活動してください。
女性	60歳代	古井	高齢者としては気になる事業です。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	加茂野	私もいつか、よろしくお願いします。
男性	30歳代	古井	どこで。聞いたことがない。
女性	30歳代	伊深	あることを知らなかった。
女性	60歳代	古井	よく知らない。
女性	20歳代	古井	利用したことがなく、わからない。
女性	50歳代	下米田・牧野	私の家族は母(認知症)と夫(難病)の3人暮らしなので、とても生活に不安がある。
女性	60歳代	太田	詳細がわからないのでいい。
女性	80歳代	古井	参加していない。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## (14) がん検診の実施

(健康課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	太田	非常にありがたい制度だと思います。(特に主婦は、検診を受ける機会がなかなかないので)
男性	20 歳代	下米田・牧野	初めて知ったがとてもよい政策だと思う。このことをもっとPRしてほしい。
女性	30 歳代	古井	病院で個人的に子宮がん検診を受けると値段が高いので非常に助かる。
女性	50 歳代	古井	医療費の増大を防ぐために必要だと思う。
女性	30 歳代	伊深	無職なのでこういう検診助かっています。
女性	80 歳代	太田	引き続きさらなる実施を望みます。
女性	20 歳代	古井	現状で満足している。がんを早期に発見することができ、よいと思う。
女性	50 歳代	蜂屋	ありがたいと思いますがつつい忘れていきます。
女性	40 歳代	加茂野	実際に実施したことないが、続けていただきたい。
女性	60 歳代	加茂野	ありがたい。
女性	60 歳代	太田	私は利用してきました、これからの若い人たちも大いに検診を受けてほしい。
男性	50 歳代	古井	高齢者が増加するので大事なことです。
女性	40 歳代	古井	とても助かります。
男性	40 歳代	古井	ドックとのタイミングがあるが嬉しいことです。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	古井	早期発見とうたいつつ職員ミスが多い。
男性	30 歳代	古井	知名度低い。
男性	50 歳代	古井	市の検診では早期がんの発見はないと思う。
女性	40 歳代	古井	検査を受けに行ったことがあるが先生の対応の悪さ、検査の方の適切な態度、せつかく受けたのに逆に大丈夫か不安に思ったことがある。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	太田	自己負担金は、高額ではないので各自の支払いでよい。
無回答	無回答	無回答	5年の間に1回だけの検診は少ない。無料ではなく補助に変えてでも毎年または2年に1回で行ってほしい。
女性	70 歳代	下米田・牧野	70 歳にも行ってほしい。
女性	30 歳代	古井	乳がんは最近では若い世代でも増えているのでもっと年齢を下げてもらいたい。子宮がん検診と同様に 20 代からにってもらいたい。せめて 30 代から。
女性	30 歳代	加茂野	子宮がん検診の特定年齢者の年齢をもう少しのばした方がよい。(40 歳以降も増やす)
女性	20 歳代	山之上	受診率が低い。受診するように促すべき。
女性	50 歳代	古井	受診率を上げる努力が必要。
女性	50 歳代	下米田・牧野	間隔を短くしてほしい。
女性	50 歳代	太田	検査は必要だと思うけど、全額自己負担でよい。その分上の(13)などの費用に回してほしい。
男性	60 歳代	蜂屋	男性の前立腺がんとかもあればよいと思う。
女性	40 歳代	加茂野	自己負担がない方が受けやすい。でも年齢が決められているので受けにくい。私は子宮がん検診無料券届きましたがいつも引っかかるので婦人科定期受診しているから無料券使えず残念でした。
女性	20 歳代	古井	年齢を特定しないで、常に無料にしてほしい。
男性	40 歳代	蜂屋	特に女性に対する検診や負担金無料の項目を増やしてほしい。
女性	40 歳代	古井	無料でなくてももう少し多く受けられるようにしてほしい。
男性	20 歳代	古井	乳がんの対象年齢をもっと下げたらどうか。
女性	60 歳代	太田	行政が行うがん検診では、がん発見率が低い。もっとレベルの高い検査が必要と思う。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	40 歳代	蜂屋	5 年ごとを、2 年ごと無料にすれば、検診する人も増えると思う。
男性	60 歳代	太田	見落としのない正確な検診を願います。
女性	40 歳代	蜂屋	大腸や乳がんも 20 代から無料じゃなくても安く受けたかった。
女性	40 歳代	古井	子宮がんや乳がんは毎年行えるようにしてほしい。無料にしているだけのはうれしいが、1 年間(その年)を対象にしてほしい。
女性	30 歳代	蜂屋	乳がん健診の年齢を下げてください。30、35 歳～
男性	30 歳代	蜂屋	35 歳もほしい
女性	30 歳代	加茂野	予約が取りにくい。病院が少なすぎる。
女性	70 歳代	太田	検診は自分のため。自己負担でもよい。
男性	50 歳代	太田	自己負担すべき。

性別	年代	居住地区	意見
男性	30歳代	加茂野	自己管理
男性	20歳代	蜂屋	受診率の低さが気になる。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	加茂野	私もいつか、よろしくお願いします。
女性	60歳代	下米田・牧野	受診したことがない。
女性	50歳代	蜂屋	利用していない。
女性	50歳代	下米田・牧野	会社の健康診断で、自己負担でやっています。
女性	60歳代	加茂野	必要ですが、個人的に利用していない。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## (15) グループホーム、ケアホームの充実

(福祉課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	20 歳代	古井	積極的に進めてほしい。
女性	80 歳代	太田	さらなる充実を望みます。
男性	20 歳代	蜂屋	就学期間終了後の受け皿として必要。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	10 歳代	古井	近隣の市町村に頼りすぎ。
男性	30 歳代	古井	需要と供給のバランスは。
男性	40 歳代	蜂屋	福祉に対して、日本は先進国の中では遅れている。その中でも美濃加茂市は福祉に前向きではないと感じる。正直、老人や障がい者に冷たいと思う。
女性	40 歳代	太田	施設によっては心ないことをしたり、言ったりする人がいる。何を充実させ安心して暮らせるのか疑問です。
女性	50 歳代	下米田・牧野	老人をかかえてそんなことできない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70 歳代	下米田・牧野	障がい者で申し出ることをためらっている人もいます。訪問をして教えてほしい。
女性	30 歳代	伊深	設置箇所を増やすとよいと思う。
男性	40 歳代	古井	軽度発達障がいをもつ子どもも多くいます。そちらにも目を向けてほしい。
女性	50 歳代	古井	大阪の電気製品の下請け企業で社員に障がい者を適材適所で採用し、成果を上げている会社がある。大変見本になるケースがあるので一見を。
男性	60 歳代	加茂野	もう少し増やしてほしい。
男性	60 歳代	古井	箇所数を増やしてください。
女性	20 歳代	古井	障がいのある方の意見を尊重してもらいたい。自身、家族が安心して暮らせるような設備があるとよいと思う。
女性	50 歳代	蜂屋	障がいのある方の目線に合わせ暮らしやすいまちが大切
男性	60 歳代	太田	もっと協力できる施設が増加されるように、民間の理解がまだ弱いのでは。市政に対して。
女性	60 歳代	太田	設置箇所を増やしてください。
女性	40 歳代	加茂野	人々に対してもう少し増やしてほしい。



性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	古井	足りない。
女性	60 歳代	加茂野	よい、もう 1 か所位はあるとよいと思う。
男性	30 歳代	蜂屋	少ない。
男性	40 歳代	古井	福祉には力をいれていくことが大切
男性	40 歳代	山之上	もっと増やしてほしい。
女性	30 歳代	古井	市に 1 か所は少ないと思う。
男性	60 歳代	山之上	施設が少ない。
男性	70 歳代	加茂野	1 か所は淋しいですね。
女性	60 歳代	古井	はっきりわからないが施設がまだまだ少ないのではないかと思う。
男性	50 歳代	古井	1 か所では不足では。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	加茂野	1 か所とはどこのことですか。
女性	60 歳代	太田	身内に障がい者がいないので満足について評価できない。
女性	30 歳代	加茂野	知らない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (16) 災害時要援護者の把握

(福祉課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	よいことですね。
女性	20 歳代	古井	災害時、助け合う場面で重要になる。また利用できる。
女性	70 歳代	古井	ぜひ必要です。
女性	60 歳代	太田	プライバシーが問題になっていますがこういうことは大切なことと思います。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	全家は無理です。国会の話し合いのようなことは言わない。
女性	70 歳代	古井	自らの行動に責任を持たず、行政の人に頼りすぎる考えが蔓延している。
男性	30 歳代	古井	誰でも必要ですけど。
男性	20 歳代	下米田・牧野	実際に災害が起きた場合、そのデータを活用できるかわからない。
女性	50 歳代	古井	実際の成果は認められない(まだ)。
男性	40 歳代	蜂屋	福祉に対して、日本は先進国の中では遅れている。その中でも美濃加茂市は福祉に前向きではないと感じる。正直、老人や障がい者に冷たいと思う。
女性	40 歳代	加茂野	有事に生かされるのかが満足でない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	特に災害時など「向こう 3 軒両隣」が一番活動できます。もっと自治会または組織づくりを。
男性	50 歳代	古井	防災訓練時に組み込まれておらず、災害時にも機能するように充実すべき。
女性	40 歳代	加茂野	災害時に援護できているのかが想定できていますか。
男性	50 歳代	下米田・牧野	自治会との関わり増強
男性	20 歳代	古井	自治会メインではなく、役所主導でやってもらいたい。
男性	20 歳代	蜂屋	把握した情報の共有がなされているか、特に援護側になり得る人に。
男性	20 歳代	太田	近所付き合いも必要かと。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	50 歳代	蜂屋	体の不自由な方のサポートが大切だと思います。

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	地域の民生委員の方も高齢者が多いのでは。中々巡回はできないようです。職員の仕事終了後、当番で一時ほど寄ってみる。職員は何人ですか。
女性	60 歳代	加茂野	どこまで把握しどこまで周知しているか疑問(向こう 3 軒両隣が大切)
女性	60 歳代	加茂野	地域の話し合いが大切
男性	50 歳代	古井	災害時に本当に他人を助ける人が市で準備できるか疑問です。
女性	50 歳代	下米田・牧野	福祉と言っても他人事と思う人が多いのではないか。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	意味がわかりません。
男性	60 歳代	加茂野	個人情報の問題があり、把握しにくくなっている。
女性	60 歳代	太田	対象外につき評価できない。
男性	50 歳代	古井	よくわからない(活動)
男性	70 歳代	古井	大変なことだと思います。
男性	40 歳代	古井	普段から大切にしたい。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (17) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

(総務課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	蜂屋	満室であれば満足です。
女性	80 歳代	蜂屋	とてもよいことです。
女性	40 歳代	加茂野	低所得者向けの住宅は必要だと思います。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	太田	多すぎる。本当に低所得なのか。なぜ低所得なのか。
女性	20 歳代	山之上	維持費がかかりすぎではないか。
男性	60 歳代	太田	維持管理費が高額すぎる。
男性	20 歳代	下米田・牧野	維持管理費がかかりすぎている。
女性	40 歳代	古井	市営住宅に今までも、これからも住居しない者にとってはこの維持管理費はかなり高額な気がする。
男性	20 歳代	蜂屋	必要性自体に疑問
男性	20 歳代	太田	福祉等ならまだしも低所得だからというのはどうかと思います。やろうと思えば何でもできると思います。親がもっと子どものことを思うことが必要です。
男性	40 歳代	加茂野	もう少し、増やすべきではないか。
女性	30 歳代	太田	維持管理費がかかりすぎですね、家賃滞納などないのでしょうか。
男性	30 歳代	蜂屋	本当にしっかりと管理できていますか。
男性	40 歳代	古井	本当に困っている人が入居しているのか。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	実際の所得を知るべき。
男性	20 歳代	古井	もう少し部屋数を増やしてほしい。
男性	70 歳代	加茂野	どのような人物が入居しているのか知りたいです。世話にならないようがんばりたいですね。
女性	60 歳代	古井	そのような所へも、入れない方々が近年、多くなっているのでは、と思う。
女性	50 歳代	太田	高級車に乗っている人が多い。老人優先にしてあげてほしい。
男性	30 歳代	古井	もっと市営住宅を増やしてほしい。現状、低所得者は多いです。
男性	50 歳代	下米田・牧野	低所得者の公明性は確実か。
男性	30 歳代	古井	申告の虚偽、改ざんがあるのは知っていますよね。なぜ高級車があつたりするのか。

性別	年代	居住地区	意見
女性	40歳代	太田	不正使用がないか。(生活保護の不正受給のようなものがないか)その点だけきちんとしてください。
男性	50歳代	太田	重要だが、入居者のマナー向上や地域清掃に協力してもらおうべき。
女性	40歳代	太田	所得が高くなっても入居し続ける人もいると聞きますが。
女性	50歳代	古井	本当に必要な人に適切な手を差し伸べているかが問題。
男性	70歳代	古井	所得に対するチェックが悪い(〇年ごとに家族全員の収入チェック)
男性	20歳代	古井	障がいや病気高齢者の人はよいが、それ以外の人で、低所得の人はその理由も考慮して厳しく算定してほしい。
男性	40歳代	太田	もっと調べて入居させてほしい(変な人もいる)
女性	50歳代	下米田・牧野	持家だけど、私のパートの収入だけで生活しているので税金を考えてほしい。
女性	70歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	60歳代	太田	もっと入居者の希望を取るべきです。宣伝が不足している。低所得者とは金額にしてどのくらいか、もっと幅を持って入居すれば管理費は減少すると思う。
女性	40歳代	加茂野	労働する場所を増やすこと。市として手を差し伸べるのはよいこと。
女性	60歳代	蜂屋	低所得の中でもっともよい人だけにはもう少し出してもらったらよいでしょう(夫婦そろっている方)
女性	60歳代	加茂野	利用者の所得に重きをおくより、母子家庭など、手当を受けている人を優先しては。
男性	30歳代	加茂野	毎年、年収報告を義務付けていけばよい。
女性	60歳代	加茂野	利用者の負担増やしてほしい。普通のアパート代は高いのだから
男性	60歳代	下米田・牧野	現在の使用率はどれくらいか、できるだけ多くの人に利用してもらうようにすること。
女性	60歳代	古井	長い間同じ人が入り支援されているのはどうか、まだ、待っている人がいる。
男性	50歳代	太田	外国人にも入居可能とする。
女性	70歳代	下米田・牧野	低所得者も現在では多い。
男性	60歳代	下米田・牧野	確認が必要。
女性	60歳代	太田	低所得者でない方も中には住んでおります。
男性	50歳代	古井	所得が不明確。
女性	50歳代	蜂屋	枠の中と外との不公平感が難しいですね。
女性	40歳代	蜂屋	入居される方の中には高級車に乗られているようなお宅もたまに見るが、本当に所得に応じて入居しているか、疑問。

性別	年代	居住地区	意見
男性	40歳代	太田	コネで入居が目立つ。
女性	80歳代	古井	外人や家賃を払わないような身勝手な人が多いと聞く。
男性	50歳代	太田	高所得の人も入っている。なかなか入れない。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50歳代	古井	満室で利用されているのか内容がわからないので維持管理費が妥当かどうかわからない。
女性	70歳代	古井	不適當な人のためになら不要。大勢の人が不自由をのり越えて暮らしている。
女性	20歳代	古井	利用状況がわからないため、どちらともいえない。
女性	60歳代	太田	評価できない。
女性	60歳代	太田	入居率は。
女性	70歳代	太田	公平でありたい。
女性	60歳代	太田	入居率を知りたい。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	下米田・牧野	非常にありがたい制度だけれど、兄弟の年齢によっては柔軟に対応していただけるとありがたい。
女性	80 歳代	太田	さらなる充実を望みます。
男性	20 歳代	蜂屋	本当は地域の中でみてもらえる姿がよいと思うが。必要だと思う。
女性	20 歳代	加茂野	子どもが小学生になったら利用してみたいので、ぜひ続けていただきたいです。
女性	60 歳代	太田	孫が、学童保育のお世話になった。共稼家庭が増々増加するので重要
女性	30 歳代	下米田・牧野	利用しています。ありがとうございます。
女性	20 歳代	蜂屋	働くママには必要なことだと思うから。
女性	30 歳代	太田	学童がないと仕事が続けられないでしょうね。
女性	60 歳代	加茂野	よい。
女性	30 歳代	蜂屋	少しずつ拡張されていてありがたいです。いずれ4年生になるとよいと思いました。
女性	30 歳代	太田	今後増えると思われるので、予め対策をとってほしい。
男性	40 歳代	古井	ありがたいです。
女性	30 歳代	古井	お世話になっています、とても助かります。
女性	60 歳代	太田	学童保育はこれから重要と思います。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	太田	個人的には母親が見るべきだと思っている。
女性	70 歳代	古井	母親の手でしっかり育ててほしい。現在の意欲のない若者を見ると、家族がいかに大切かを見せてくれている。
男性	60 歳代	蜂屋	本来、保育育児は保護者が行うべきものである。当事者の利益のために税金を使うのには疑問が残る。
女性	40 歳代	太田	4年生までは必要ないと思います。
男性	20 歳代	太田	こういうものがあるから離婚等がしやすいのでは、と思います。親がもっと子どものことを思うことが必要です。
男性	40 歳代	加茂野	小学生の子どもがいる家庭しか役に立たない割に24年度事業費が高いと思う。
女性	30 歳代	蜂屋	高い。
男性	60 歳代	加茂野	育児・保育は(自分の子ども)家庭がすること

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	蜂屋	生活をするために仕事をする保護者のため、不満のないように(時間等)していただきたいです。
女性	30 歳代	古井	長期休暇中は 4 年生～6 年生も学童保育を行った方がよいと思います。高学年でも子どもです。そうすれば保護者も安心して働けると思います。
男性	70 歳代	加茂野	子育て環境の充実が今後も必要。
女性	40 歳代	古井	6 年生までが対象となればよいと思います。兄弟で入れないと意味がないと思うので。
女性	60 歳代	太田	なぜ 4 年生までなのですか。6 年生まで預かってもらえるようにしていただくとよいです。
男性	60 歳代	蜂屋	小学 6 年間にはできないものですか。
男性	40 歳代	加茂野	小学生のうちには学童に行かせたい。
男性	70 歳代	太田	5 年生までくらい学童保育していただくと保護者は安心です。
男性	30 歳代	古井	6 年生まで必要かと。冬は危険。
男性	20 歳代	下米田・牧野	保護者の都合なので保育料を高くして自己負担でまかなえるくらいにするとよい。
男性	30 歳代	蜂屋	もう少し安くしてほしい。
女性	30 歳代	古井	名古屋では小学 6 年生まで学童保育が開かれているようです。こちらでは低学年が条件なのですか。上限を上げてよいのでは。(最近一人で育てる人が多いので)
男性	30 歳代	古井	月の費用をもっと下げてもらいたい。
女性	30 歳代	伊深	もう少し安くしてほしい。
男性	20 歳代	古井	実際の職場環境を考慮して、預かる時間をもっと長くしてほしい。代わりに母子家庭手当の減額を。
男性	70 歳代	蜂屋	5,000/月は安い。もうすこし高くても。
女性	30 歳代	加茂野	学童保育があることは、とてもありがたいことだけど基本 6 年生までやってもらえると嬉しいです。(6 年生だから一人で留守番できると言われればそうかもしれないけどやっぱり心配だし、仕事中心がかりです。)
女性	30 歳代	下米田・牧野	6 年生までやってほしい。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	30 歳代	蜂屋	希望があれば 6 年生まで利用できるとうい。学童保育料が、もう少し安いとありがたい。
男性	60 歳代	太田	充実した学童保育をお願いします。過去に役員をしたのですが市として学童のための「ただいま」として帰れる施設にしてほしい。



性別	年代	居住地区	意見
女性	60歳代	太田	家庭保育を可能にするよう行政指導してほしいです。
女性	40歳代	加茂野	自己負担金の削減(収入に応じる)保育学年の延長
女性	60歳代	蜂屋	一人 7,000 円位はどうでしょう。
男性	10歳代	古井	安く
女性	60歳代	加茂野	学童の開催担当者によって差があるのが気になる。子どもの数が増えるとさらに指導方法が問題、指導者の養成と人数増が必要
男性	30歳代	加茂野	月 5,000 円で黒字であればよい。
無回答	40歳代	蜂屋	学童の先生がずっと一緒なのはどうかと思う。
男性	40歳代	古井	6年生までにしてもよいのでは。
女性	40歳代	古井	6年生までにしてほしい。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70歳代	下米田・牧野	子どもは国の宝。
男性	70歳代	加茂野	いろいろあるでしょうけど、中には身勝手な親もいるでしょうね。多くは言いませんがね。
無回答	無回答	無回答	孫が世話になる予定。
男性	50歳代	下米田・牧野	税が使われていることを認識して利用しているか。
女性	50歳代	古井	身近にいないのでわからない。これは社会事情と関係がある。根本的に文化生活を維持するのに共働きが必要な社会に基因している。
女性	40歳代	古井	子どもがいないのでわからない。
女性	50歳代	下米田・牧野	学童ではないが、老人をかかえてデイサービスの時間をもっと夜までやってもらおうと私の帰る時間までやってほしい。
女性	50歳代	蜂屋	必要だと思いますが親でないのでわからないです。
女性	60歳代	古井	わかりません。
女性	20歳代	古井	利用状況がわからないため、どちらともいえない。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## (19)「フロム0歳プラン」の推進

(学校教育課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	加茂野	こうした指導のもと、いじめもなくなるだろうと思う。
男性	50歳代	太田	とても重要なこと。
女性	20歳代	古井	現状に満足している。
男性	50歳代	古井	小さい子どもがいないのでよくわからないが重要。
男性	40歳代	古井	もっともっと力を入れていくべきです。設備、地域人材、企業など活用。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60歳代	太田	本当に効果のある事業とは思えない。意味が全く不明。これが教育者の自己満足なのですか。
男性	30歳代	古井	必要ない。
男性	60歳代	蜂屋	今の教育では学力はつかない。
女性	60歳代	古井	少し特定のものに片寄った印象を受けてしまうのは気のせいでしょうか。
男性	40歳代	加茂野	聞いたことがなく、実態がつかめない。不要。
女性	20歳代	下米田・牧野	何をしているのか、よくわからない。(重要性がみえない)
女性	40歳代	加茂野	意味が理解できない。何をするのか。
女性	60歳代	加茂野	園、学校(小中)への連携は難しいのが実情では。
男性	50歳代	古井	限度がないので必要なしと思う。
男性	50歳代	加茂野	介入過剰な事業

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	教育立国の考え方。人、物、金の条件整備が必要。
男性	40 歳代	古井	いまいち、具体的な活動が伝わってきません。公立の小中一貫校などもあるとよいと思う。
女性	50 歳代	古井	子どもには社会道徳や倫理、人とのコミュニケーションがこれからは大変必要になる。相手を思いやる心が必要。
女性	40 歳代	古井	子どもたちに学習の楽しさを知ってもらふ事業の他に、命の大切さやお金の大切さを考える講座をしてほしい。
男性	20 歳代	蜂屋	市独自の教育メニューを充実させてほしい。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	50 歳代	蜂屋	親の方を教育してほしい気がします。
男性	10 歳代	古井	子どもの心のケアも大事である。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	よくわからない(内容を知らない)
女性	20 歳代	山之上	内容がよくわからない。
女性	70 歳代	古井	申し訳ありません。勉強不足で内容をよく把握していません。
男性	50 歳代	下米田・牧野	知らない。
男性	20 歳代	古井	よくわからない。すぐに結果が出るものではないので、長い目でみてやればよいのでは。
男性	70 歳代	蜂屋	内容がよくわからない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	家族の中に子どもがいないのでよくわからない。(学校は市内の学校に行っていない子どももいない)
男性	60 歳代	太田	民主教育とは本人の自覚のもとに他を倒し押しつける教育ではないと思う。自分自身が生きるための知識を得る学問を学ぶ。
女性	30 歳代	太田	具体的に何をしていますのですか。
男性	30 歳代	蜂屋	活動が見えてきません。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (20) 文化の森データベース公開

(文化振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	市のPRになるだろうし、よいことだと思います。
男性	40 歳代	古井	文化の森はよく利用します。
女性	40 歳代	加茂野	随時伝えたらよいことも、広報よりホームページの方が伝える方法としてよいと思います。
男性	50 歳代	下米田・牧野	文化の活性化はもっと進めるべき。
男性	20 歳代	下米田・牧野	よい場所だと思う。
女性	50 歳代	古井	人をつなぐ意味で必要。あまり実感がない。
女性	60 歳代	古井	文化的事業は賛成です。
女性	20 歳代	古井	ホームページで公開することで広く知ってもらえるのでよい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	老人にはホームページ見られません。パソコンできません。
女性	50 歳代	下米田・牧野	時々ホームページにいけますが、情報が少ないです。
女性	50 歳代	太田	なんでもインターネット。いかななものかと思う。
女性	20 歳代	太田	ホームページを見る人は限られていると思う。むしろホームページがあると知らない人の方が多い。
男性	30 歳代	古井	文化の森、遠足の小学生しか来ていない。
男性	20 歳代	古井	アクセス数が少なすぎる。
女性	30 歳代	太田	ホームページで見たことがない。
男性	40 歳代	加茂野	本当にこんなに費用がかかるのか。個人ではそんなにかからない。
男性	20 歳代	太田	ホームページ維持に 100 万円も使う意味がわかりません。
女性	20 歳代	下米田・牧野	アクセス数が少くないか。
男性	30 歳代	蜂屋	アクセス数と金額があっていないと思う。
男性	30 歳代	山之上	インターネット環境がない人にはわかりづらいのでは。
男性	60 歳代	太田	「ハコモノ」行政そのものです、文化の森は金食い虫です。
男性	40 歳代	古井	認知度はまだ低い。
女性	60 歳代	古井	情報が届いてこない。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	みのかもメールで催し日時は確認できる。管理費は節約できませんか。人件費も、必要ないものにまで無理に使わないよう。
男性	50 歳代	加茂野	他の市のホームページと統合するなどして費用を削減する、PDF化等検討も。
女性	70 歳代	古井	地域から文化の森までのバスがあるとよい。
女性	40 歳代	太田	ホームページもソフトピアジャパンなどに協力を願ったらいかがですか。催し等もすごく魅力的なものが実現するかも。
男性	40 歳代	古井	図書館の本が少ない。定期刊行物も削減されたので増やしてほしい。
男性	60 歳代	古井	市民は入場料をとらないようにしてください。
男性	20 歳代	蜂屋	活用方法をもっと広めたらよい。特に学生や生涯学習向けに。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	30 歳代	蜂屋	ホームページより広報の情報をよく見るし、参考にしている。
女性	50 歳代	蜂屋	あまり行っていないので魅力づくりをお願いします。
女性	40 歳代	加茂野	施設を有効に使用してほしい。
女性	60 歳代	蜂屋	市報に載せてほしい。
女性	40 歳代	古井	文化の森の活用をもう少し考えて活発にできるとよい。
男性	70 歳代	古井	文化の森をもっと活用するべきです。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	太田	見ることがない。
女性	20 歳代	山之上	ホームページをアクセスして実際何人の人が本当に文化の森に訪れているのか。
無回答	無回答	無回答	利用していない。
女性	70 歳代	古井	パソコンがないので見るができない。
女性	40 歳代	古井	利用したことがない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	時間をとることができない。
女性	60 歳代	太田	パソコンをやらないので評価できない。
女性	30 歳代	下米田・牧野	情報誌「どーなっつ」がなくなるのは残念です。
女性	60 歳代	加茂野	ホームページ利用していません。
女性	60 歳代	古井	年寄りでは利用できません。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (21) 外国人児童・生徒への学習支援

(地域振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	学ぶ方も教える方も大変ですががんばってほしいです。
男性	50 歳代	太田	住民税を払っているのであればよい。
女性	50 歳代	古井	グローバル化に必要。地域の子どもたちと一緒に遊ぶのが一番だと思う。
女性	80 歳代	下米田・牧野	日本から海外へのため、相互的に大切にしたい。
男性	20 歳代	蜂屋	子どもたちにとっても必要だと思う。
女性	20 歳代	古井	児童、生徒には、日本語に早く慣れるために必要だと思う。
女性	40 歳代	加茂野	負担金削減支援はよいことだと思う。
女性	60 歳代	古井	外国に来てがんばっているのだから、支援するべき。
男性	40 歳代	古井	共存するために大切。
男性	70 歳代	古井	もっと手厚く。
女性	40 歳代	太田	縁あってこの地に住んでくださった方、特に子どもたちには早く慣れてほしい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	山之上	月平均、小中合わせて 30 人に対し事業費 162 万円はかかりすぎ。
女性	50 歳代	下米田・牧野	きちんと費用を取るべき。
女性	20 歳代	太田	参加人数が少なすぎる。
男性	30 歳代	古井	日本語を話せない親が問題。
男性	60 歳代	蜂屋	そもそも外国人を優遇しすぎである。犯罪率の高い外国人を優遇するのはやめてほしい。日本人の誇りをもって対策してほしい。
男性	70 歳代	古井	保護者に感謝の気持ちが全然ない。
女性	40 歳代	古井	よいこととは思いますが、負担を考えると、微妙です。
男性	40 歳代	加茂野	他国で日本人に対して行政が支援を行っていますか。市として行うべき支援ですか。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	古井	授業についていけない子どもが多いように感じます。支援教室が少ないのか、通にくいのか。
女性	50 歳代	太田	個人負担でよい。その方が日本に住む意欲が芽生える。

性別	年代	居住地区	意見
男性	50歳代	加茂野	企業からの負担も検討すること。
女性	50歳代	古井	もう少し多くの児童、生徒の参加があるとよい。
男性	50歳代	下米田・牧野	外国人事業者は望んでいるのか。
男性	20歳代	下米田・牧野	できるだけ市の負担を減らして親負担にする。
男性	20歳代	古井	日本語だけでなく、日本の文化や風習なども、もっと教えたらどうか。
男性	20歳代	古井	外国人に日本のルールを教えることで、地域をもっと住みやすくしてほしい。
女性	70歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	60歳代	太田	市民課へ来た時点で希望を取るのですか。個人負担を何%か徴収しては。私たちも他国教室では料金をとられます。
女性	30歳代	太田	市でやるよりも、雇用している会社に補助をして会社がすればよいと思う。
女性	40歳代	古井	外国籍の子どもの支援も必要ではあるが、市の子どもの支援はどうでしょうか。同じような支援をすると費用がかさむが、能力アップをしてあげたい。
男性	50歳代	太田	もっと負担を多く。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50歳代	下米田・牧野	子どもがいないのでわからない。
男性	60歳代	太田	市内から外国人は出て行ってほしい。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## (22) 「定住外国人自立支援センター」による各種事業の実施

(地域振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70 歳代	下米田・牧野	外国の子どもも大切な成長期だから。
女性	60 歳代	古井	在住の外国人の人たちにも安心して美濃加茂に住んでいてよかったと思ってもらいたい。
女性	50 歳代	古井	今後も続けるべきである。
男性	50 歳代	太田	住民税を払っているのであればよい。
女性	80 歳代	下米田・牧野	助けられたり助けたりが精神が大切だから。
女性	20 歳代	古井	特に美濃加茂市は外国人労働者が多いと思うので、支援はあった方がよい。
男性	50 歳代	古井	外人も安心して住める美濃加茂市は重要です。
男性	70 歳代	古井	もっと手厚く。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	私たち日本人も働く所を支援してほしいくらいです。
女性	30 歳代	加茂野	事業費が高いのでは。
女性	50 歳代	太田	日本人でも就職できない人がいる。
男性	60 歳代	蜂屋	これだけお人好しは日本人だけである。大切な税金は日本人のために使ってほしい。下米田地内の公園が外国人に占拠され、地元の人たちが迷惑したり、使えなかつたりする事実や外国人の犯罪率の高さなどの事実から外国人を美濃加茂市(=日本)から排除してほしい。外国人が我がもの顔でふるまっている様子や太田駅にたむろしている姿には怒りを感じます。外国人への生活保護支給などもやめるべきである。不満を持っている人が多いのに、市政県政の場になると国際交流の美名のもとにどこかへ意見が行ってしまうのが不思議である。本当の国際交流は互いの利益の上に成立するものである。今は日本人が多大な不利益を被っているのが現状である。低級な外国人は入れないでほしい。
女性	40 歳代	太田	いつのまにかショッピングセンターになっていますよね。
男性	40 歳代	加茂野	他国で日本人に対して行政が支援を行っていますか。市として行うべき支援ですか。
男性	30 歳代	蜂屋	外国人のマナーが悪すぎるので、これ以上人口を増やしてほしくない。
男性	60 歳代	山之上	無職の外国人をなぜ定住させるのか。
女性	60 歳代	加茂野	共生には賛否あり。



性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	古井	市の人たちの就労支援はどうなっているのか。
男性	50 歳代	古井	限度がないので必要なし。
男性	60 歳代	太田	定住してほしくない。早く出て行ってほしい。予算を使わないでほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	50 歳代	下米田・牧野	ソニー撤退での人口変動で方向性を再検討の必要あり。
男性	40 歳代	蜂屋	外国人の自立も大切だが「共存」も大切。どうする。何か対策を考えているのか。
女性	50 歳代	古井	必要に応じて実施すべき。
男性	70 歳代	蜂屋	日本人の就業促進も忘れずに。
女性	60 歳代	古井	促進結果を公開することはできますか。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	60 歳代	太田	ハローワークと強い連携で実施してほしい。
女性	20 歳代	下米田・牧野	ソニーがなくなり相談人数が増えると思うので、サポート体制を増設してほしい。
女性	30 歳代	太田	ルールをきちんと教えてください。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	古井	多くはKYB(カヤバ工業)、パルプです。可児です。
男性	20 歳代	古井	参加者のうち何割が本当に定住しているのか。3 年、5 年の経過人数がないと評価できない。
女性	60 歳代	古井	相談人数に対する事業費の額が。
男性	20 歳代	蜂屋	費用に対して効果がよくわからない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	子どもがいないのでわからない。
男性	70 歳代	古井	態度が悪い。
女性	70 歳代	加茂野	身近で活動を見たことがないのでよくわからない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (23) 文化会館の活用

(生涯学習課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	下米田・牧野	茶会、詩吟等種々の催事でお世話になりました。
女性	20 歳代	古井	今後も活動に利用してほしいと思う。
女性	50 歳代	蜂屋	関心のある人にはよいと思う。
女性	30 歳代	伊深	チーミーのコンサートよかったです。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	太田	維持管理費のむだ。
男性	60 歳代	太田	800 人収容のホールに 200、300 人しか入場しない自主事業は情けない。赤字覚悟の事業をする行政がはずかしい。
男性	30 歳代	古井	古い。イベントが少ない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	魅力的な催しが少ない。
男性	50 歳代	古井	負担額が高い。
女性	10 歳代	下米田・牧野	空調がよくない。冬は寒い。
女性	60 歳代	太田	可児のように活発なら必要でしょうが、最近低迷していると思います。
女性	60 歳代	山之上	一般市民にはあまり関係ない。
男性	30 歳代	蜂屋	金額の割には活動が見えてこない。
女性	40 歳代	古井	来年度より使用料が高くなるようなので、残念です。
男性	50 歳代	太田	会館員の態度が悪い。
女性	80 歳代	蜂屋	文化会館は中部台の所に新しく立ててほしかった。木沢記念病院が来るのは嫌だ。
男性	60 歳代	山之上	有名な催事はアーラに集中しており美濃加茂市文化会館のあり方、意義がわからない。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	太田	いろんな人が参加できるイベントなどもっと使用すべき。
女性	30 歳代	加茂野	駐車場を増やしたほうがよい。場所誘導のための看板の設置を増やしてほしい。
女性	50 歳代	古井	多くの市民に利用してもらえる努力を。
女性	50 歳代	下米田・牧野	チケットが少し高くても有名人を呼んでほしい。
男性	10 歳代	加茂野	もう少し 20 代が喜べる人を呼んでほしい。
男性	70 歳代	太田	800 人収容では採算が取れないのでせめて 1,200 人くらいの大ホ

性別	年代	居住地区	意見
			ールが必要ではないかと思う。
女性	70 歳代	古井	狂言、能、芝居の公演をしてほしい。
女性	30 歳代	古井	アールと比べると活動している感じが少ないように思う。
女性	50 歳代	古井	利用度が低い。皆が興味のあるものを催し、収益を上げる必要あり。
女性	60 歳代	下米田・牧野	もう少し使用料が安いとよいと思います。
男性	60 歳代	古井	休館日の駐車場の開放をしてください。
男性	20 歳代	古井	予算額から考えれば、もっと利用者がいてもよいのではないか。
女性	60 歳代	古井	以前「川嶋あい」を観ましたが、宣伝が行き届いておらず、すぐもったいないと私自身も思いましたし、可児市の人も言っていました。
女性	40 歳代	古井	あまり興味のある活動がない様子。映画の上映を安価でしてほしい。
女性	70 歳代	下米田・牧野	もっといろいろやってほしい。
男性	20 歳代	蜂屋	可児のアールと住み分けが必要。
男性	30 歳代	伊深	周辺市町村と共同で施設を利用できれば、管理費を減らせると思います。古い施設はなくし、施設を借りる市町村が、貸す市町村に施設利用料を払えば、お金を節約できると思います。
男性	20 歳代	太田	負担額が大きいように思います。維持費をもっときりつめることができるかと。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	30 歳代	蜂屋	文化会館での催しについても、広報に一覧でわかるとありがたい。
女性	20 歳代	下米田・牧野	全く利用していない人もいるから利用する人に利用料金を徴収すべき。(維持費が高い)
女性	40 歳代	加茂野	もっといろんな催事を設定してください。使用料金が低い。
男性	10 歳代	古井	活発さもほしい。
女性	60 歳代	加茂野	催しものによっては、不足だったり、広すぎたりで、できれば大と中ホールがあればよいと思う。
男性	80 歳代	太田	会館活用をする方策検討を強化し収入を増やしせつかくの施設を活かす。
女性	60 歳代	加茂野	支援している子たちにもっと利用してもらえるとよい。
男性	70 歳代	古井	利用度が少ない、もっと活用すべきです。
男性	40 歳代	古井	かなり古いが、今後の見通しはある。
女性	30 歳代	加茂野	行きたいと思う内容が少なすぎる。もっと件数も増やすべきだと思う。
男性	60 歳代	太田	他の集会、会議等有料化で実施。市内の会社の会議大会等、安い会場を求めて他市町の施設に出てしまうことがある。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
無回答	無回答	無回答	利用していない。
女性	60歳代	古井	利用者数に対する維持管理費や負担額が理解できない。
女性	50歳代	下米田・牧野	参加する時間がない。
男性	60歳代	山之上	各室の使用率はどうか。
女性	30歳代	太田	使ったことがない。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	古井	古井地区の予約制(タクシー)は素晴らしいです。
女性	30 歳代	加茂野	体の不自由な方や高齢の方にとっても優しいサービス。
女性	30 歳代	伊深	乗ったことないけどよいと思う。
男性	50 歳代	古井	どんどん進めてください。
男性	40 歳代	古井	高齢者には大切。
女性	20 歳代	古井	高齢者など、自力で動けない人が利用しているのであれば続けてもよいと思う。
女性	70 歳代	古井	足が痛い。買いものを持って歩いては帰れない。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	バスもぐるぐる回りすぎて時間がかかります。
女性	30 歳代	伊深	利用している人が少ないと思う。
女性	30 歳代	加茂野	バスが少ない。車社会だから仕方ないと思いますがバス停まで遠い。
女性	50 歳代	古井	利用しづらい。
男性	50 歳代	加茂野	あい愛バスは不便、廃止すること。
女性	40 歳代	加茂野	自分のいる地域ではあい愛バスが週 2 回、その日に 1 日 2 回の運行のため不便すぎてわからない。
女性	30 歳代	古井	バスの本数が少ない。(美濃川合が 1 日 1 本は少ないように思う)
女性	40 歳代	太田	利用者が減っているのに必要ですか。
女性	40 歳代	太田	利用者が少ない。税金のむだ。
女性	50 歳代	古井	あい愛バスに乗っている人をほとんどみかけない。便数が少なく利用できない。必要なのか、別のサービスを考えてほしい。
女性	60 歳代	太田	あい愛バスの利用率が悪い気がする。もっと効率のよい交通手段がないものか。
女性	30 歳代	蜂屋	一度も利用したこともないが、バスはバス停が近づくなく、利用しにくい。
女性	70 歳代	太田	一定の地区だけでは不公平。
女性	70 歳代	加茂野	坂祝のバスはとても便利です、あい愛バスは利用しにくい。
女性	60 歳代	加茂野	週 2 回しか通っていないので病院にも行けない、予約制というのどうかな。
男性	50 歳代	加茂野	やりすぎ、何でも公的がやるべきでない。
男性	40 歳代	加茂野	いつも同じ人が使っているのであれば市として支援すべきではな

性別	年代	居住地区	意見
			い。トータルどれだけの金額を支援したのか。24 万も出すべき事業か。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	超高齢化社会の中、もっと細かく工夫してください。
女性	40 歳代	加茂野	加茂郡の公共施設への利用がもっとあるとよいです。
女性	20 歳代	山之上	年配の方がよく利用するため年配の方に合った、年配の方のことを考えて運営するべき。(年配の方の声を聞く。)
女性	50 歳代	下米田・牧野	市のバス利用を一般にも開放して料金をとって使えるようにしてみてもは。バスは止めて、タクシーの補助をだす。
男性	60 歳代	太田	アピタ、木沢記念病院等からは、それ相当の助成金を取るべきである。取っていればすみません。
女性	50 歳代	下米田・牧野	きめ細かい範囲に乗り入れてほしい。
女性	50 歳代	太田	中学、高校生にも利用させてほしい。(通学時用の運行)
女性	50 歳代	古井	1 回に乗る人数が少なければ車の大きさもそれなりの大きさに変えてはどうか。
男性	30 歳代	古井	予算はないけど必要。むだ使いをこちらに回すとよい。
女性	70 歳代	古井	コースがいろいろあり、利用しづらい。決まったコースで一巡はできないものか。
男性	20 歳代	古井	利用者の減少に歯止めがかけられるかが、今後の課題。おそらく5年後には補助額 1,300 円まで増えるはず。
女性	30 歳代	太田	もっともっと高齢者や障がい者が利用しやすいようにすべき。
男性	70 歳代	蜂屋	利用度を高めるべく宣伝等を。
女性	70 歳代	下米田・牧野	回数を考えてほしい。
男性	20 歳代	蜂屋	もっと利用者を増やしていくべき。今後のためにも。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	50 歳代	蜂屋	もっと増やして車が必要なくなれば協力費を出してもよい。
女性	30 歳代	古井	富加町まで行く理由がわからない。それなら市内を多く回ってほしい。
男性	60 歳代	太田	全車両 10 人乗り程度のワゴン車に交換しては。
女性	40 歳代	加茂野	車で移動できない人のためにもっと有効にしてほしい。
男性	60 歳代	山之上	バローやアピタに補助をたのめないのか。
女性	60 歳代	加茂野	バスルートでどこでもひろえるようにしたら、利用者は増えると思う。
男性	60 歳代	伊深	古井地区のデマンド方式を伊深、三和地区でも実施してほしい。
男性	60 歳代	古井	古井地区のタクシー活用状況をもっと詳しく知らせてほしい。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	40 歳代	古井	富加町の方の利用数がわからなければ評価できません。
無回答	無回答	無回答	利用していない。今後利用したいと思っている。
女性	70 歳代	古井	土日は利用できないので。
女性	20 歳代	下米田・牧野	利用者が減っているが、負担額が増えたからか。
女性	60 歳代	加茂野	まだ利用したことがないのでわかりません。車に乗らない方、乗れない方には必要。
女性	40 歳代	古井	使い方が変わったのですよね、よくわからない感じです。
女性	30 歳代	加茂野	このバスを見たことない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (25) 地籍調査事業への着手

(土木課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	加茂野	大事だと思う。
女性	60 歳代	加茂野	大切。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	30 歳代	古井	なぜ今ごろ。なぜ曖昧だったのか。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	ソニーの跡地に体育館ができるとよい。
男性	70 歳代	太田	休耕地の管理をどうするか考えるべき。
無回答	無回答	無回答	自分の家の裏に図面にない排水溝があり整備してほしい。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	60 歳代	太田	こんな小さなまちなので、建蔽率の範囲内で建設されていても隣接の家のため多めに太陽が当たるように建設指導をすること。
男性	70 歳代	古井	もっと迅速に。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20 歳代	山之上	よくわからない。
女性	50 歳代	古井	災害があったときに有効か。
男性	20 歳代	古井	作成した地図と簿冊をどこに保管しておくかが、この事業で 1 番大切なことであって、これだけの情報では判断できない。
男性	20 歳代	蜂屋	よいのかどうか判断できない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	畑になっていた所をやる人がいないのであき地にしていたら、航空写真で見つかり税金をあげられてしまった。
女性	50 歳代	蜂屋	必要ですがわからない。
女性	40 歳代	加茂野	興味がない。
女性	20 歳代	古井	実際にどう利用されるのかがよくわからず、どちらともいえない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。



## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	太田	堤防の整備は必要。期待しています。
男性	60歳代	下米田・牧野	木曽川沿いを時々ジョギングするが気持ちが良い。
女性	50歳代	古井	よいことだとは思ふ。
女性	60歳代	古井	楽しみです。改めて、木曽川の景観の美しさも活かしていただきたいです。
男性	20歳代	蜂屋	あればうれしい。アクセスのしやすさ、使い勝手がよいと使うかもしれない。
女性	20歳代	下米田・牧野	現状で十分だと思う。新設するなら他のことを優先すべき(補修とか)。
男性	40歳代	古井	安全な川ではないので、現状のままでよいのでは。
男性	50歳代	加茂野	もっとやるべき。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	20歳代	古井	この辺りは車社会なので、環境を整備するだけでは、利用者が増えないと思う。
女性	30歳代	太田	ライン下りがなくなってしまった以上、そこまでする必要があるのか。
男性	20歳代	太田	公園はあそこに本当に必要だったのでしょうか。
女性	50歳代	蜂屋	化石公園へ行きましたが化石について何もわからなかった。
男性	70歳代	加茂野	ライン下りが中止になり、むだ金を使いもったいない。
男性	60歳代	山之上	ライン下りの営業もできないのに乗り場を整備してどうするのか。
男性	50歳代	古井	川岸に漂流物があり汚い。
男性	50歳代	古井	中山道もいまいち元気がないと感じています。
男性	30歳代	蜂屋	推進活動が見えていません。
女性	40歳代	古井	ライン下りがなくなり、中山道からの下り場づくりはどうなるのでしょうか。中途半端で終わるのですか。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	40歳代	蜂屋	治水は大切。まだまだ足りてない対応が多い。
女性	80歳代	蜂屋	市民全体で力を合わせ、関心を持ってもらいたいです。
女性	30歳代	加茂野	河川沿いの道路の整備が必要。
女性	50歳代	古井	木陰があるとよい。

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	ライン下り休止中は、事業も休止するべきである。
男性	80 歳代	山之上	もっと整備をしてほしい。
女性	50 歳代	太田	美しい場所。子どもの頃は砂場で遊んだりした。もっと活用できる場にならないものでしょうか。
男性	30 歳代	古井	釣り場と砂利で台なし。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	70 歳代	古井	高齢化が急遽増加中。市営のグランドゴルフ場を造成すると喜ばれると信じます。
女性	70 歳代	古井	木曾川で川の流れを見ることや朝の散歩をするのにぜひ休憩所がほしい。
男性	60 歳代	太田	最近鮎釣りの姿が見えなくなりました。なぜか。水質を美しくする方が先では。
女性	60 歳代	太田	自然を損なわないでほしいです。
女性	40 歳代	加茂野	昔の景観をあまり人工的なものにしないようにしてほしい。
男性	10 歳代	古井	インパクトがほしい。
女性	40 歳代	古井	子どもたちが安全に遊べる公園がほしい。
女性	60 歳代	山之上	もっと田舎(山之上、三和、伊深部落)をよくしてほしい。
女性	60 歳代	加茂野	自然も残してほしい。
男性	70 歳代	古井	中山道会館も含めたまちづくりを考える必要があります。中山道会館前のバス駐車場(市の所有だと思います)に一度も停車した所を見たことがない。
男性	40 歳代	古井	認知も高めることが大切。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	下米田・牧野	私の住んでいる所はあまり変化がないので。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	下米田・牧野	ほぼ OK。
男性	70 歳代	太田	早くお願いします。
男性	80 歳代	山之上	策定でなく実施を早く。
女性	30 歳代	加茂野	市民が安心して生活できるよう力を入れていますので。
女性	60 歳代	加茂野	大切。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	太田	浸水するところにわざわざ家を建てていませんか。
男性	20 歳代	蜂屋	対策していく必要はあると思う。が、そもそも、低地に家をつくるのはどうかと。
男性	70 歳代	古井	対策は非常に難しいと思います、また金もかかると思う。
女性	40 歳代	太田	費用 0 円はおかしい。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	40 歳代	蜂屋	治水は大切。まだまだ足りていない対応が多い。
男性	30 歳代	太田	とりかかりが遅い。何をどうしようとしているのかわからない。もっと被害者の声を。
女性	50 歳代	古井	協議会立ち上げはよいが他との(防災組織)集約でできないか。
男性	40 歳代	太田	早く浸水被害 0 をめざしてほしい。
男性	30 歳代	古井	昭和の洪水の教訓は。遅い。
女性	50 歳代	古井	根本的な水はけ対策が必要。
男性	20 歳代	古井	あの地域が浸水するのはいつものこと。対応が遅すぎるのでは。
男性	80 歳代	太田	移転を勧めたらいかが。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	20 歳代	下米田・牧野	個別に対応したらどうか。
男性	10 歳代	古井	後の祭りにならないよう他の場所の整備も必要。
女性	60 歳代	加茂野	危険な地域に建設許可が問題。
無回答	無回答	無回答	何十年も前からの課題である加茂川の問題を早く解決すべき。
男性	70 歳代	古井	加茂川流域の山林整備(国や県に人工林間伐等の推進の働きかけ)
女性	40 歳代	加茂野	まだできることがあるはず。がんばってください。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	古井	どなたが誰と策定しましたか。
女性	80 歳代	蜂屋	人ごとでないです。
女性	30 歳代	加茂野	対策がどのようなものかわからないが、見ている限りどこを対策して活動しているのかわからない(通れないときの迂回路の整備とか)
男性	60 歳代	太田	加茂川の原流を見れば下流はどうなるか明らかです。古き昔のような森林はないですね。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	70 歳代	下米田・牧野	可燃ごみの件はありがたいと思う(生活が厳しいので)
女性	80 歳代	蜂屋	よくやってもらっていると思います。ありがたいです。
男性	40 歳代	古井	美濃加茂市はごみ袋安いですね。ありがとうございます。この点、もっとアピールするとよいのでは。
女性	50 歳代	太田	感謝している。大型スーパーにもっと対応してもらいリサイクルへ協力してほしい。
女性	30 歳代	太田	美濃加茂市は、ごみの分別に力を入れていて(きらきらエコドーム etc)非常に感心しています。
女性	40 歳代	太田	美濃加茂市民は他のまちよりごみ袋が安く買えるのでありがたいです。
女性	60 歳代	下米田・牧野	大変安いと思います。
女性	60 歳代	古井	分別をもつとする。以前よりはゴミステーションができ便利になった。
女性	50 歳代	太田	市の方でかなり負担していただいて感謝しています。
女性	60 歳代	古井	年金生活者として安いのはありがたいですが、すごい金額ですね。
女性	50 歳代	古井	今のところ問題はないから
女性	20 歳代	古井	生活に直結するため

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	蜂屋	冬のごみの回収が少ない。
男性	60 歳代	太田	夏場の週 3 回収集は必要ない。2 回で十分である。袋代 50 円位に。
女性	20 歳代	太田	ごみ袋が高すぎる。高山市はもっと安い。
男性	30 歳代	古井	負担額など誰も知らない。それで、どうしろと。
女性	30 歳代	加茂野	処理にもかなり費用がかかる。ごみ袋もそこまでもろくない。
女性	20 歳代	加茂野	ごみ袋 300 円は、いつも買う時に高いと思ってしまいます。
男性	40 歳代	山之上	安いことがよいことではない。
女性	60 歳代	山之上	袋が弱すぎる。
女性	30 歳代	蜂屋	ごみ袋の代金が高いと思います。以前の市が 150 円だったため比べてしまいます。
女性	40 歳代	古井	ごみ袋がどんどん薄くなり、すぐ破れてしまいます。費用がかかるとは思いますが、丈夫にしてほしいです。

性別	年代	居住地区	意見
男性	10 歳代	古井	地域で値段が違うのが気になった
女性	30 歳代	加茂野	収集業者の対応が悪い。横柄な態度が目立つ。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40 歳代	蜂屋	ごみ袋料金を値上げする(案)。ごみを減らすよう各家庭が考えるべき。
男性	30 歳代	太田	ごみの分別をして、可燃ごみの量を減らす。
男性	70 歳代	太田	30 円を値上げしたら 100 円。
男性	70 歳代	古井	市財政から見てもう 5 円位上げて。
女性	40 歳代	古井	市民の負担を増やしてもよいと思う。
女性	50 歳代	古井	ごみ袋代もう少し高くしたらどうでしょうか。
男性	60 歳代	下米田・牧野	ごみ袋はもっと高くてもよい。
女性	60 歳代	太田	ごみ袋値上げは必要と思う。
女性	50 歳代	古井	各地域での話し合いが必要。
男性	70 歳代	太田	ごみを減らすように考える。
女性	60 歳代	太田	仕分けが名古屋市みたいに細かく区別されるともっとごみは減らせると思います。ぜひ取り組んでください。
女性	60 歳代	加茂野	家庭から出るごみをもっと減らすよう努力していかなくてはならない。
女性	40 歳代	加茂野	処理費用の負担のほとんどを市が負担してくれているのはありがたいですが、ごみの削減の意識のためにもごみ袋代を 30 から 50 円くらいにしてもよいかもと思う。あまり上げると不法投棄が心配なので気をつけて。
男性	50 歳代	下米田・牧野	負担増は必要ごみの減少にもなるので増額すべき。
男性	20 歳代	下米田・牧野	ごみの出す量を各家庭で減らすことができたらよいと思う。
女性	40 歳代	太田	ごみを出さない工夫をされている方のコンテストでもされたいかでしょうか。
男性	50 歳代	太田	ごみ袋を値上げするべき。ごみの量が減らせる。
女性	80 歳代	下米田・牧野	各自が減量に努めねばと思います。
女性	40 歳代	太田	ごみ袋の値段を上げてよい。
女性	50 歳代	蜂屋	他の市よりごみ袋料金が安いと思います。少し値段を上げることで、ごみの出し方が変わり負担も減少するのではないのでしょうか。
男性	20 歳代	古井	近隣市町村と比べると安いかもしれないが、首都圏と比べると 30 円でも高い方なので、比較対象が間違っている。広域連合で話し合いを。
女性	30 歳代	太田	もっとごみの減量化を図るべき。

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	古井	ごみ袋代をもう少し市民の負担にしてもよいかもしれませんね。 (分別意識の高まり)
男性	70 歳代	太田	袋代をもっと高くしたら
女性	70 歳代	下米田・牧野	むだに使わず協力したい。
男性	20 歳代	蜂屋	必要なものだから減らす努力は必要
男性	30 歳代	伊深	ごみ処理場を民営化し経費を減らすと共にごみ袋料金を 30 円から 300 円程度に増やせば、個人がごみを少しでも減らす工夫をしたいと思います。(リサイクルの徹底、エコバックの利用、包装していない商品の購入)
男性	20 歳代	太田	ごみ袋の料金は上げてよいと思います。
女性	70 歳代	古井	予算があればよいと思います。
男性	40 歳代	加茂野	関市は、年間決められた数だけ袋がもらえるそうなので検討してもらいたい。
男性	70 歳代	古井	別庭で処分する方法削減(草雑木)焼却処分
男性	60 歳代	太田	生ごみを発酵させて肥料にして、畑に再利用
女性	40 歳代	蜂屋	財政的にきびしいのなら各家庭の負担分を増やしてもよい。ただし、財政のむだをなくしてから。
男性	60 歳代	太田	もっと分別を市民として努力する、紙類を可燃袋に入れていると思われる。子ども会、リサイクルセンターの開催日が長い。大豊製紙(下麻生)は毎日いつでも持って行ける、そうした体制をつくる。
女性	10 歳代	下米田・牧野	もっとごみの数量を減らす工夫を各家庭でなくてはいけないと思う。
女性	20 歳代	下米田・牧野	美濃加茂市の分別は他市町村に比べ甘いと思う。もっと分別をするべき。
女性	60 歳代	太田	自分で処理するよう啓蒙してほしい。紙だけなどのごみは燃やさせてほしい。
男性	80 歳代	蜂屋	ごみ袋代をあげると、各自もやたら捨てたりするおそれあり。
女性	40 歳代	加茂野	努力のたまものです。ルールを守らない人の指導が難しく永い問題です。
女性	80 歳代	古井	個人負担を増やした方がよいのでは。
男性	60 歳代	山之上	市負担が少なくなるようにごみ袋を値上げすべきだ。
女性	40 歳代	古井	もう少しごみ袋代を上げてよいのでは。
女性	60 歳代	下米田・牧野	個人が負担するべき、市の負担金減らすべき。
女性	60 歳代	加茂野	高ければ量が減ると思うので 100 円位で全部いっしょにするとよいと思う。
男性	50 歳代	古井	ごみ袋代を少し高くしたらどうでしょうか。
男性	60 歳代	下米田・牧野	ごみ袋代 50 円に上げる。

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	加茂野	不燃物の回数が多すぎる、可燃物を少なくする努力を一人ひとりが考えてほしい。
男性	40 歳代	古井	自治会に加入していない人への負担が必要
女性	60 歳代	古井	ごみの分別が市町村でバラバラのようです、統一してほしいです。
女性	60 歳代	太田	ごみ袋料金をもっと低価格にしてください。
男性	40 歳代	太田	指定袋を使用していないごみ袋が見受けられる。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	60 歳代	古井	ごみを減らしたいです。ものが多いのか。なかなか難しい問題ですが処理費用がこんなにかかっていることで少しでも減らそうと努力はしています。
女性	50 歳代	下米田・牧野	ごみを減らすようにしたいです。
女性	50 歳代	蜂屋	外のまちの人が捨てにきている例があります(袋の値段がちがうから)
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。



## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40歳代	加茂野	成果が出てくるまで継続してもらいたい。
女性	60歳代	加茂野	よい。
女性	80歳代	蜂屋	いちばん大変な事業だと思います。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30歳代	加茂野	相談が少ないように思いますがどうでしょうか。
女性	20歳代	山之上	いらない。
男性	60歳代	太田	当市には必要ない。111万円は不用。
女性	40歳代	加茂野	明らかな結果がわからないので。
男性	10歳代	加茂野	たいした結果は出ていない。
男性	30歳代	古井	差別や偏見のない社会の実現は無理。
男性	40歳代	蜂屋	差別や偏見のない社会はないのが日本。これが日本の文化になっている。美濃加茂だけではどうにもならない。
男性	20歳代	古井	効果はあるのか。参加者は一部の人だし、ポスターをつくっても意味ない。
男性	20歳代	蜂屋	そこまでお金をかけて市としてやるものではない。
女性	50歳代	下米田・牧野	参加できることがない。
女性	60歳代	加茂野	事業費はこんなに必要なのですか。
男性	30歳代	加茂野	回数よりも参加人数が大切

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	古井	市は組織をつくれればよい、というやり方に不満。中身、実際にどんな行動がとられているかをもっと考えねば。
女性	50歳代	下米田・牧野	どんなに呼びかけても無理があるのでは。プライバシーを強く守ってあげることが必要。
女性	40歳代	太田	小中学生の啓蒙が何より大切かと思います。
女性	50歳代	古井	人としての基本的な人格の問題。相手の側に立つ考えや自由と平等、民主主義の考え方の違いが多く見受けられるから。
男性	20歳代	太田	やっているというアピールをするだけでよし。講演会は役に立ったのですか。
女性	70歳代	古井	予算があればよいと思います。

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	蜂屋	もっと子どものうちの教育が必要。市役所の人も気をつけてください。
男性	60 歳代	太田	他民族への差別も考えていきたいです。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	山之上	事業費の内訳はどうなっているのか。
男性	50 歳代	下米田・牧野	どの場面でそんなことがあるか。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80歳代	古井	十分では。
女性	60歳代	加茂野	よい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	20歳代	山之上	いない。
女性	50歳代	下米田・牧野	こだわらなくてもよいと思う。
男性	30歳代	古井	やっつけ仕事すぎる。「とりあえず」な気が。
女性	30歳代	古井	性別によって向き不向きの能力もあるのでそれらがこの活動によって目に見えたらよいが、実態が正直見えづらい。
男性	20歳代	蜂屋	そこまでお金をかけて市としてやるものではない。
女性	50歳代	蜂屋	わかりづらい。
女性	20歳代	下米田・牧野	何をしているのかよくわからない。市としてやる必要はないのでは。(会社や学校等で啓発活動はやると思う)
男性	50歳代	古井	公費の負担が多すぎる。
女性	50歳代	太田	女性ではありますが、子育て世代の方には是非子育てのみやってほしいと思う。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	古井	格好いい言葉ではなくもっと中身のある考え方を。
女性	50歳代	古井	基本的な人としての問題で教育社会の影響の問題。
女性	70歳代	古井	予算があればよいと思います。
女性	40歳代	加茂野	もっと取り組んでほしい。実際に男尊女卑は多すぎる。
女性	30歳代	太田	見てほしい人に限って、見ないものだと思う。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	40歳代	加茂野	こんなに費用の出る内訳を知りたい。
女性	50歳代	下米田・牧野	わからない。
女性	60歳代	古井	わかりません。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。

## (31) 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」の推進

(地域振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	30 歳代	太田	図書館の相互協力ができるようになったのがよいと思います(坂祝町)

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	60 歳代	太田	何をしているのかわからない。効果はあるのですか。
女性	50 歳代	古井	内容がわからない。
男性	20 歳代	下米田・牧野	人口に対して閲覧数が少ないと思う。
男性	60 歳代	太田	高齢者がホームページを見る割合は低い。
女性	70 歳代	古井	ホームページを見ない。
男性	20 歳代	太田	29 万も必要な意味がわかりません。
女性	70 歳代	古井	意識して見たことはありません。
男性	60 歳代	太田	事業内容が高齢者にはわかりません。ホームページが開けないから。
女性	20 歳代	下米田・牧野	そのうちホームページを見なくなると思うし、更新も滞りそう。
男性	70 歳代	古井	最近盛んに定住自立圏という言葉が使われているが、一般市民はほとんど知らないと思います。
男性	60 歳代	太田	美濃加茂定住自立はむだです、必要のない行政です。
男性	70 歳代	加茂野	ホームページを見ることができない人はどうするのでしょうか。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	古井	専用ホームページを見てもらえるように。
男性	30 歳代	古井	もっとわかるように市報とかに各事業 1 ページ分などで状況を記載したらどうか
男性	70 歳代	古井	若い人が定住したいと思うまちづくりが重要(安く住めるタウンづくり)
男性	20 歳代	古井	趣旨、ホームページの雰囲気もよいと思うので。予算をもっとつけて、内容の充実を。
男性	20 歳代	蜂屋	市のホームページからの導線強化
女性	40 歳代	加茂野	もっと積極的に。
男性	50 歳代	古井	人の流出を防いで人口を増やすことは大事です。
女性	30 歳代	加茂野	アピールが足りない。
男性	30 歳代	古井	これから見ます。

【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
女性	無回答	加茂野	私たちはあまり見ていないので学び不足
女性	60 歳代	加茂野	見たことない。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。

## (32)「かも丸・かも美」の活躍

(地域振興課)

## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	下米田・牧野	とってもかわいい。他の地域と交流するとよい。
男性	60 歳代	太田	愛嬌があってよい。2 人の子どもの「かもん」君の登場も楽しみ。
女性	20 歳代	太田	かわいい。
女性	40 歳代	加茂野	PRのためにマスコットキャラクターは親しみやすく必要だと思います。
女性	30 歳代	太田	とてもかわいいと子どもたちも大好きです。キーホルダーとかグッズあればほしいです。
女性	30 歳代	加茂野	子どもも親しみやすい。
男性	30 歳代	蜂屋	子どもが好き。
女性	30 歳代	伊深	子どもが喜んでいきます。
女性	30 歳代	太田	子どもは気に入っています。
男性	20 歳代	蜂屋	もっと活用したい。
女性	50 歳代	太田	子どもたちにとっても親しまれているのでキャラクターはとてもよいです。
男性	40 歳代	加茂野	美濃加茂市のイメージアップにつながるからよいと思う。
女性	60 歳代	加茂野	よい。
女性	40 歳代	古井	歌は覚えやすく頭に残りよいと思います。
女性	60 歳代	古井	楽しいからよいと思います。
女性	10 歳代	下米田・牧野	もっとたくさんのイベントに参加してほしい。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
女性	80 歳代	蜂屋	私たちはぬいぐるみのようなきぐるみには何とも思わない。もう少し名産物はないものですかね。
女性	30 歳代	加茂野	利用団体少ない。
女性	50 歳代	太田	今更ではありますが、かも丸は残念。「美濃加茂」の知名度が低いから。
女性	30 歳代	太田	かも丸、かも美ともにいまいちかわいくないかも。
男性	50 歳代	太田	不要なキャラクター
女性	50 歳代	古井	他の土地のまねをしても意味がない
男性	30 歳代	下米田・牧野	PRにマスコットの着ぐるみが必要か疑問
女性	50 歳代	古井	ゆるキャラは必要なのか。他のまねのように思う。美濃加茂市の歴史や地域性に合ったPR活動を考えてほしい。
男性	20 歳代	太田	世間に流されず、美濃加茂らしさをもっと重視すべきです。

性別	年代	居住地区	意見
女性	50 歳代	蜂屋	キャラクター人気はわかるけど本当に必要なのか。
男性	30 歳代	加茂野	一時的な流行では。
女性	20 歳代	下米田・牧野	そんなに出勤する必要があるのか。
女性	80 歳代	古井	どうでもよい。
男性	30 歳代	加茂野	のりかかりすぎ。143 万あったらいろいろできるのでは。
男性	50 歳代	古井	公費でなくてもよい。
男性	70 歳代	古井	市民の活動やイベントにキャラクターは必要ないと思います。市民に対し定住自立圏の何たるかを説明徹底する必要あり。
男性	60 歳代	太田	とにかく市町村合併に失敗したからと、手を変え品をも変えての合併のまねはやめてください。
男性	40 歳代	古井	あまりかわいくない。
男性	50 歳代	伊深	必要ない。
男性	50 歳代	加茂野	不要
男性	40 歳代	加茂野	岐阜市柳ヶ瀬商店街の「やなな」ちゃんはただでやっているが。どうなのか。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	加茂野	重要度、満足度がどうかということより進めることが重要でしょう。
女性	20 歳代	山之上	キャラクターがあることを知らなかった。もっとみんなに知ってもらうためにアピールするべき。せっかくだから。
女性	50 歳代	古井	ただ着ぐるみが登場するだけ、ということがないようにしてもらいたい。
男性	50 歳代	加茂野	費用はイベント主催者が負担すること。
女性	30 歳代	古井	ひこにゃんみたいに活動がまちの利益になるならもっとPRしてもよいと思う。
男性	20 歳代	古井	せっかくやるなら、予算をもっとつけて思いきったことを。
男性	60 歳代	太田	費用を自治会の補助金に分配されたい。
男性	10 歳代	古井	マスコットキャラクターは市外の間人が市に対しての最初の先入観になる可能性が高い。キャラのストーリー性、デザインなど、もう一度考えるとよいかもしれない。
女性	60 歳代	山之上	イベントのPRなどに活躍していますが、それなりの収入はありますか。
男性	50 歳代	古井	かも丸、かも美も知っていますが多治見の「うながっば」のように何かPRできないか。特産品と合わせて。
女性	30 歳代	加茂野	このキャラクター初めて知った。アピールが足りない。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70 歳代	太田	出勤した時、見てないので。
女性	50 歳代	下米田・牧野	見たことはありません。
男性	50 歳代	蜂屋	一度も見たことはありません。
男性	10 歳代	加茂野	知らない。
男性	30 歳代	古井	見たことはありません。
男性	30 歳代	古井	知らない。柳ヶ瀬商店街の「やなな」が強すぎた。
男性	60 歳代	古井	一度も見たことはありません。
女性	無回答	加茂野	私たちはあまり見ていないので学び不足
女性	50 歳代	下米田・牧野	見たことはありません。
女性	70 歳代	古井	一度も接したことはありません。
女性	40 歳代	加茂野	知らない。
男性	30 歳代	蜂屋	見たことはありません。
男性	50 歳代	蜂屋	あまり見かけない、知らない人が多い。
女性	70 歳代	三和	満足度はわかりません。



## 【事業を評価している意見】

性別	年代	居住地区	意見
無回答	無回答	無回答	今のところ利用していない。利用希望はあります。
男性	60歳代	太田	坂祝町の講座にも参加したい。
女性	30歳代	太田	色々な講座をお値打ちに体験できて毎回楽しみにしています。
女性	30歳代	古井	生涯学習の情報が増えている点としてはよい。
女性	30歳代	加茂野	いろいろな講座があり、いくつかに参加して楽しかったのが今後もあるとよいと思います。
女性	60歳代	加茂野	よいと思います。
男性	70歳代	古井	いろいろな講座があり大変勉強になります。

## 【事業を評価していない意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	太田	使用できるものがないと思う。
女性	50歳代	下米田・牧野	最初に見るだけで忘れてしまうことが多いです。
女性	50歳代	古井	反響はあるのか疑問。
女性	30歳代	伊深	あまり読まない。ごみになる。
女性	50歳代	下米田・牧野	あまり関心がない。
女性	50歳代	古井	市報がアピタなどの商業施設に置いてあるがむだなことと思う。

## 【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年代	居住地区	意見
男性	20歳代	古井	もっと周辺の市町村との連携を広げたらよいのでは。
男性	20歳代	蜂屋	つくるだけで終わらないよう活用すべき
女性	20歳代	加茂野	広報など、アパートにも届けてもらえるとよいなと思います。子育ての情報が知りたいです。
女性	50歳代	太田	やってみたいと思う講座も多く、よい。託児つき講座や、仕事をしている人でもできる土日や夜の講座もあるとよいのでは。
女性	50歳代	蜂屋	まだ参加していないので参加する人は決まった人が多いとは思いますが。
無回答	無回答	無回答	発行する回数を増やしてほしい。
女性	20歳代	下米田・牧野	年に1回でよいと思う。
女性	80歳代	蜂屋	夕方からの講座がない。夜の時間の講座がないので若い方には何にもならない。
女性	40歳代	太田	時間帯が昼間ばかりで普通に仕事している人は学べない。

## 【わからない・その他】

性別	年代	居住地区	意見
男性	70歳代	加茂野	重要度、満足度がどうかということより進めることが重要でしょう。
男性	40歳代	古井	情報誌「どーなっつ」がなくなったのが残念。
男性	30歳代	古井	知りません。
男性	20歳代	下米田・牧野	初めて知った。
女性	無回答	加茂野	私たちはあまり見ていないので学び不足
女性	60歳代	太田	参加したことがないので評価できない。
女性	70歳代	古井	今までに大体のことはやってきましたので過去のことと思っています。
女性	40歳代	加茂野	見たことがない。
男性	60歳代	山之上	延べ人数ではなく受講者数はどれだけですか。
女性	60歳代	加茂野	とにかく交通の便が悪いので参加できない。
男性	50歳代	太田	情報はどこでわかるのか。
男性	50歳代	加茂野	知りません。
女性	70歳代	三和	満足度はわかりません。



平成 24 年度  
美濃加茂市市民満足度調査  
自由意見報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp